

第25回  
文京区政に関する世論調査  
報告書

令和3年12月  
文京区



# は じ め に

文京区では、令和2年3月に、区が解決すべき主要課題を明らかにした「重点化計画」で、財政的な裏付けを伴う区の最上位計画である「文の京」総合戦略を策定しました。平成22年6月に策定した基本構想の根幹となる理念や将来都市像を継承するとともに、各施策の基本となる考え方や主要課題の解決に向けた事業展開等を一体的に示しており、社会状況や行政需要の変化に適応する課題解決型の区政運営を推進してまいります。

また、区では、区政を話し合う集い、広聴はがき、区民の声（ホームページ）など各種の広聴活動を行い、区民の皆様のご意見、ご要望の把握に努めております。

今回、この広聴活動の一環として、第25回の世論調査を実施いたしました。今回の調査では、「定住意向」「区政運営」「協働・協治」「防災・安全」「まちづくり」「子育て・教育」「高齢者」「消費者相談」「文化・芸術・スポーツ振興」「循環型社会」「議会」「人権・ダイバーシティ」「健康・保健」の13項目について調査いたしました。この調査結果につきましては、今後の区政運営の貴重な基礎資料として活用させていただきます。

おわりに、調査にご協力いただきました区民の皆様に心からお礼申し上げます。

令和3年12月

文京区長 成澤 廣修



## I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査の内容	3
3. 調査の設計	3
4. 回収結果	3
5. 地区区分	4
6. 集計にあたって	4
7. 分析にあたって	5
8. 母集団との比較	5
9. 回答者の特性	6

## II 調査結果の分析

1. 定住意向	11
1-1 居住年数	11
1-2 定住・転出意向	13
1-3 住み続けたい理由	16
2. 区政運営	21
2-1 満足に感じている区の施策	21
2-2 不満に感じている区の施策	24
2-3 さらに力を入れてほしい区の施策	27
2-4 区の財政状況に対する関心	28
2-5 区の財政状況に対する印象	32
2-6 財政の健全化を進めていくために必要なこと	36
2-7 インターネットで申請・届出等ができると思う行政手続き	38
3. 協働・協治	43
3-1 現在参加している地域活動	43
3-2 現在参加している地域活動の分野	46
3-3 今後参加してみたい地域活動	49
3-4 町会・自治会の加入状況	52
3-5 町会・自治会への参加意欲	56
3-6 町会・自治会に期待すること	60
4. 防災・安全	65
4-1 有用な防犯対策	65
4-2 高齢者世帯を狙った特殊詐欺の被害防止対策	68
4-3 災害への備え	71
4-4 区からの災害情報の提供方法の認知度	74
4-5 防災行政無線の使用状況	77
5. まちづくり	83
5-1 周辺地域のまち並み・景観に対する満足度	83
5-2 自転車の安全利用対策	86

# 目 次

---

5-3	みどりの啓発事業の認知度及び参加状況	89
5-4	公園再整備事業により整備された公園の認知度及び利用状況	92
5-5	区立公園や児童遊園の利用頻度	95
5-6	公園の利用目的	98
5-7	区内にあるとよいと思う公園	100
5-8	「文京区公共の場所における喫煙等の禁止に関する条例」の認知度	103
<b>6.</b>	<b>子育て・教育</b>	<b>109</b>
6-1	子どもへの体罰が法律で禁止されたことの認知度	109
6-2	「児童相談所虐待対応ダイヤル189（いちはやく）」の認知度	112
6-3	青少年健全育成に関して地域の大人たちが行うべきこと	115
6-4	学校支援活動の今後の協力意向	118
<b>7.</b>	<b>高齢者</b>	<b>123</b>
7-1	「高齢者あんしん相談センター」の認知度	123
7-2	「フレイル」の認知度	126
7-3	成年後見制度に関する認知度	129
<b>8.</b>	<b>消費者相談</b>	<b>135</b>
8-1	「消費者相談室」の認知度	135
<b>9.</b>	<b>文化・芸術・スポーツ振興</b>	<b>139</b>
9-1	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー（遺産）を残すため区に望むこと	139
<b>10.</b>	<b>循環型社会</b>	<b>143</b>
10-1	環境について知りたい情報	143
10-2	ごみ減量のために取り組むべきこと	145
10-3	食品ロス削減のためにやっていること	147
10-4	プラスチックごみの削減のための分別回収	149
<b>11.</b>	<b>議会</b>	<b>153</b>
11-1	区議会の活動の認知媒体	153
11-2	区議会の活動として期待すること	155
11-3	区議会ホームページの閲覧頻度	157
<b>12.</b>	<b>人権・ダイバーシティ</b>	<b>161</b>
12-1	人権や差別・偏見問題に関して区が力を入れるべきもの	161
12-2	「男女平等センター相談室」の認知度・利用状況	163
<b>13.</b>	<b>健康・保健</b>	<b>167</b>
13-1	新型コロナウイルス感染防止のためにやっていること	167
13-2	新型コロナウイルスによる影響で困っていること	170
13-3	区が実施している自殺対策の認知度	173
<b>Ⅲ</b>	<b>質問と回答</b>	<b>177</b>

# I 調査の概要





## 1. 調査の目的

本調査は、区民の区政に対する意識や意向、意見や要望等を統計的手法によつて的確に把握することを目的として行った。

## 2. 調査の内容

- |            |                  |
|------------|------------------|
| (1) 定住意向   | (8) 消費者相談        |
| (2) 区政運営   | (9) 文化・芸術・スポーツ振興 |
| (3) 協働・協治  | (10) 循環型社会       |
| (4) 防災・安全  | (11) 議会          |
| (5) まちづくり  | (12) 人権・ダイバーシティ  |
| (6) 子育て・教育 | (13) 健康・保健       |
| (7) 高齢者    |                  |

## 3. 調査の設計

- |            |                            |
|------------|----------------------------|
| (1) 調査地域   | 文京区全域                      |
| (2) 調査対象   | 文京区在住の満18歳以上の個人（住民基本台帳による） |
| (3) 標本数    | 2,500サンプル                  |
| (4) 対象者の抽出 | 層化2段無作為抽出法（5地区に分類し対象者を抽出）  |
| (5) 調査方法   | 郵送配布・郵送回収またはインターネット回答      |
| (6) 調査期間   | 令和3年8月23日（月）～9月6日（月）       |
| (7) 調査機関   | 株式会社エスピー研                  |

## 4. 回収結果

### (1) 地区別

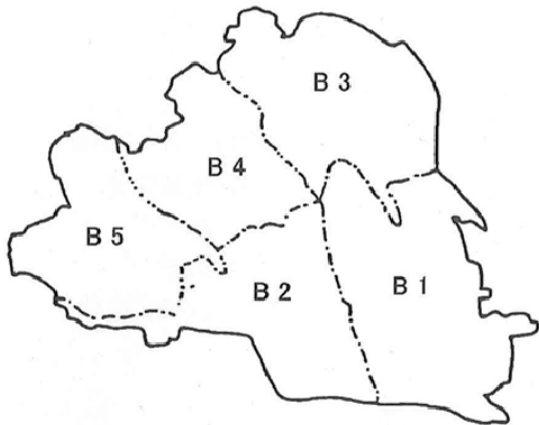
	満18歳以上人口	構成比	標本数	有効回収数	有効回収率
全体	183,790	100.0%	2,500	1,182	47.3%
B1地区	45,008	24.5%	606	288	47.5%
B2地区	35,766	19.5%	478	243	50.8%
B3地区	45,216	24.6%	611	285	46.6%
B4地区	30,665	16.7%	413	178	43.1%
B5地区	27,135	14.7%	392	186	47.4%
地区不明	-	-	-	2	-

※満18歳以上人口：令和3年7月1日現在

### (2) 回収方法別

	有効回収数	構成比
全体	1,182	100.0%
郵送	758	64.1%
インターネット	423	35.8%
持参	1	0.1%

## 5. 地区区分



地区	町名(丁目)
B 1	根津、弥生、本郷、湯島、西片、白山(1丁目)、向丘(1丁目)
B 2	後楽、春日、水道、小石川(1～4丁目)、関口(1丁目)、小日向(1丁目)、白山(2丁目)
B 3	千駄木、本駒込、向丘(2丁目)、白山(5丁目)
B 4	千石、白山(3・4丁目)、大塚(3・4丁目)、小石川(5丁目)
B 5	音羽、目白台、大塚(1・2・5・6丁目)、関口(2・3丁目)、小日向(2～4丁目)

## 6. 集計にあたって

- (1) 図表中の「n」(number of caseの略)は、各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。
- (2) 集計は百分率とし、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても100.0%ちょうどにならず、1%の範囲で増減することがある。
- (3) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (4) 集計は、①単純集計、②フェイスシートとのクロス集計、③設問間のクロス集計の3種類を行った。
- (5) 標本誤差は回答者数と得られた結果の比率によって異なるが、層化二段無作為抽出法による場合の誤差(信頼度95%)は次の式によって得られる。

$$b = 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b : 標本誤差(二段抽出の場合)  
 N : 母集団全体  
 n : 比率算出の基数(回答者数)  
 P : 回答比率

今回の調査結果の場合、誤差及び信頼の範囲は下表のとおりであり、「ある設問の回答者数が1,182人で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その答比率の誤差の範囲は、最高でも±4.03である」というようにみる。

<標本誤差早見表> (信頼度: 95%)

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,182	±2.47	±3.29	±3.77	±4.03	±4.11
1,000	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
800	±3.00	±4.00	±4.58	±4.90	±5.00
400	±4.24	±5.66	±6.48	±6.93	±7.07
200	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00
100	±8.49	±11.31	±12.96	±13.86	±14.14

※Nはnより非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \div 1$  とみなせるので、 $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として計算した。

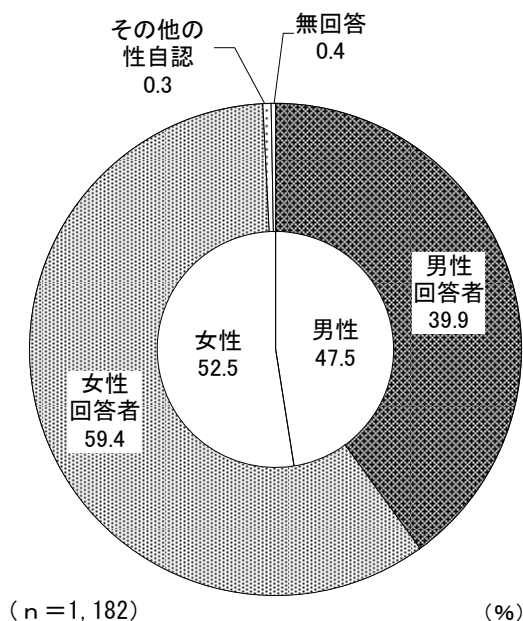
## 7. 分析にあたって

- (1) グラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- (2) クロス結果の帯グラフや表について、表側（分析の軸）となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、表側（分析の軸）の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。
- (3) 複数回答の設問におけるクロス結果の棒グラフは、上位10項目に限定している場合があり、その際、「その他」は対象から除き表示していない。
- (4) クロス集計時に、基数（n）が小さい数字になる場合は誤差が大きいため注意が必要であり、コメントを省略していることがある。
- (5) ライフステージの分類は以下のとおりである。

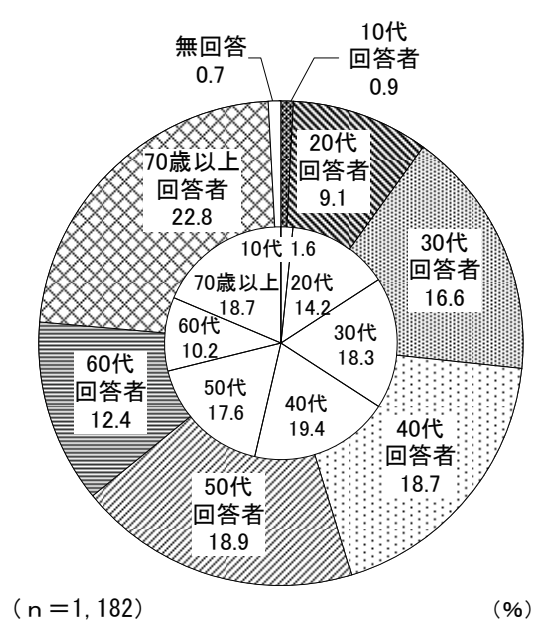
・ 独身期 ……………	40 歳未満の独身者
・ 家族形成期 ……	40 歳未満の子どもがいない夫婦、 または一番上の子どもが就学前の人
・ 家族成長前期 ……	一番上の子どもが小・中学生の人
・ 家族成長後期 ……	一番上の子どもが高校・大学生の人
・ 家族成熟期 ……	64 歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
・ 老齢期 ……………	65 歳以上の人
・ その他 ……………	40 歳～64 歳の独身者、40 歳～64 歳の子どもがいない夫婦など

## 8. 母集団との比較

### (1) 性別構成



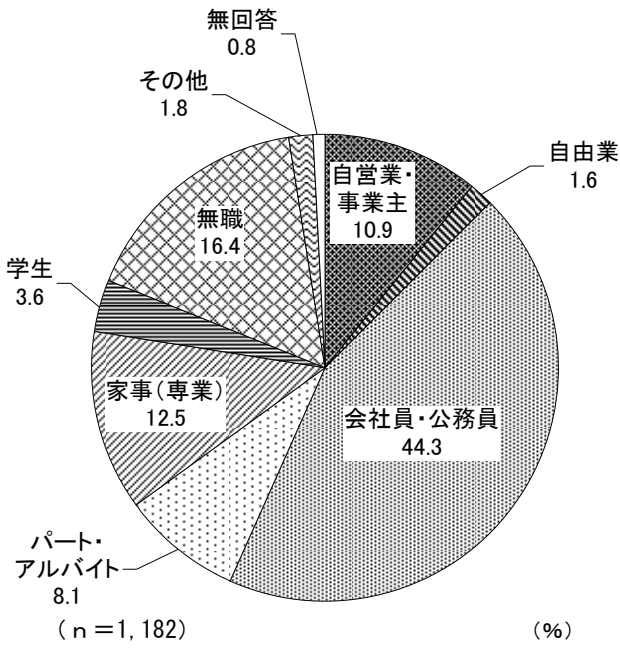
### (2) 年代構成



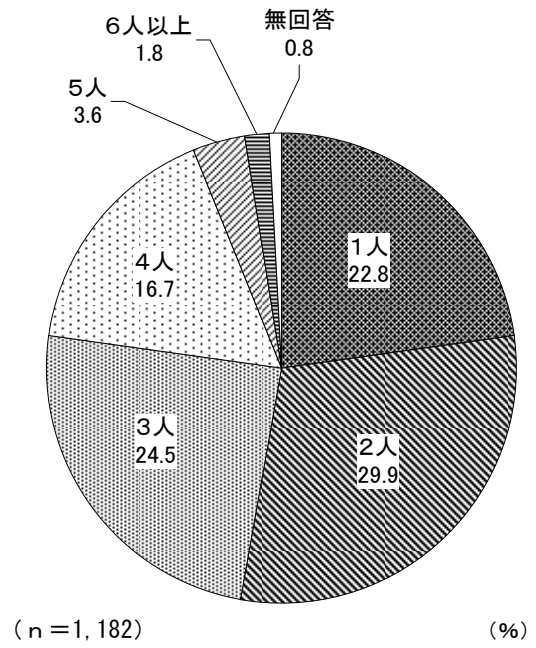
※円内は母集団の、外円は調査回答者の構成比を表している。

## 9. 回答者の特性

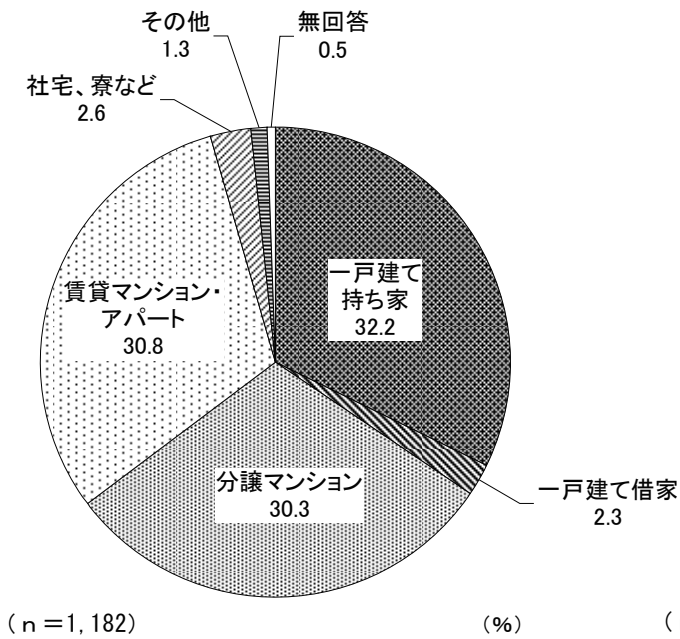
(1) 職業



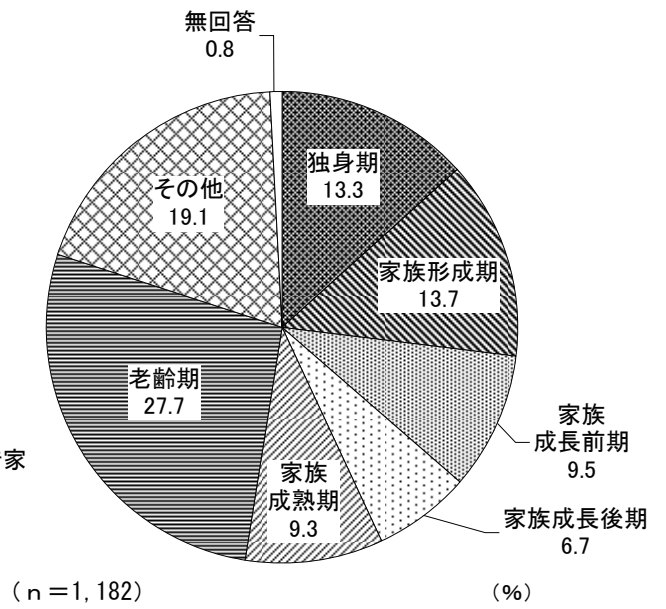
(2) 家族人数



(3) 居住形態



(4) ライフステージ



## Ⅱ 調査結果の分析



# 1. 定住意向

- 
- 1-1 居住年数
  - 1-2 定住・転出意向
  - 1-3 住み続けたい理由
-



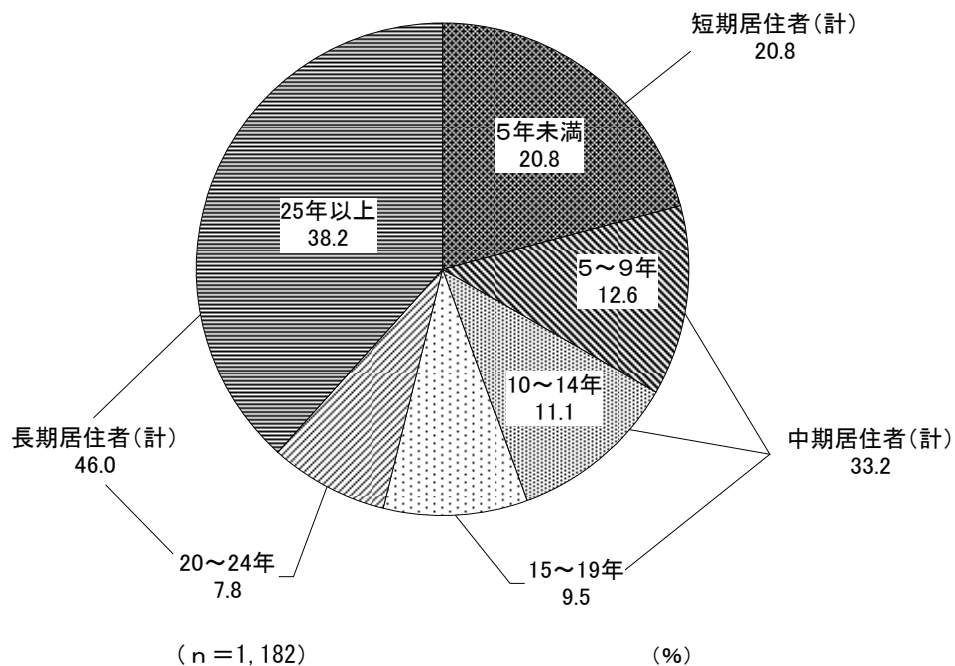


# 1. 定住意向

## 1-1 居住年数

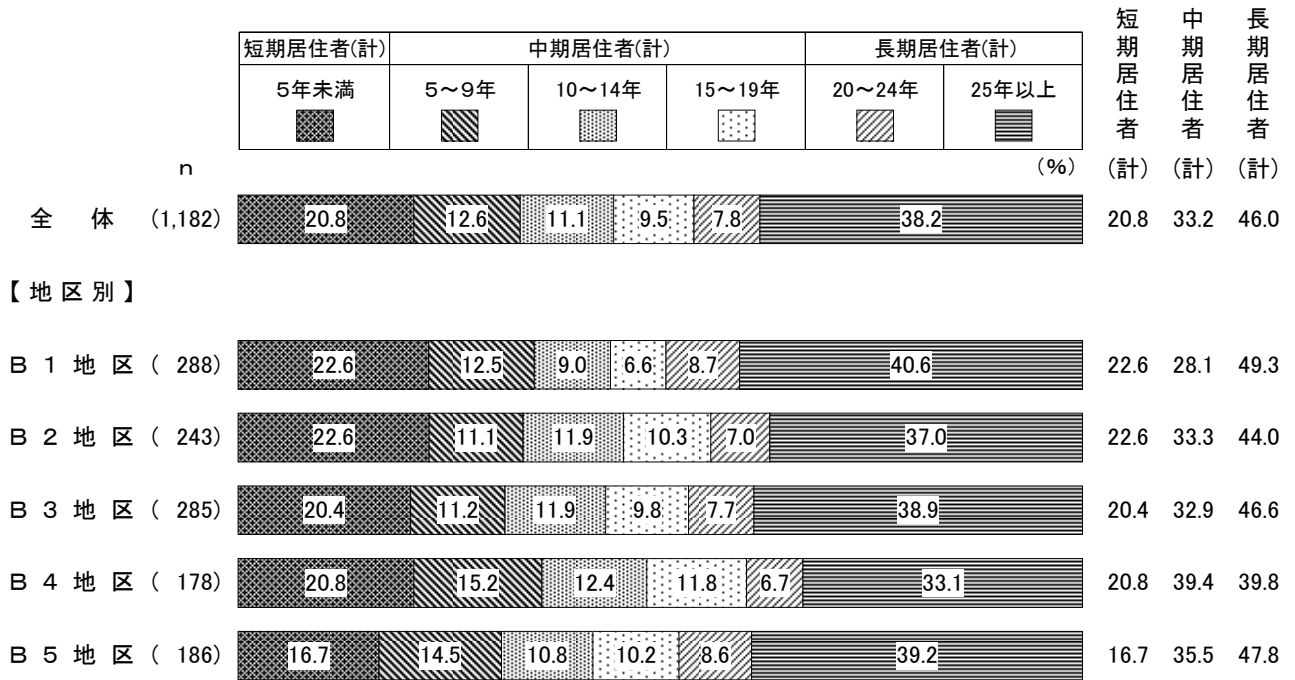
問1 あなたは、文京区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ)

図1-1-1 居住年数



居住年数をたずねたところ、「5年未満」の『短期居住者(計)』(20.8%)が約2割、「5~9年」(12.6%)、「10~14年」(11.1%)、「15~19年」(9.5%)を合わせた『中期居住者(計)』(33.2%)が3割を超え、「20~24年」(7.8%)と「25年以上」(38.2%)を合わせた『長期居住者(計)』(46.0%)が4割半ばとなっている。(図1-1-1)

図 1 - 1 - 2 居住年数一地区別

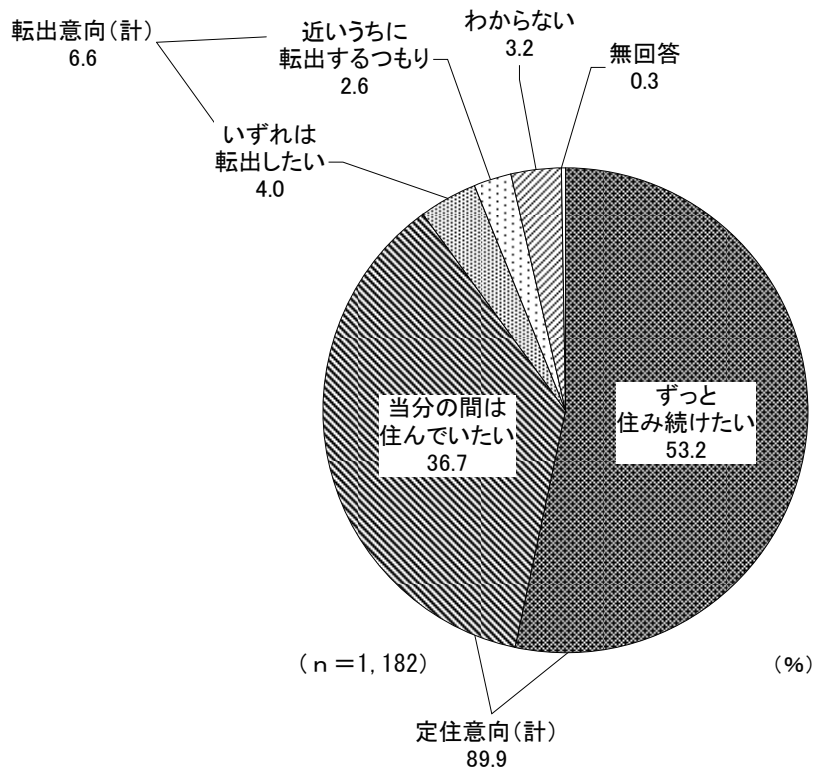


地区別にみると、『中期居住者(計)』はB 4地区で約4割と多くなっている。『長期居住者(計)』はB 1地区で約5割と多くなっている。(図 1 - 1 - 2)

## 1-2 定住・転出意向

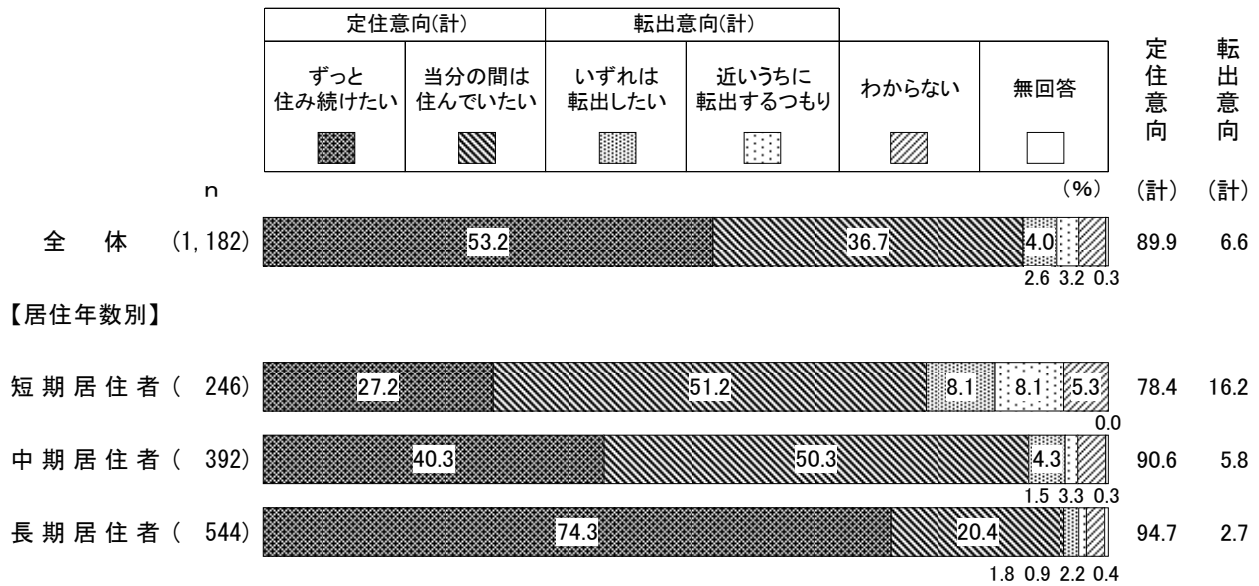
問2 あなたは、これからも文京区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

図1-2-1 定住・転出意向



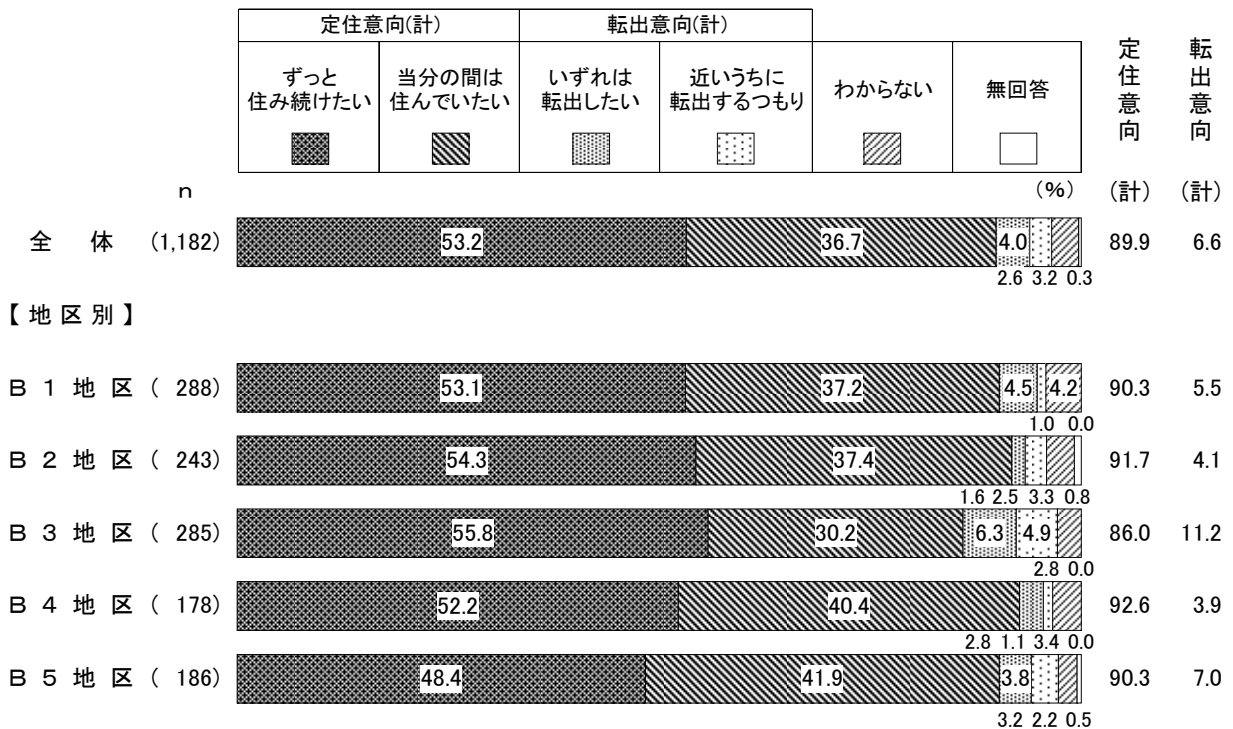
定住・転出意向をたずねたところ、これからも文京区に「ずっと住み続けたい」(53.2%)が5割を超え、これに「当分の間は住んでいたい」(36.7%)を合わせた『定住意向(計)』(89.9%)が9割となっている。一方、「いずれは転出したい」(4.0%)と「近いうちに転出するつもり」(2.6%)を合わせた『転出意向(計)』(6.6%)は1割未満となっている。(図1-2-1)

図 1-2-2 定住・転出意向—居住年数別



居住年数別にみると、「ずっと住み続けたい」は居住年数が長くなるほど割合が高く、長期居住者で7割半ばとなっている。『定住意向 (計)』は居住年数が長くなるほど割合が高く、長期居住者で9割半ばとなっている。(図 1-2-2)

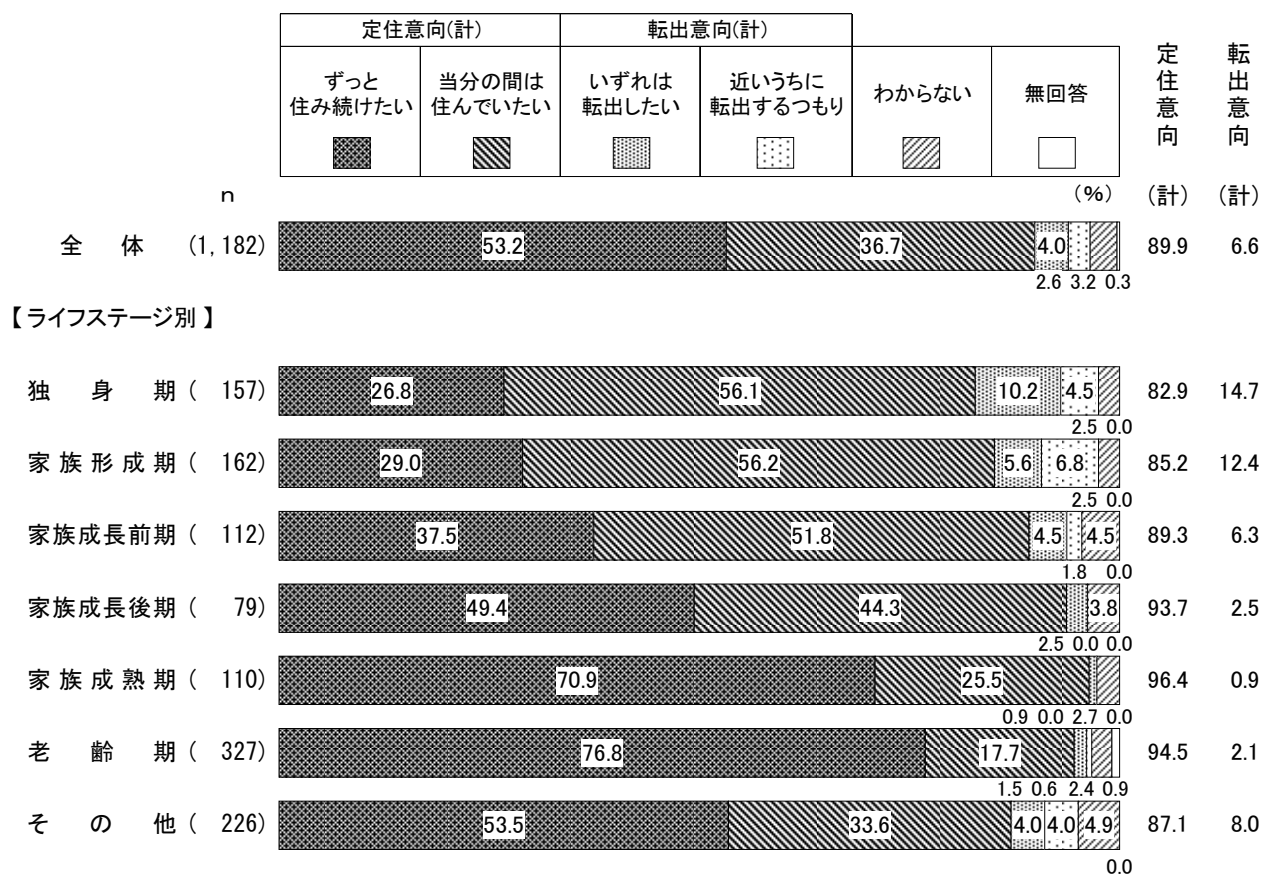
図 1-2-3 定住・転出意向—地区別



地区別にみると、『定住意向 (計)』はB 3地区を除くすべての地区で9割台となっている。

(図 1-2-3)

図 1-2-4 定住・転出意向－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「ずっと住み続けたい」は老齢期で8割近く、家族成熟期で約7割と多くなっている。『定住意向(計)』は家族成熟期、老齢期、家族成長後期で9割台と多くなっている。(図1-2-4)

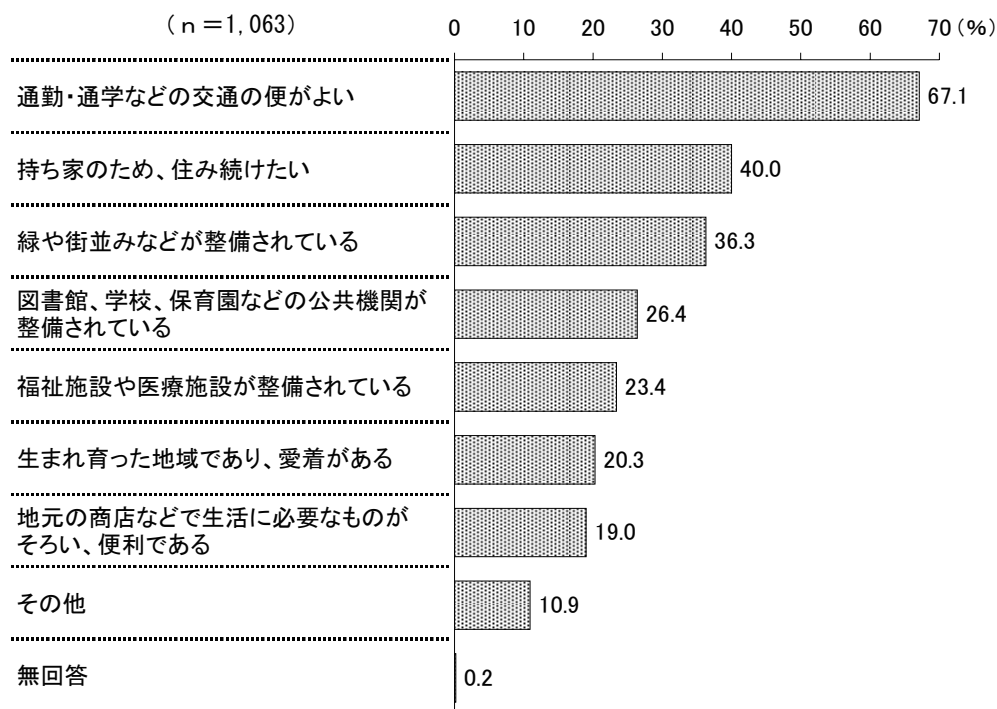
### 1-3 住み続けたい理由

【問2で「ずっと住み続けたい」または「当分の間は住んでいたい」と回答した方に】

問2-1 住み続けたいと思う理由は何ですか。

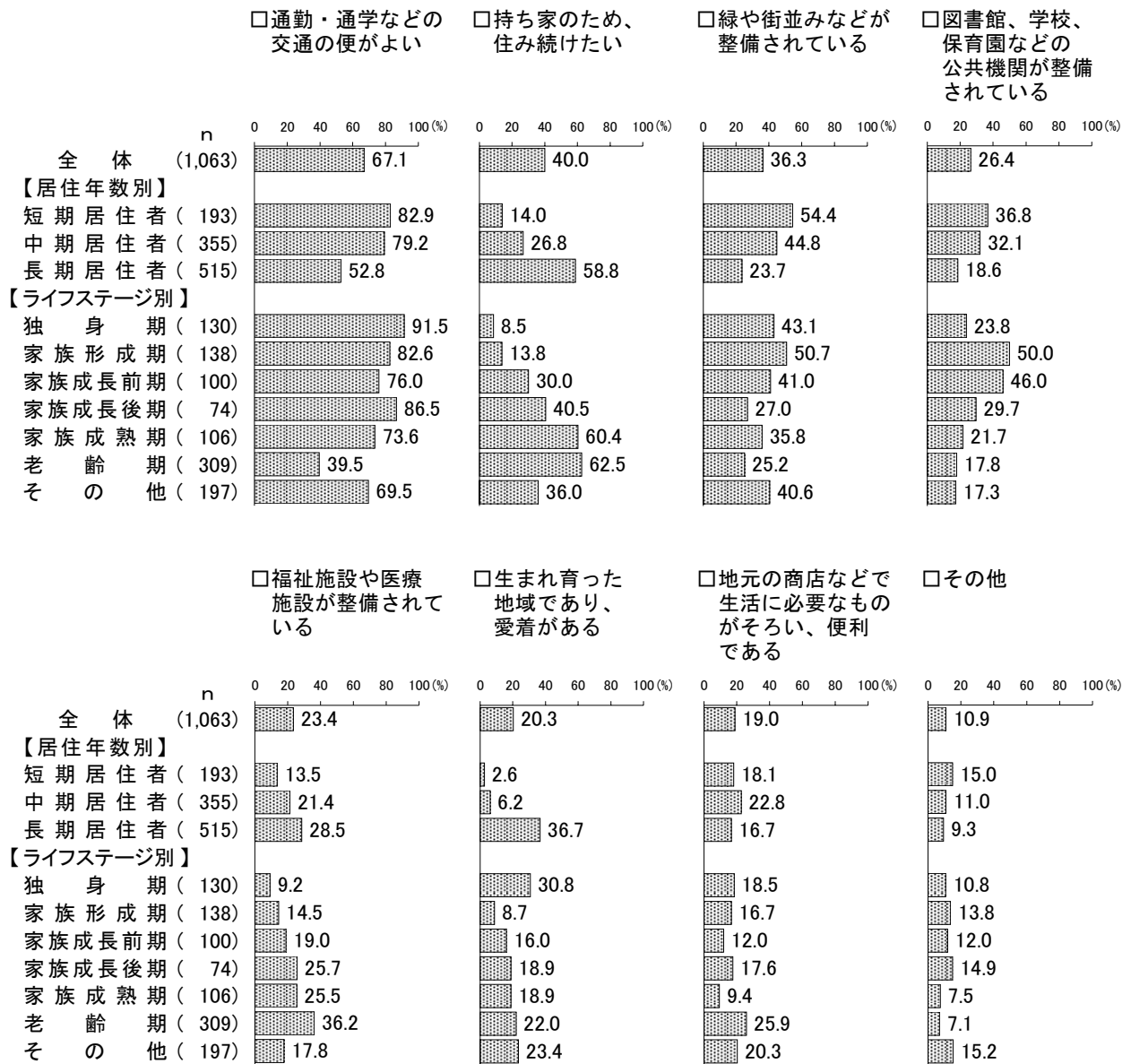
次の中からあてはまるものを3つ以内でお選びください。(〇は3つまで)

図1-3-1 住み続けたい理由



これからも文京区に「ずっと住み続けたい」または「当分の間は住んでいたい」と答えた方(1,063人)に、住み続けたい理由をたずねたところ、「通勤・通学などの交通の便がよい」(67.1%)が7割近くで最も多く、次いで「持ち家のため、住み続けたい」(40.0%)、「緑や街並みなどが整備されている」(36.3%)、「図書館、学校、保育園などの公共機関が整備されている」(26.4%)などの順となっている。(図1-3-1)

図1-3-2 住みたい理由—居住年数別／ライフステージ別



居住年数別にみると、「通勤・通学などの交通の便がよい」、「緑や街並みなどが整備されている」、「図書館、学校、保育園などの公共機関が整備されている」は居住年数が短くなるほど割合が高くなっている。一方、「持ち家のため、住みたい」、「福祉施設や医療施設が整備されている」、「生まれ育った地域であり、愛着がある」は居住年数が長くなるほど割合が高くなっている。

ライフステージ別にみると、「通勤・通学などの交通の便がよい」は独身期で9割を超えて多くなっている。「持ち家のため、住みたい」は老齢期と家族成熟期で6割台と多くなっている。「緑や街並みなどが整備されている」は家族形成期で約5割と多くなっている。(図1-3-2)





## 2. 区政運営

- 
- 2-1 満足に感じている区の施策
  - 2-2 不満に感じている区の施策
  - 2-3 さらに力を入れてほしい区の施策
  - 2-4 区の財政状況に対する関心
  - 2-5 区の財政状況に対する印象
  - 2-6 財政の健全化を進めていくために必要なこと
  - 2-7 インターネットで申請・届出等ができるの良いと思う行政手続き
-

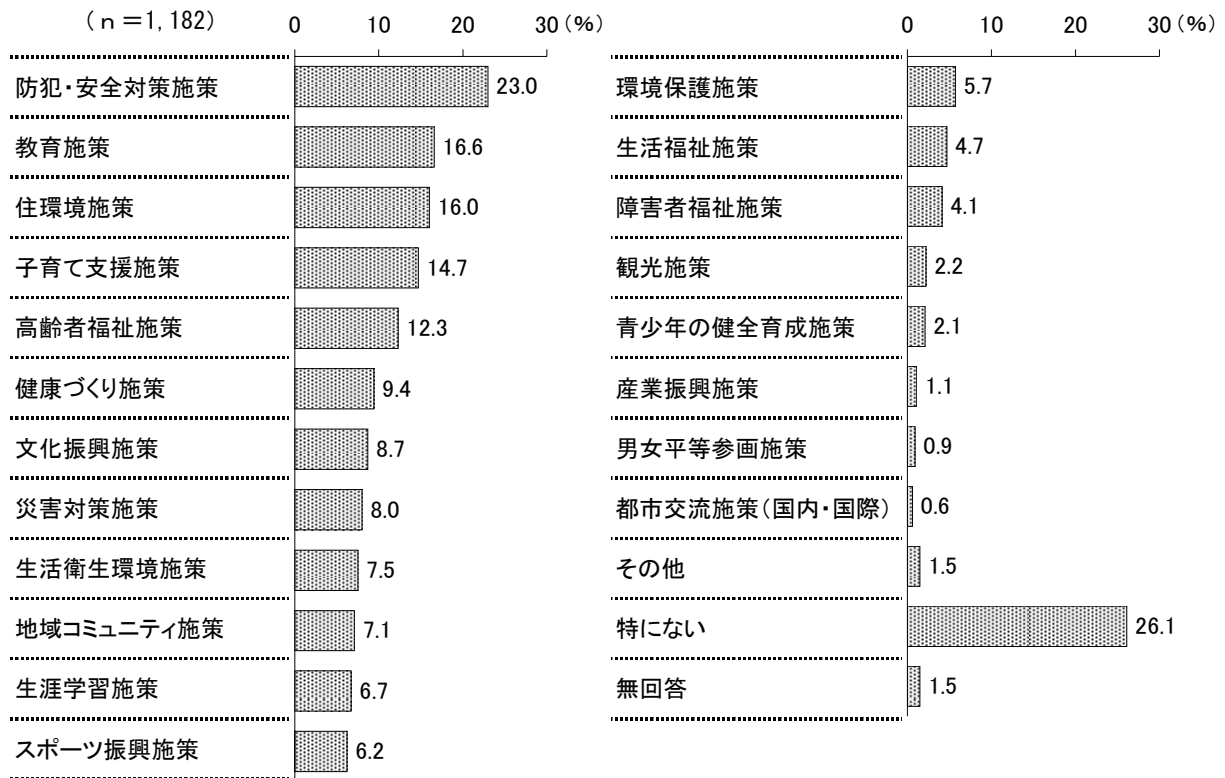


## 2. 区政運営

### 2-1 満足に感じている区の施策

問3 次の区の施策のうち、あなたが満足に感じている分野を、3つ以内でお選びください。  
(○は3つまで)

図2-1-1 満足に感じている区の施策



満足を感じる区の施策についてたずねたところ、「防犯・安全対策施策」(23.0%)が2割を超えて最も多く、次いで「教育施策」(16.6%)、「住環境施策」(16.0%)、「子育て支援施策」(14.7%)などの順となっている。また、「特にない」(26.1%)は2割半ばとなっている。(図2-1-1)

表 2-1-1 満足に感じている区の施策—性別／性・年代別（上位5項目）

(%)

属性		順位	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体			1,182	防犯・安全 対策施策 (23.0)	教育施策 (16.6)	住環境施策 (16.0)	子育て支援施策 (14.7)	高齢者福祉施策 (12.3)
性 別	男 性		472	防犯・安全 対策施策 (25.4)	住環境施策 (18.4)	教育施策 (17.4)	高齢者福祉施策 (13.3)	子育て支援施策 (11.9)
	女 性		702	防犯・安全 対策施策 (21.4)	子育て支援施策 (16.7)	教育施策 (16.2)	住環境施策 (14.1)	高齢者福祉施策 (11.5)
性・ 年代別	男 性	10・20代	60	防犯・安全 対策施策 (31.7)	教育施策 (23.3)	住環境施策 (16.7)	災害対策施策 (11.7)	文化振興施策/ スポーツ振興 施策 (10.0)
		30 代	76	住環境施策 (21.1)	子育て支援施策/ 防犯・安全対策施策 (19.7)		教育施策 (17.1)	災害対策施策 (11.8)
		40 代	76	教育施策 (26.3)	子育て支援施策 (25.0)	スポーツ振興施策/ 住環境施策/ 防犯・安全対策施策 (13.2)		
		50 代	86	防犯・安全 対策施策 (31.4)	教育施策/ 住環境施策 (18.6)		子育て支援施策 (14.0)	生活衛生環境施策/ 文化振興施策/ 災害対策施策 (12.8)
		60 代	62	住環境施策 (24.2)	防犯・安全 対策施策 (21.0)	高齢者福祉施策 (14.5)	障害者福祉施策/ 健康づくり施策 / 生活衛生環境施策 (12.9)	
		70歳以上	110	高齢者福祉施策 (36.4)	防犯・安全 対策施策 (32.7)	健康づくり施策 (19.1)	住環境施策 (18.2)	教育施策/ 文化振興施策 (10.9)
	女 性	10・20代	56	教育施策/ 防犯・安全対策施策 (16.1)		子育て支援施策 (14.3)	住環境施策 (10.7)	地域コミュニティ 施策/ 生涯学習施 策/ 災害対策施 策 (8.9)
		30 代	119	子育て支援施策 (28.6)	防犯・安全 対策施策 (21.0)	教育施策 (16.8)	住環境施策 (14.3)	文化振興施策 (10.9)
		40 代	145	子育て支援施策 (26.2)	教育施策 (24.8)	防犯・安全 対策施策 (20.7)	住環境施策 (13.8)	健康づくり施策 (9.7)
		50 代	137	防犯・安全 対策施策 (19.7)	住環境施策 (19.0)	子育て支援施策 (16.1)	教育施策 (15.3)	健康づくり施策 (13.1)
		60 代	85	防犯・安全 対策施策 (20.0)	高齢者福祉施策/ 文化振興施策/ 住環境施策 (14.1)			教育施策/ 生涯学習施 策 (12.9)
		70歳以上	159	高齢者福祉施策 (29.6)	防犯・安全 対策施策 (25.8)	健康づくり施策 (13.8)	生涯学習施策 (11.9)	教育施策/ 住環境施策 (10.7)

上位5項目を性別にみると、男女ともに第1位は「防犯・安全対策施策」となっている。第2位は、男性では「住環境施策」、女性では「子育て支援施策」となっており、男女ともに第3位は「教育施策」となっている。

性・年代別にみると、「防犯・安全対策施策」は男性の10・20代と50代、女性の10・20代、50代、60代で同率を含め第1位となっている。「住環境施策」は男性の30代と60代で第1位となっている。「教育施策」は男性40代と女性10・20代で同率を含め第1位となっている。「高齢者福祉施策」は男女ともに70歳以上で第1位となっている。「子育て支援施策」は女性の30代と40代で第1位となっている。(表2-1-1)

表 2-1-2 満足に感じている区の施策－ライフステージ別（上位 5 項目）

(%)

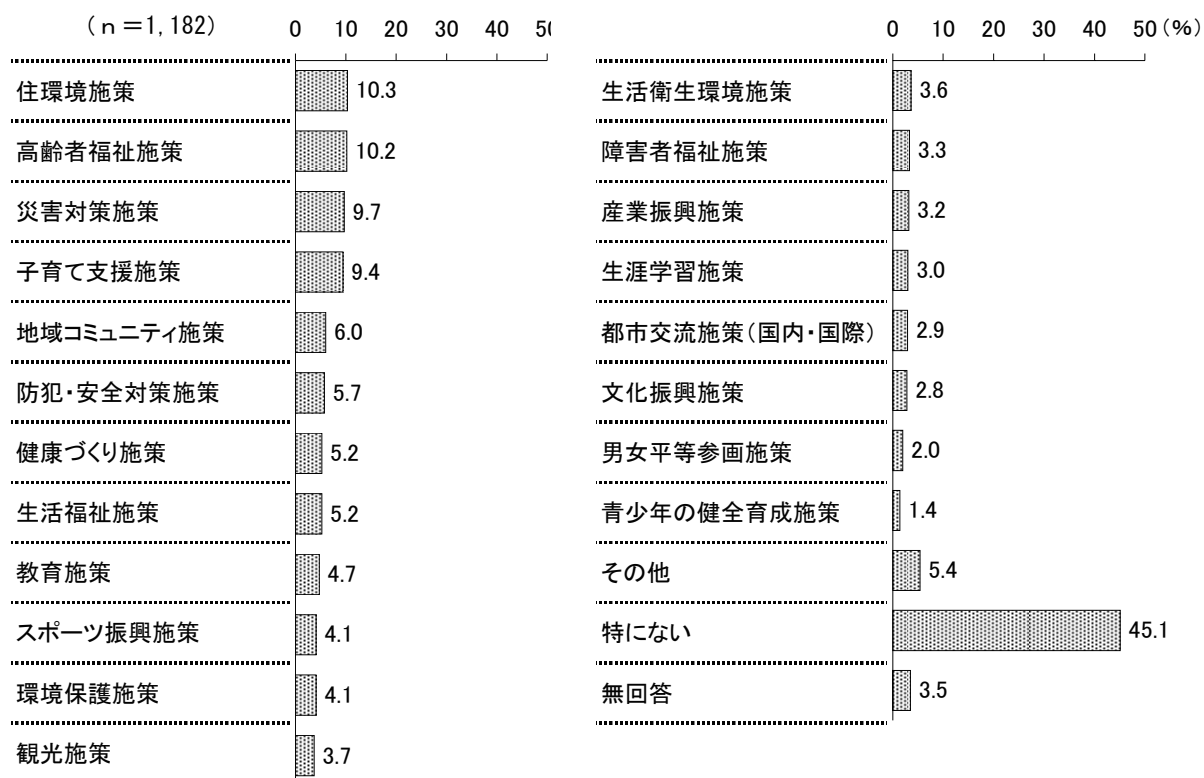
属性		順位	n	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全 体			1,182	防犯・安全 対策施策 (23.0)	教育施策 (16.6)	住環境施策 (16.0)	子育て支援施策 (14.7)	高齢者福祉施策 (12.3)
ライフ ステージ 別	独 身 期		157	防犯・安全 対策施策 (23.6)	教育施策 (16.6)	住環境施策 (15.9)	災害対策施策 (10.8)	文化振興施策 (7.6)
	家 族 形 成 期		162	子育て支援施策 (38.3)	防犯・安全 対策施策 (21.0)	教育施策 (20.4)	住環境施策 (14.2)	生活衛生環境 施策 (11.7)
	家 族 成 長 前 期		112	教育施策 (42.0)	子育て支援施策 (35.7)	防犯・安全 対策施策 (21.4)	住環境施策 (12.5)	文化振興施策 (10.7)
	家 族 成 長 後 期		79	子育て支援施策 (25.3)	教育施策／防犯・安全対策施策 (24.1)		スポーツ振興施策／住環境施策 (12.7)	
	家 族 成 熟 期		110	住環境施策 (23.6)	教育施策 (22.7)	防犯・安全 対策施策 (20.9)	子育て支援施策 (19.1)	健康づくり施策 (11.8)
	老 齢 期		327	高齢者福祉施策 (29.7)	防犯・安全 対策施策 (27.2)	住環境施策 (14.4)	健康づくり施策 (13.5)	生涯学習施策 (10.4)
	そ の 他		226	防犯・安全 対策施策 (19.0)	住環境施策 (17.7)	文化振興施策 (11.5)	健康づくり施策 (11.1)	高齢者福祉施策／ 生活衛生環境施策 ／災害対策施策 (8.4)

上位 5 項目をライフステージ別にみると、「防犯・安全対策施策」は独身期とその他で第 1 位となっている。「子育て支援施策」は家族形成期と家族成長後期で第 1 位となっている。「教育施策」は家族成長前期で第 1 位となっている。「住環境施策」は家族成熟期で第 1 位となっている。「高齢者福祉施策」は老齢期で第 1 位となっている。（表 2-1-2）

## 2-2 不満に感じている区の施策

問4 次の区の施策のうち、あなたが不満に感じている分野を、3つ以内でお選びください。  
(○は3つまで)

図2-2-1 不満に感じている区の施策



不満を感じる区の施策についてたずねたところ、「住環境施策」(10.3%)、「高齢者福祉施策」(10.2%)、「災害対策施策」(9.7%)、「子育て支援施策」(9.4%)が約1割となっている。また、「特にない」(45.1%)は4割半ばとなっている。(図2-2-1)

表 2-2-1 不満に感じている区の施策—性別／性・年代別（上位 5 項目）

(%)

属性		順位	n	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全 体			1,182	住環境施策 (10.3)	高齢者福祉施策 (10.2)	災害対策施策 (9.7)	子育て支援施策 (9.4)	地域コミュニティ 施策 (6.0)
性 別	男 性		472	子育て支援施策 (11.0)	住環境施策 (10.2)	高齢者福祉施策 (10.0)	災害対策施策 (9.3)	地域コミュニティ 施策 (7.2)
	女 性		702	住環境施策 (10.5)	高齢者福祉施策 (10.3)	災害対策施策 (10.1)	子育て支援施策 (8.4)	生活福祉施策 (5.6)
性 ・ 年 代 別	男 性	10・20代	60	子育て支援施策 (11.7)	地域コミュニティ施策/ スポーツ振興施策 (8.3)		教育施策／文化振興施策/ 住環境施策 (6.7)	
		30 代	76	子育て支援施策 (22.4)	生活衛生環境施策／住環境施策 (10.5)		教育施策／地域コミュニティ施策 (7.9)	
		40 代	76	災害対策施策 (11.8)	子育て支援施策／住環境施策 (9.2)		教育施策 (7.9)	生活衛生環境 施策／産業振興 施策／防犯・ 安全対策施策 (5.3)
		50 代	86	子育て支援施策 (12.8)	住環境施策 (11.6)	健康づくり施策/ 防犯・安全対策施策 (10.5)		観光施策 (9.3)
		60 代	62	高齢者福祉施策 (17.7)	災害対策施策 (11.3)	住環境施策 (9.7)	防犯・安全 対策施策 (8.1)	子育て支援施策 ／産業振興施策 (6.5)
		70歳以上	110	高齢者福祉施策 (20.9)	災害対策施策 (13.6)	地域コミュニティ 施策 (12.7)	住環境施策 (11.8)	健康づくり施策 (9.1)
	女 性	10・20代	56	災害対策施策 (8.9)	健康づくり施策 (7.1)	高齢者福祉施策／生活福祉施策/ スポーツ振興施策／環境保護施策 (5.4)		
		30 代	119	子育て支援施策 (21.8)	教育施策 (10.1)	住環境施策 (9.2)	男女平等参画 施策 (5.0)	都市交流施策(国 内・国際)／災害 対策施策／防犯・ 安全対策施策 (4.2)
		40 代	145	子育て支援施策 (14.5)	住環境施策 (13.1)	災害対策施策 (12.4)	教育施策 (8.3)	高齢者福祉施策 ／地域コミュニティ 施策／都市交流 施策(国内・国際) ／環境保護施策 (5.5)
		50 代	137	災害対策施策 (12.4)	高齢者福祉施策 (11.7)	住環境施策 (10.9)	地域コミュニティ 施策 (8.0)	スポーツ振興 施策／防犯・ 安全対策施策 (6.6)
		60 代	85	高齢者福祉施策 (12.9)	住環境施策 (11.8)	災害対策施策 (8.2)	生活福祉施策 (7.1)	健康づくり施策 ／観光施策 (5.9)
		70歳以上	159	高齢者福祉施策 (21.4)	災害対策施策 (11.9)	住環境施策 (11.3)	生活福祉施策 (8.2)	防犯・安全 対策施策 (7.5)

上位 5 項目を性別にみると、第 1 位は、男性では「子育て支援施策」、女性では「住環境施策」となっている。第 2 位は、男性では「住環境施策」、女性では「高齢者福祉施策」となっている。

性・年代別にみると、「子育て支援施策」は男性の 10・20代、30代、50代、女性の 30代と 40代で第 1 位となっている。「災害対策施策」は男性 40代、女性の 10・20代と 50代で第 1 位となっている。「高齢者福祉施策」は男女ともに 60代以上の年代で第 1 位となっている。(表 2-2-1)

表 2-2-2 不満に感じている区の施策－ライフステージ別（上位 5 項目）

(%)

属性	順位	n	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全 体		1,182	住環境施策 (10.3)	高齢者福祉施策 (10.2)	災害対策施策 (9.7)	子育て支援施策 (9.4)	地域コミュニティ 施策 (6.0)
ライフ ス テ ー ジ 別	独 身 期	157	スポーツ振興施策／災害対策施策 (6.4)		文化振興施策／観光施策 (5.1)		子育て支援施策 ／教育施策 ／生活福祉施策 ／健康づくり施策 (4.5)
	家 族 形 成 期	162	子育て支援施策 (25.9)	住環境施策 (11.7)	教育施策 (8.6)	災害対策施策 (6.2)	地域コミュニティ 施策 (4.9)
	家 族 成 長 前 期	112	子育て支援施策 (25.9)	教育施策 (17.0)	住環境施策 (14.3)	都市交流施策 (国内・国際) (6.3)	地域コミュニティ 施策／災害対策 施策 (5.4)
	家 族 成 長 後 期	79	子育て支援施策 (17.7)	高齢者福祉施策 (15.2)	住環境施策 (13.9)	教育施策／災害対策施策 (10.1)	
	家 族 成 熟 期	110	高齢者福祉施策 (13.6)	災害対策施策 (10.0)	観光施策／住環境施策 (6.4)		生活福祉施策 (5.5)
	老 齢 期	327	高齢者福祉施策 (20.5)	災害対策施策 (12.8)	住環境施策 (12.5)	地域コミュニティ 施策 (8.6)	健康づくり施策 (8.3)
	そ の 他	226	災害対策施策 (12.4)	住環境施策 (9.7)	高齢者福祉施策 ／防犯・安全対策施策 (7.5)		生活福祉施策 ／地域コミュニティ 施策／環境保護 施策 (6.2)

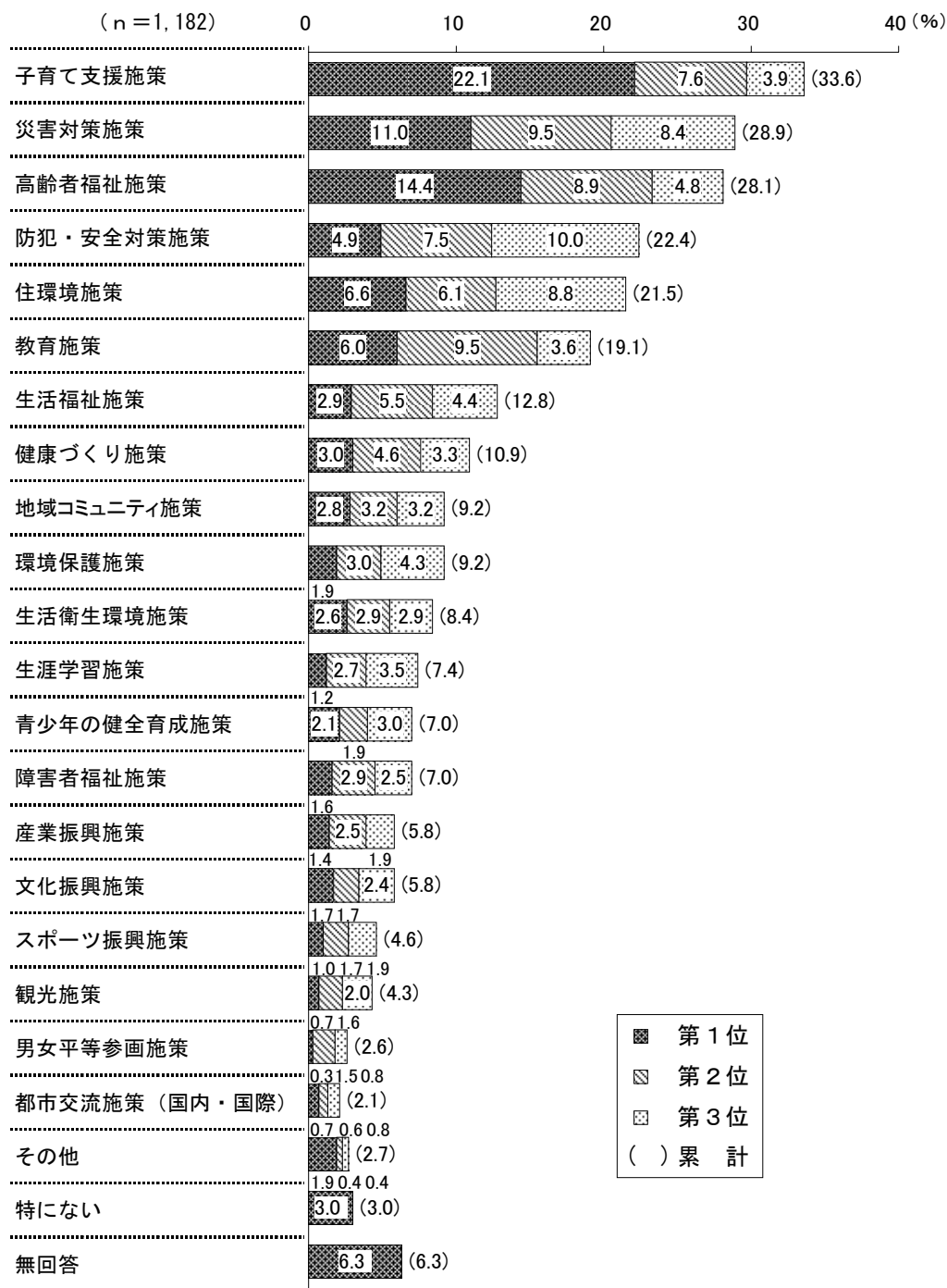
上位 5 項目をライフステージ別にみると、「スポーツ振興施策」は独身期で同率を含め第 1 位となっている。「災害対策施策」は独身期とその他で同率を含め第 1 位となっている。「子育て支援施策」は家族形成期、家族成長前期、家族成長後期で第 1 位となっている。「高齢者福祉施策」は家族成熟期と老齢期で第 1 位となっている。(表 2-2-2)



## 2-3 さらに力を入れてほしい区の施策

問5 次の区の施策のうち、あなたがさらに力を入れるべきだと考える分野を、順位をつけて、3つ以内で選び、下の記入欄に番号をご記入ください。

図2-3-1 さらに力を入れてほしい区の施策



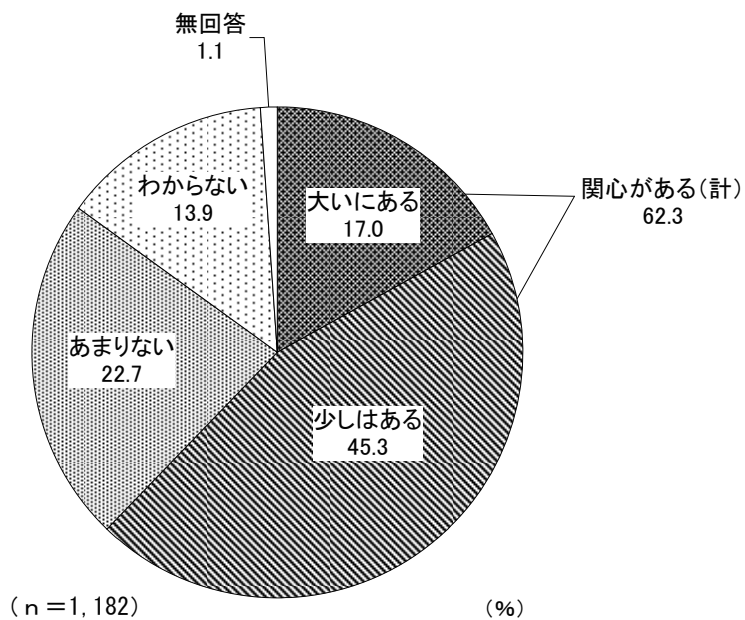
さらに力を入れてほしい区の施策についてたずねたところ、第1位は「子育て支援施策」(22.1%)が2割を超えて最も多く、次いで「高齢者福祉施策」(14.4%)、「災害対策施策」(11.0%)などの順となっている。

また、第1位から第3位までを合わせた累計で見ると、「子育て支援施策」(33.6%)が3割を超えて最も多く、次いで「災害対策施策」(28.9%)、「高齢者福祉施策」(28.1%)、「防犯・安全対策施策」(22.4%)、「住環境施策」(21.5%)などの順となっている。(図2-3-1)

## 2-4 区の財政状況に対する関心

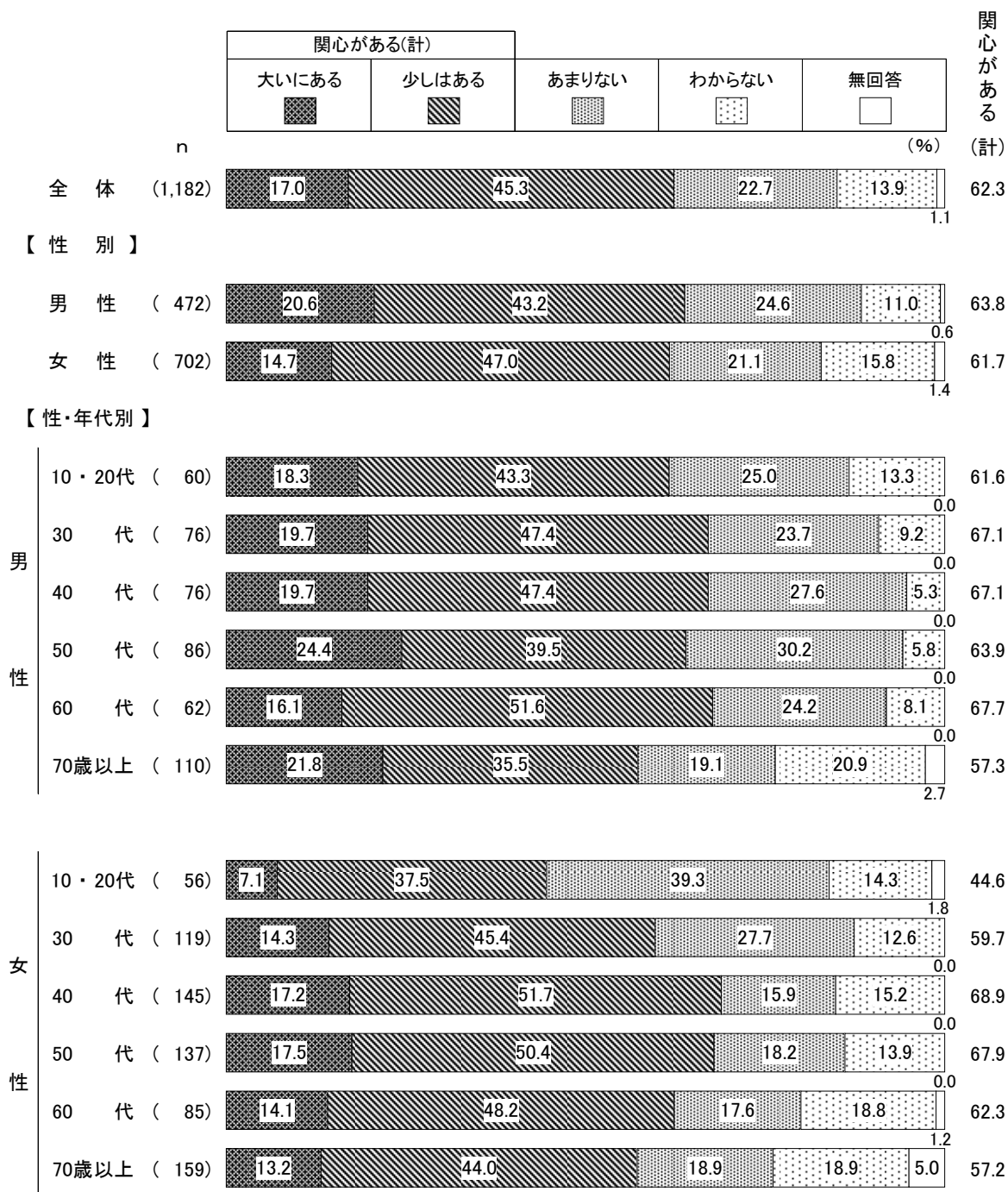
問6 あなたは、区の財政状況に関心がありますか。(○は1つ)

図2-4-1 区の財政状況に対する関心



区の財政状況に対する関心についてたずねたところ、「大いにある」(17.0%)と「少しはある」(45.3%)を合わせた『関心がある(計)』(62.3%)は6割を超えている。一方、「あまりない」(22.7%)は2割を超え、「わからない」(13.9%)は1割を超えている。(図2-4-1)

図2-4-2 区の財政状況に対する関心—性別／性・年代別

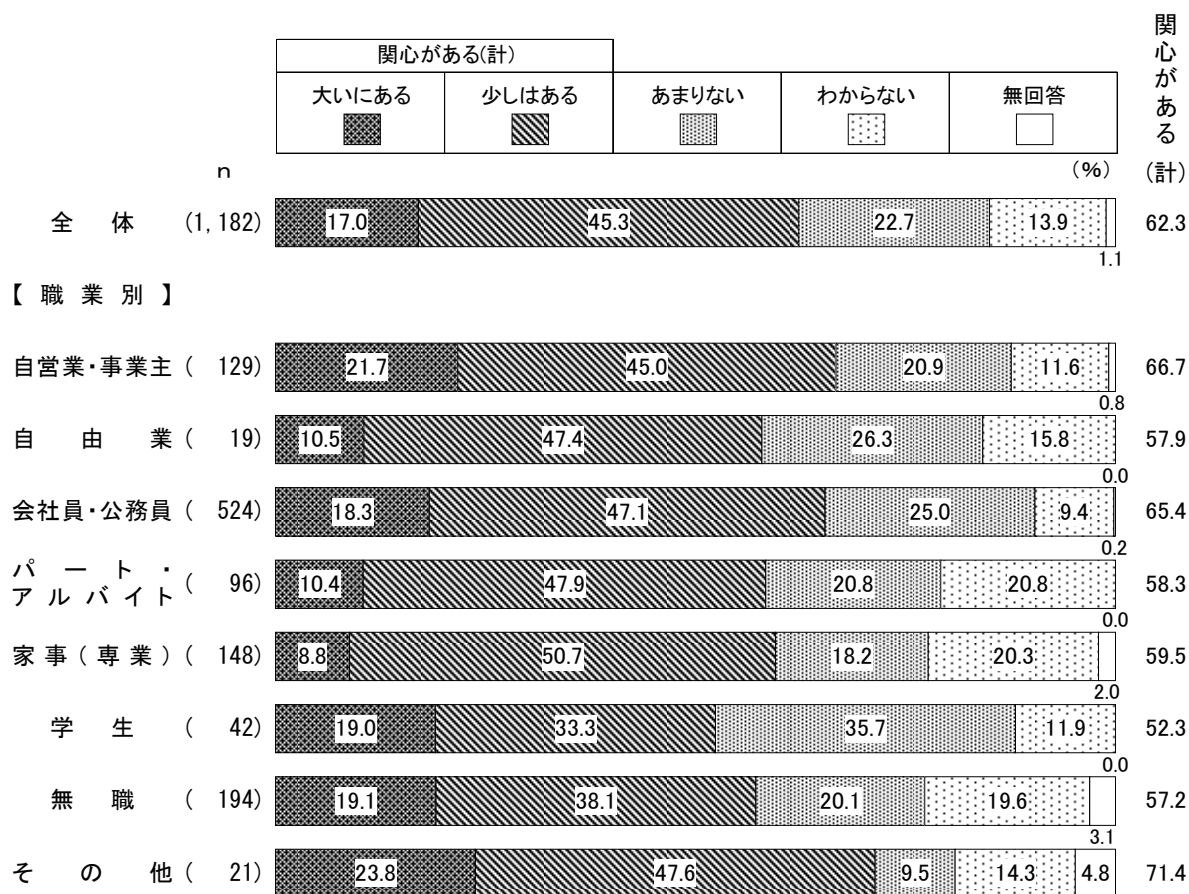


性別にみると、「大いにある」は男性の方が女性より5.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『関心がある(計)』は男性の60代以下の年代と女性の40代から60代の年代で6割台と多くなっている。一方、「あまりない」は女性10・20代で約4割と多くなっている。

(図2-4-2)

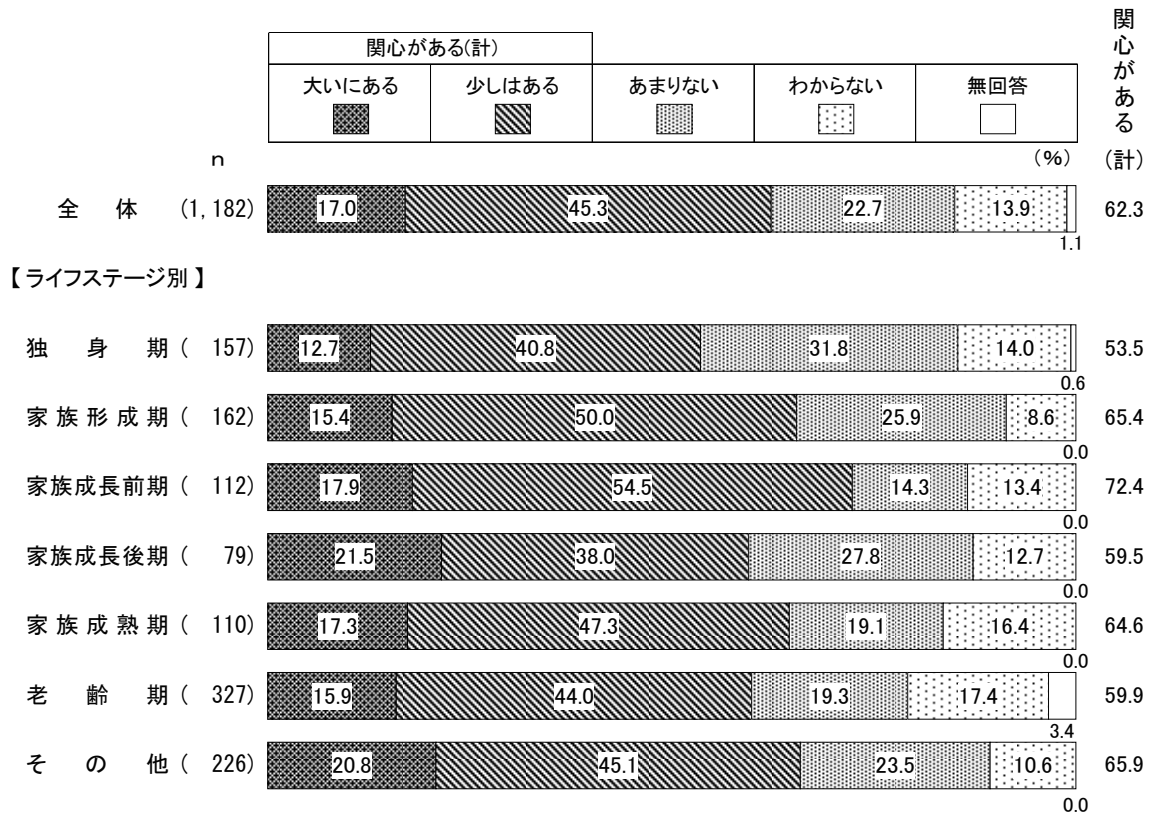
図 2-4-3 区の財政状況に対する関心—職業別



職業別にみると、『関心がある（計）』はその他で7割を超え、自営業・事業主と会社員・公務員で6割台と多くなっている。一方、「あまりない」は学生で3割半ばと多くなっている。

(図 2-4-3)

図2-4-4 区の財政状況に対する関心—ライフステージ別



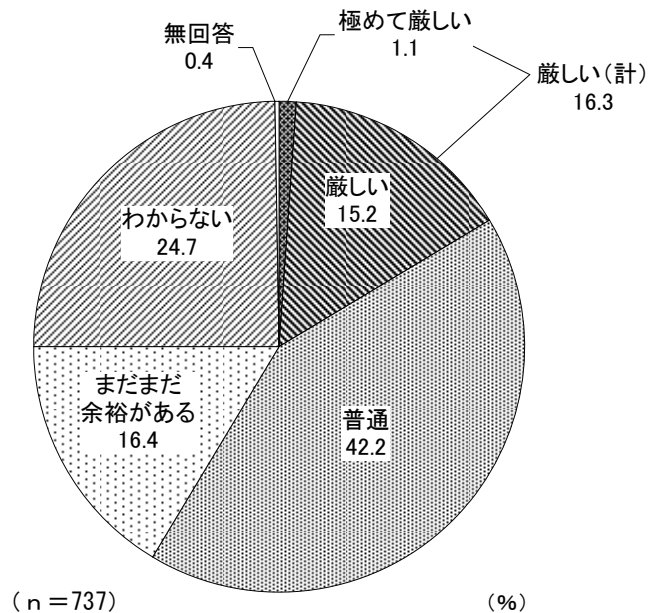
ライフステージ別にみると、『関心がある(計)』は家族成長前期で7割を超えて多くなっている。一方、「あまりない」は独身期で3割を超えて多くなっている。(図2-4-4)

## 2-5 区の財政状況に対する印象

【問6で「大いにある」または「少しはある」と回答した方に】

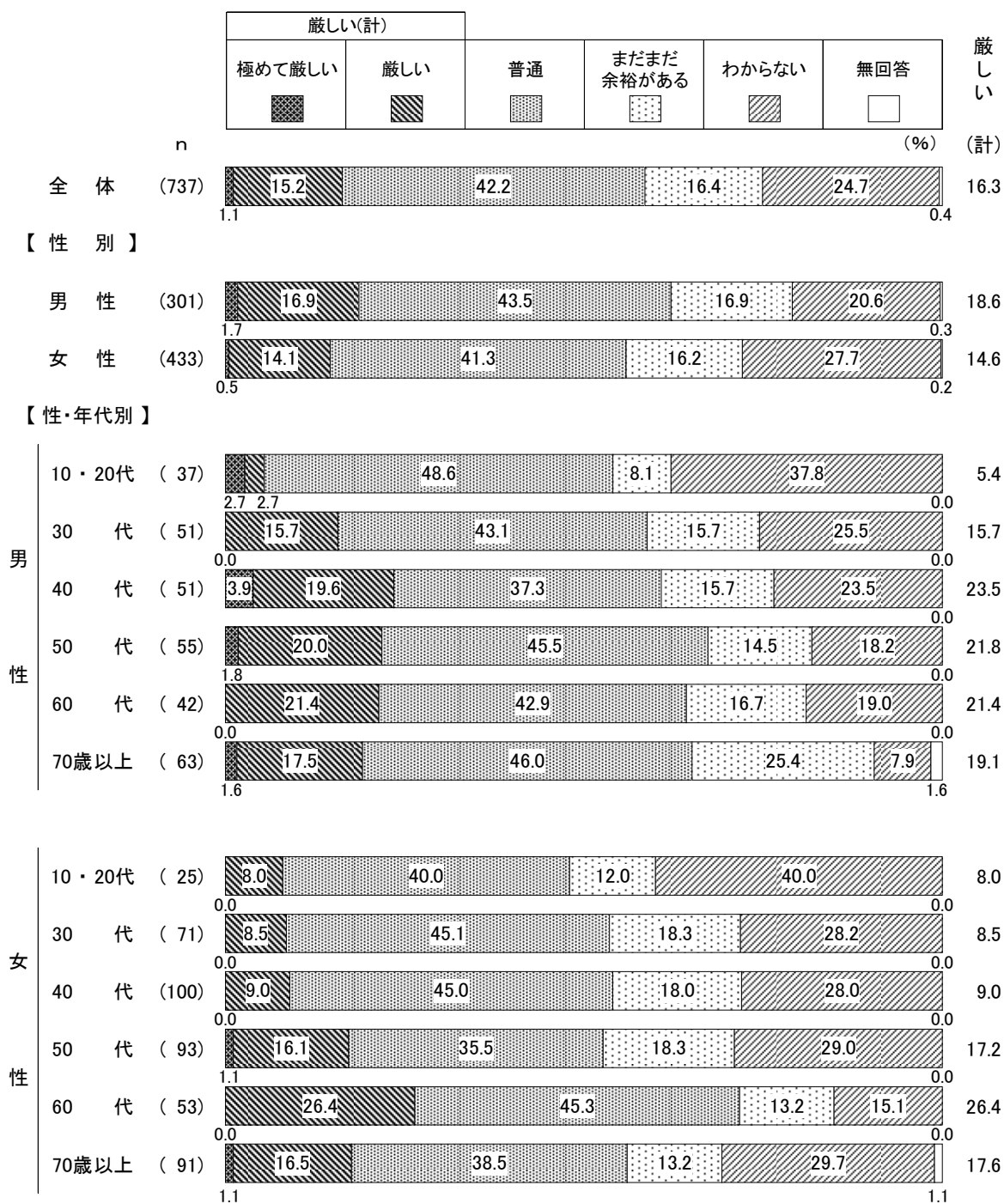
問6-1 区の財政状況について、どのような印象をお持ちですか。(○は1つ)

図2-5-1 区の財政状況に対する印象



区の財政状況に対する関心が「大いにある」または「少しはある」と答えた方(737人)に、区の財政状況に対する印象についてたずねたところ、「普通」(42.2%)が4割を超えて最も多くなっている。「極めて厳しい」(1.1%)と「厳しい」(15.2%)を合わせた『厳しい(計)』(16.3%)は1割半ば、「まだまだ余裕がある」(16.4%)は1割半ばとなっている。(図2-5-1)

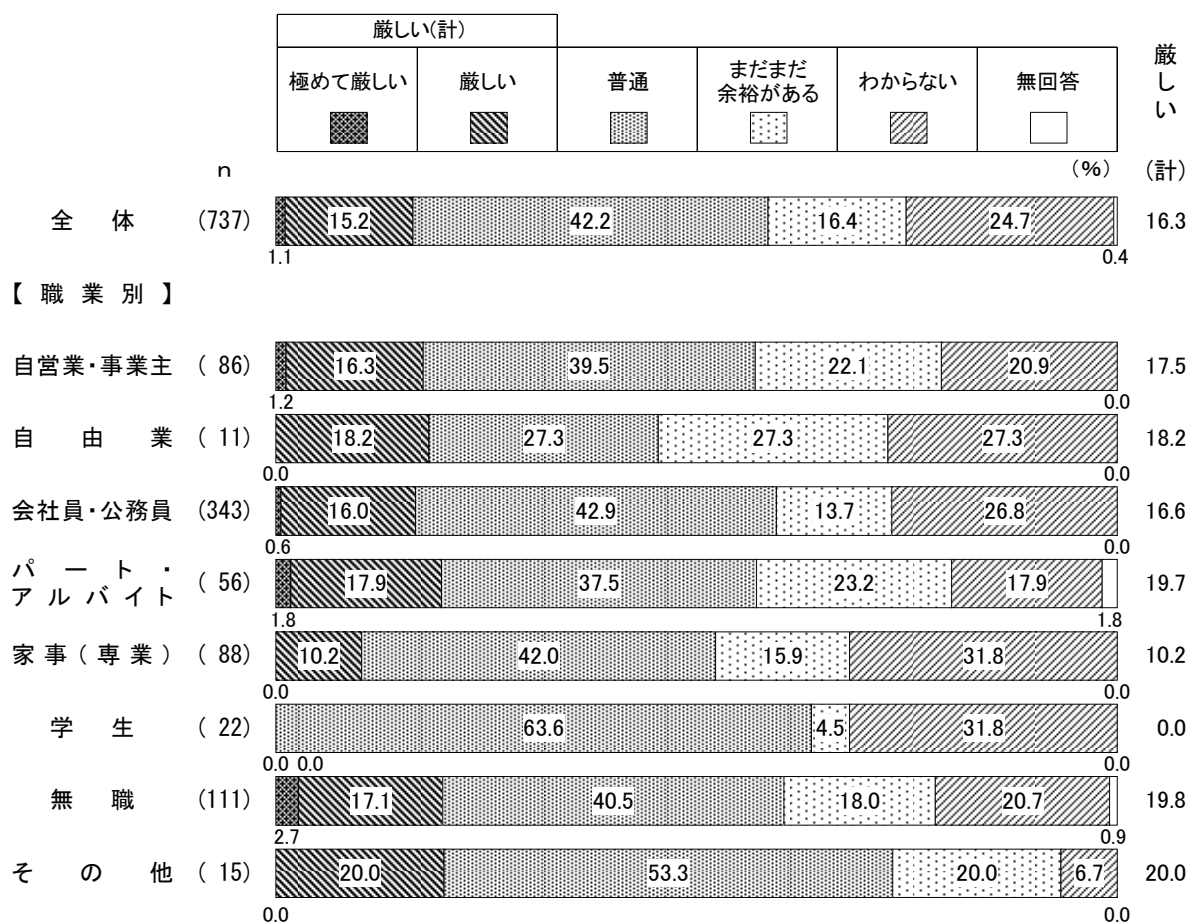
図2-5-2 区の財政状況に対する印象－性別／性・年代別



性別にみると、『厳しい(計)』は男性の方が女性より4.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『厳しい(計)』は女性60代で2割半ば、男性の40代から60代の年代で2割を超えて多くなっている。一方、「まだまだ余裕がある」は男性70歳以上で2割半ばと多くなっている。(図2-5-2)

図 2-5-3 区の財政状況に対する印象—職業別

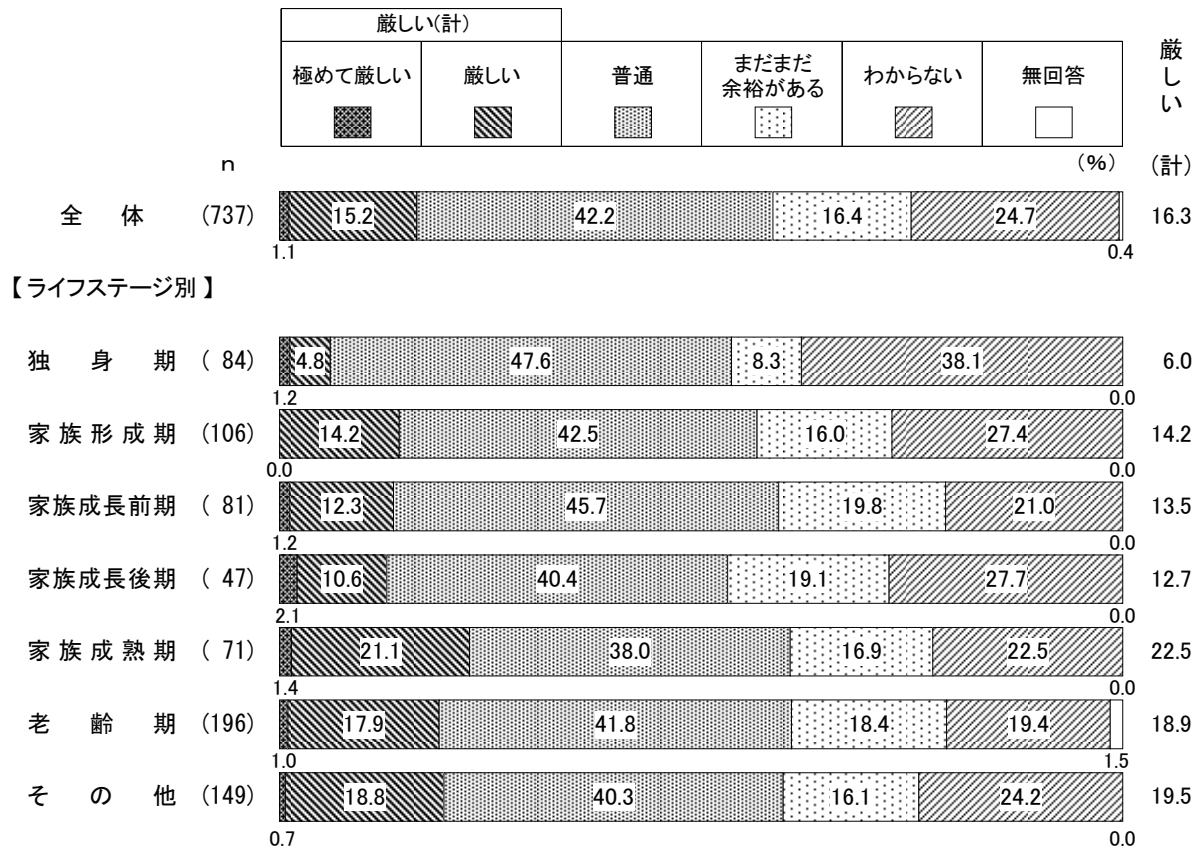


職業別にみると、『厳しい(計)』は無職とパート・アルバイトで2割となっている。

(図 2-5-3)



図 2-5-4 区の財政状況に対する印象－ライフステージ別



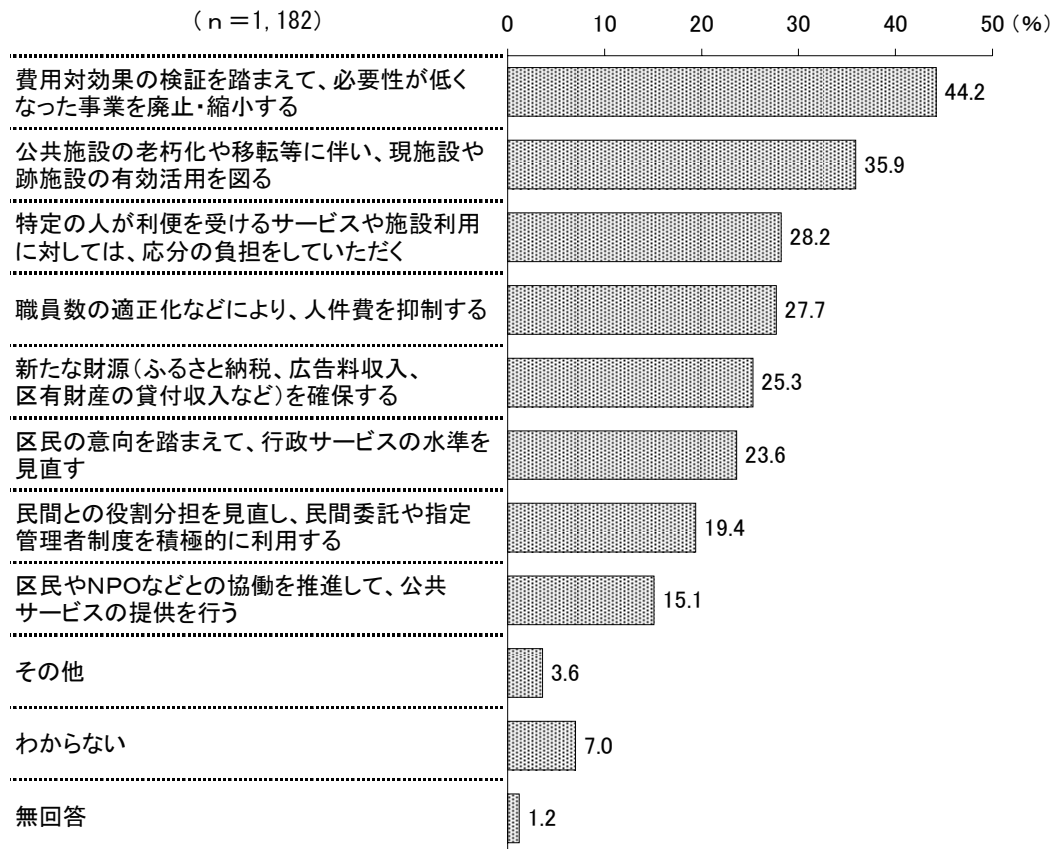
ライフステージ別にみると、『厳しい（計）』は家族成熟期で2割を超えて多くなっている。

(図 2-5-4)

## 2-6 財政の健全化を進めていくために必要なこと

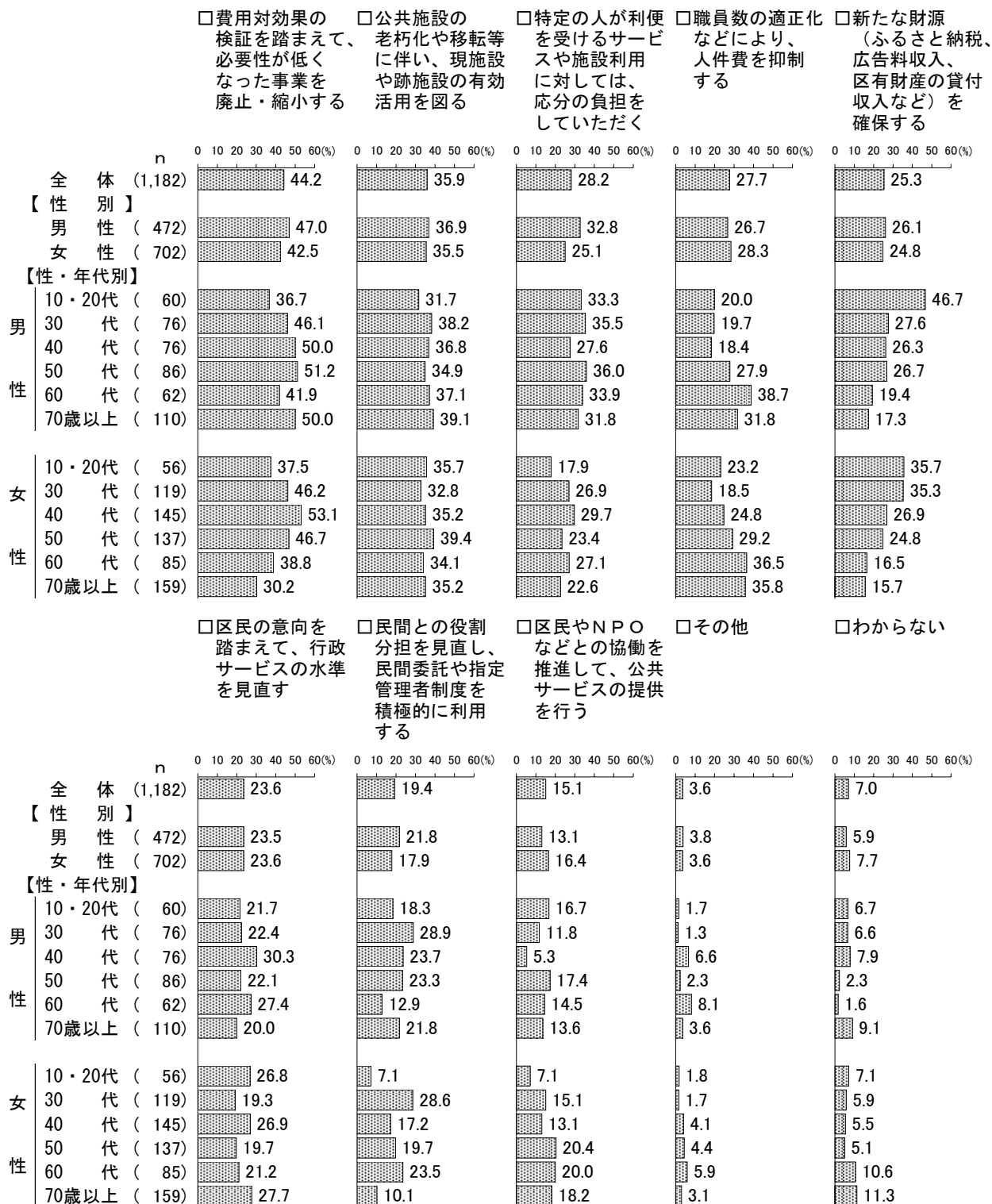
問7 財政の健全化を更に進めていくためには、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つ以内でお選びください。(〇は3つまで)

図2-6-1 財政の健全化を進めていくために必要なこと



財政の健全化を更に進めていくために必要なことについてたずねたところ、「費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する」(44.2%)が4割半ばで最も多く、次いで「公共施設の老朽化や移転等に伴い、現施設や跡施設の有効活用を図る」(35.9%)、「特定の人が利便を受けるサービスや施設利用に対しては、応分の負担をしていただく」(28.2%)、「職員数の適正化などにより、人件費を抑制する」(27.7%)などの順となっている。(図2-6-1)

図 2-6-2 財政の健全化を進めていくために必要なこと—性別／性・年代別



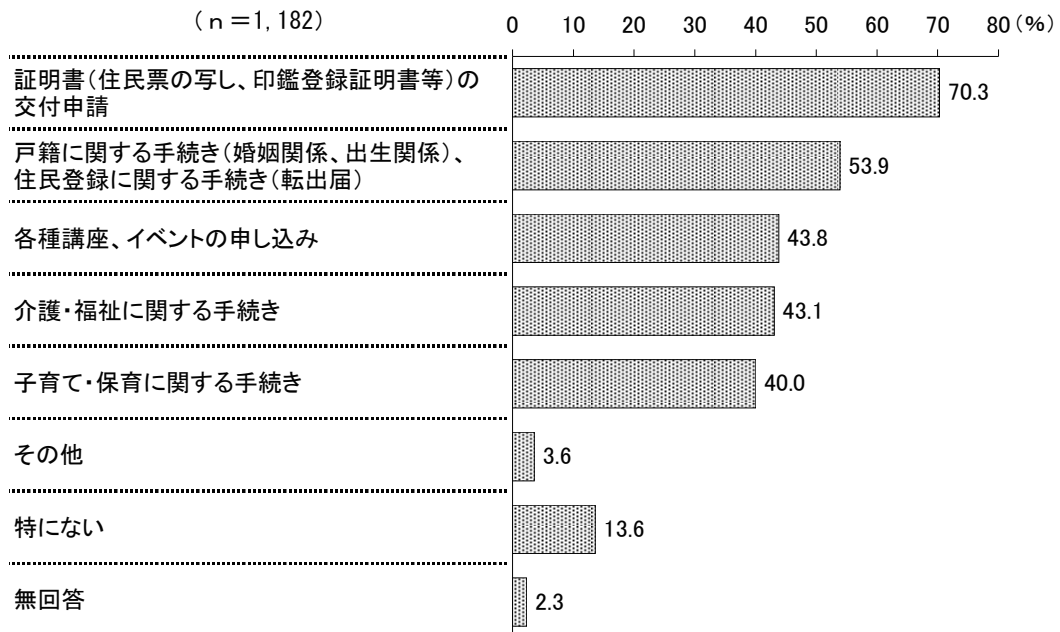
性別にみると、「特定の人が利便を受けるサービスや施設利用に対しては、応分の負担をしていただく」は男性の方が女性より7.7ポイント、「費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する」は男性の方が女性より4.5ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別にみると、「職員数の適正化などにより、人件費を抑制する」は男女ともに60代で4割近くと多くなっている。「新たな財源（ふるさと納税、広告料収入、区有財産の貸付収入など）を確保する」は男性10・20代で5割近くと多くなっている。(図2-6-2)

## 2-7 インターネットで申請・届出等ができるの良いと思う行政手続き

問8 あなたが、インターネットで申請・届出等ができるの良いと思う行政手続きや、区のサービスは何ですか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

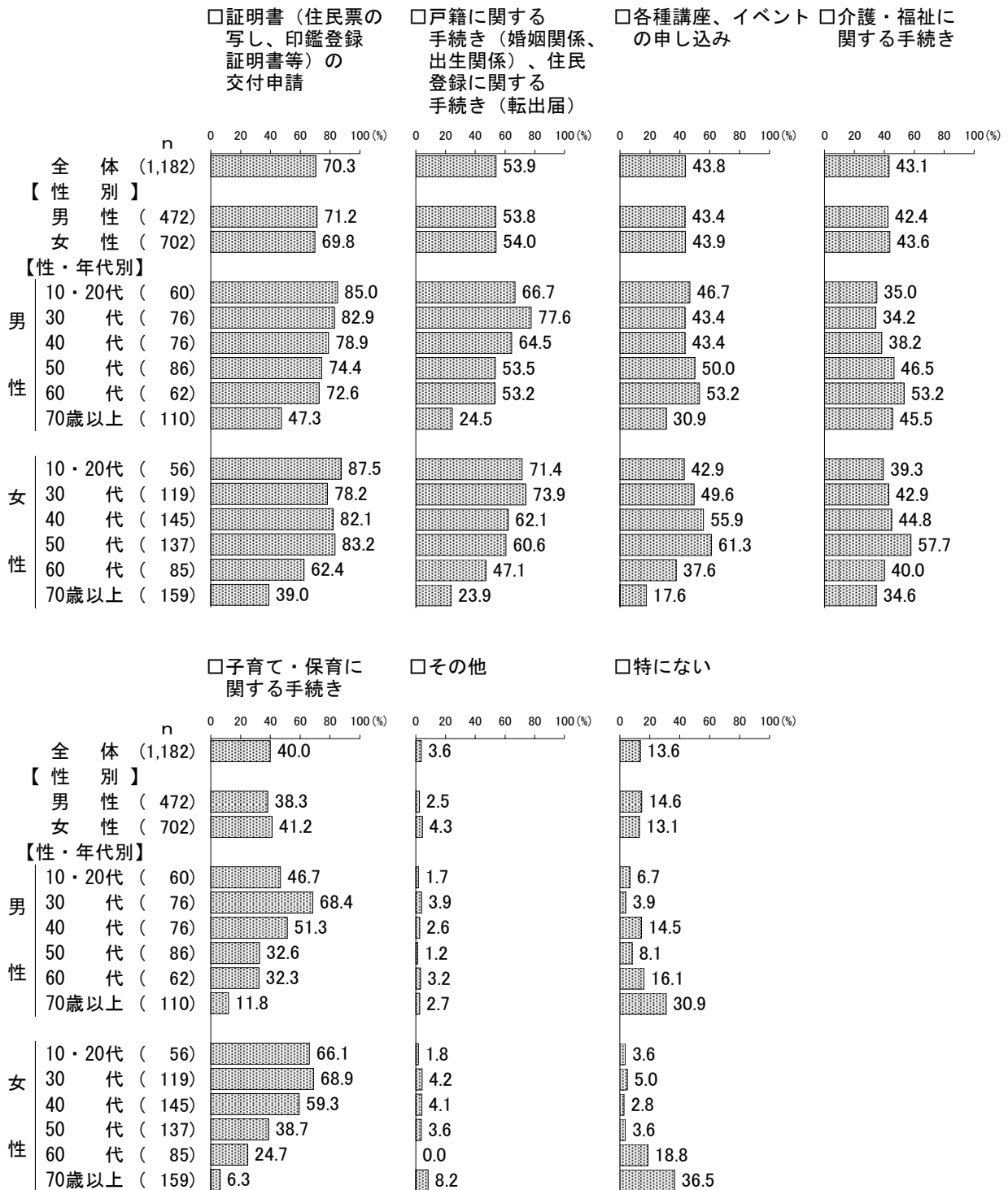
図2-7-1 インターネットで申請・届出等ができるの良いと思う行政手続き



インターネットで申請・届出等ができるの良いと思う行政手続きについてたずねたところ、「証明書(住民票の写し、印鑑登録証明書等)の交付申請」(70.3%)が7割で最も多く、次いで「戸籍に関する手続き(婚姻関係、出生関係)、住民登録に関する手続き(転出届)」(53.9%)、「各種講座、イベントの申し込み」(43.8%)、「介護・福祉に関する手続き」(43.1%)などの順となっている。

(図2-7-1)

図2-7-2 インターネットで申請・届出等ができると思う行政手続き—性別／性・年代別



性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、「証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書等）の交付申請」は女性10・20代で9割近くと多くなっている。「戸籍に関する手続き（婚姻関係、出生関係）、住民登録に関する手続き（転出届）」は男性30代で8割近くと多くなっている。「子育て・保育に関する手続き」は男女ともに30代で7割近くと多くなっている。（図2-7-2）



## 3. 協働・協治

- 
- 3-1 現在参加している地域活動
  - 3-2 現在参加している地域活動の分野
  - 3-3 今後参加してみたい地域活動
  - 3-4 町会・自治会の加入状況
  - 3-5 町会・自治会への参加意欲
  - 3-6 町会・自治会に期待すること
-



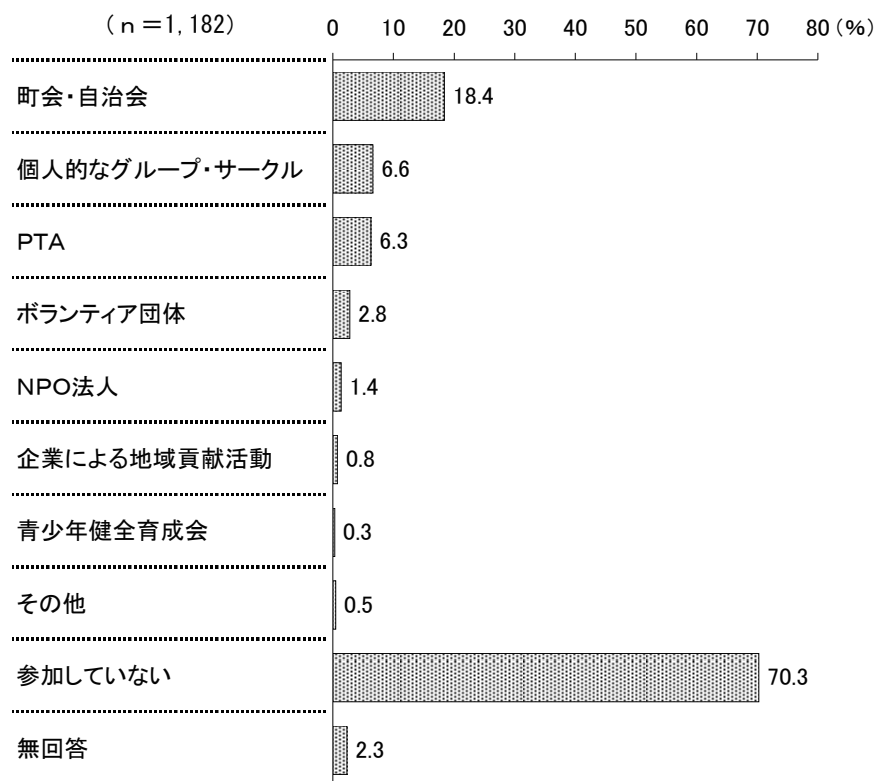


### 3. 協働・協治

#### 3-1 現在参加している地域活動

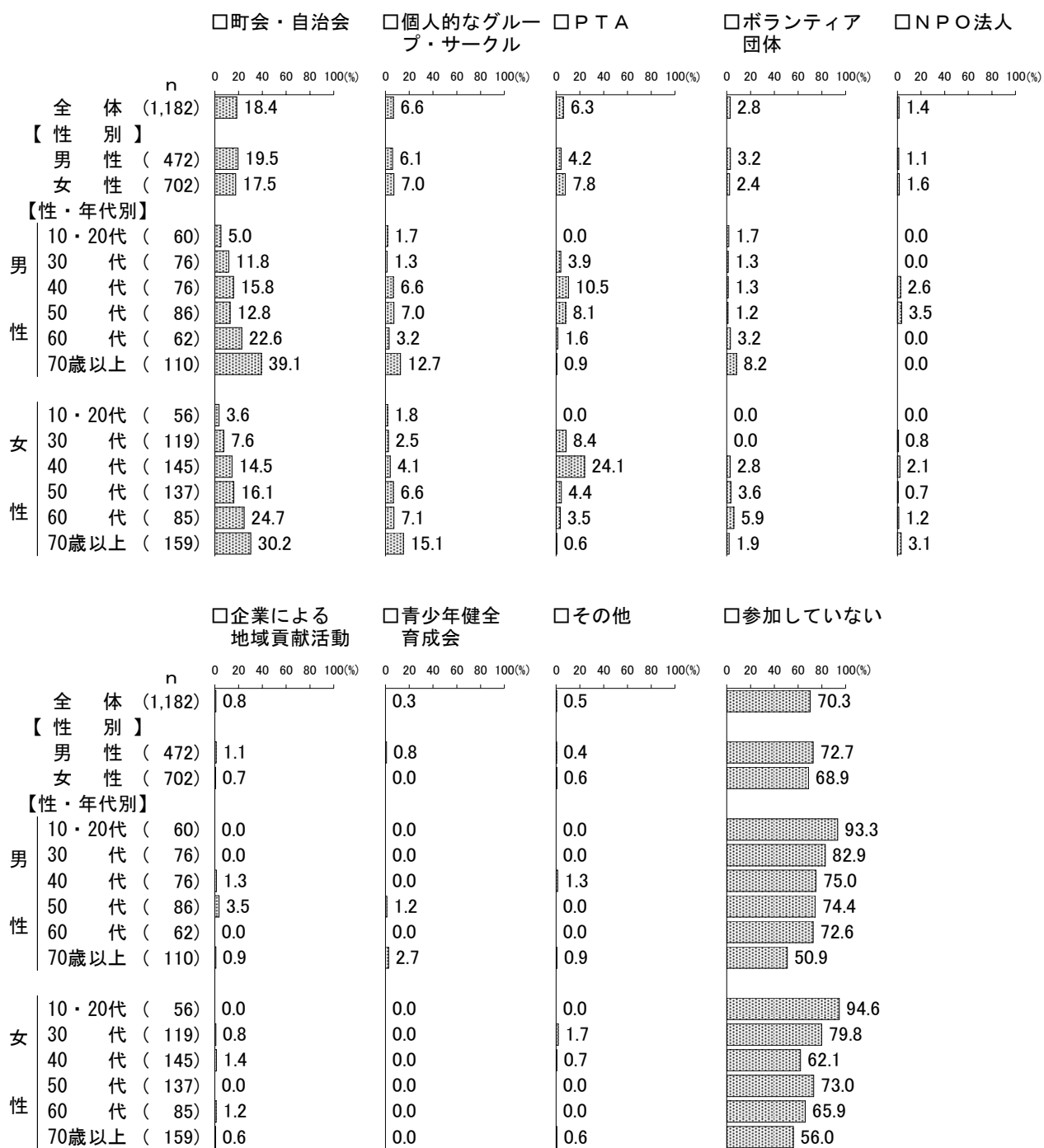
問9 区内でNPO、ボランティア団体及び町会・自治会等の地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に参加していますか。次の中から参加しているものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

図3-1-1 現在参加している地域活動



現在参加している地域活動についてたずねたところ、「町会・自治会」(18.4%)が2割近くで最も多く、次いで「個人的なグループ・サークル」(6.6%)、「PTA」(6.3%)などの順となっている。一方、「参加していない」(70.3%)は7割となっている。(図3-1-1)

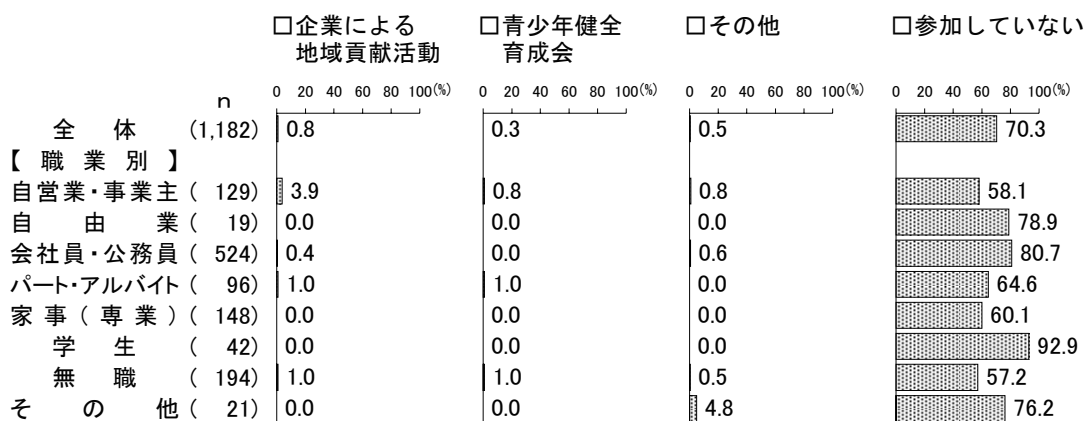
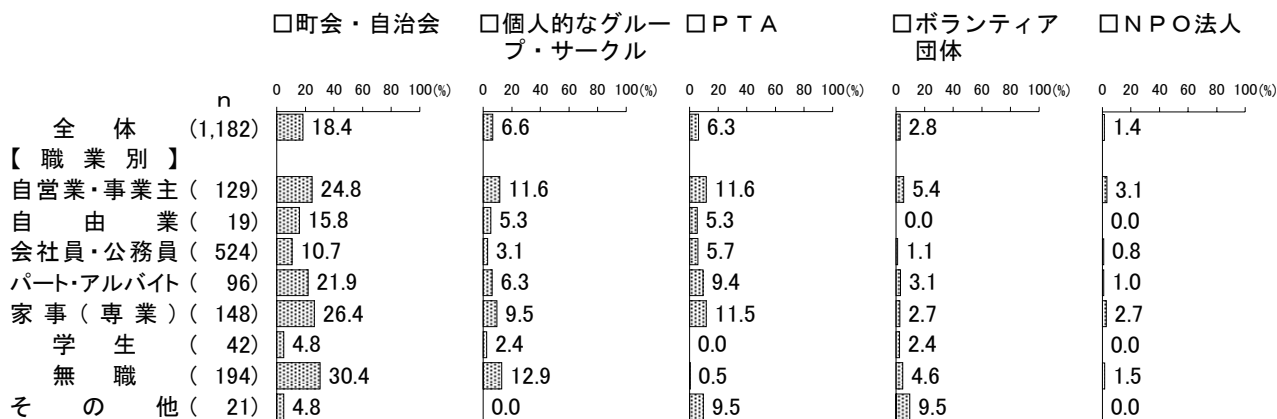
図3-1-2 現在参加している地域活動—性別／性・年代別



性別にみると、「参加していない」は男性の方が女性より3.8ポイント高くなっている。一方、「P T A」は女性の方が男性より3.6ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「町会・自治会」は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合が高く、男性70歳以上で約4割、女性70歳以上で3割となっている。「P T A」は女性40代で2割半ばと多くなっている。「参加していない」は男女ともに10・20代で9割台と多くなっている。(図3-1-2)

図3-1-3 現在参加している地域活動—職業別



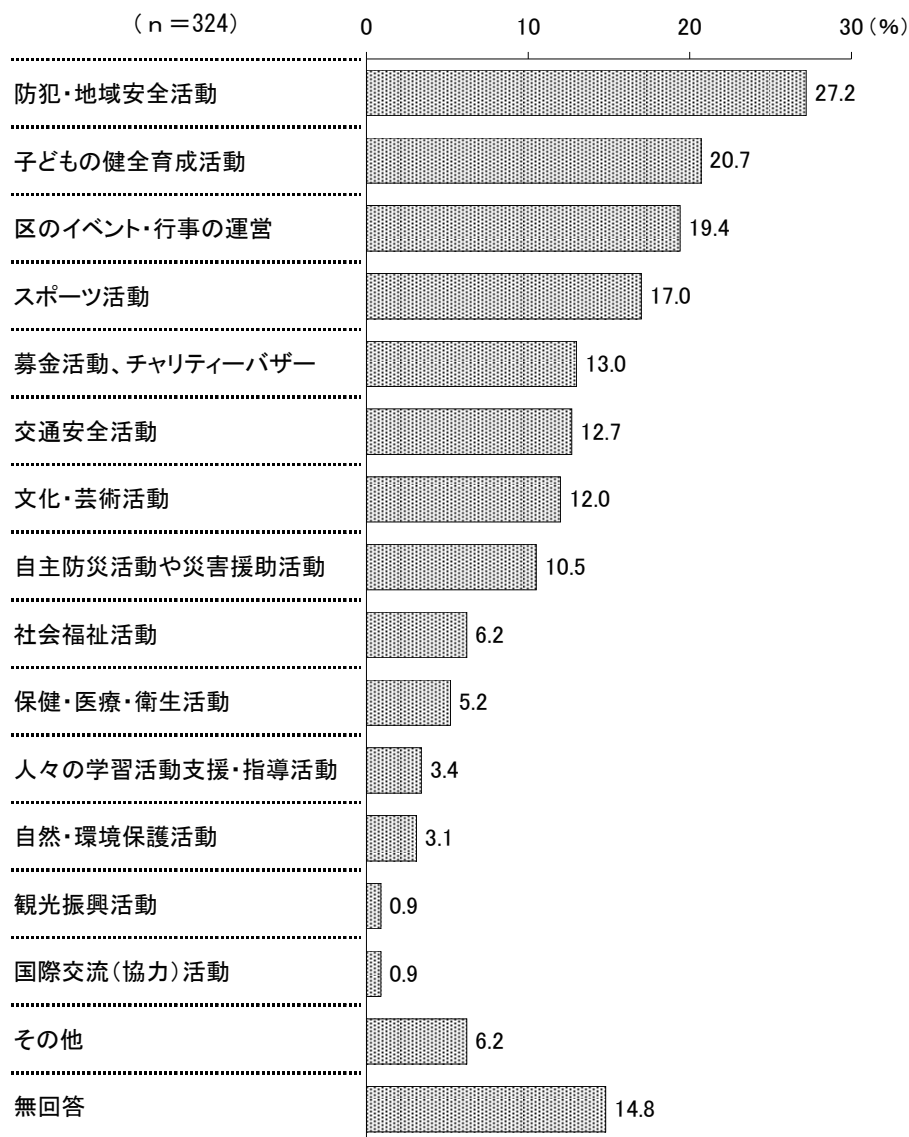
職業別にみると、「町会・自治会」は無職で3割と多くなっている。「参加していない」は学生で9割を超えて多くなっている。(図3-1-3)

### 3-2 現在参加している地域活動の分野

【問9で「地域活動に参加している」と回答した方に】

問9-1 その活動はどのような分野ですか。次の中から参加しているものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

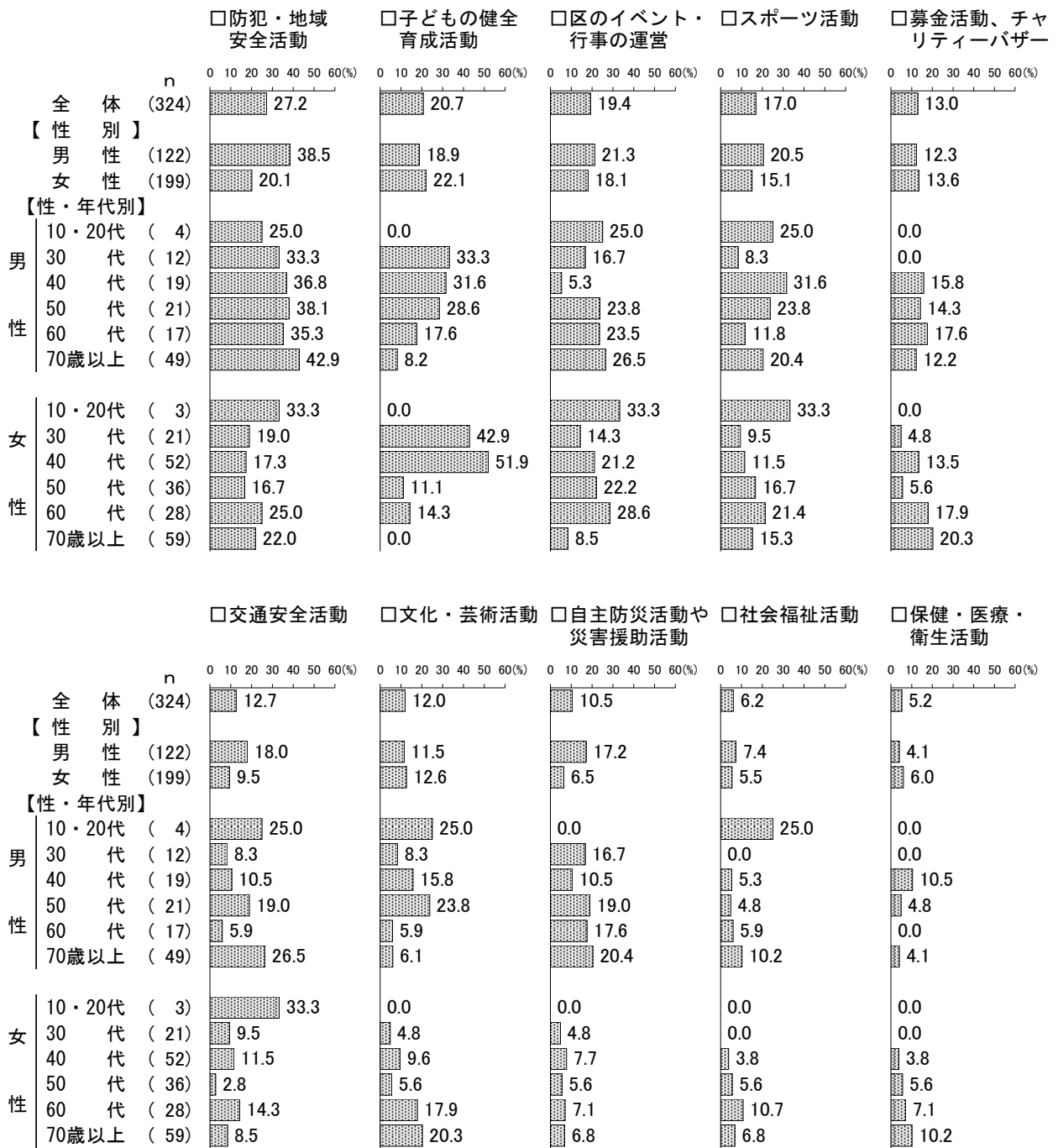
図3-2-1 現在参加している地域活動の分野



「地域活動に参加している」と答えた方(324人)に、地域活動の分野についてたずねたところ、「防犯・地域安全活動」(27.2%)が3割近くで最も多く、次いで「子どもの健全育成活動」(20.7%)、「区のイベント・行事の運営」(19.4%)、「スポーツ活動」(17.0%)などの順となっている。

(図3-2-1)

図3-2-2 現在参加している地域活動の分野—性別／性・年代別（上位10項目）

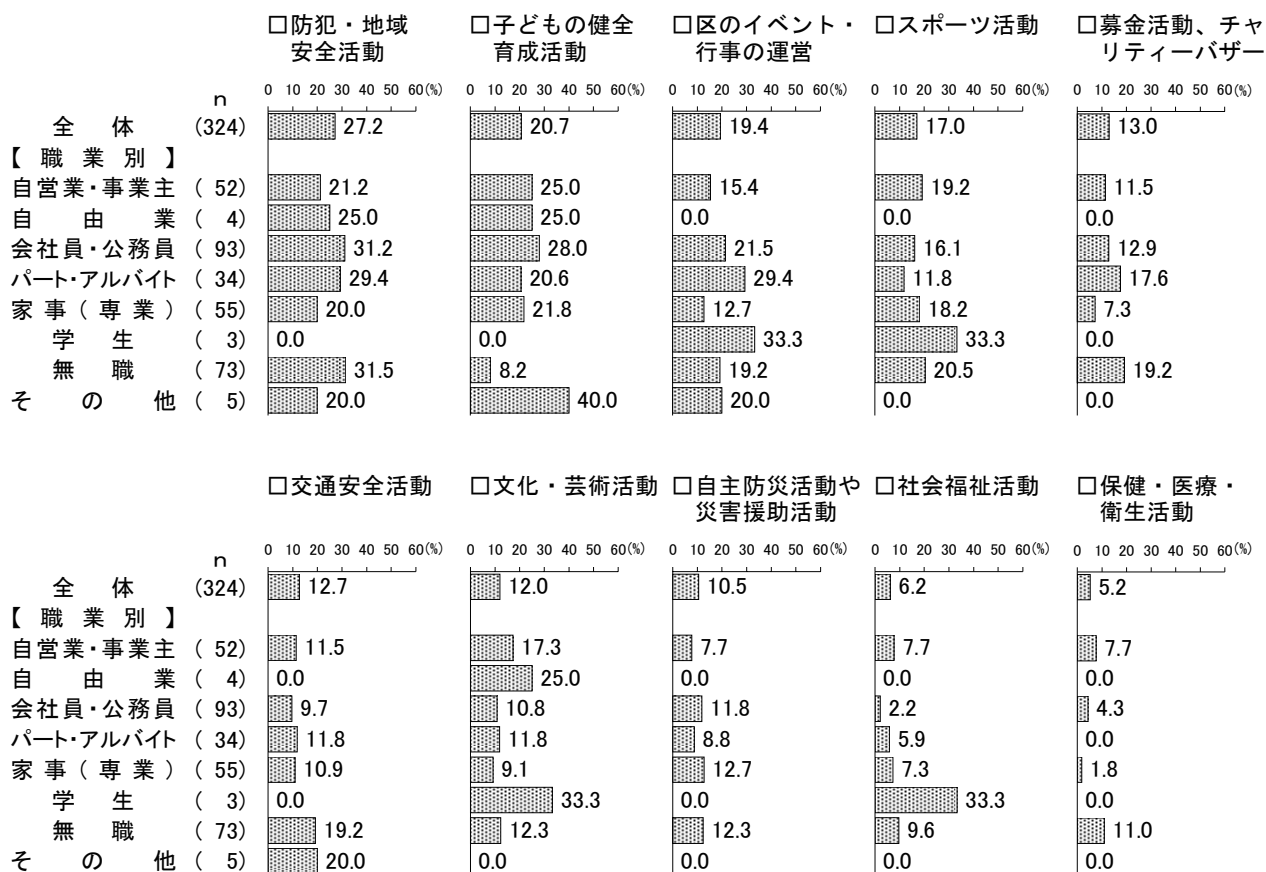


上位10項目を性別にみると、「防犯・地域安全活動」は男性の方が女性より18.4ポイント、「自主防災活動や災害援助活動」は男性の方が女性より10.7ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別にみると、「防犯・地域安全活動」は男性70歳以上で4割を超えて多くなっている。「子どもの健全育成活動」は女性40代で5割を超え、女性30代で4割を超えて多くなっている。

(図3-2-2)

図 3-2-3 現在参加している地域活動の分野—職業別（上位10項目）

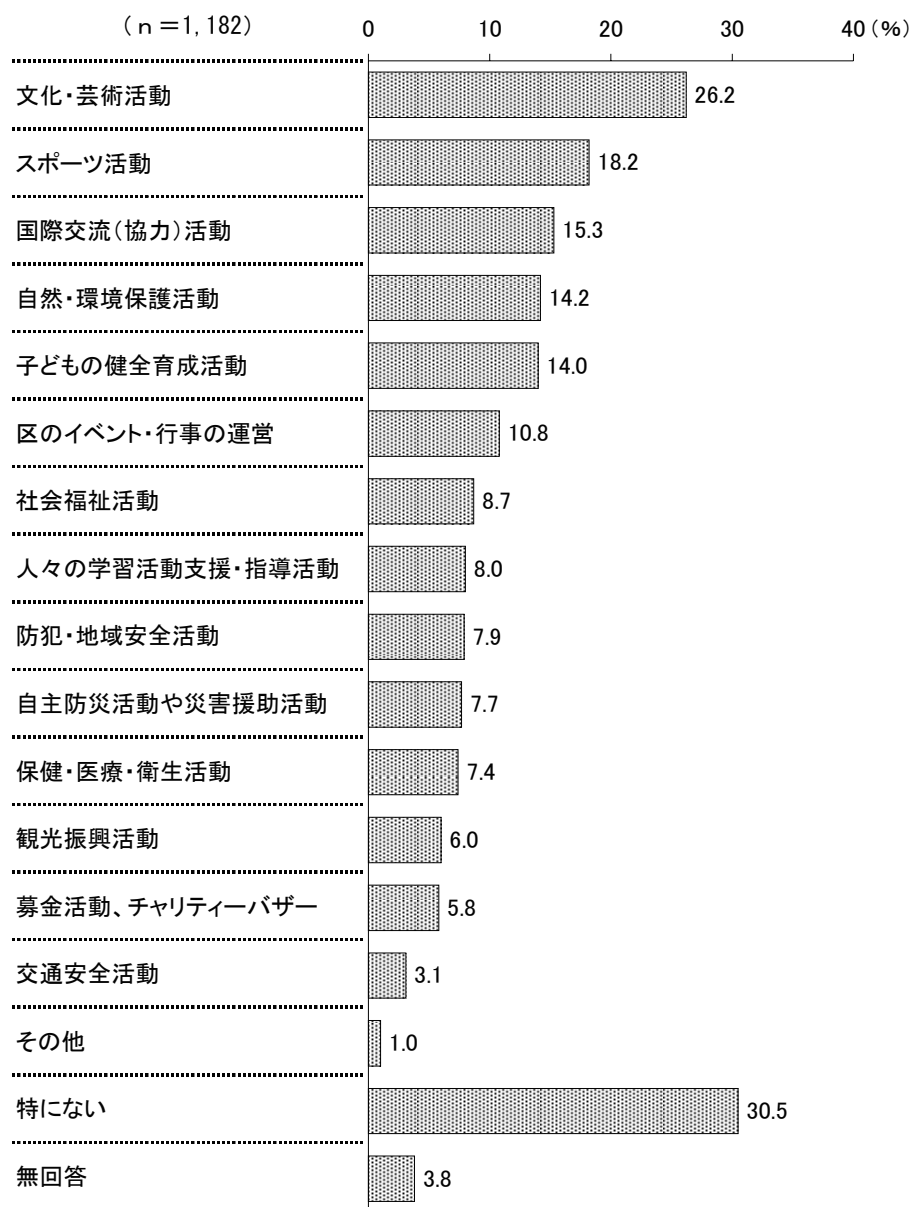


上位10項目を職業別にみると、「防犯・地域安全活動」は無職と会社員・公務員で3割を超えて多くなっている。「子どもの健全育成活動」は会社員・公務員で3割近くと多くなっている。「区のイベント・行事の運営」はパート・アルバイトで約3割と多くなっている。(図3-2-3)

### 3-3 今後参加してみたい地域活動

問10 今後参加してみたいと思う地域での活動はどのような分野ですか。次の中から参加してみたいものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

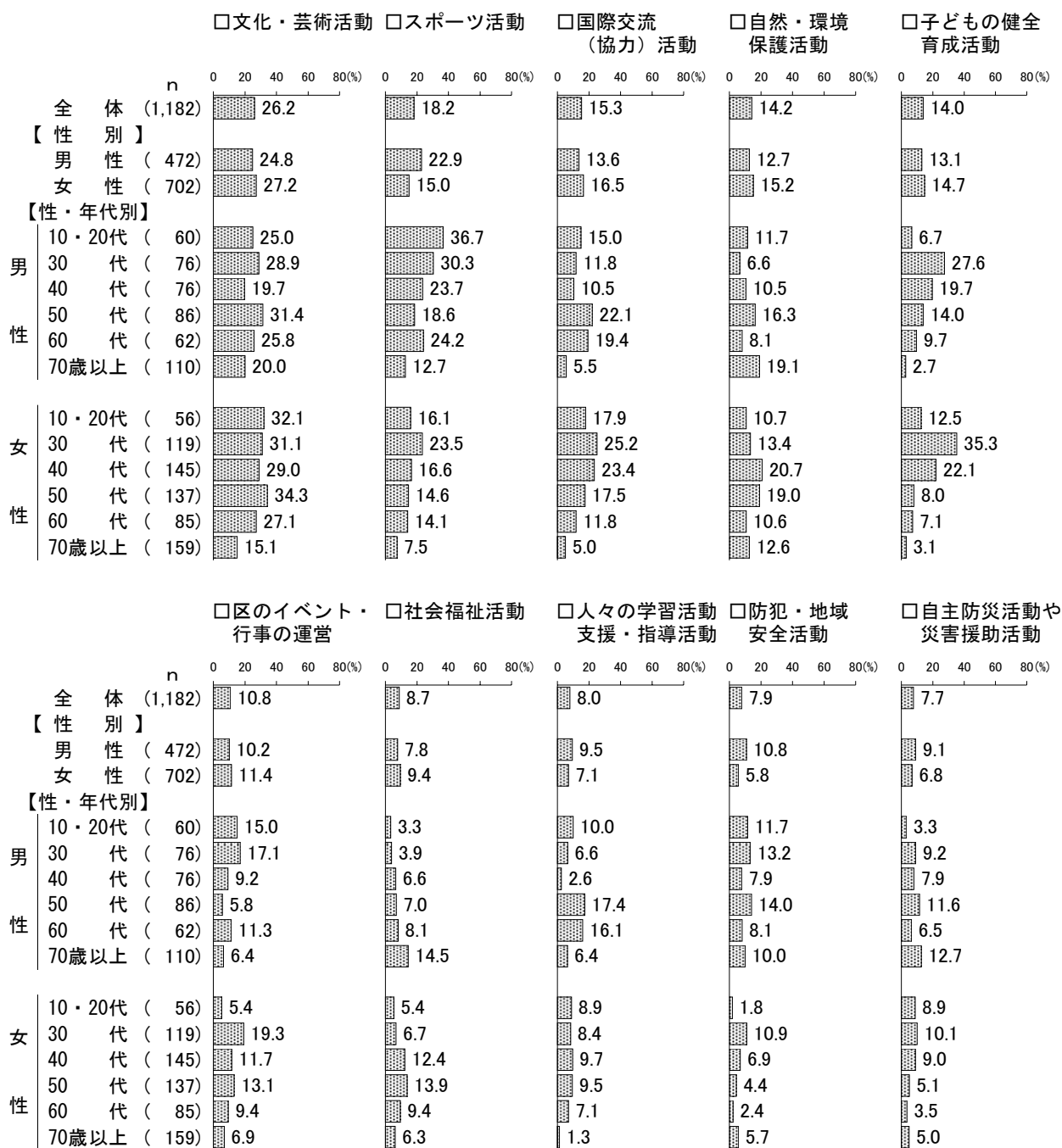
図3-3-1 今後参加してみたい地域活動



今後参加してみたい地域活動についてたずねたところ、「文化・芸術活動」(26.2%)が2割半ばで最も多く、次いで「スポーツ活動」(18.2%)、「国際交流(協力)活動」(15.3%)、「自然・環境保護活動」(14.2%)などの順となっている。一方、「特にない」(30.5%)は約3割となっている。

(図3-3-1)

図3-3-2 今後参加してみたい地域活動—性別／性・年代別（上位10項目）

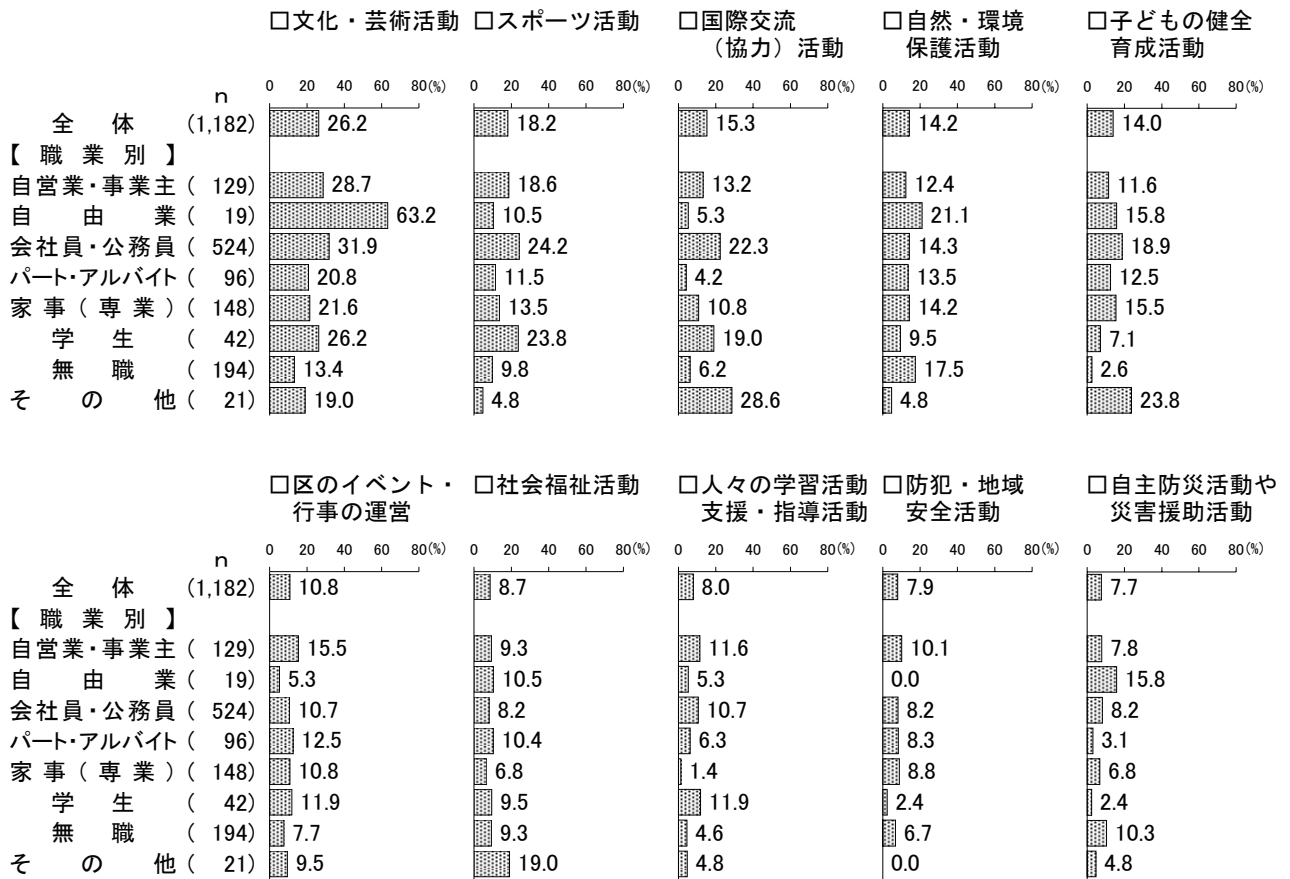


上位10項目を性別にみると、「スポーツ活動」は男性の方が女性より7.9ポイント、「防犯・地域安全活動」は男性の方が女性より5.0ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別にみると、「文化・芸術活動」は女性50代で3割半ばと多くなっている。「スポーツ活動」は男性10・20代で4割近くと多くなっている。「子どもの健全育成活動」は女性30代で3割半ばと多くなっている。（図3-3-2）



図3-3-3 今後参加してみたい地域活動—職業別（上位10項目）

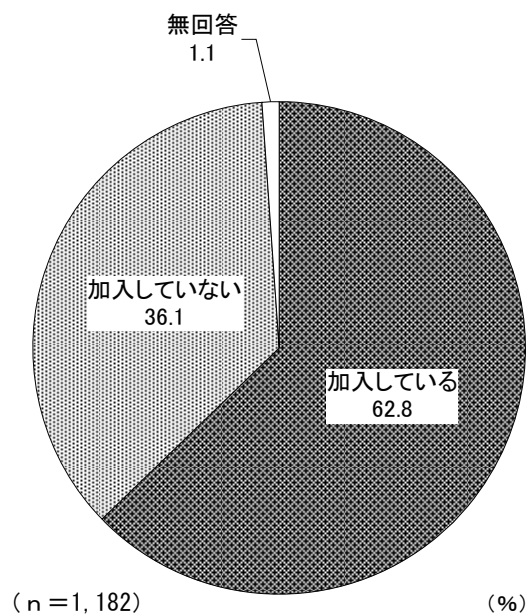


上位10項目を職業別にみると、「文化・芸術活動」は会社員・公務員で3割を超えて多くなっている。「スポーツ活動」は会社員・公務員と学生で2割台と多くなっている。「国際交流（協力）活動」はその他で3割近くと多くなっている。（図3-3-3）

### 3-4 町会・自治会の加入状況

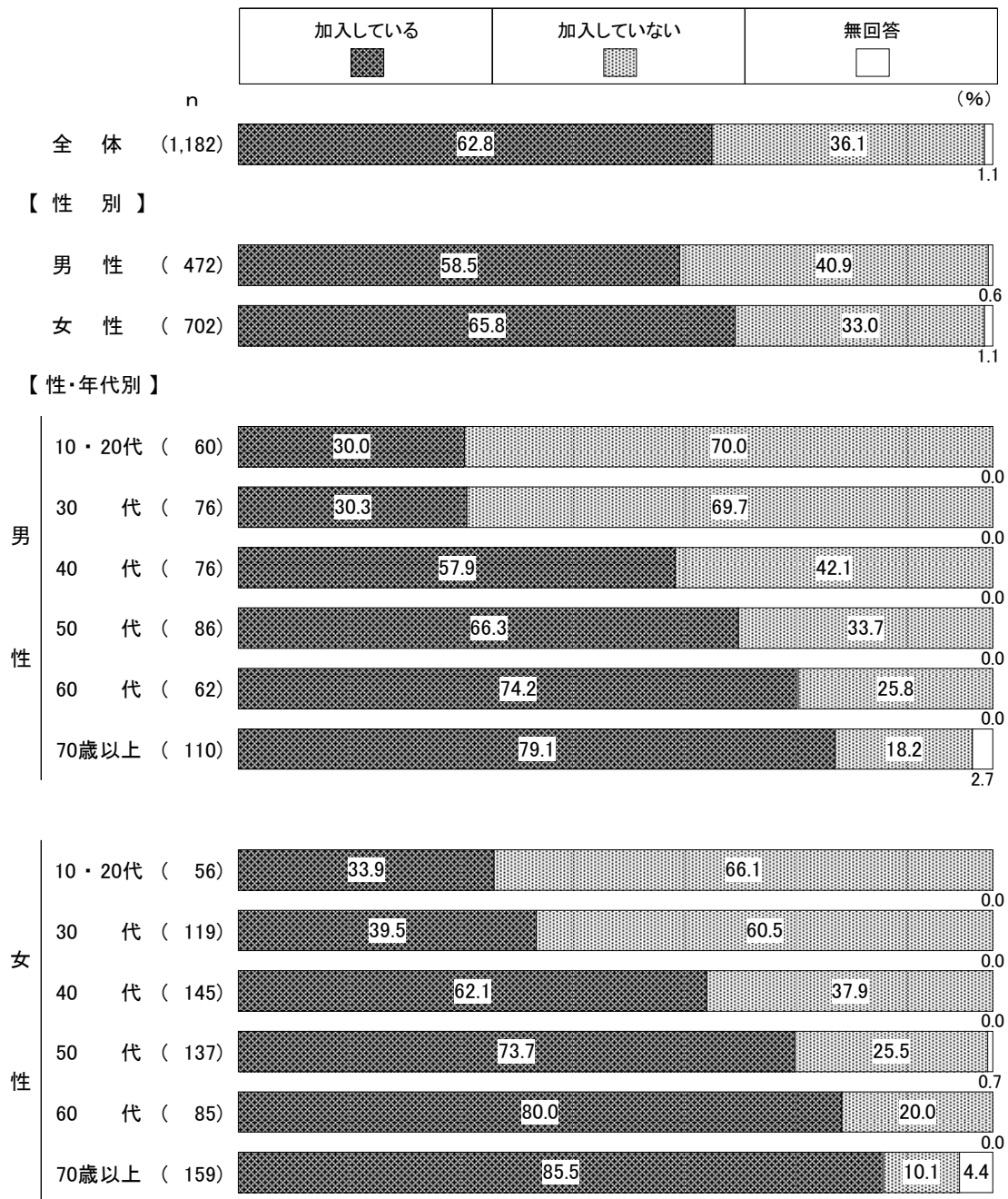
問11 あなたの世帯は、町会や自治会に加入していますか。(○は1つ)

図3-4-1 町会・自治会の加入状況



町会・自治会の加入状況についてたずねたところ、「加入している」(62.8%)が6割を超え、「加入していない」(36.1%)は3割半ばとなっている。(図3-4-1)

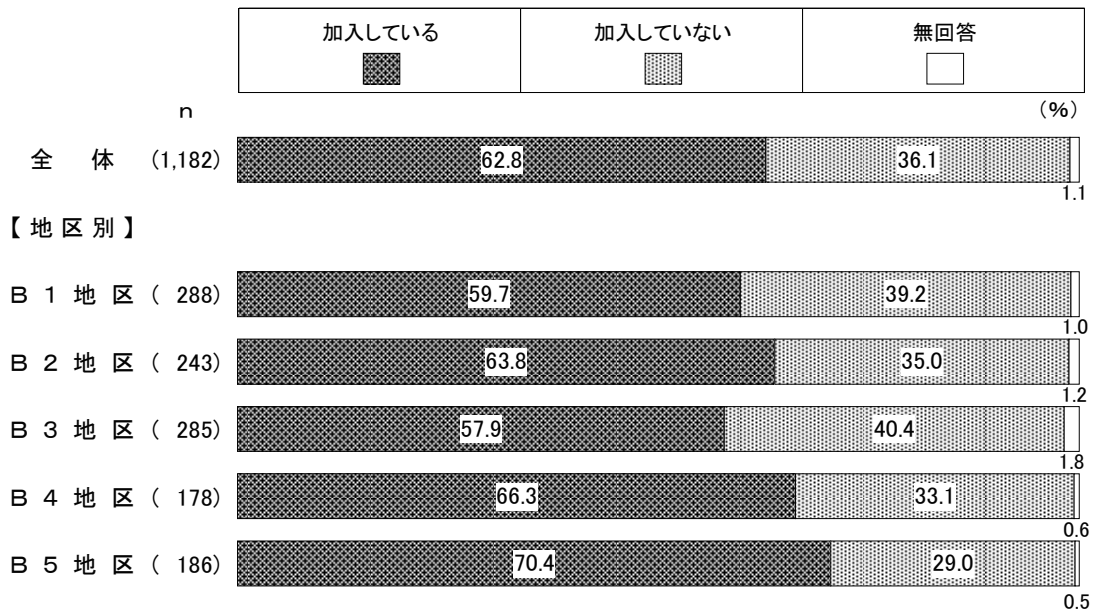
図3-4-2 町会・自治会の加入状況－性別／性・年代別



性別にみると、「加入している」は女性の方が男性より7.3ポイント高くなっている。

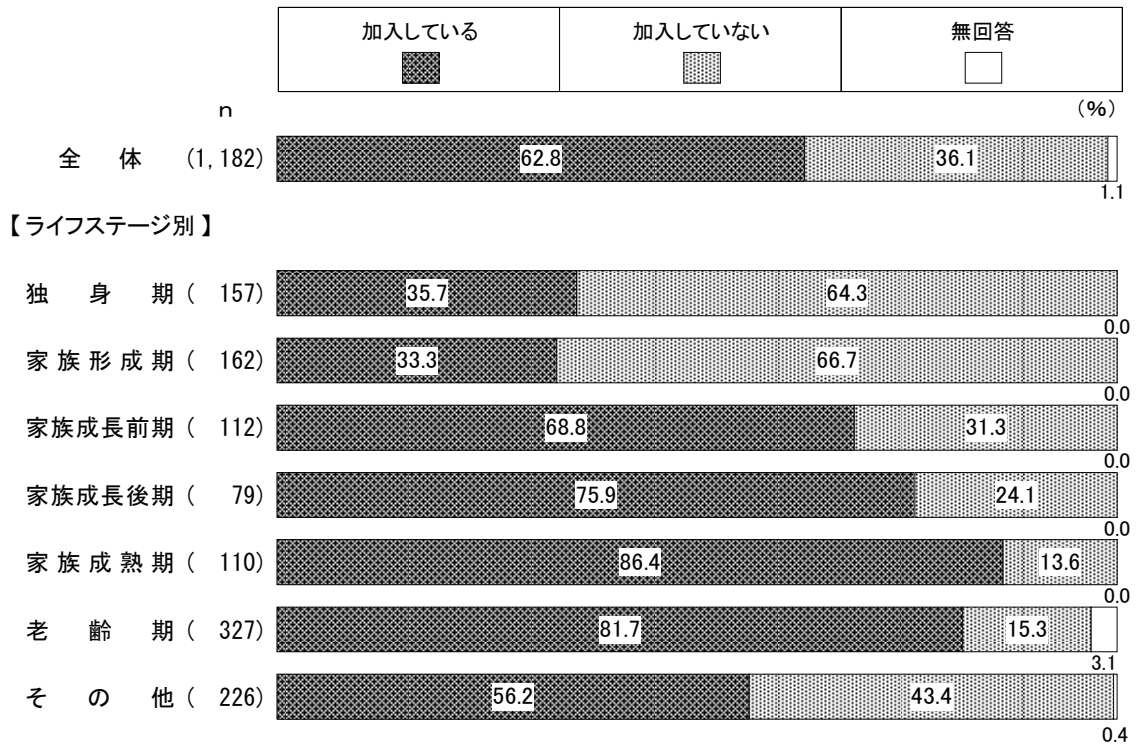
性・年代別にみると、「加入している」は男女ともに年代が上がるほど割合が高く、女性70歳以上で8割半ばとなっている。一方、「加入していない」は男性の10・20代と30代で7割と多くなっている。(図3-4-2)

図 3-4-3 町会・自治会の加入状況—地区別



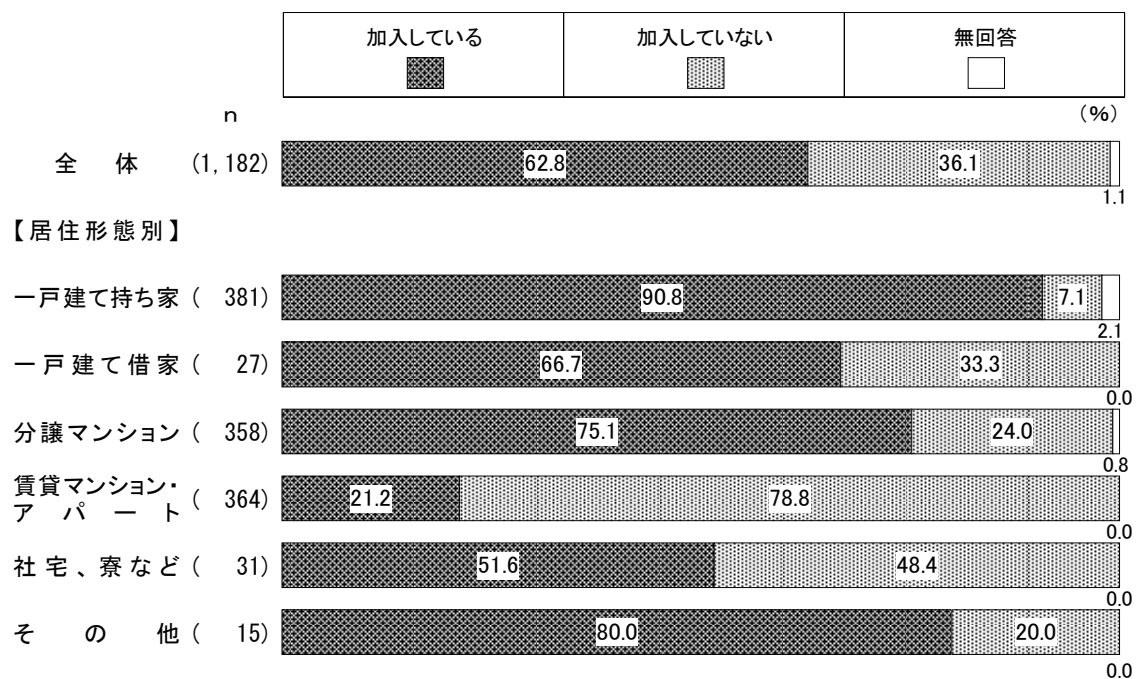
地区別にみると、「加入している」はB 5地区で7割と多くなっている。一方、「加入していない」はB 1地区とB 3地区で約4割と多くなっている。(図 3-4-3)

図 3-4-4 町会・自治会の加入状況—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「加入している」は家族成熟期で8割半ばと多くなっている。一方、「加入していない」は家族形成期で7割近くと多くなっている。(図 3-4-4)

図3-4-5 町会・自治会の加入状況－居住形態別

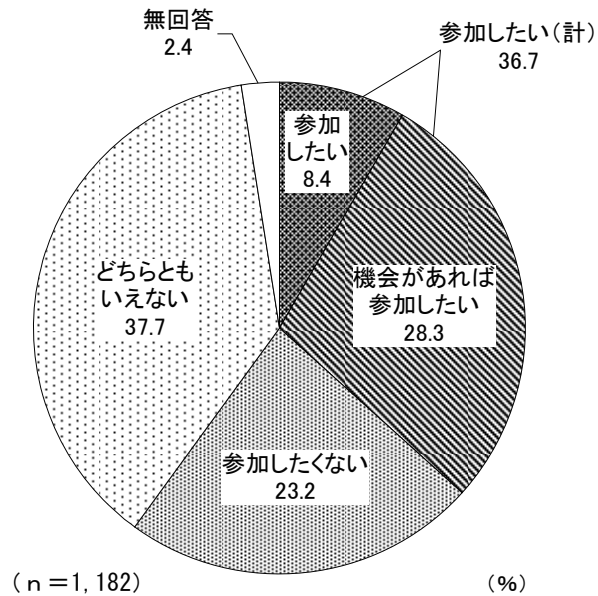


居住形態別にみると、「加入している」は一戸建て持ち家で約9割と多くなっている。一方、「加入していない」は賃貸マンション・アパートで8割近くと多くなっている。(図3-4-5)

### 3-5 町会・自治会への参加意欲

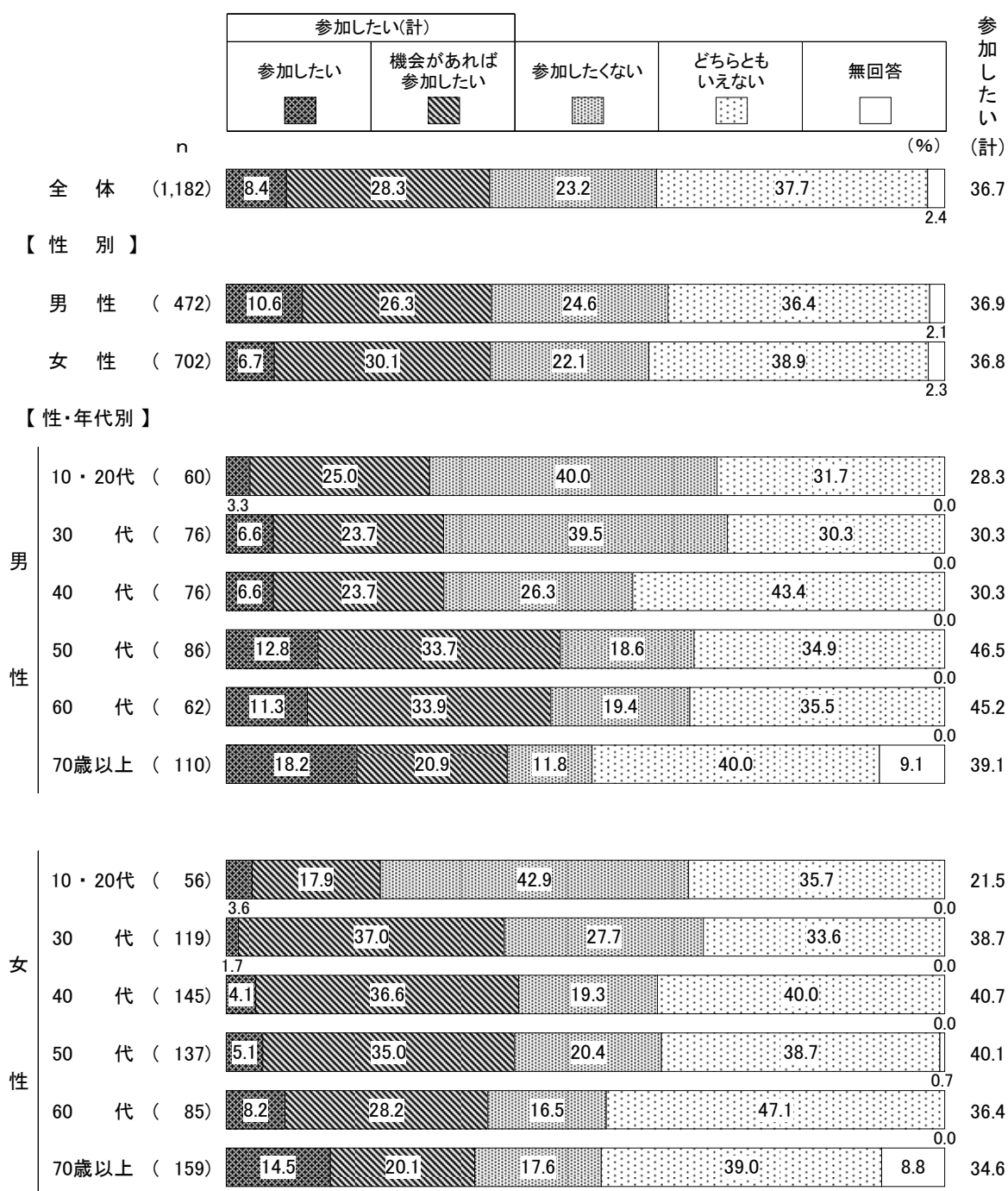
問12 あなたは今後、町会や自治会活動に参加したいと思いますか。(○は1つ)

図3-5-1 町会・自治会への参加意欲



町会・自治会への参加意欲についてたずねたところ、「参加したい」(8.4%)と「機会があれば参加したい」(28.3%)を合わせた『参加したい(計)』(36.7%)が4割近くとなっている。一方、「参加したくない」(23.2%)は2割を超え、「どちらともいえない」(37.7%)は4割近くとなっている。(図3-5-1)

図3-5-2 町会・自治会への参加意欲－性別／性・年代別

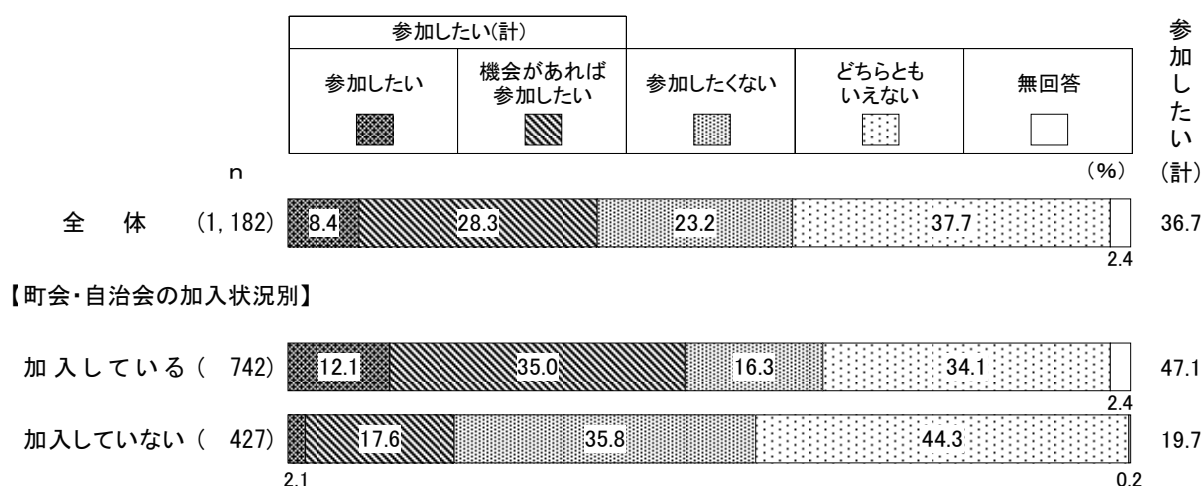


性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、『参加したい(計)』は男性の50代と60代、女性の40代と50代で4割台と多くなっている。一方、「参加したくない」は男女ともに10・20代で4割台と多くなっている。

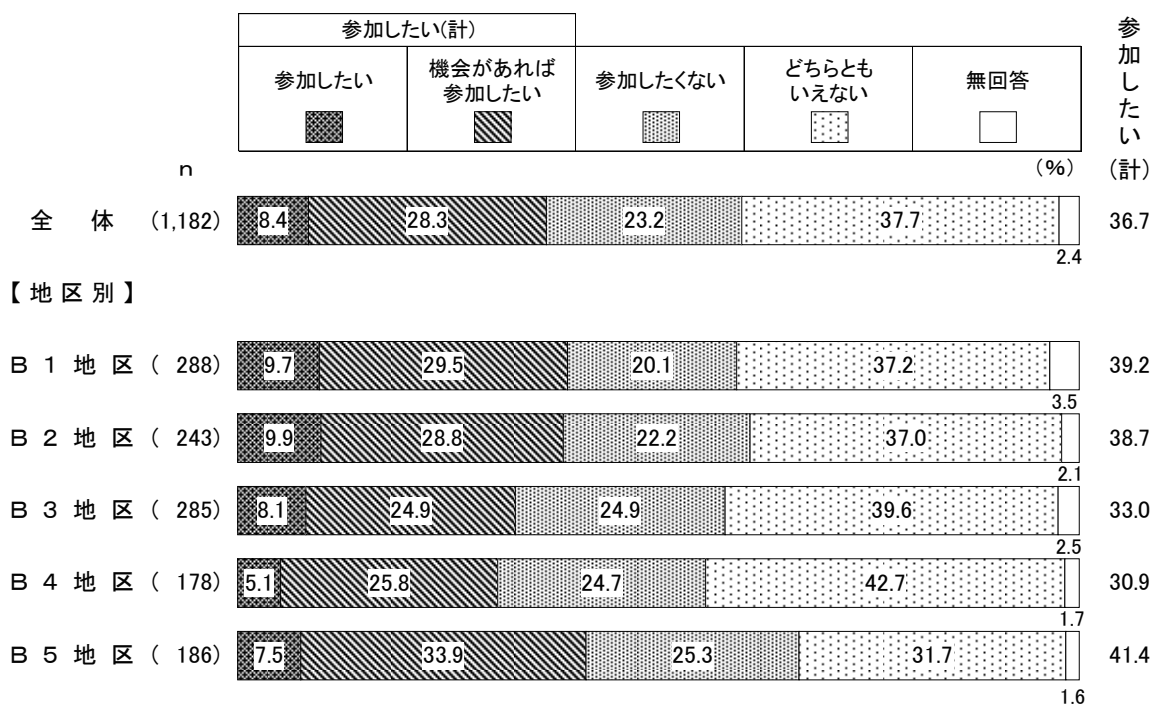
(図3-5-2)

図 3-5-3 町会・自治会への参加意欲—町会・自治会の加入状況別



町会・自治会の加入状況別にみると、『参加したい (計)』は加入している人の方が加入していない人より27.4ポイント高くなっている。(図 3-5-3)

図 3-5-4 町会・自治会への参加意欲—地区別

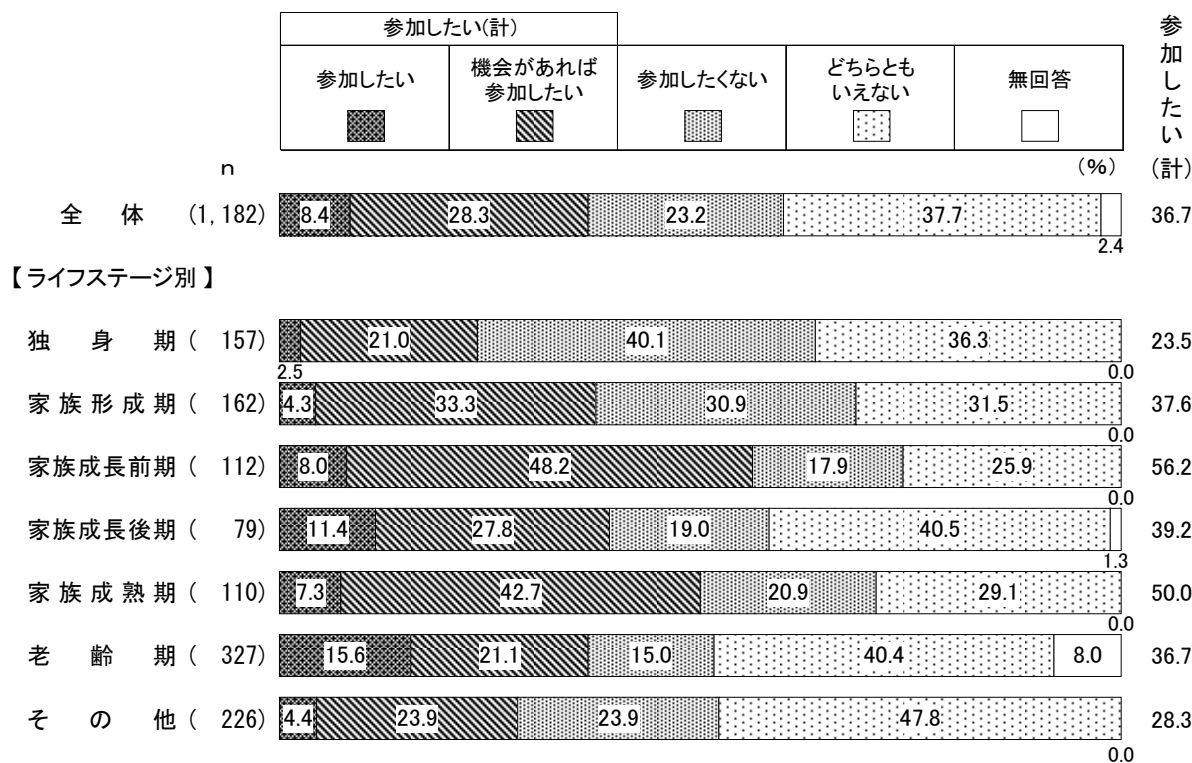


地区別にみると、『参加したい (計)』はB5地区で4割を超えて多くなっている。

(図 3-5-4)

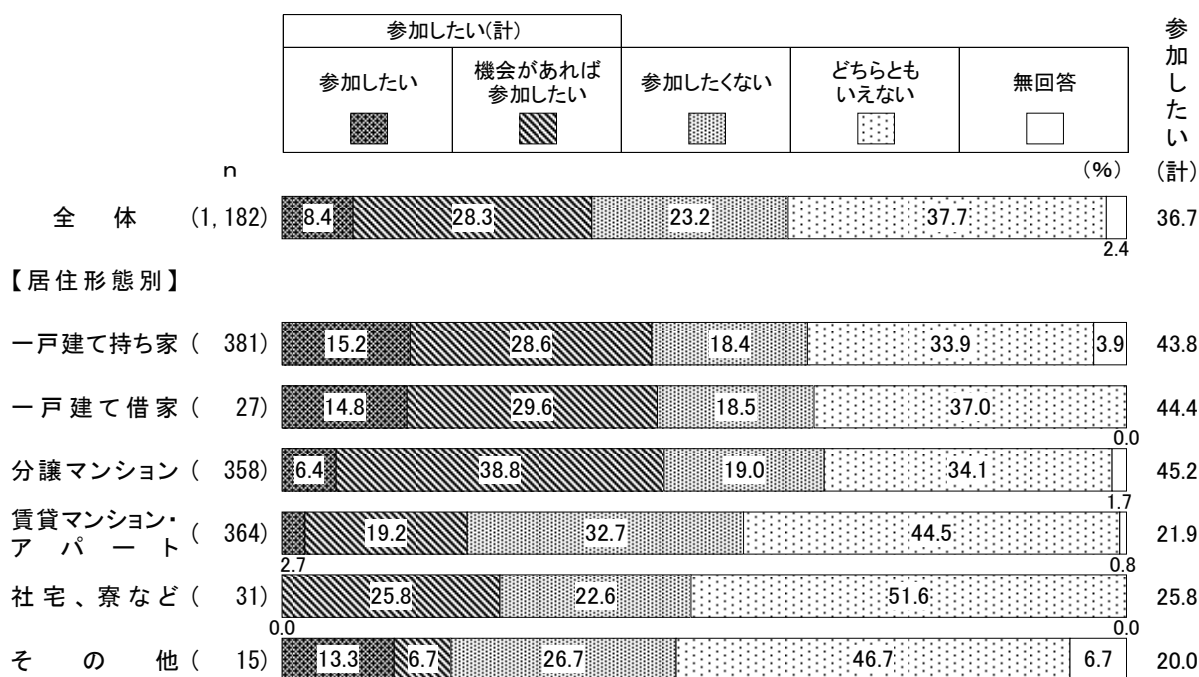


図3-5-5 町会・自治会への参加意欲－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、『参加したい(計)』は家族成長前期で5割半ば、家族成熟期で5割と多くなっている。一方、「参加したくない」は独身期で4割と多くなっている。(図3-5-5)

図3-5-6 町会・自治会への参加意欲－居住形態別

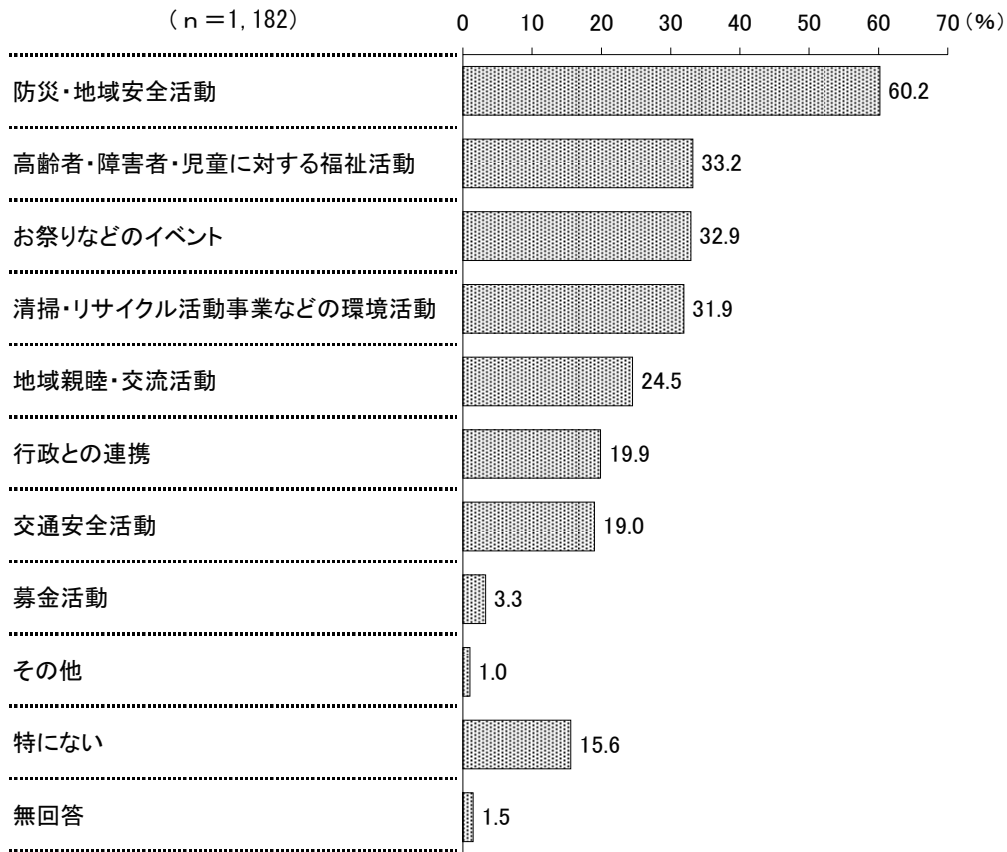


居住形態別にみると、『参加したい(計)』は分譲マンション、一戸建て借家、一戸建て持ち家で4割台と多くなっている。一方、「参加したくない」は賃貸マンション・アパートで3割を超えて多くなっている。(図3-5-6)

### 3-6 町会・自治会に期待すること

問13 町会・自治会に期待する内容はどのようなことですか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

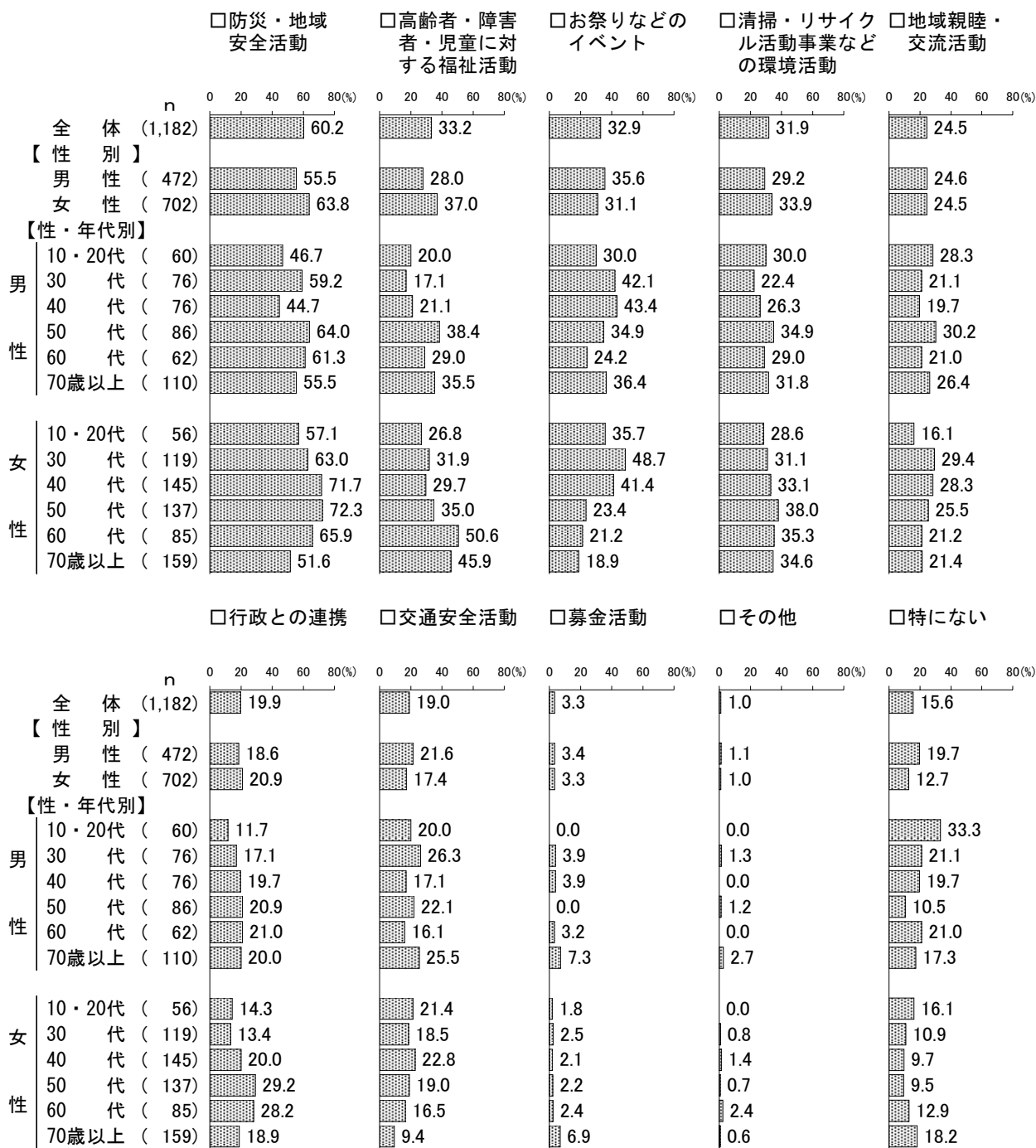
図3-6-1 町会・自治会に期待すること



町会・自治会に期待することについてたずねたところ、「防災・地域安全活動」(60.2%)が6割で最も多く、次いで「高齢者・障害者・児童に対する福祉活動」(33.2%)、「お祭りなどのイベント」(32.9%)、「清掃・リサイクル活動事業などの環境活動」(31.9%)などの順となっている。

(図3-6-1)

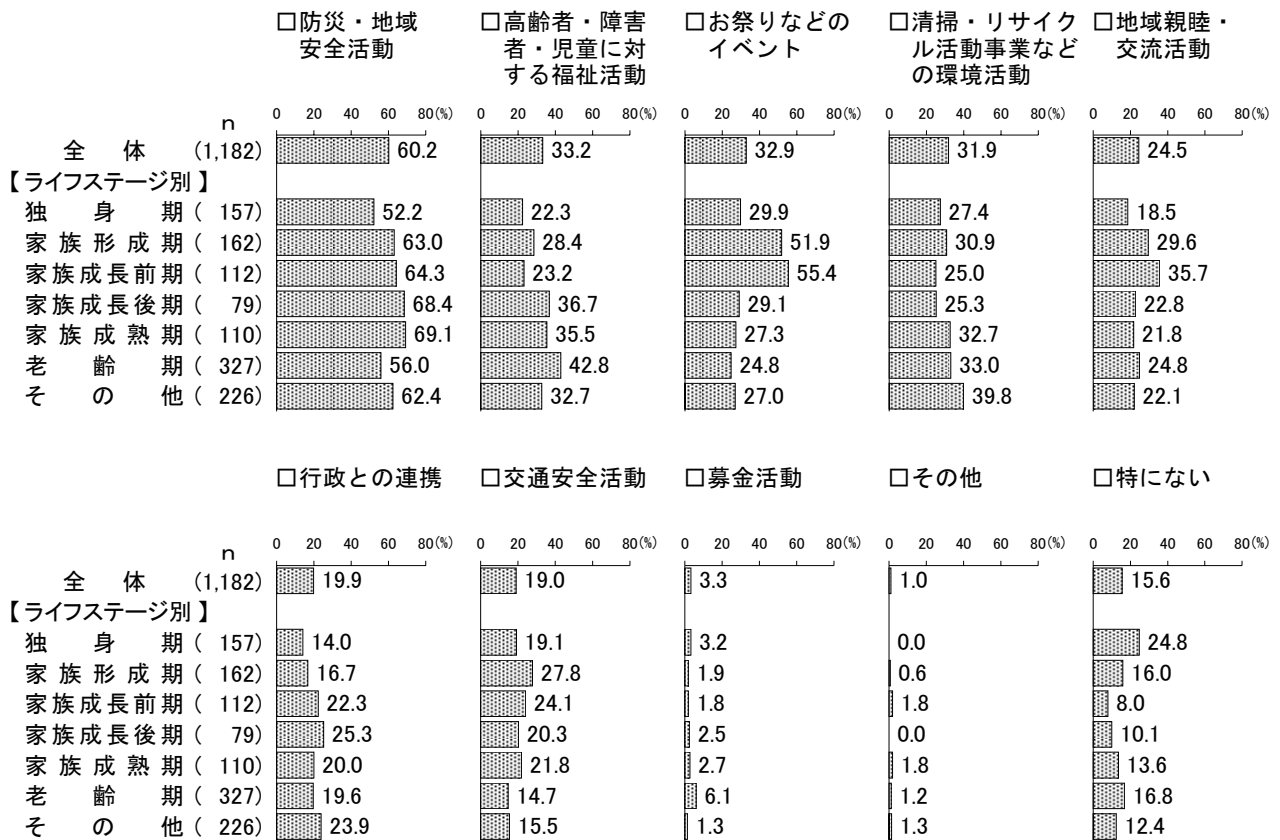
図3-6-2 町会・自治会に期待すること—性別／性・年代別



性別にみると、「高齢者・障害者・児童に対する福祉活動」は女性の方が男性より9.0ポイント、「防災・地域安全活動」は女性の方が男性より8.3ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「お祭りなどのイベント」は男性の方が女性より4.5ポイント、「交通安全活動」は男性の方が女性より4.2ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別にみると、「防災・地域安全活動」は女性の40代と50代で7割を超えて多くなっている。「高齢者・障害者・児童に対する福祉活動」は女性60代で約5割と多くなっている。「お祭りなどのイベント」は女性30代で5割近くと多くなっている。(図3-6-2)

図3-6-3 町会・自治会に期待すること—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「防災・地域安全活動」は家族成熟期で約7割と多くなっている。「高齢者・障害者・児童に対する福祉活動」は高齢期で4割を超えて多くなっている。「お祭りなどのイベント」は家族成長前期と家族形成期で5割台と多くなっている。(図3-6-3)

## 4. 防災・安全

- 
- 4-1 有用な防犯対策
  - 4-2 高齢者世帯を狙った特殊詐欺の被害防止対策
  - 4-3 災害への備え
  - 4-4 区からの災害情報の提供方法の認知度
  - 4-5 防災行政無線の使用方法
-

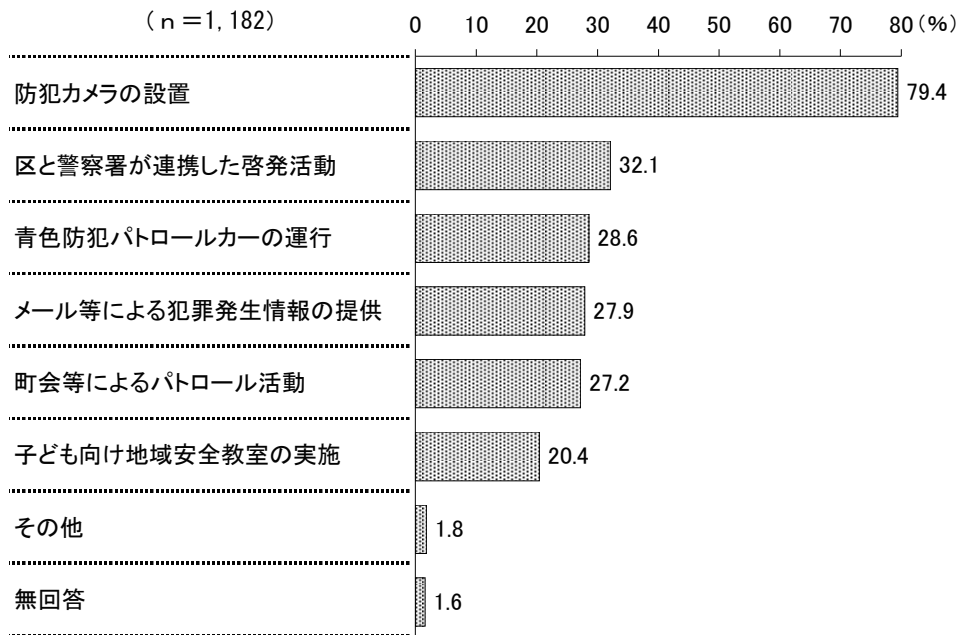


## 4. 防災・安全

### 4-1 有用な防犯対策

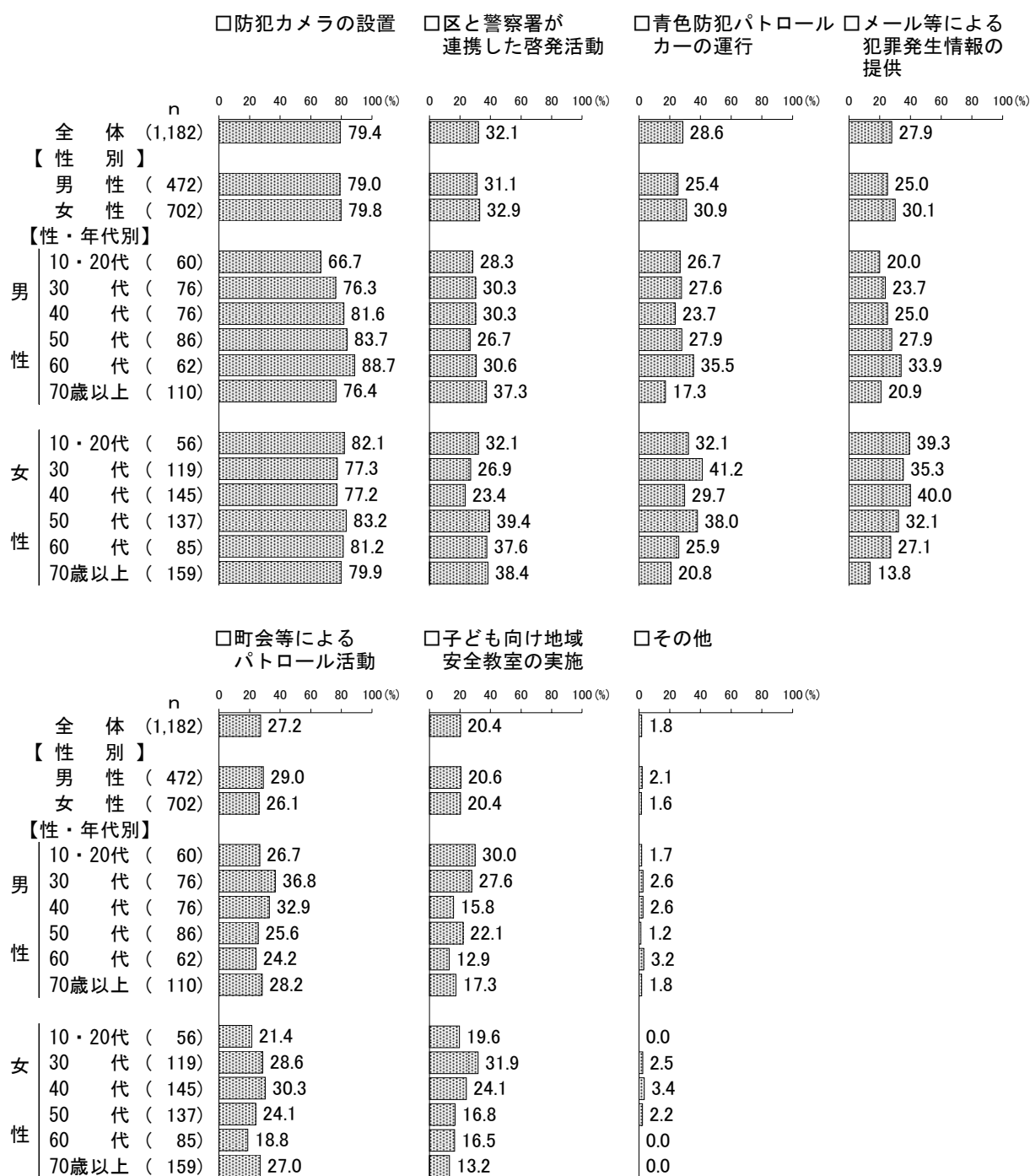
問14 警察のパトロール以外で、あなたが防犯対策として有用だと考えるものは何ですか。  
次の中から3つ以内でお答えください。(〇は3つまで)

図4-1-1 有用な防犯対策



警察のパトロール以外で防犯対策として有用だと考えるものについてたずねたところ、「防犯カメラの設置」(79.4%)が約8割で最も多く、次いで「区と警察署が連携した啓発活動」(32.1%)、「青色防犯パトロールカーの運行」(28.6%)、「メール等による犯罪発生情報の提供」(27.9%)などの順となっている。(図4-1-1)

図4-1-2 有用な防犯対策—性別／性・年代別

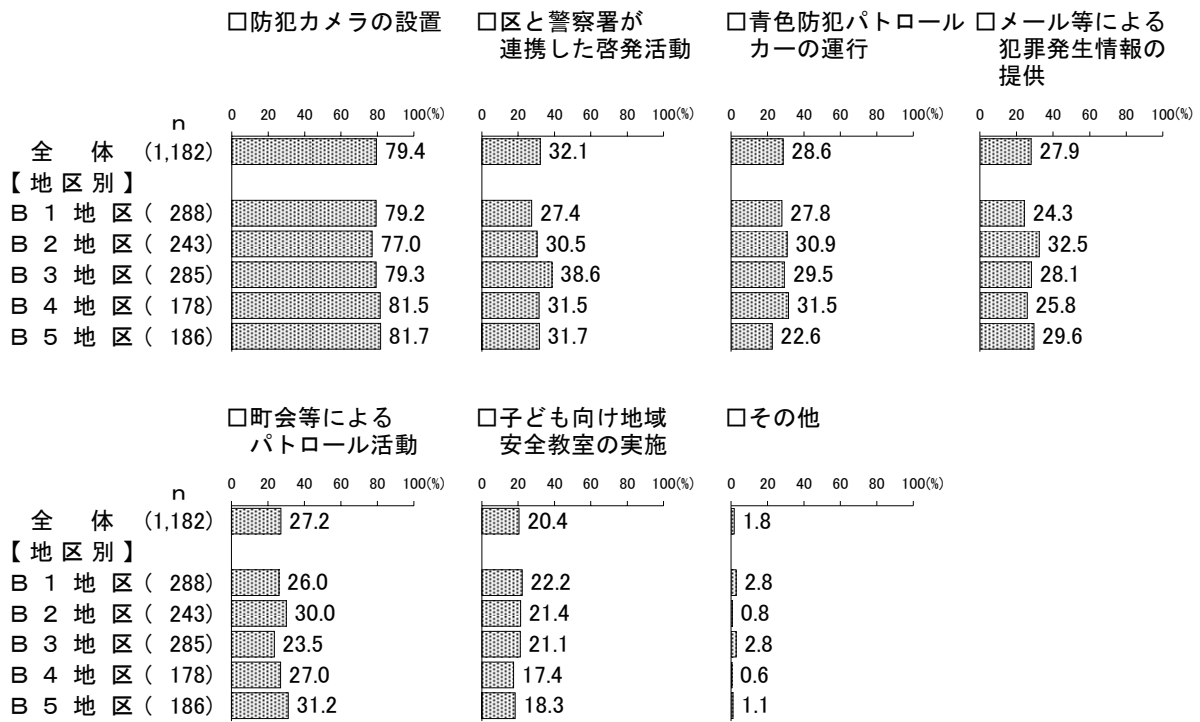


性別にみると、「青色防犯パトロールカーの運行」は女性の方が男性より5.5ポイント、「メール等による犯罪発生情報の提供」は女性の方が男性より5.1ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別にみると、「防犯カメラの設置」は男性60代で4割近くと多くなっている。「青色防犯パトロールカーの運行」は女性30代で4割を超えて多くなっている。「メール等による犯罪発生情報の提供」は女性の10・20代と40代で約4割と多くなっている。(図4-1-2)



図 4-1-3 有用な防犯対策—地区別

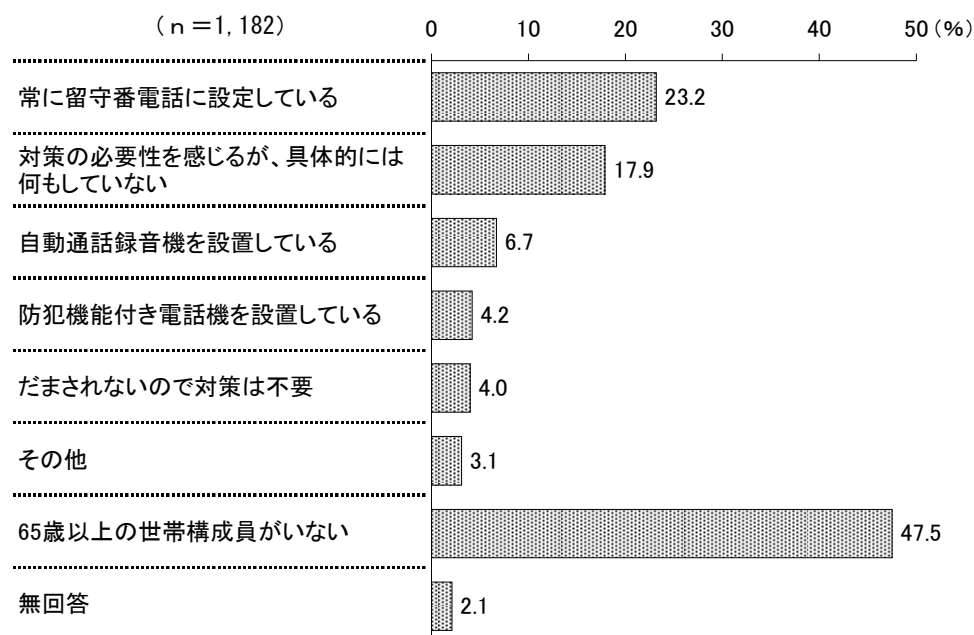


地区別にみると、「防犯カメラの設置」はB 4地区とB 5地区で8割を超えて多くなっている。「区と警察署が連携した啓発活動」はB 3地区で4割近くと多くなっている。「メール等による犯罪発生情報の提供」はB 2地区で3割を超えて多くなっている。(図 4-1-3)

## 4-2 高齢者世帯を狙った特殊詐欺の被害防止対策

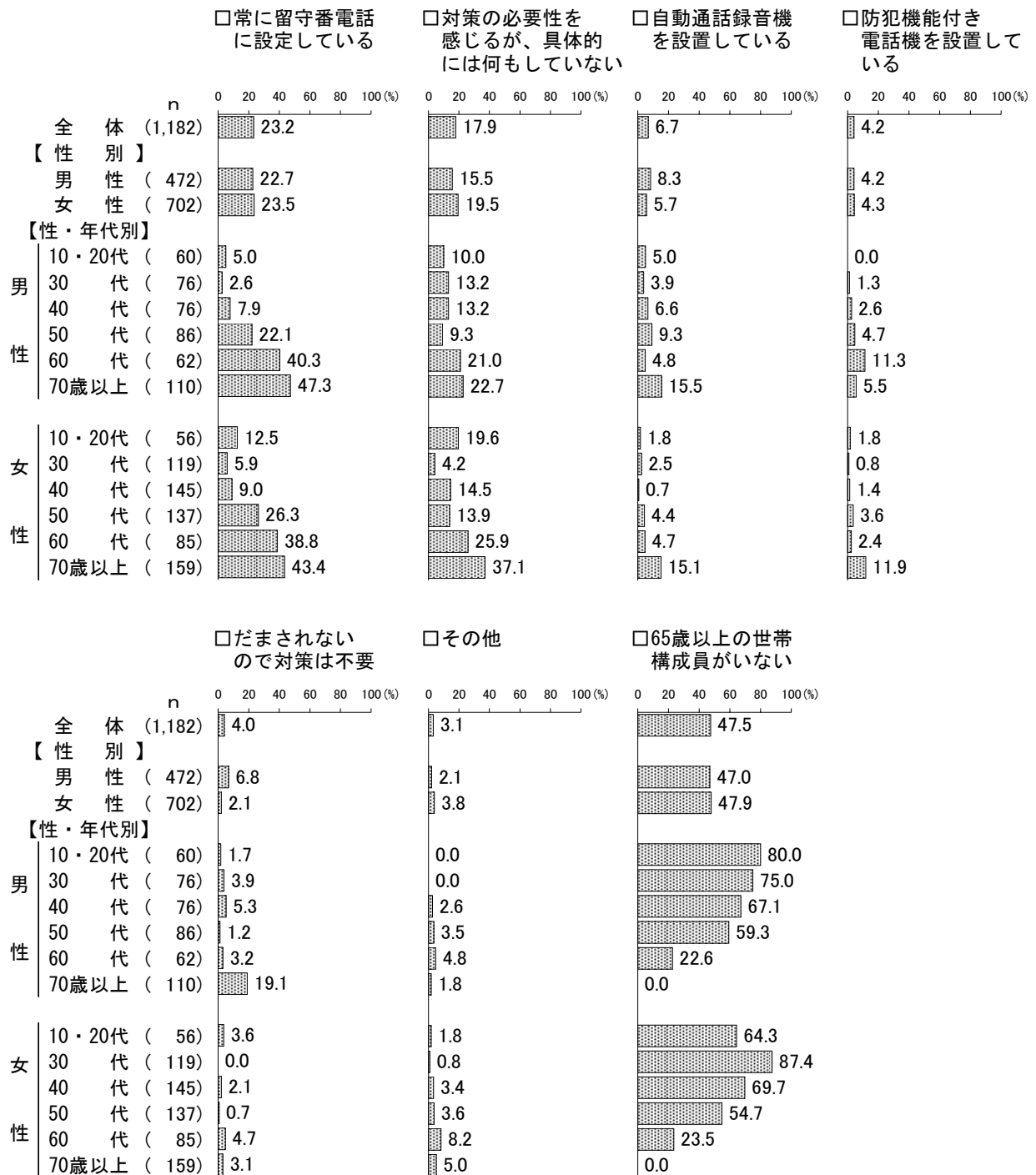
問15 区では、おおむね65歳以上の方が居住する世帯を対象に、自動通話録音機の無償貸与を行っています。高齢者世帯を狙った特殊詐欺の被害防止について、何か対策を講じていますか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

図4-2-1 高齢者世帯を狙った特殊詐欺の被害防止対策



高齢者世帯を狙った特殊詐欺の被害防止について、何か対策を講じているかたずねたところ、「常に留守番電話に設定している」(23.2%)が2割を超えて最も多く、次いで「対策の必要性を感じるが、具体的には何もしていない」(17.9%)、「自動通話録音機を設置している」(6.7%)などの順となっている。(図4-2-1)

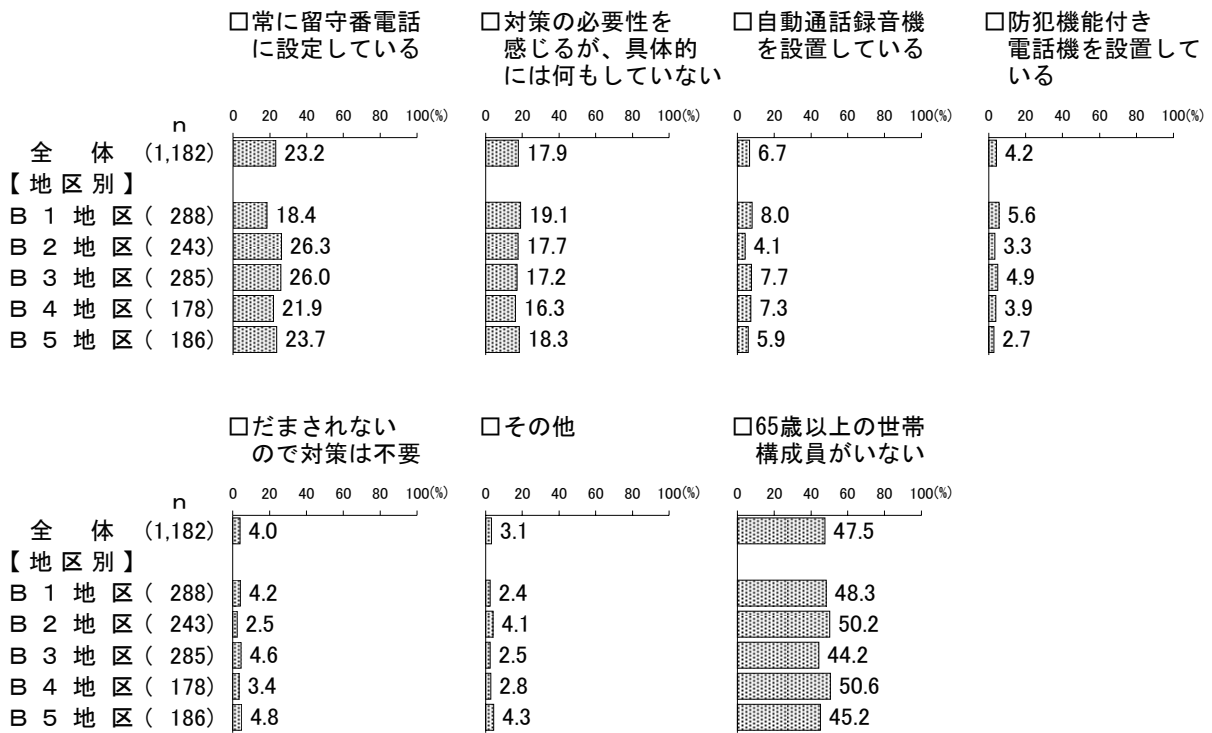
図4-2-2 高齢者世帯を狙った特殊詐欺の被害防止対策—性別／性・年代別



性別にみると、「だまされないので対策は不要」は男性の方が女性より4.7ポイント高くなっている。一方、「対策の必要性を感じるが、具体的には何もしていない」は女性の方が男性より4.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「常に留守番電話に設定している」は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合が高く、男性70歳以上で5割近くとなっている。「対策の必要性を感じるが、具体的には何もしていない」は女性70歳以上で4割近くと多くなっている。(図4-2-2)

図 4-2-3 高齢者世帯を狙った特殊詐欺の被害防止対策—地区別

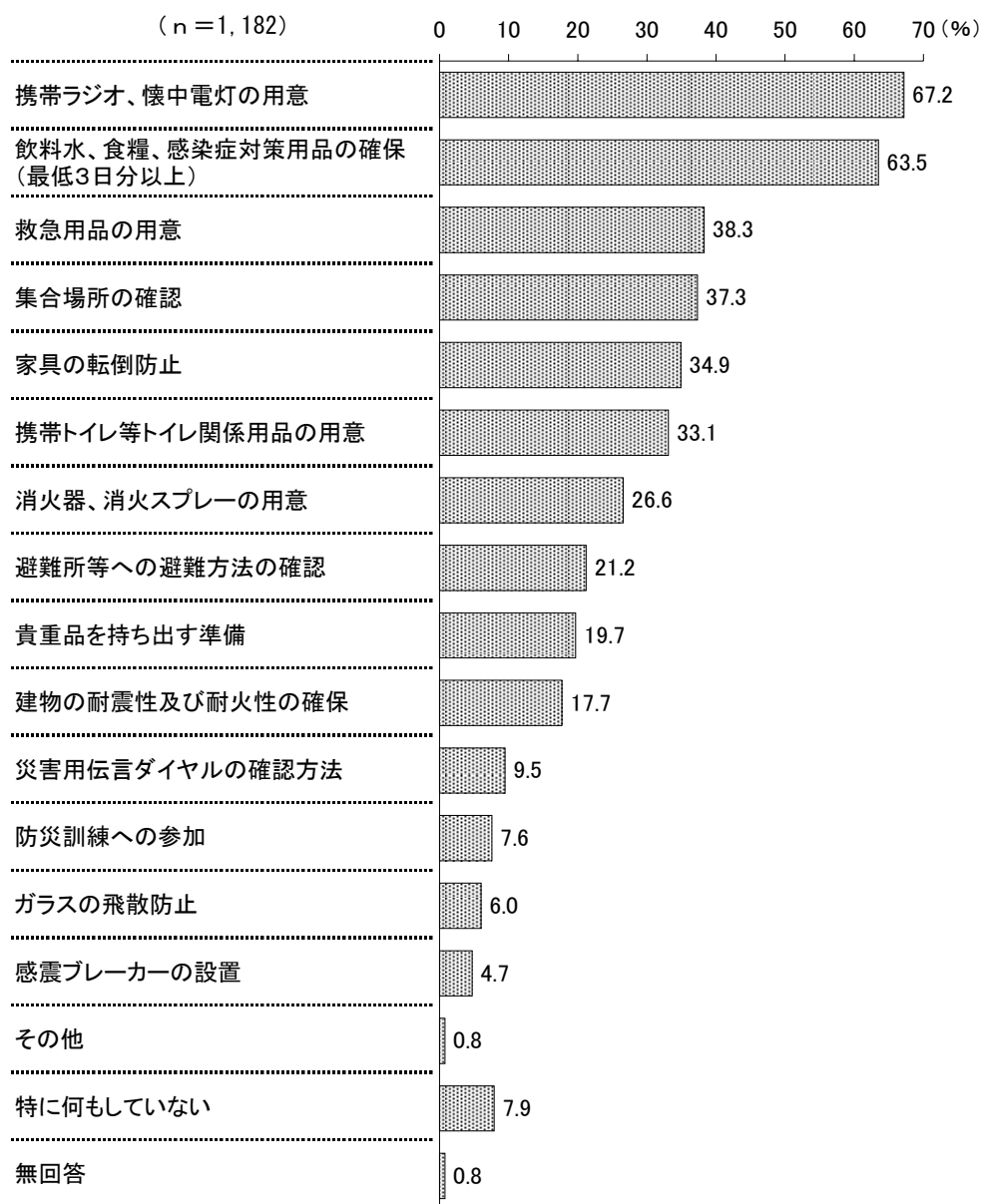


地区別にみると、「常に留守番電話に設定している」はB2地区とB3地区で2割半ばと多くなっている。(図4-2-3)

### 4-3 災害への備え

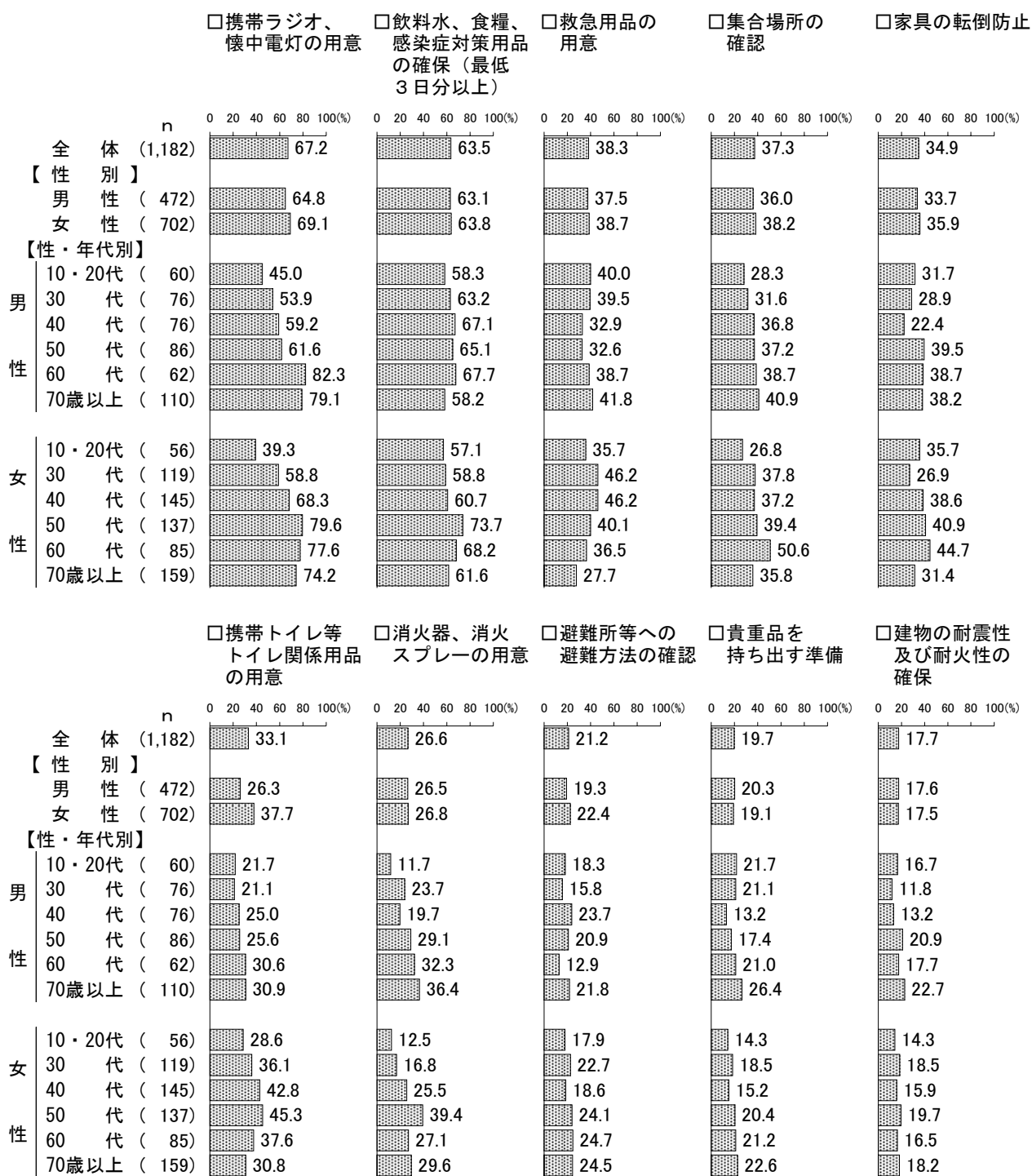
問16 あなたは、災害に備えてどのような対策をしていますか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

図4-3-1 災害への備え



災害への備えについてたずねたところ、「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」(67.2%)が7割近くで最も多く、次いで「飲料水、食糧、感染症対策用品の確保(最低3日分以上)」(63.5%)、「救急用品の用意」(38.3%)、「集合場所の確認」(37.3%)、「家具の転倒防止」(34.9%)などの順となっている。(図4-3-1)

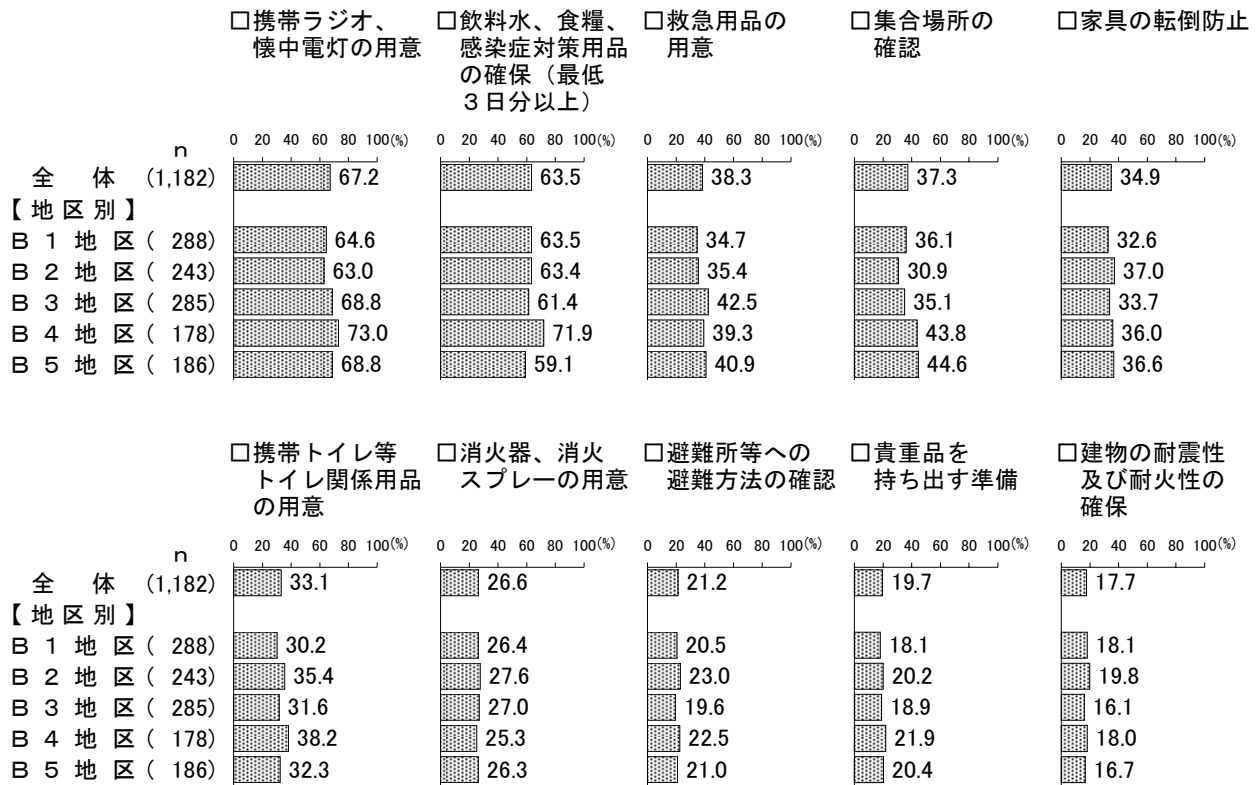
図4-3-2 災害への備え－性別／性・年代別（上位10項目）



上位10項目を性別にみると、「携帯トイレ等トイレ関係用品の用意」は女性の方が男性より11.4ポイント、「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」は女性の方が男性より4.3ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別にみると、「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」は男性60代で8割を超えて多くなっている。「飲料水、食糧、感染症対策用品の確保（最低3日以上）」は女性50代で7割を超えて多くなっている。「集合場所の確認」は女性60代で約5割と多くなっている。（図4-3-2）

図4-3-3 災害への備え—地区別（上位10項目）



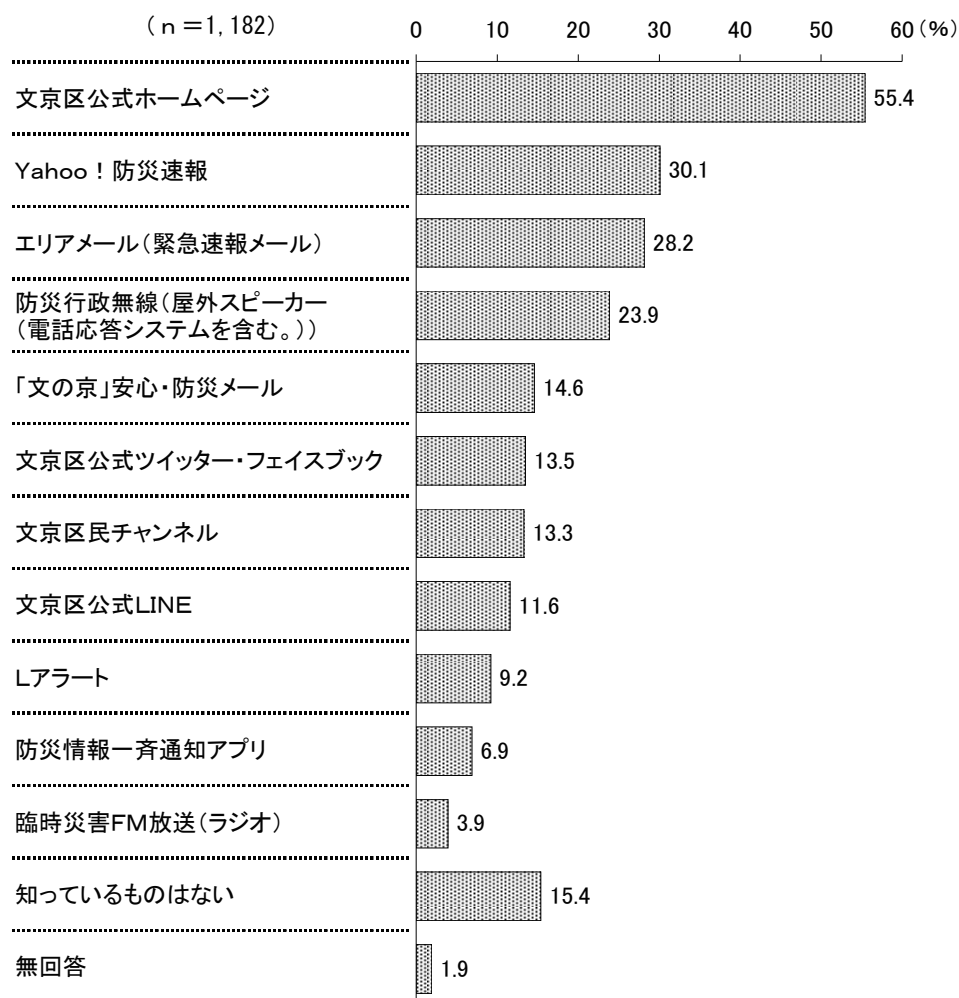
上位10項目を地区別にみると、「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」はB4地区で7割を超えて多くなっている。「飲料水、食糧、感染症対策用品の確保（最低3日以上）」はB4地区で7割を超えて多くなっている。「集合場所の確認」はB5地区で4割半ばと多くなっている。（図4-3-3）

#### 4-4 区からの災害情報の提供方法の認知度

問17 区からの災害情報の提供方法について、知っているものをすべてお選びください。

(○はいくつでも)

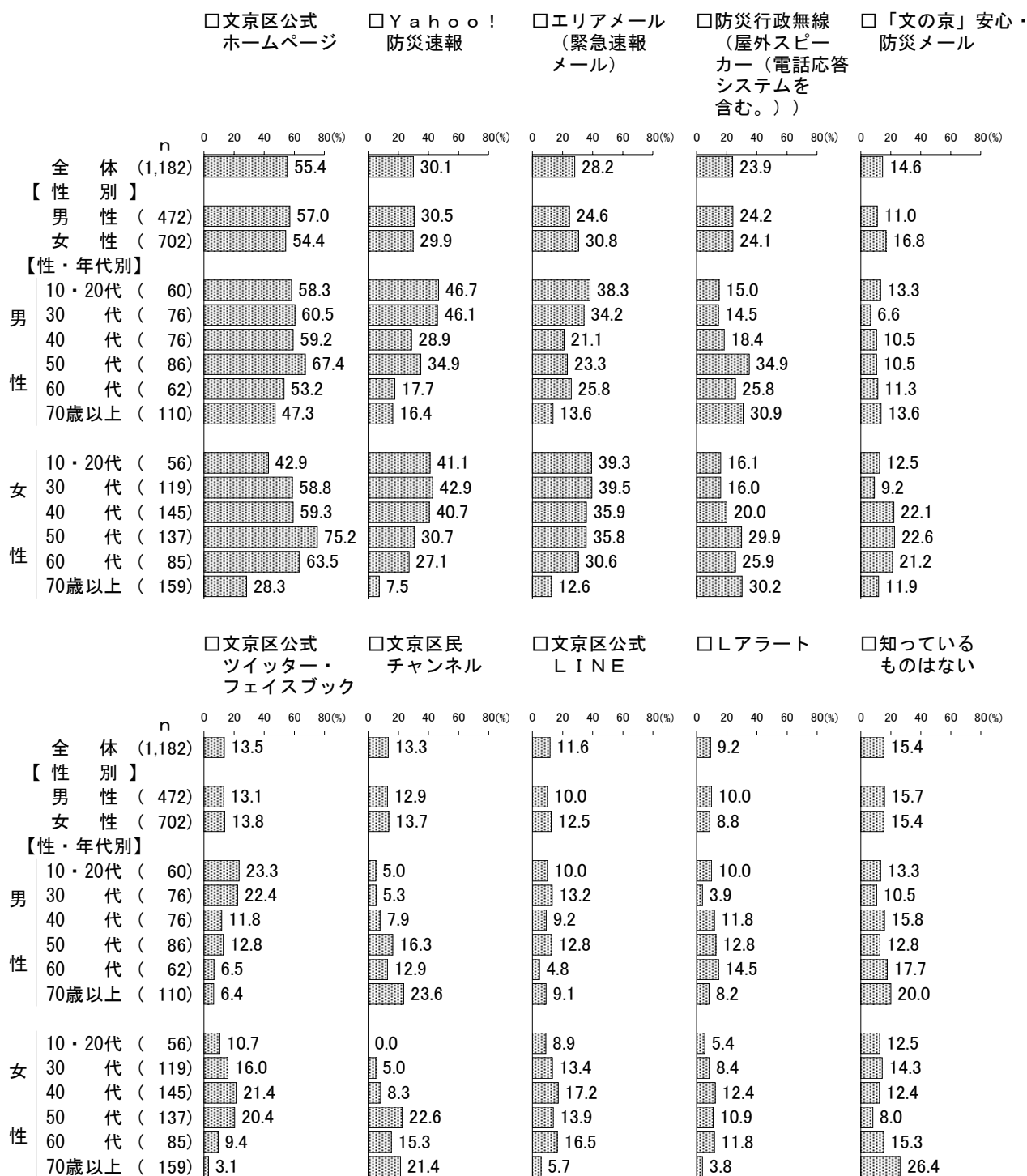
図4-4-1 区からの災害情報の提供方法の認知度



区からの災害情報の提供方法の認知度についてたずねたところ、「文京区公式ホームページ」(55.4%)が5割半ばで最も多く、次いで「Yahoo! 防災速報」(30.1%)、「エリアメール(緊急速報メール)」(28.2%)、「防災行政無線(屋外スピーカー(電話応答システムを含む。))」(23.9%)などの順となっている。(図4-4-1)



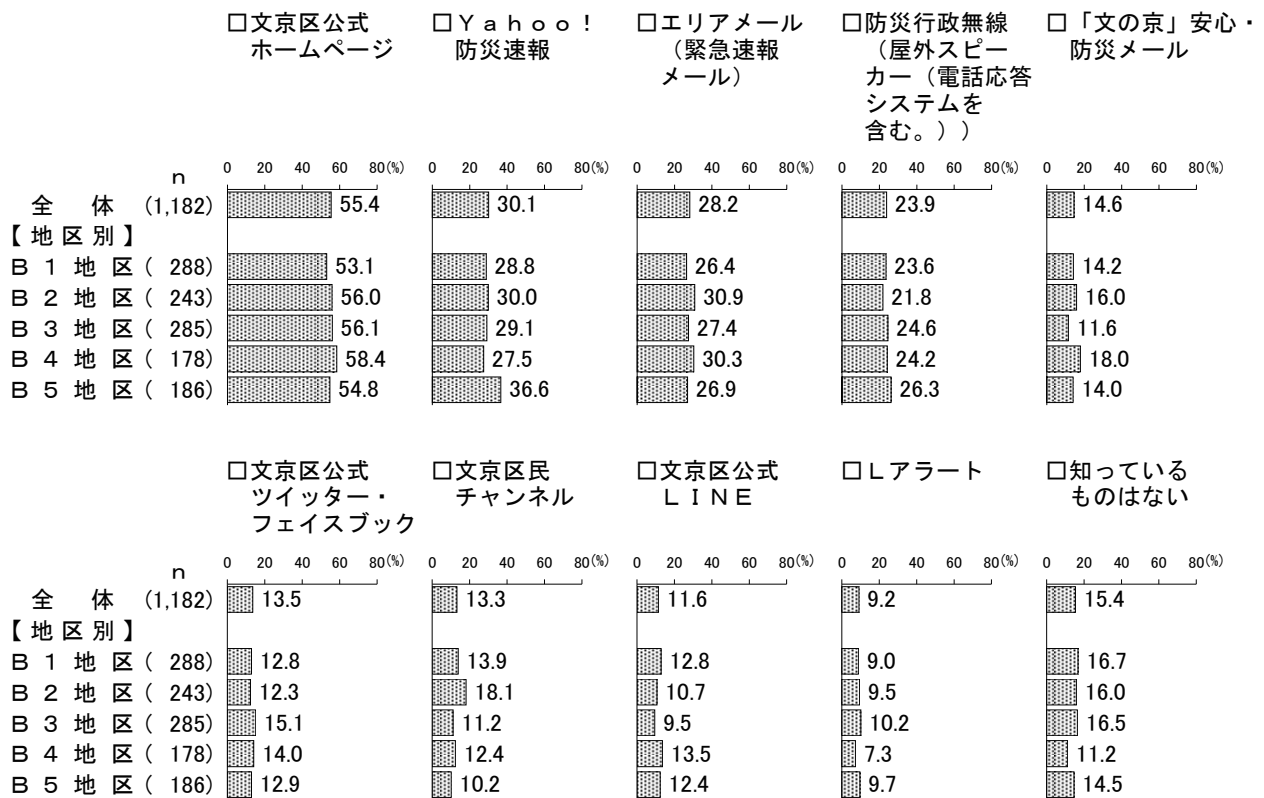
図4-4-2 区からの災害情報の提供方法の認知度—性別／性・年代別（上位10項目）



上位10項目を性別にみると、「エリアメール（緊急速報メール）」は女性の方が男性より6.2ポイント、「『文の京』安心・防災メール」は女性の方が男性より5.8ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別にみると、「文京区公式ホームページ」は女性50代で7割半ばと多くなっている。「Yahoo!防災速報」は男性10・20代で5割近くと多くなっている。「エリアメール（緊急速報メール）」は女性の10・20代と30代で約4割と多くなっている。（図4-4-2）

図4-4-3 区からの災害情報の提供方法の認知度—地区別（上位10項目）

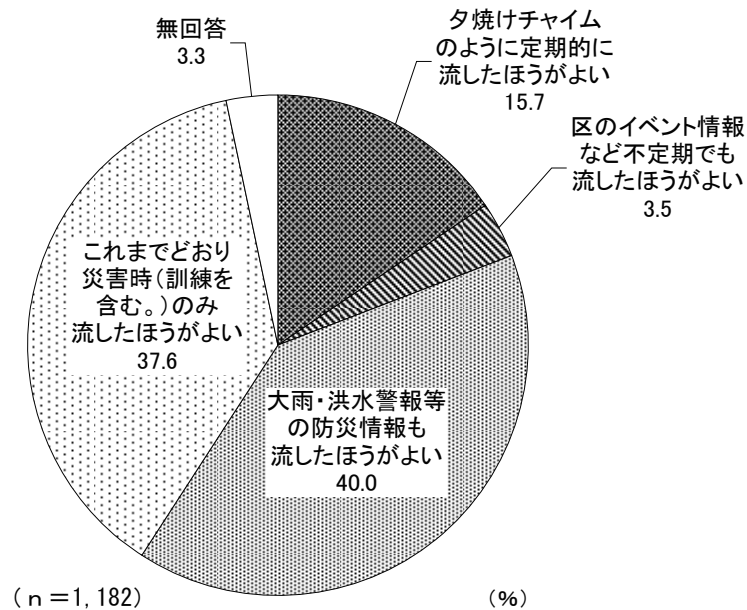


上位10項目を地区別にみると、「文京区公式ホームページ」はB4地区で6割近くと多くなっている。「Yahoo! 防災速報」はB5地区で4割近くと多くなっている。「エリアメール (緊急速報メール)」はB2地区とB4地区で約3割と多くなっている。(図4-4-3)

#### 4-5 防災行政無線の使用方法

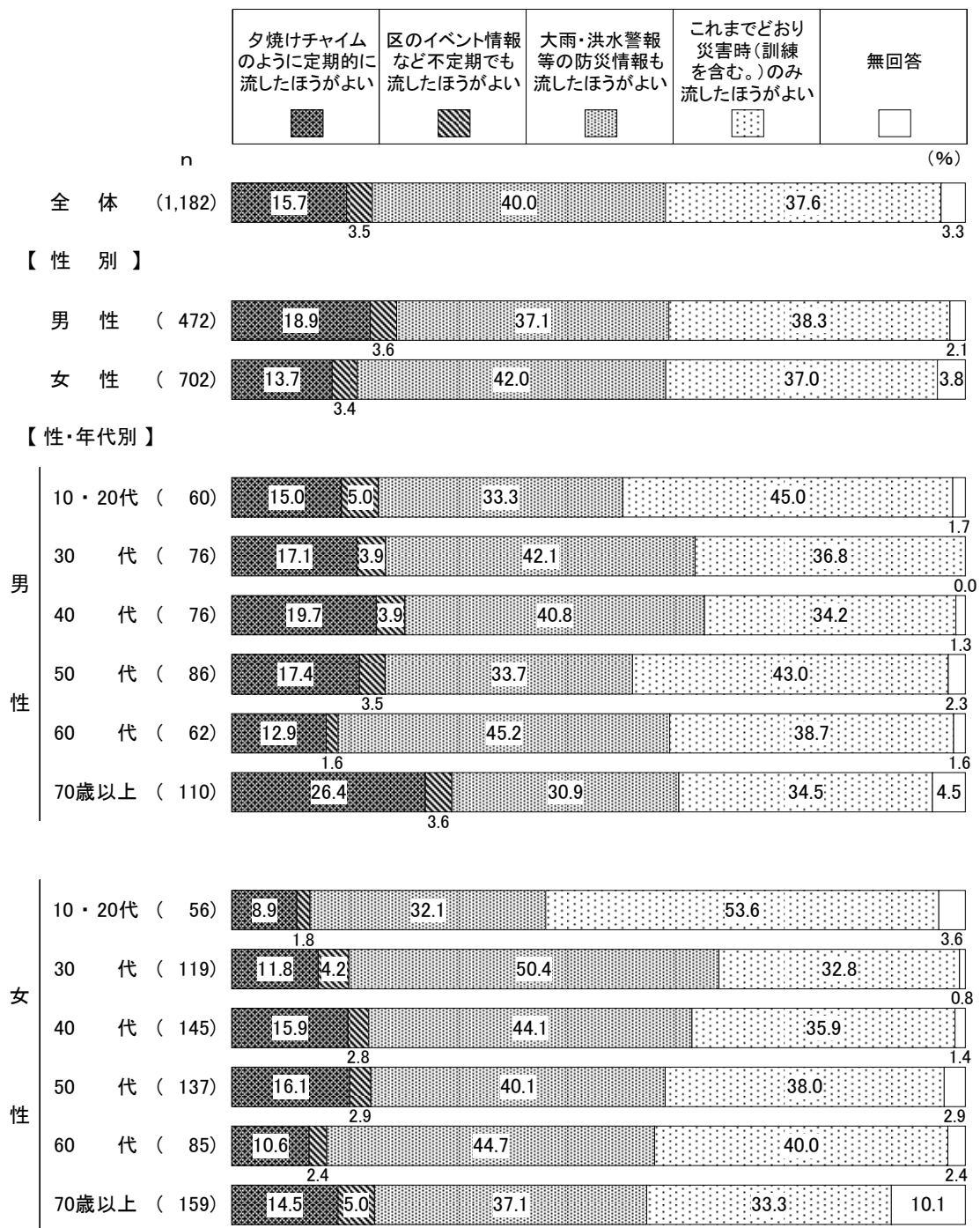
問18 区では、災害情報を広域的に伝達する目的で、「防災行政無線（屋外スピーカー）」を公園や区立学校等に設置しております。現在、防災行政無線は、緊急性を強調するため、訓練を除き災害時のみ使用していますが、その使用方法について、あなたが最も適切と思うものをお選びください。（○は1つ）

図4-5-1 防災行政無線の使用方法



防災行政無線の使用方法についてたずねたところ、「大雨・洪水警報等の防災情報も流したほうがよい」(40.0%)が4割で最も多く、次いで「これまでどおり災害時(訓練を含む。)のみ流したほうがよい」(37.6%)、「夕焼けチャイムのように定期的に流したほうがよい」(15.7%)、「区のイベント情報など不定期でも流したほうがよい」(3.5%)の順となっている。(図4-5-1)

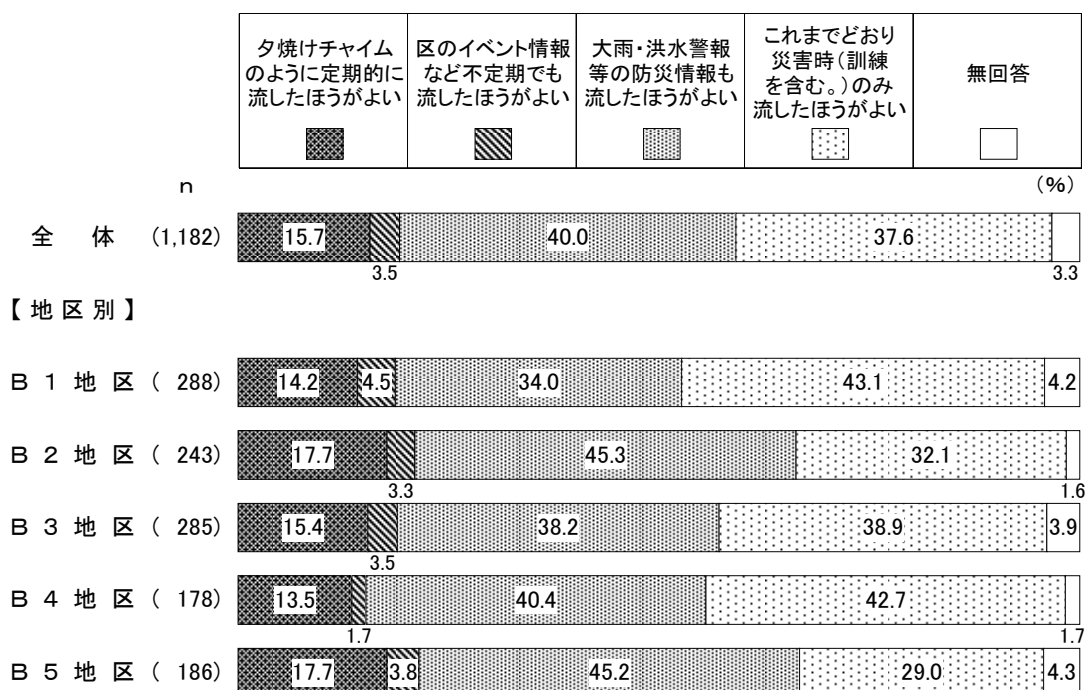
図4-5-2 防災行政無線の使用方法—性別／性・年代別



性別にみると、「夕焼けチャイムのように定期的に流したほうがよい」は男性の方が女性より5.2ポイント高くなっている。一方、「大雨・洪水警報等の防災情報も流したほうがよい」は女性の方が男性より4.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「夕焼けチャイムのように定期的に流したほうがよい」は男性70歳以上で2割半ばと多くなっている。「大雨・洪水警報等の防災情報も流したほうがよい」は女性30代で5割と多くなっている。「これまでどおり災害時(訓練を含む。)のみ流したほうがよい」は女性10・20代で5割を超えて多くなっている。(図4-5-2)

図 4-5-3 防災行政無線の使用方法—地区別



地区別にみると、「大雨・洪水警報等の防災情報も流したほうがよい」はB 2地区とB 5地区で4割半ばと多くなっている。「これまでどおり災害時(訓練を含む。)のみ流したほうがよい」はB 1地区とB 4地区で4割を超えて多くなっている。(図4-5-3)



## 5. まちづくり

- 
- 5-1 周辺地域のまち並み・景観に対する満足度
  - 5-2 自転車の安全利用対策
  - 5-3 みどりの啓発事業の認知度及び参加状況
  - 5-4 公園再整備事業により整備された公園の認知度及び利用状況
  - 5-5 区立公園や児童遊園の利用頻度
  - 5-6 公園の利用目的
  - 5-7 区内にあるとよいと思う公園
  - 5-8 「文京区公共の場所における喫煙等の禁止に関する条例」の認知度
-



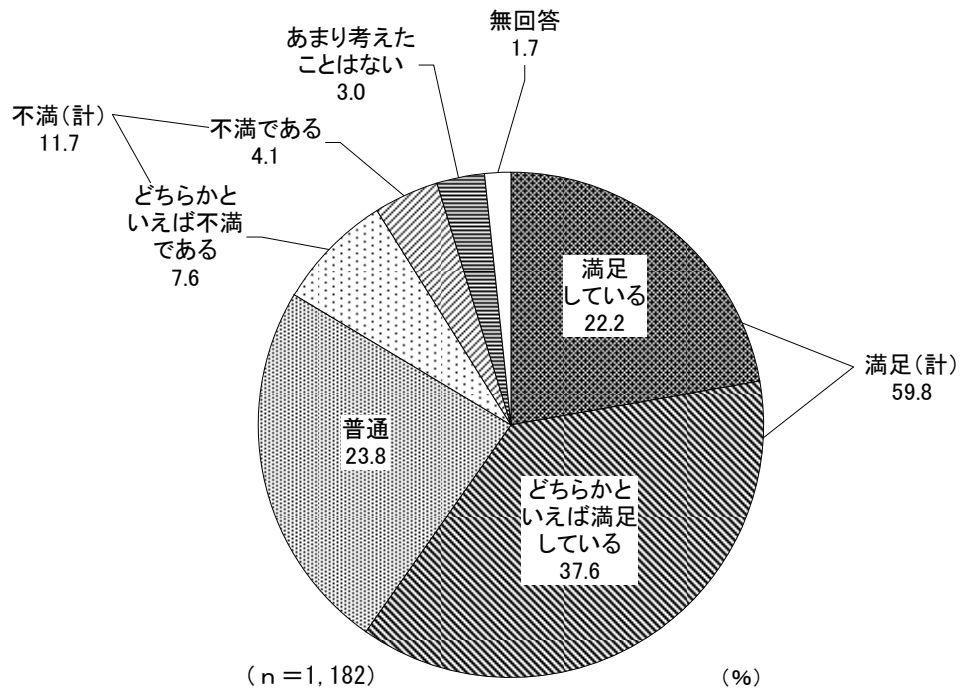


## 5. まちづくり

### 5-1 周辺地域のまち並み・景観に対する満足度

問19 あなたがお住まいの地域のまち並み・景観について、どのように感じますか。(○は1つ)

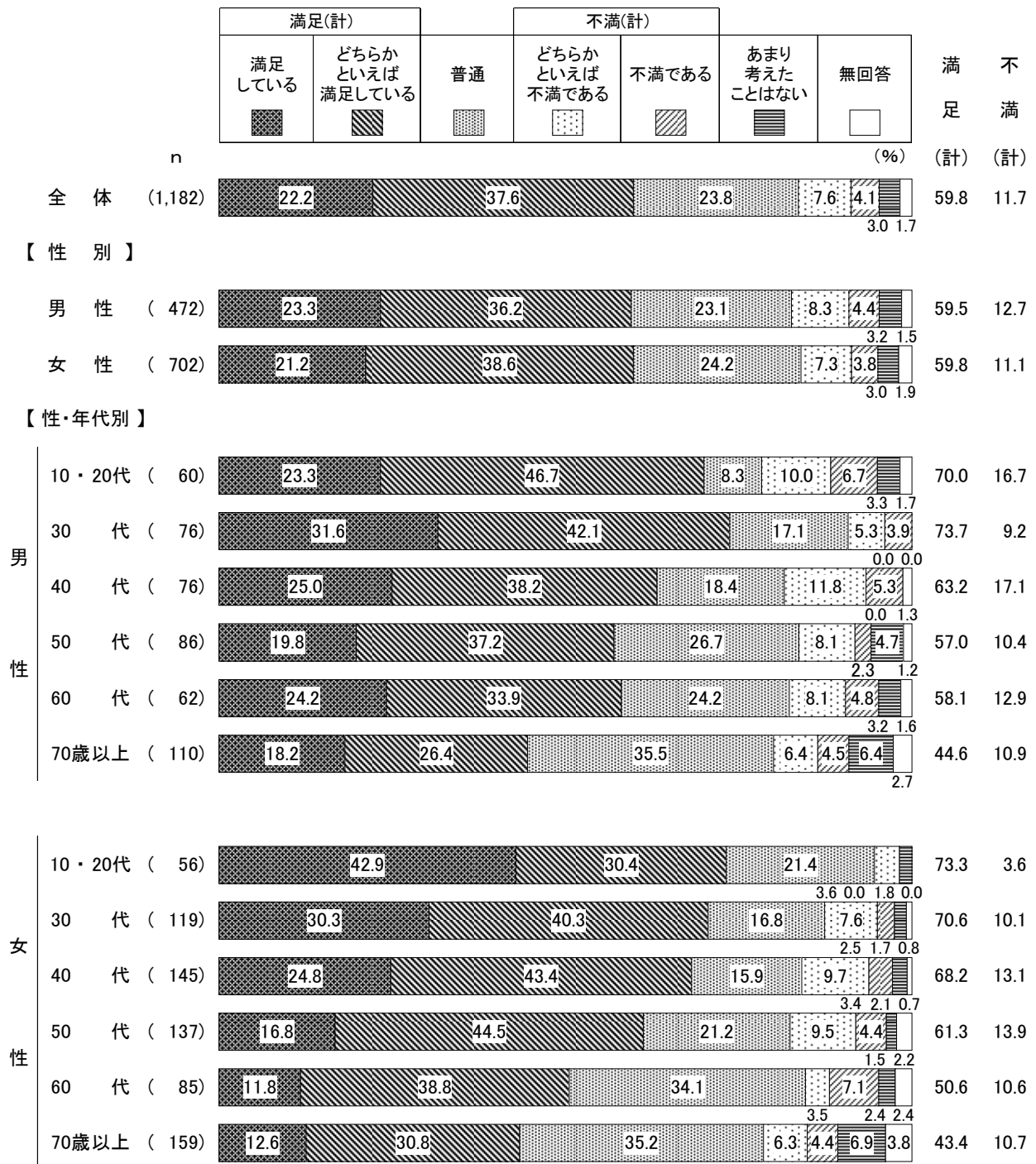
図5-1-1 周辺地域のまち並み・景観に対する満足度



周辺地域のまち並み・景観に対する満足度についてたずねたところ、「満足している」(22.2%)と「どちらかといえば満足している」(37.6%)を合わせた『満足(計)』(59.8%)が6割となっている。一方、「どちらかといえば不満である」(7.6%)と「不満である」(4.1%)を合わせた『不満(計)』(11.7%)は1割を超えている。また、「普通」(23.8%)は2割を超えている。

(図5-1-1)

図5-1-2 周辺地域のまち並み・景観に対する満足度—性別／性・年代別

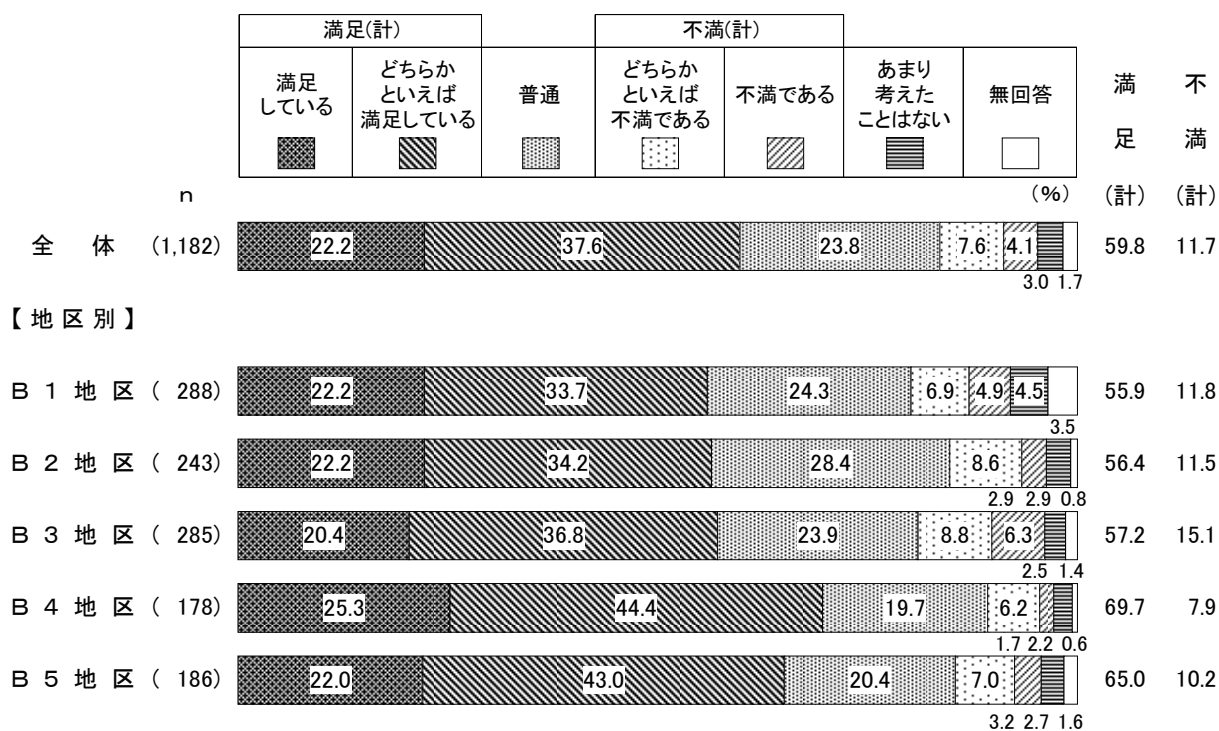


性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、『満足(計)』は男女ともに30代以下の年代で7割台と多くなっている。

(図5-1-2)

図5-1-3 周辺地域のまち並み・景観に対する満足度—地区別



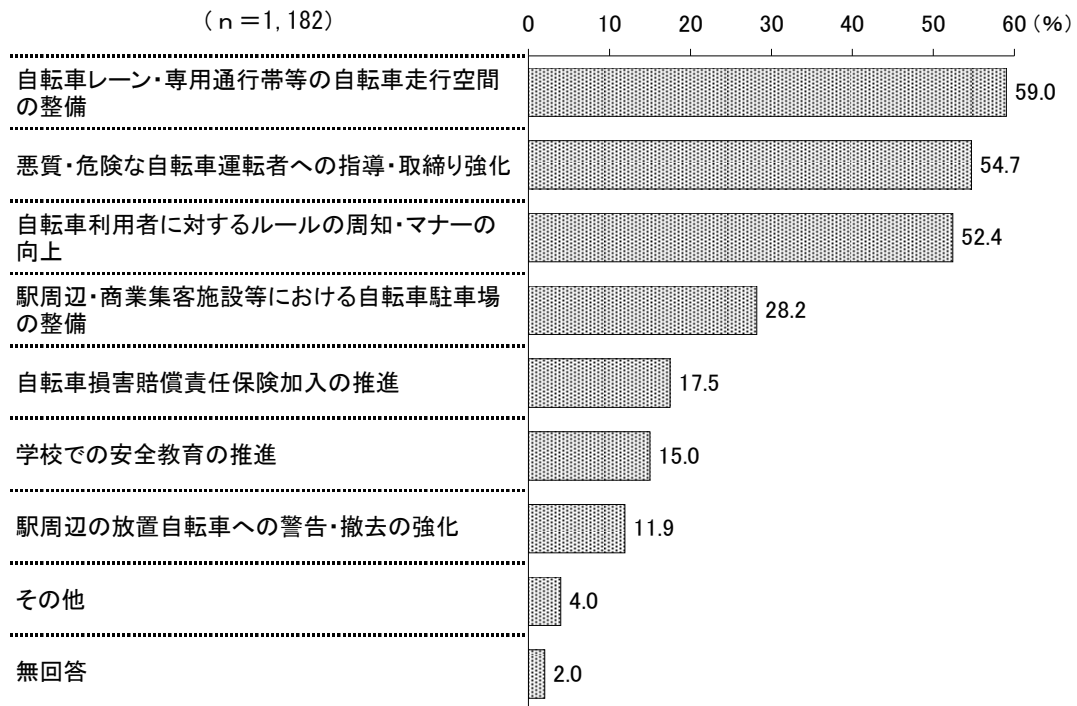
地区別にみると、『満足 (計)』はB 4 地区で7割、B 5 地区で6割半ばと多くなっている。

(図5-1-3)

## 5-2 自転車の安全利用対策

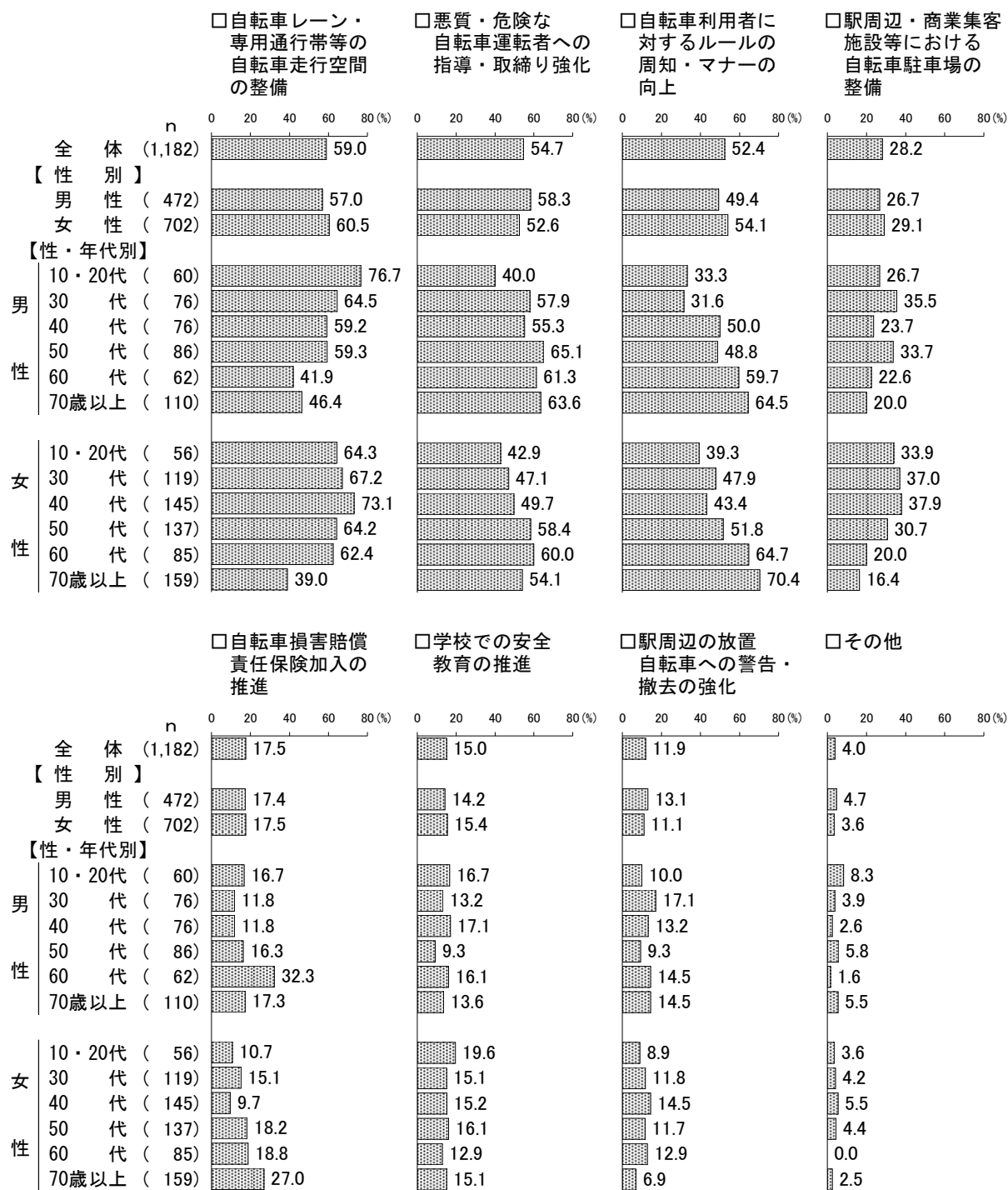
問20 自転車の安全利用推進のために、重点を置くべきと思う施策について、3つ以内で選びください。(〇は3つまで)

図5-2-1 自転車の安全利用対策



自転車の安全利用推進のために、重点を置くべきと思う施策についてたずねたところ、「自転車レーン・専用通行帯等の自転車走行空間の整備」(59.0%)が約6割で最も多く、次いで「悪質・危険な自転車運転者への指導・取締り強化」(54.7%)、「自転車利用者に対するルールの周知・マナーの向上」(52.4%)、「駅周辺・商業集客施設等における自転車駐車場の整備」(28.2%)などの順となっている。(図5-2-1)

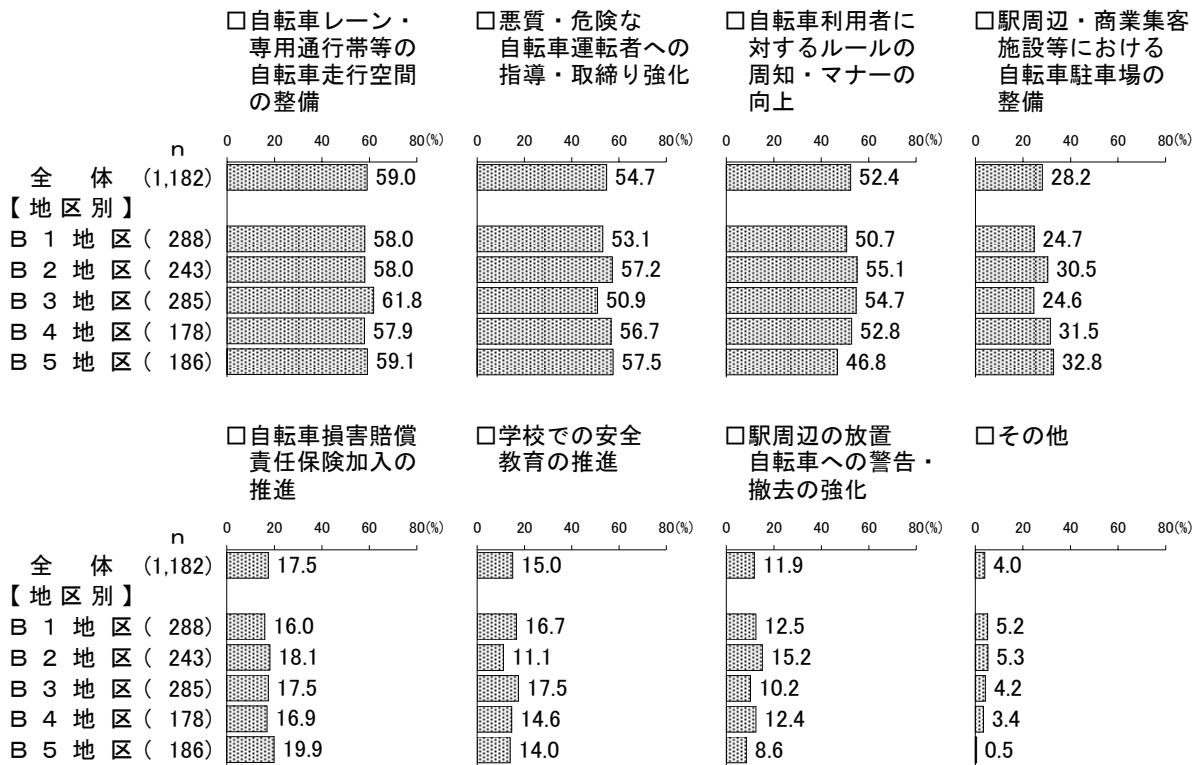
図5-2-2 自転車の安全利用対策－性別／性・年代別



性別にみると、「悪質・危険な自転車運転者への指導・取締り強化」は男性の方が女性より5.7ポイント高くなっている。一方、「自転車利用者に対するルールへの周知・マナーの向上」は女性の方が男性より4.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「自転車レーン・専用通行帯等の自転車走行空間の整備」は男性10・20代で8割近くと多くなっている。「悪質・危険な自転車運転者への指導・取締り強化」は男性50代で6割半ばと多くなっている。「自転車利用者に対するルールへの周知・マナーの向上」は女性70歳以上で7割と多くなっている。(図5-2-2)

図 5-2-3 自転車の安全利用対策—地区別



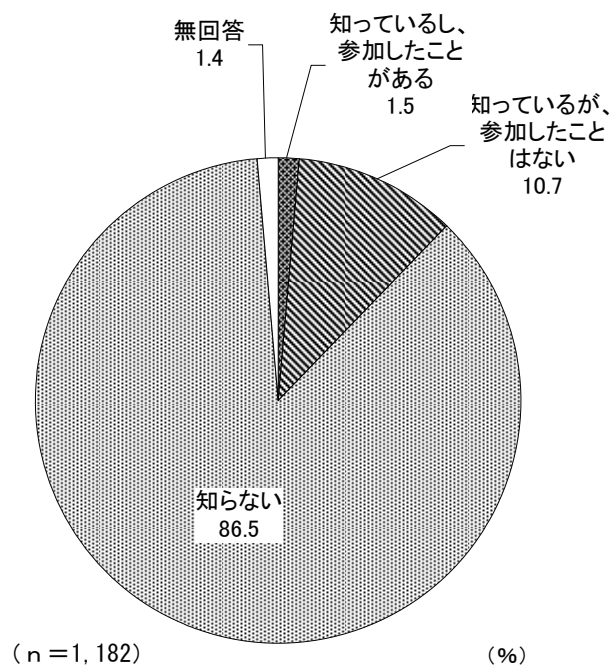
地区別にみると、「自転車レーン・専用通行帯等の自転車走行空間の整備」はB 3 地区で6割を超えて多くなっている。「自転車利用者に対するルールの周知・マナーの向上」はB 2 地区とB 3 地区で5割半ばと多くなっている。(図 5-2-3)

### 5-3 みどりの啓発事業の認知度及び参加状況

問21 みどりに関する啓発事業（自然散策会やガーデナー制度等）を知っていますか。

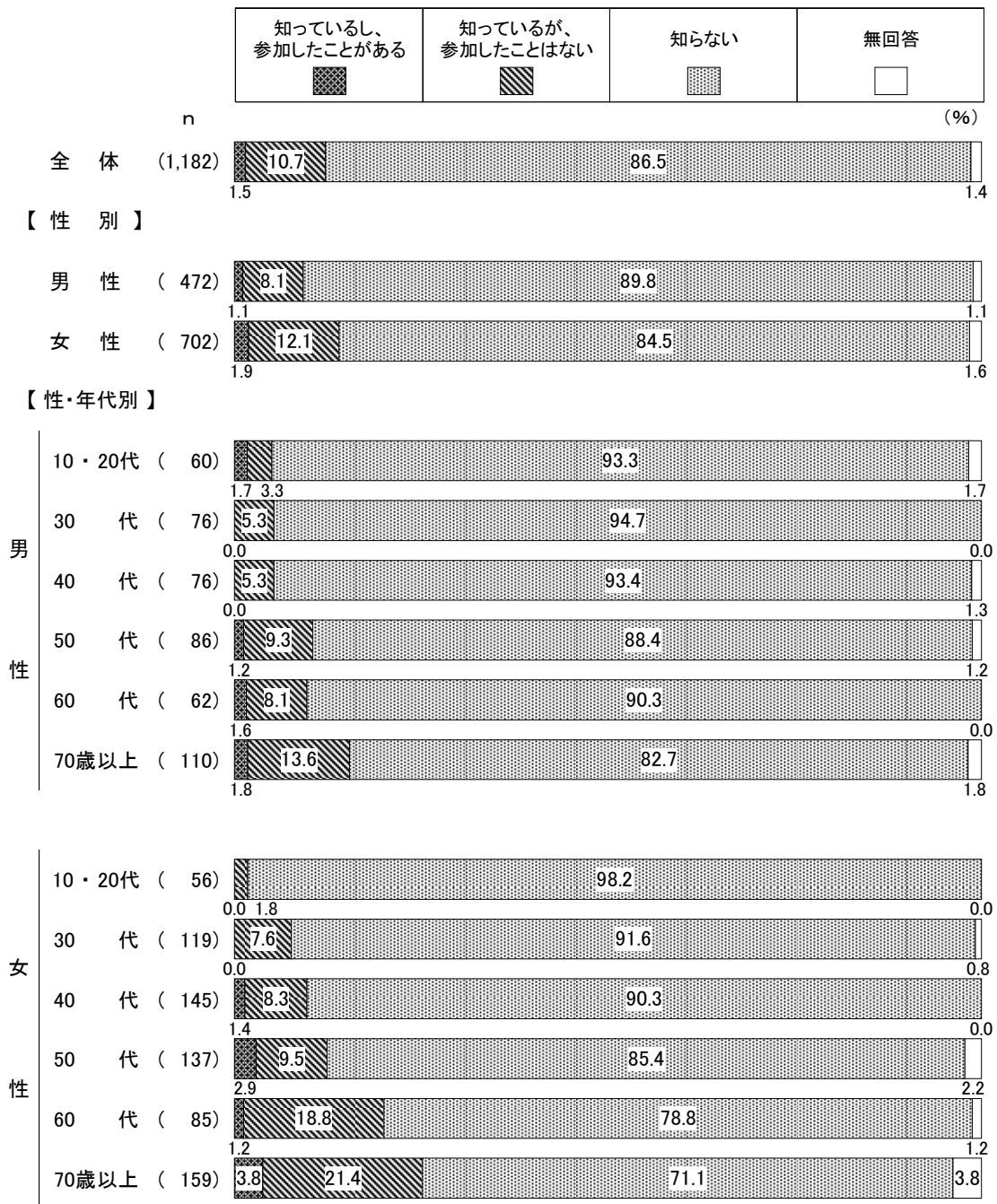
（○は1つ）

図5-3-1 みどりの啓発事業の認知度及び参加状況



みどりの啓発事業の認知度及び参加状況についてたずねたところ、「知っているし、参加したことがある」(1.5%)は1割未満、「知っているが、参加したことはない」(10.7%)は約1割となっている。一方、「知らない」(86.5%)は9割近くとなっている。(図5-3-1)

図5-3-2 みどりの啓発事業の認知度及び参加状況－性別／性・年代別

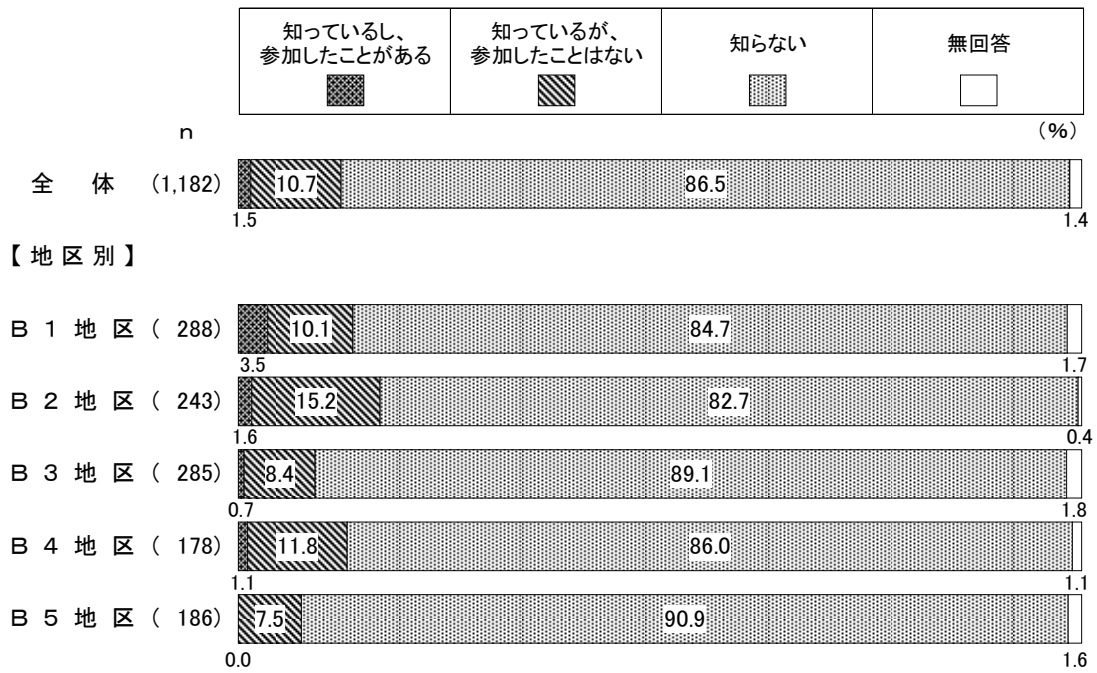


性別にみると、「知っているが、参加したことはない」は女性の方が男性より4.0ポイント高くなっている。一方、「知らない」は男性の方が女性より5.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「知っているが、参加したことはない」は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合が高く、女性70歳以上で2割を超えている。一方、「知らない」は女性10・20代で10割近くと多くなっている。(図5-3-2)



図5-3-3 みどりの啓発事業の認知度及び参加状況—地区別

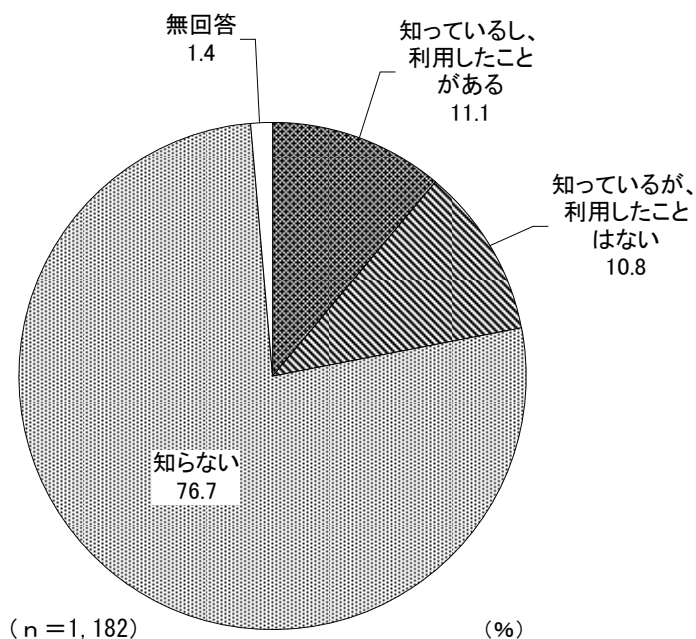


地区別にみると、「知らない」はB 3地区とB 5地区で約9割と多くなっている。(図5-3-3)

#### 5-4 公園再整備事業により整備された公園の認知度及び利用状況

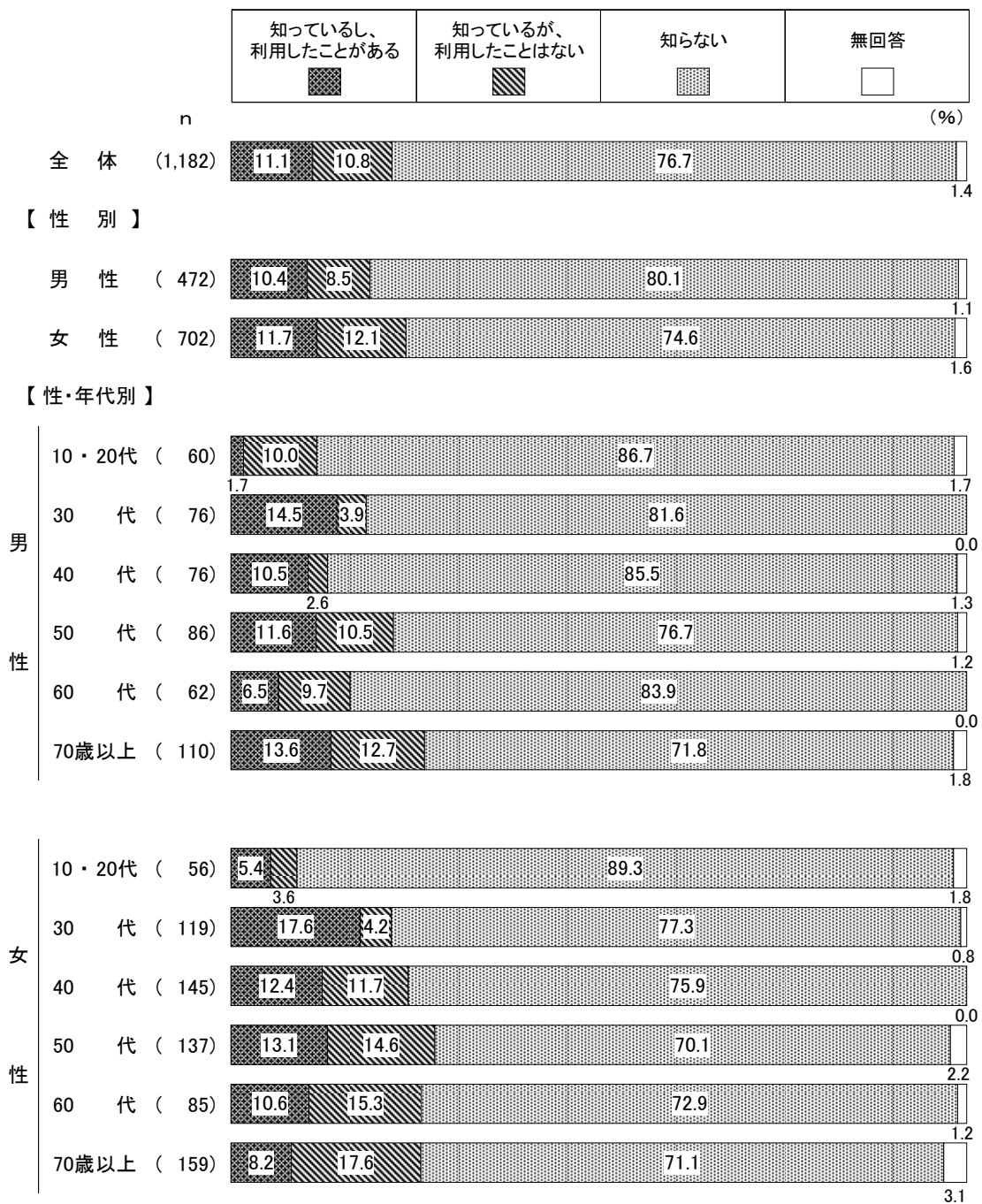
問22 公園再整備事業により整備された公園を知っていますか。また、利用したことがありますか。(○は1つ)

図5-4-1 公園再整備事業により整備された公園の認知度及び利用状況



公園再整備事業により整備された公園の認知度及び利用状況についてたずねたところ、「知っているし、利用したことがある」(11.1%)は1割を超え、「知っているが、利用したことはない」(10.8%)は約1割となっている。一方、「知らない」(76.7%)は8割近くとなっている。(図5-4-1)

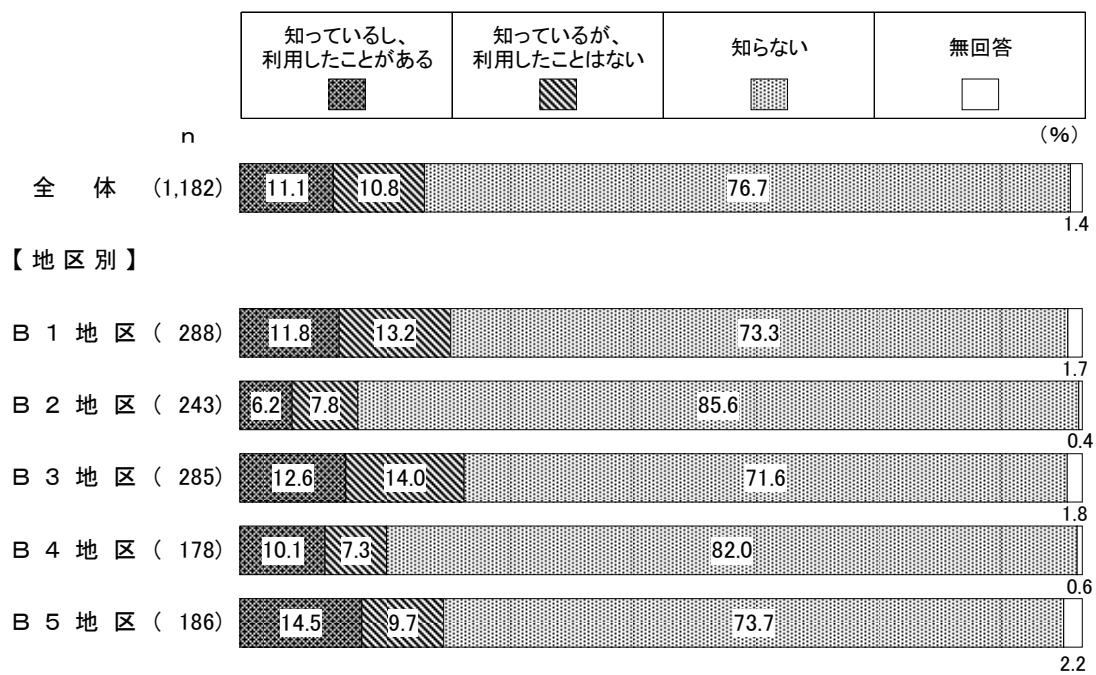
図5-4-2 公園再整備事業により整備された公園の認知度及び利用状況－性別／性・年代別



性別にみると、「知っているが、利用したことはない」は女性の方が男性より3.6ポイント高くなっている。一方、「知らない」は男性の方が女性より5.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「知っているし、利用したことがある」は女性30代で2割近くとなっている。「知っているが、利用したことはない」は女性70歳以上で2割近くとなっている。「知らない」は女性10・20代で約9割と多くなっている。(図5-4-2)

図5-4-3 公園再整備事業により整備された公園の認知度及び利用状況—地区別

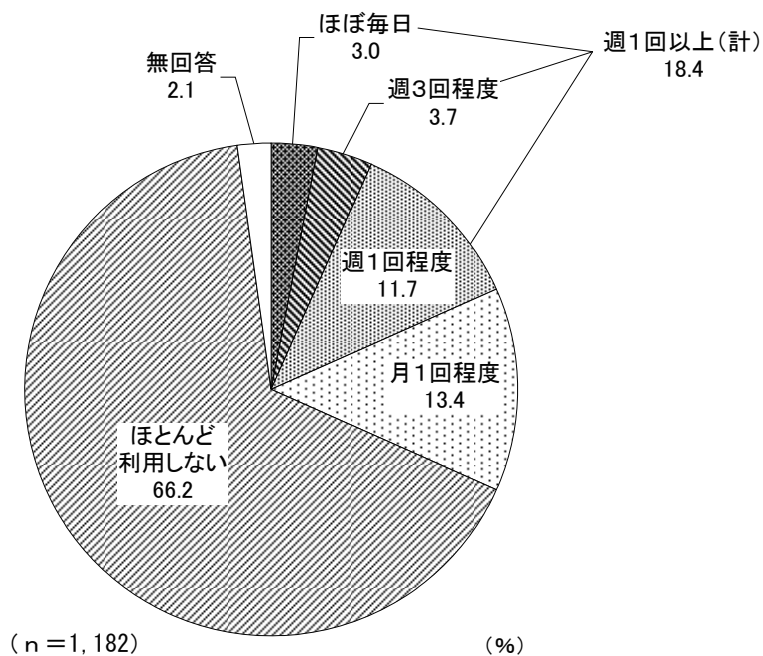


地区別にみると、「知らない」はB2地区で8割半ばと多くなっている。(図5-4-3)

## 5-5 区立公園や児童遊園の利用頻度

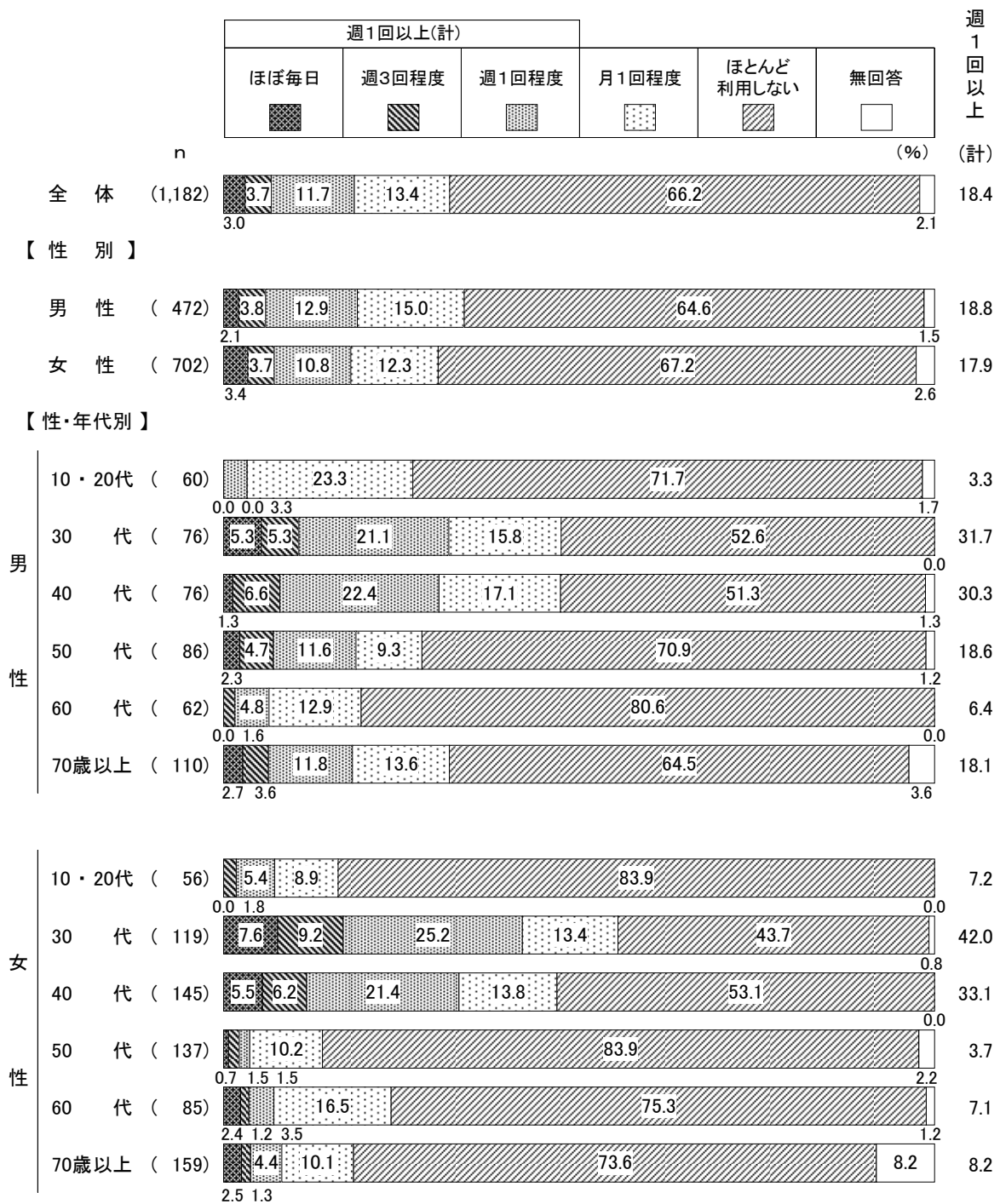
問23 日頃、区立公園や児童遊園などをどの程度利用していますか。(○は1つ)

図5-5-1 区立公園や児童遊園の利用頻度



区立公園や児童遊園の利用頻度についてたずねたところ、「ほぼ毎日」(3.0%)、「週3回程度」(3.7%)、「週1回程度」(11.7%)を合わせた『週1回以上(計)』(18.4%)が2割近くとなっている。一方、「月1回程度」(13.4%)は1割を超え、「ほとんど利用しない」(66.2%)は6割半ばとなっている。(図5-5-1)

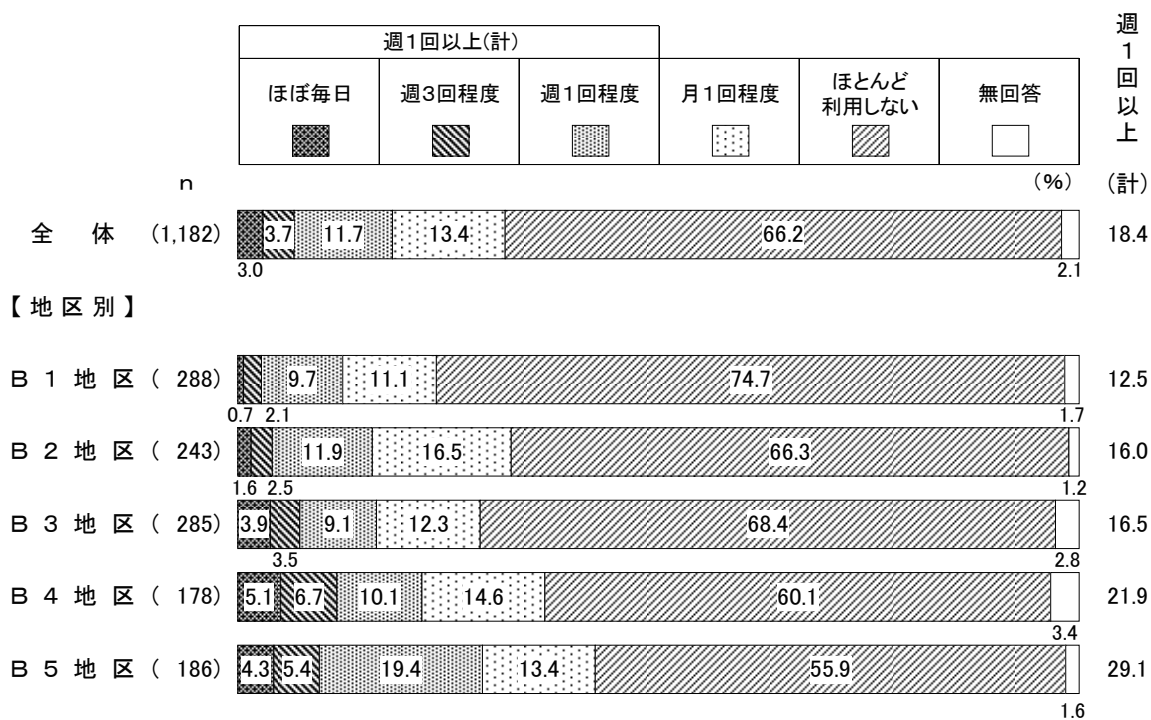
図5-5-2 区立公園や児童遊園の利用頻度－性別／性・年代別



性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、『週1回以上(計)』は女性30代で4割を超えて多くなっている。一方、「ほとんど利用しない」は女性の10・20代と50代で8割を超えて多くなっている。(図5-5-2)

図5-5-3 区立公園や児童遊園の利用頻度—地区別



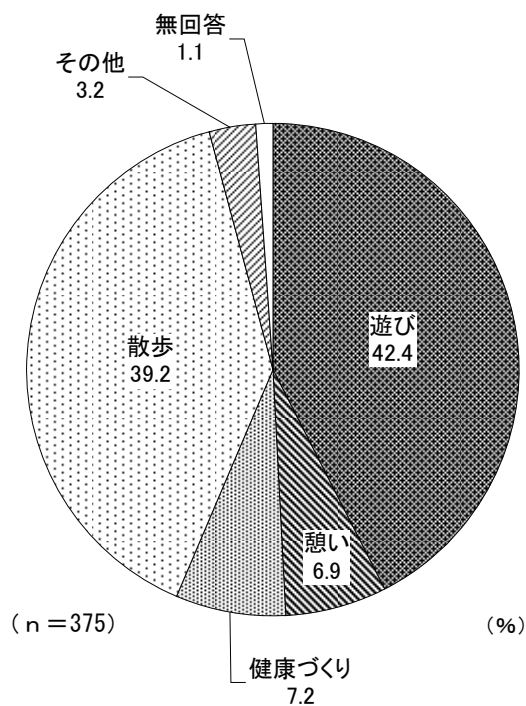
地区別にみると、『週1回以上(計)』はB5地区で約3割と多くなっている。一方、「ほとんど利用しない」はB1地区で7割半ばと多くなっている。(図5-5-3)

## 5-6 公園の利用目的

【問23で「ほぼ毎日」「週3回程度」「週1回程度」「月1回程度」と回答した方に】

問23-1 主に公園に何をしに行きますか。(○は1つ)

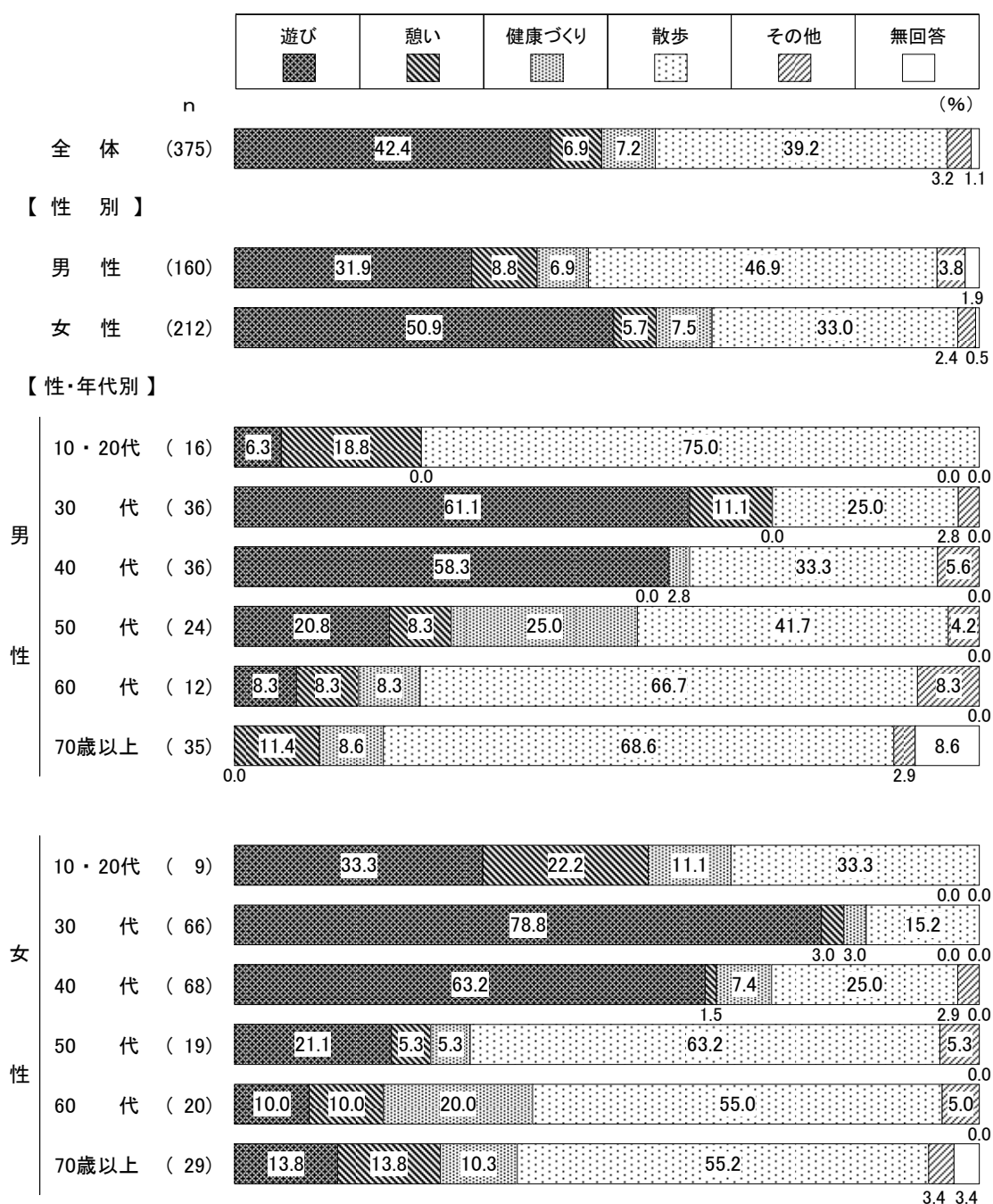
図5-6-1 公園の利用目的



区立公園や児童遊園などを「利用している」と答えた方(375人)に、公園の利用目的についてたずねたところ、「遊び」(42.4%)が4割を超えて最も多く、次いで「散歩」(39.2%)、「健康づくり」(7.2%)、「憩い」(6.9%)などの順となっている。(図5-6-1)



図5-6-2 公園の利用目的—性別／性・年代別



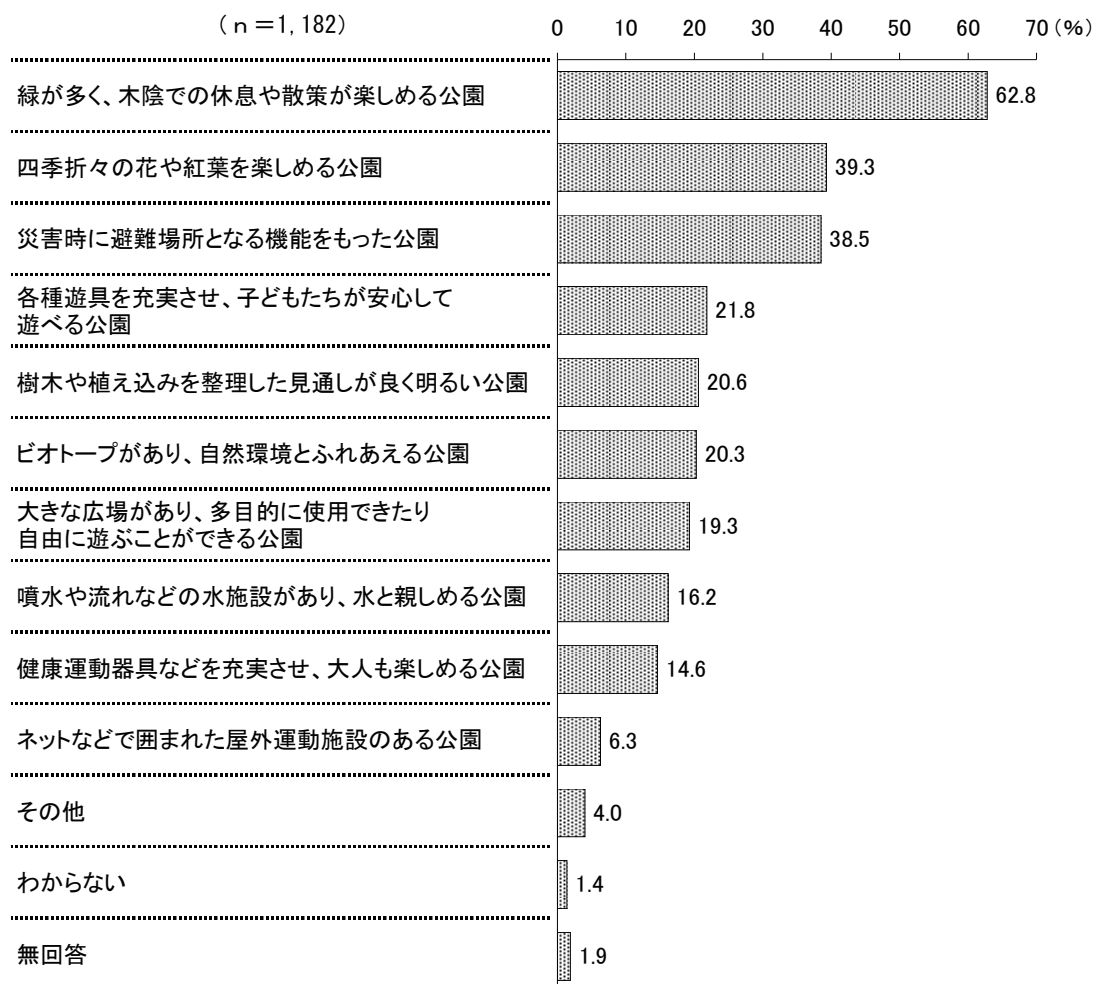
性別にみると、「遊び」は女性の方が男性より19.0ポイント高くなっている。一方、「散歩」は男性の方が女性より13.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「遊び」は女性30代で8割近く、女性40代と男性30代で6割を超えて多くなっている。「健康づくり」は男性50代で2割半ばと多くなっている。「散歩」は男性70歳以上で7割近くと多くなっている。(図5-6-2)

## 5-7 区内にあるとよいと思う公園

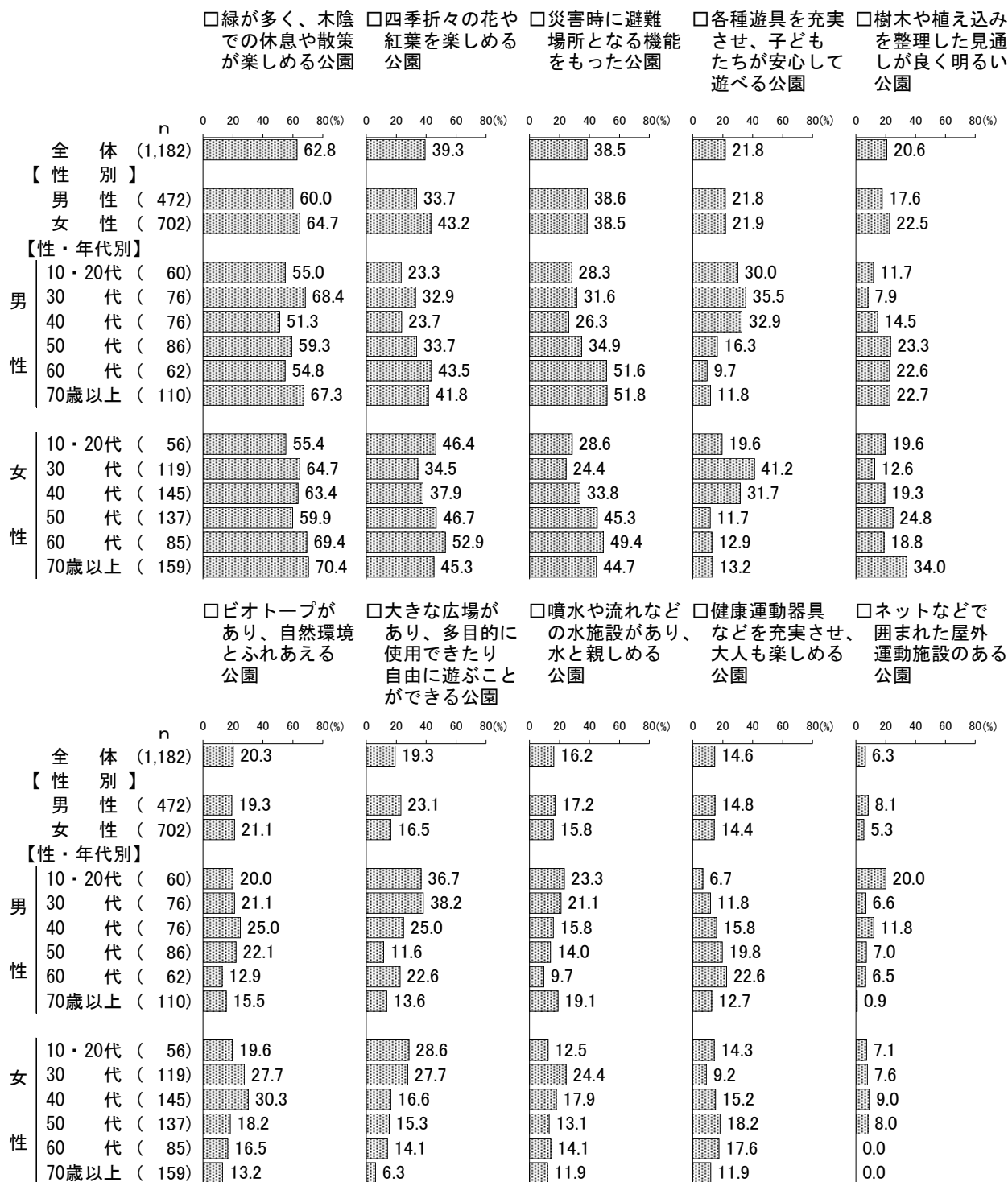
問24 あなたは、どのような公園があるとよいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つ以内でお選びください。(〇は3つまで)

図5-7-1 区内にあるとよいと思う公園



区内にあるとよいと思う公園についてたずねたところ、「緑が多く、木陰での休息や散策が楽しめる公園」(62.8%)が6割を超えて最も多く、次いで「四季折々の花や紅葉を楽しめる公園」(39.3%)、「災害時に避難場所となる機能をもった公園」(38.5%)、「各種遊具を充実させ、子どもたちが安心して遊べる公園」(21.8%)などの順となっている。(図5-7-1)

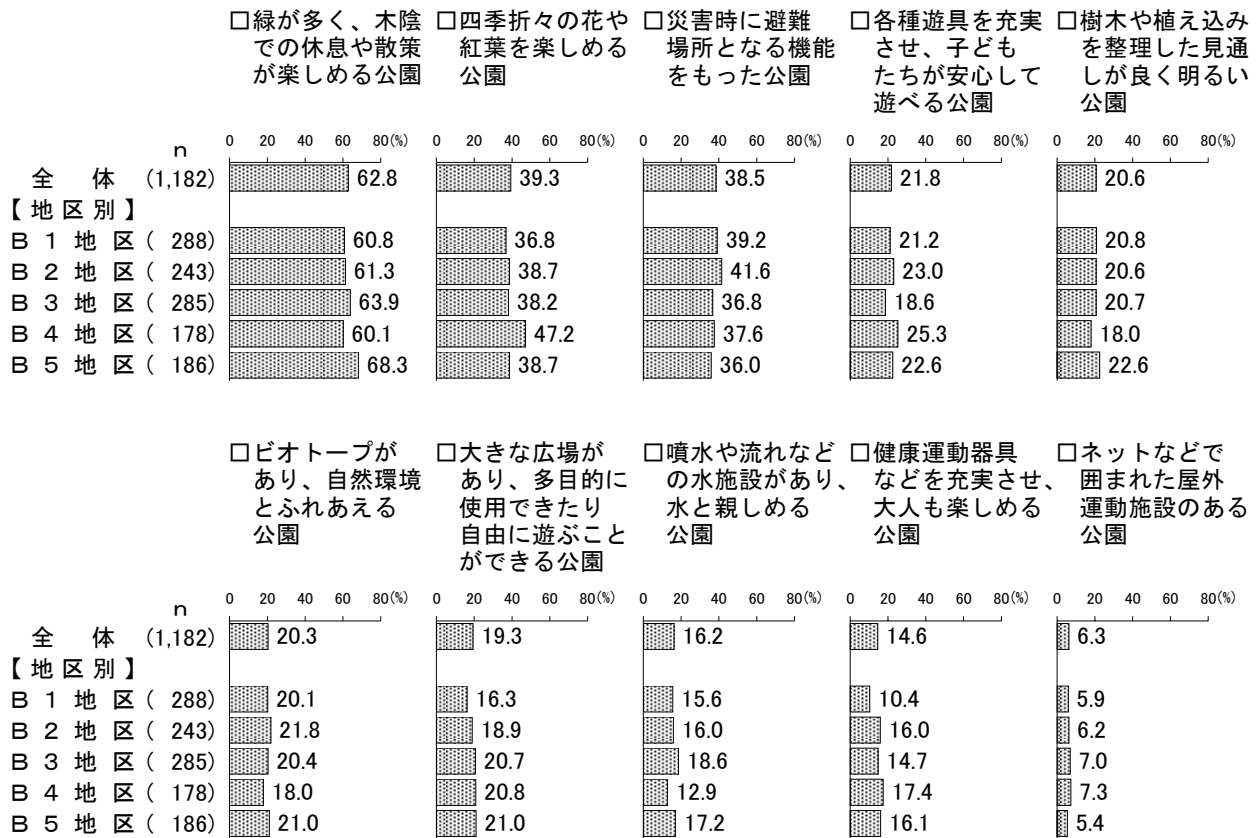
図5-7-2 区内にあるとよいと思う公園—性別／性・年代別（上位10項目）



上位10項目を性別にみると、「四季折々の花や紅葉を楽しめる公園」は女性の方が男性より9.5ポイント高くなっている。一方、「大きな広場があり、多目的に使用できたり自由に遊ぶことができる公園」は男性の方が女性より6.6ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「緑が多く、木陰での休息や散策が楽しめる公園」は女性の60代と70歳以上で約7割と多くなっている。「四季折々の花や紅葉を楽しめる公園」は女性60代で5割を超えて多くなっている。「災害時に避難場所となる機能をもった公園」は男性の60代と70歳以上で5割を超えて多くなっている。(図5-7-2)

図5-7-3 区内にあるとよいと思う公園—地区別（上位10項目）



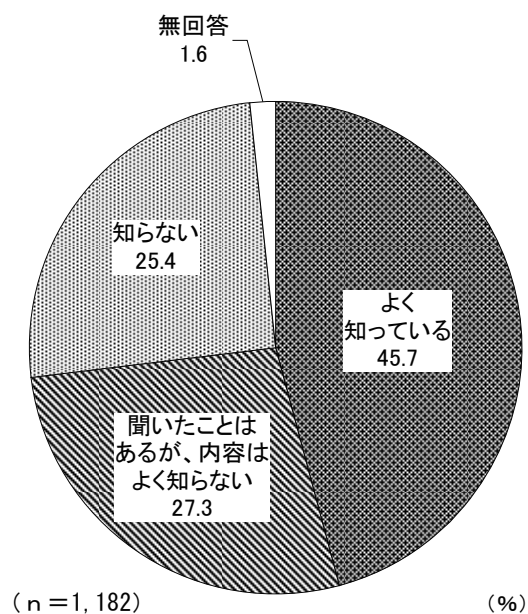
上位10項目を地区別にみると、「緑が多く、木陰での休息や散策が楽しめる公園」はB5地区で7割近くと多くなっている。「四季折々の花や紅葉を楽しめる公園」はB4地区で5割近くと多くなっている。「災害時に避難場所となる機能をもった公園」はB2地区で4割を超えて多くなっている。

(図5-7-3)

## 5-8 「文京区公共の場所における喫煙等の禁止に関する条例」の認知度

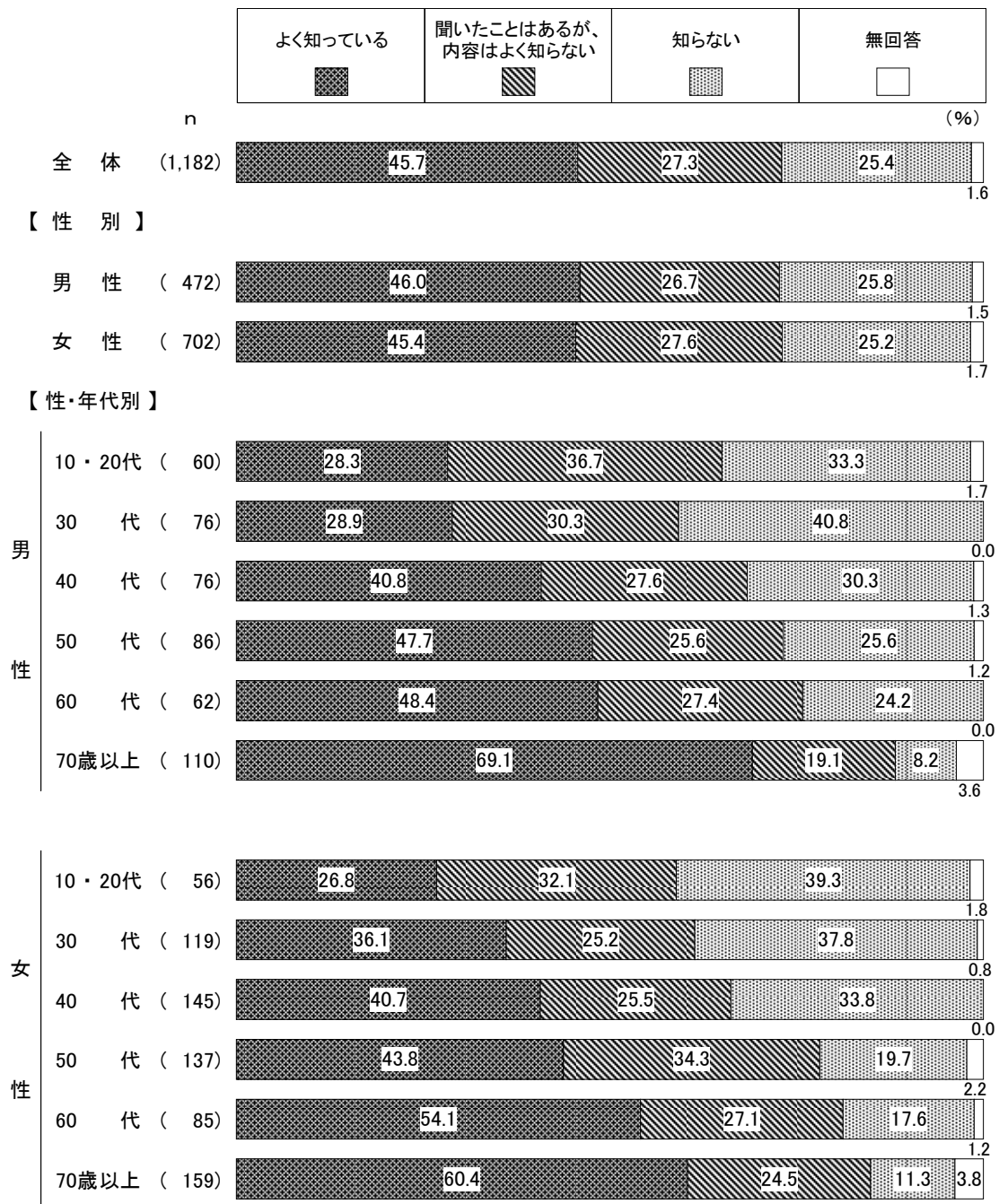
問25 令和2年7月から「文京区公共の場所における喫煙等の禁止に関する条例」が施行され、区内全域の道路や公園など、屋外の公共の場所での喫煙・ポイ捨てが禁止となりました。このことを知っていますか。(○は1つ)

図5-8-1 「文京区公共の場所における喫煙等の禁止に関する条例」の認知度



「文京区公共の場所における喫煙等の禁止に関する条例」の認知度についてたずねたところ、「よく知っている」(45.7%)が4割半ば、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(27.3%)は3割近くとなっている。一方、「知らない」(25.4%)は2割半ばとなっている。(図5-8-1)

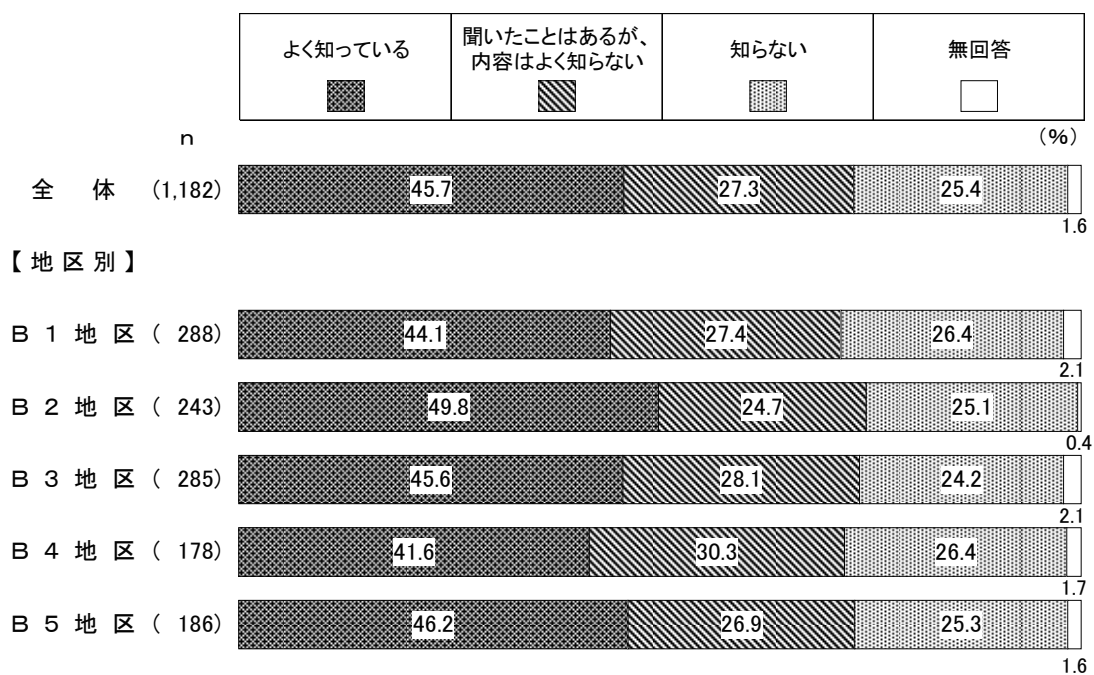
図5-8-2 「文京区公共の場所における喫煙等の禁止に関する条例」の認知度—性別／性・年代別



性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、「よく知っている」は男女ともに年代が上がるほど割合が高く、男性70歳以上で約7割、女性70歳以上で6割となっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は男性10・20代で4割近くと多くなっている。「知らない」は男性30代と女性10・20代で約4割と多くなっている。(図5-8-2)

図5-8-3 「文京区公共の場所における喫煙等の禁止に関する条例」の認知度—地区別



地区別にみると、「よく知っている」はB 2地区で5割と多くなっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」はB 4地区で3割と多くなっている。(図5-8-3)





## 6. 子育て・教育

- 
- 6-1 子どもへの体罰が法律で禁止されたことの認知度
  - 6-2 「児童相談所虐待対応ダイヤル189（いちはやく）」の認知度
  - 6-3 青少年健全育成に関して地域の大人たちが行うべきこと
  - 6-4 学校支援活動の今後の協力意向
-



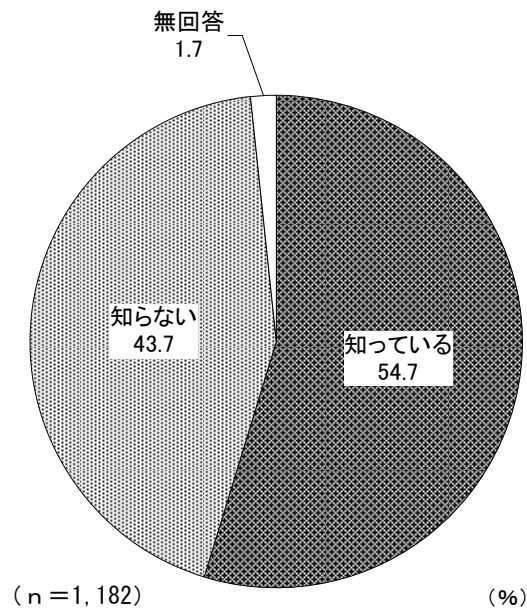
## 6. 子育て・教育

### 6-1 子どもへの体罰が法律で禁止されたことの認知度

問26 令和2年4月から、子どもへの体罰が法律で禁止されたことを知っていますか。

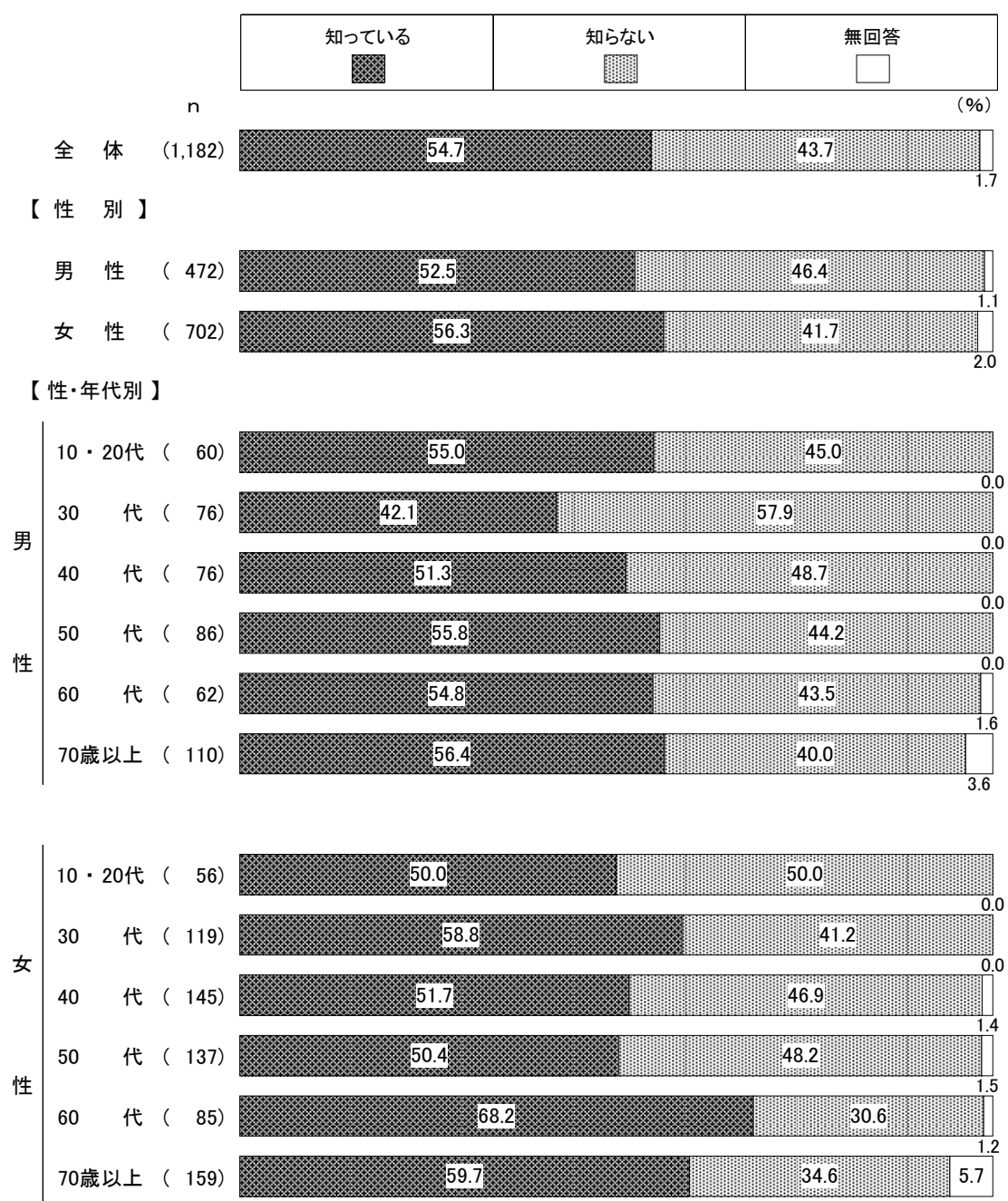
(○は1つ)

図6-1-1 子どもへの体罰が法律で禁止されたことの認知度



子どもへの体罰が法律で禁止されたことの認知度についてたずねたところ、「知っている」(54.7%)が5割半ば、「知らない」(43.7%)は4割を超えている。(図6-1-1)

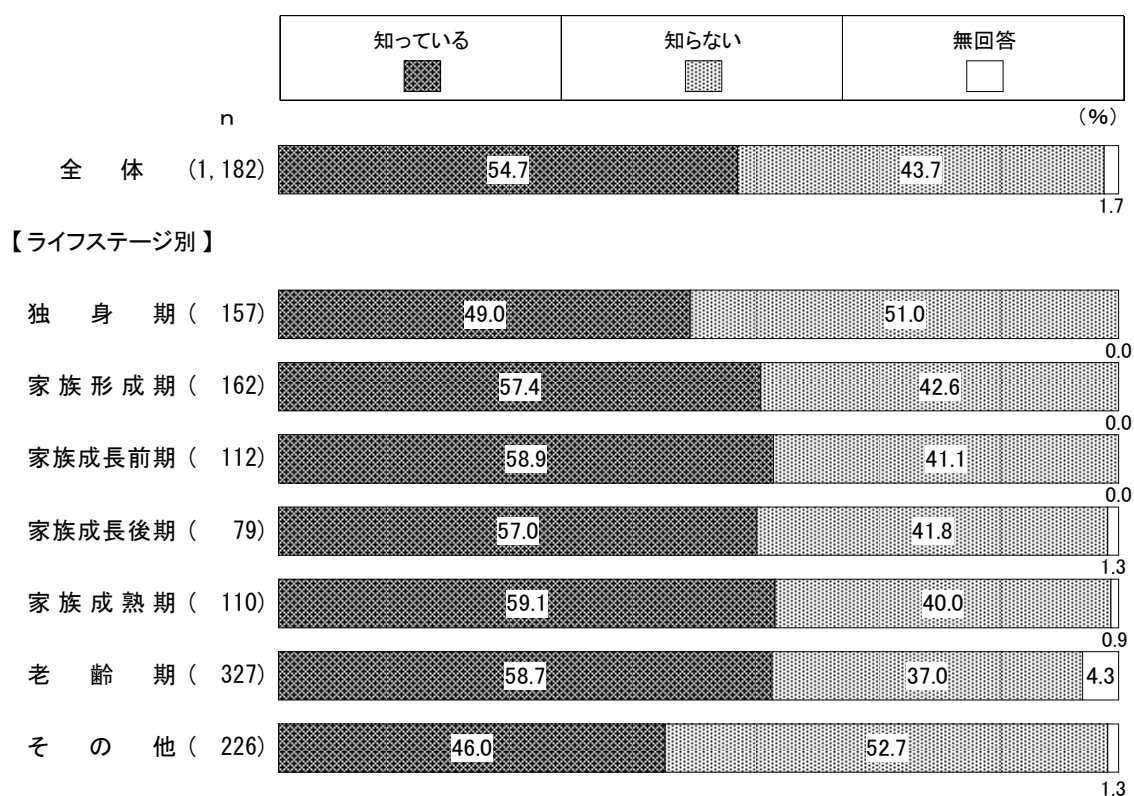
図6-1-2 子どもへの体罰が法律で禁止されたことの認知度—性別／性・年代別



性別にみると、「知っている」は女性の方が男性より3.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「知っている」は女性60代で7割近くと多くなっている。一方、「知らない」は男性30代で6割近くと多くなっている。(図6-1-2)

図6-1-3 子どもへの体罰が法律で禁止されたことの認知度—ライフステージ別

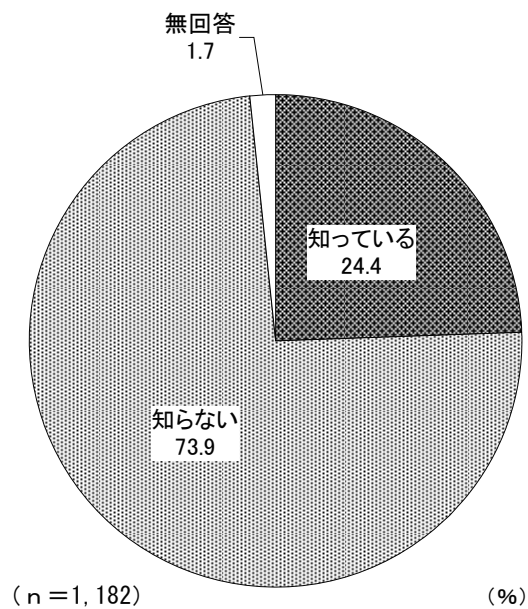


ライフステージ別にみると、「知っている」は家族成熟期で約6割と多くなっている。一方、「知らない」はその他と独身期で5割を超えて多くなっている。(図6-1-3)

## 6-2 「児童相談所虐待対応ダイヤル189（いちはやく）」の認知度

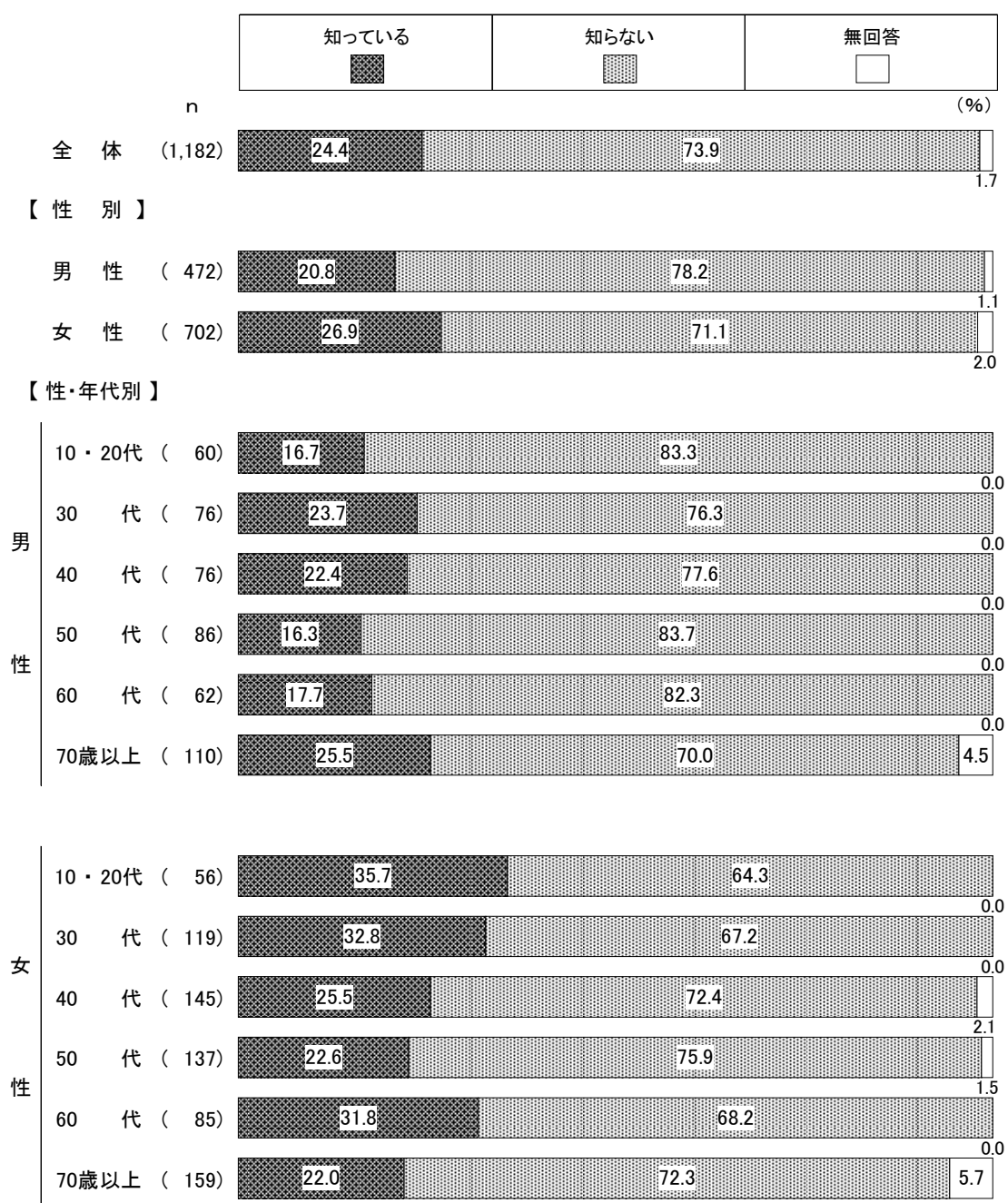
問27 児童虐待が疑われるときの通報先「児童相談所虐待対応ダイヤル189（いちはやく）」を知っていますか。（○は1つ）

図6-2-1 「児童相談所虐待対応ダイヤル189（いちはやく）」の認知度



「児童相談所虐待対応ダイヤル189（いちはやく）」の認知度についてたずねたところ、「知っている」（24.4%）が2割半ば、「知らない」（73.9%）は7割を超えている。（図6-2-1）

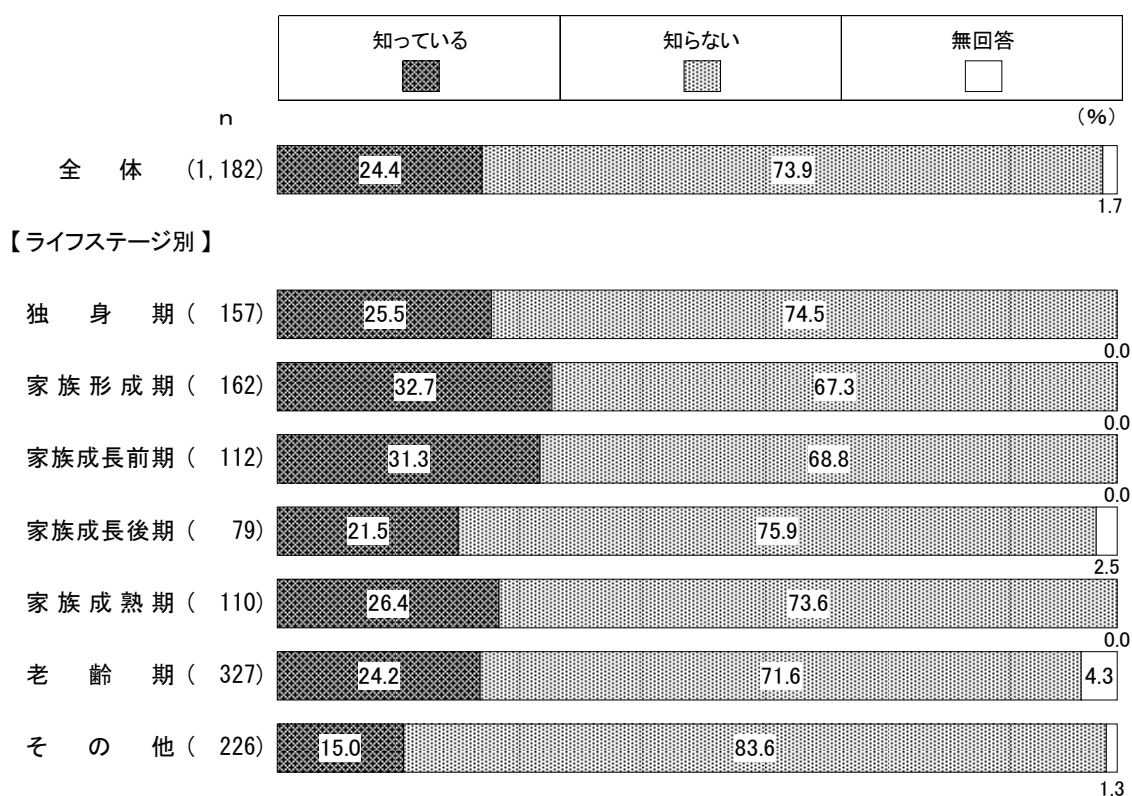
図6-2-2 「児童相談所虐待対応ダイヤル189（いちはやく）」の認知度—性別／性・年代別



性別にみると、「知っている」は女性の方が男性より6.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「知っている」は女性10・20代で3割半ばと多くなっている。一方、「知らない」は男性の10・20代、50代、60代で8割を超えて多くなっている。(図6-2-2)

図6-2-3 「児童相談所虐待対応ダイヤル189（いちはやく）」の認知度－ライフステージ別



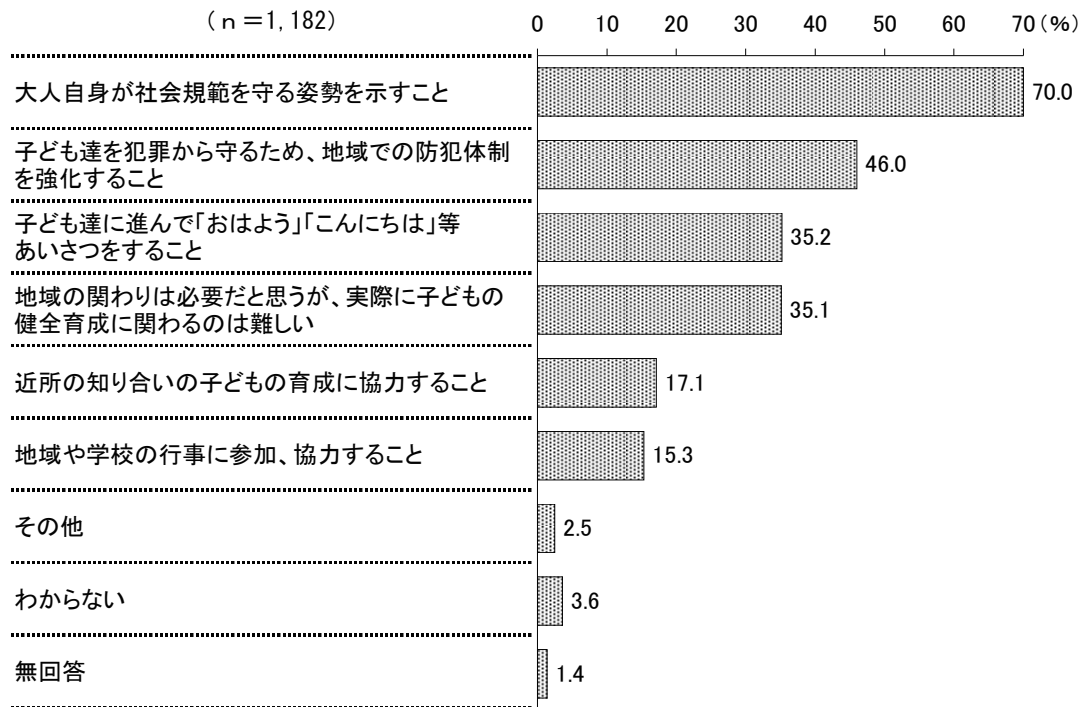
ライフステージ別にみると、「知っている」は家族形成期と家族成長前期で3割を超えて多くなっている。一方、「知らない」はその他で8割を超え、家族成長後期と独身期で7割半ばと多くなっている。(図6-2-3)



### 6-3 青少年健全育成に関して地域の大人たちが行うべきこと

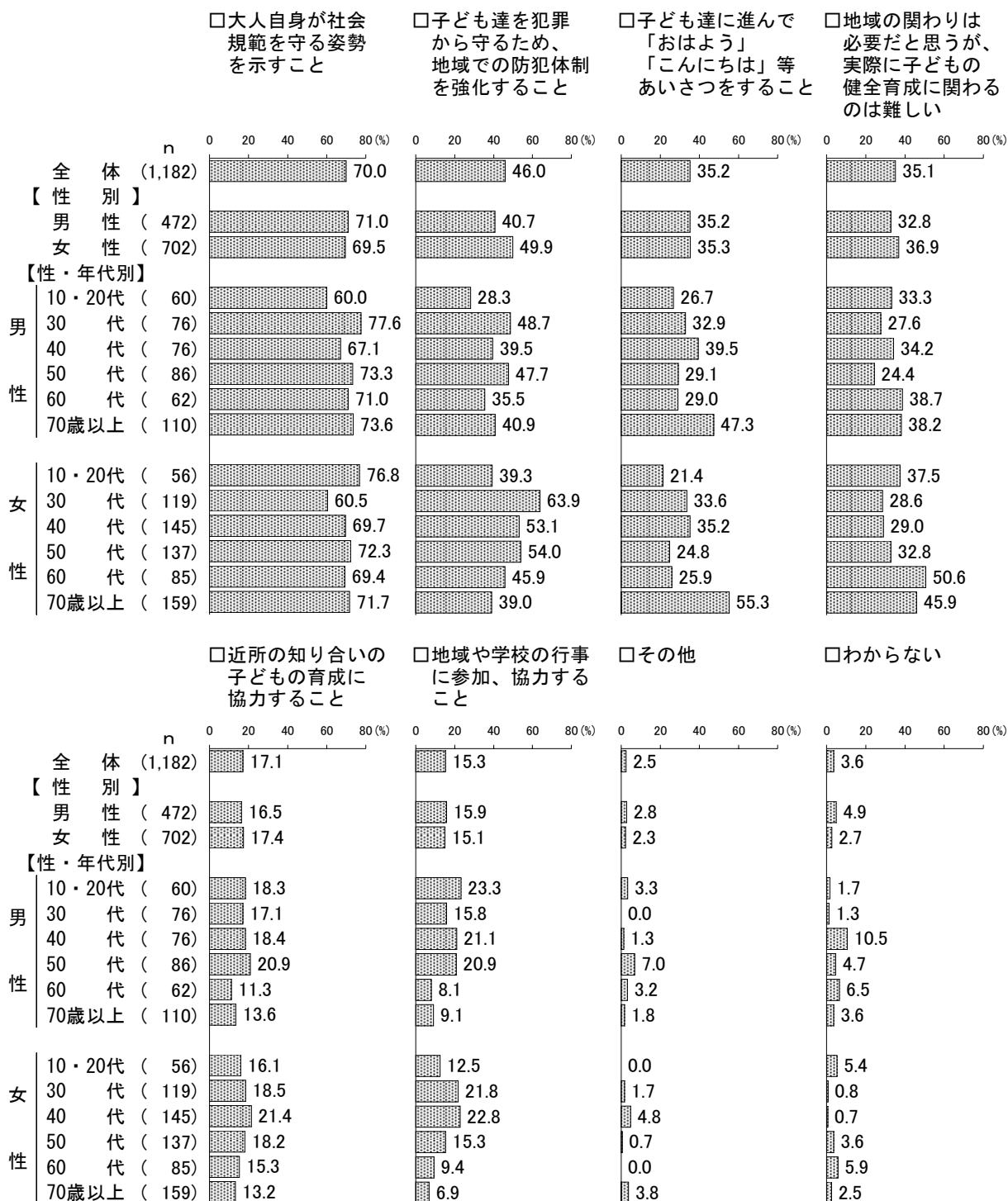
問28 青少年健全育成に関して地域の大人たちができること、またやるべきことは何だと思いますか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

図6-3-1 青少年健全育成に関して地域の大人たちが行うべきこと



青少年健全育成に関して地域の大人たちが行うべきことについてたずねたところ、「大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと」(70.0%)が7割で最も多く、次いで「子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること」(46.0%)、「子ども達に進んで『おはよう』『こんにちは』等あいさつをすること」(35.2%)、「地域の関わりは必要だと思うが、実際に子どもの健全育成に関わるのは難しい」(35.1%)などの順となっている。(図6-3-1)

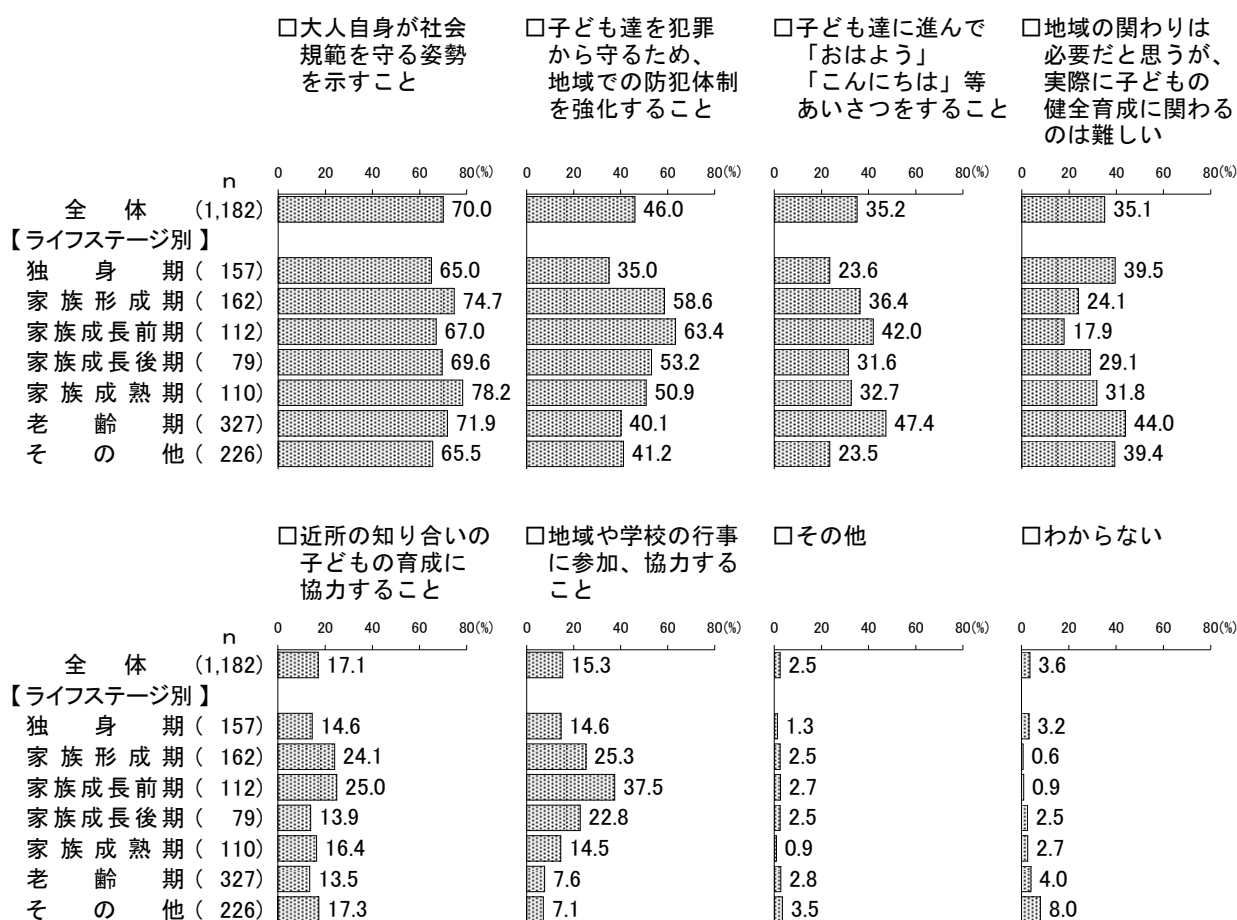
図6-3-2 青少年健全育成に関して地域の大人たちが行うべきこと－性別／性・年代別



性別にみると、「子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること」は女性の方が男性より9.2ポイント、「地域の関わりは必要だと思うが、実際に子どもの健全育成に関わるのは難しい」は女性の方が男性より4.1ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別にみると、「大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと」は男性30代と女性10・20代で8割近くと多くなっている。「子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること」は女性30代で6割を超えて多くなっている。「子ども達に進んで『おはよう』『こんにちは』等あいさつをすること」は女性70歳以上で5割半ばと多くなっている。(図6-3-2)

図6-3-3 青少年健全育成に関して地域の大人たちが行うべきこと—ライフステージ別

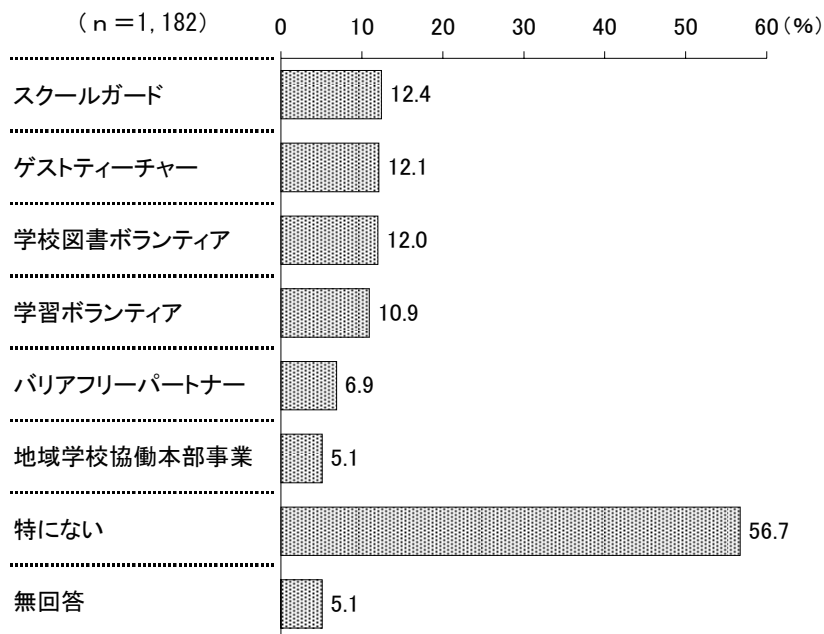


ライフステージ別にみると、「大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと」は家族成熟期で8割近くと多くなっている。「子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること」は家族成長前期で6割を超えて多くなっている。「子ども達に進んで『おはよう』『こんにちは』等あいさつをすること」は老齢期で5割近くと多くなっている。(図6-3-3)

## 6-4 学校支援活動の今後の協力意向

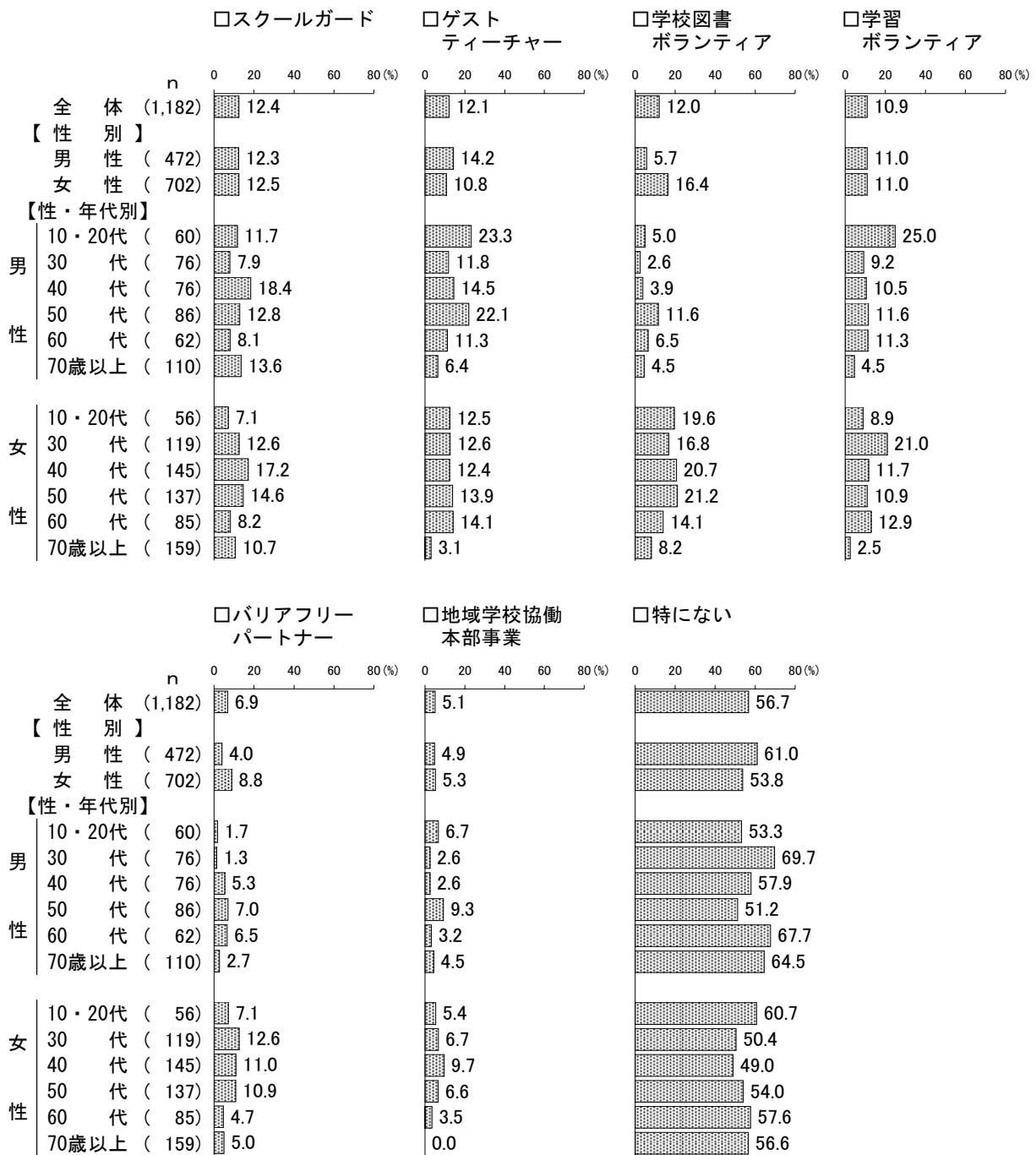
問29 あなたが今後協力したい活動をすべてお選びください。(〇はいくつでも)

図6-4-1 学校支援活動の今後の協力意向



学校支援活動の今後の協力意向についてたずねたところ、「スクールガード」(12.4%)、「ゲストティーチャー」(12.1%)、「学校図書ボランティア」(12.0%)が1割を超えている。一方、「特にない」(56.7%)は6割近くとなっている。(図6-4-1)

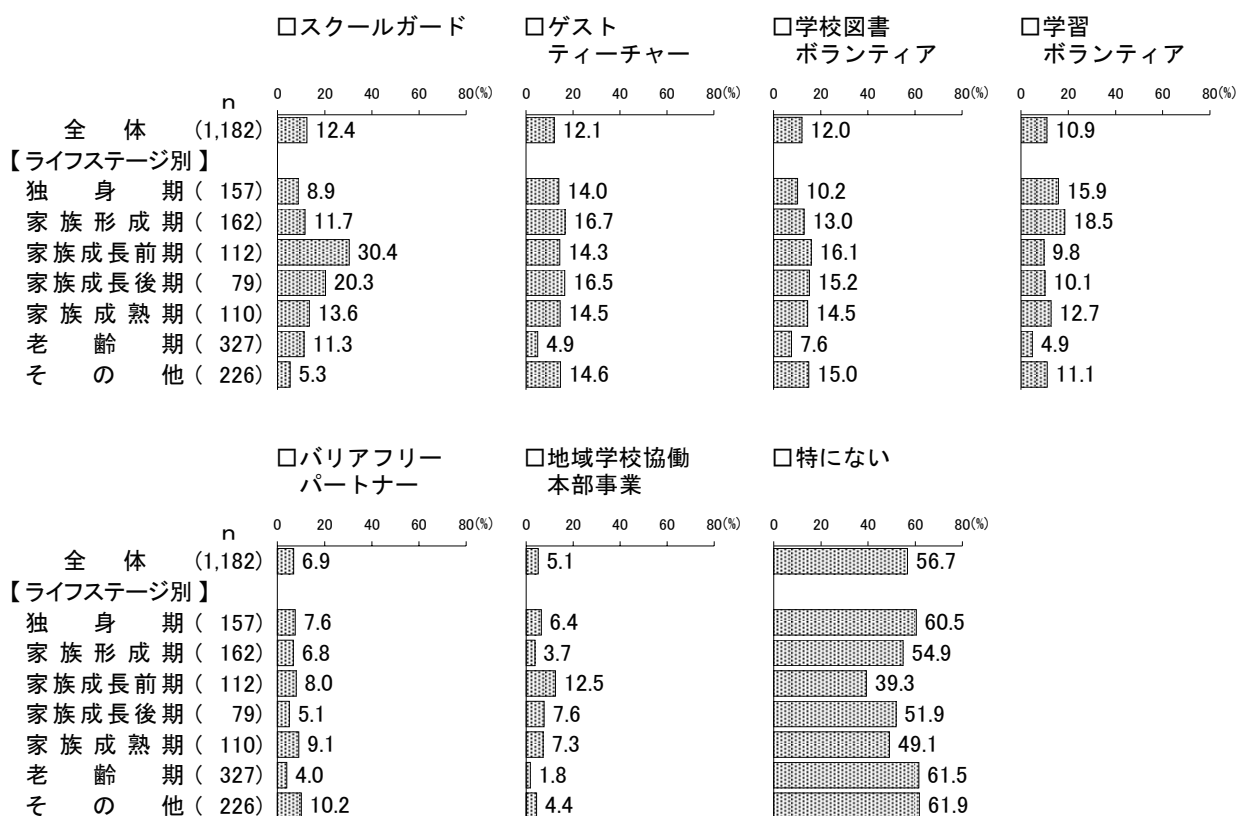
図6-4-2 学校支援活動の今後の協力意向－性別／性・年代別



性別にみると、「学校図書ボランティア」は女性の方が男性より10.7ポイント、「バリアフリーパートナー」は女性の方が男性より4.8ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「ゲストティーチャー」は男性の方が女性より3.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「ゲストティーチャー」は男性の10・20代と50代で2割を超えて多くなっている。「学習ボランティア」は男性10・20代で2割半ばと多くなっている。(図6-4-2)

図6-4-3 学校支援活動の今後の協力意向－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「スクールガード」は家族成長前期で3割と多くなっている。

(図6-4-3)

## 7. 高齢者

- 
- 7-1 「高齢者あんしん相談センター」の認知度
  - 7-2 「フレイル」の認知度
  - 7-3 成年後見制度に関する認知度
-



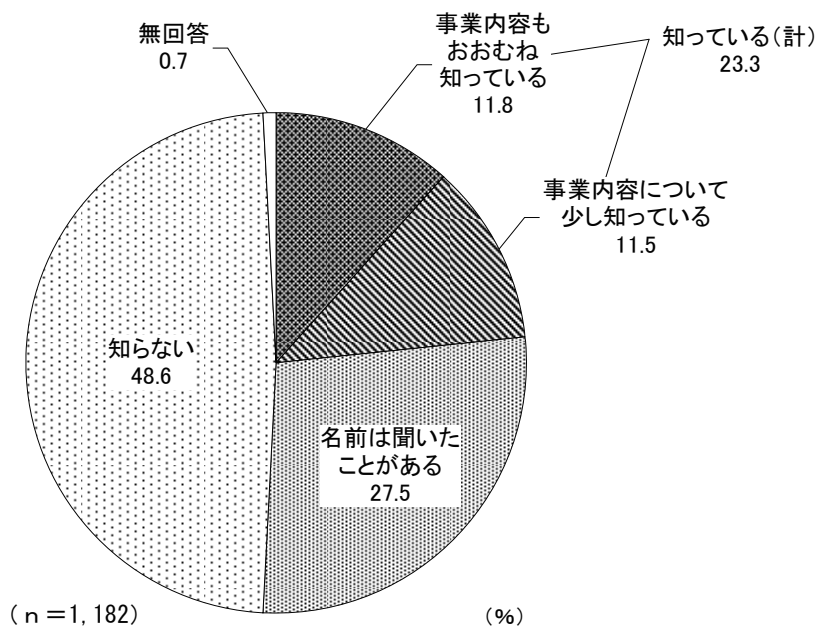


## 7. 高齢者

### 7-1 「高齢者あんしん相談センター」の認知度

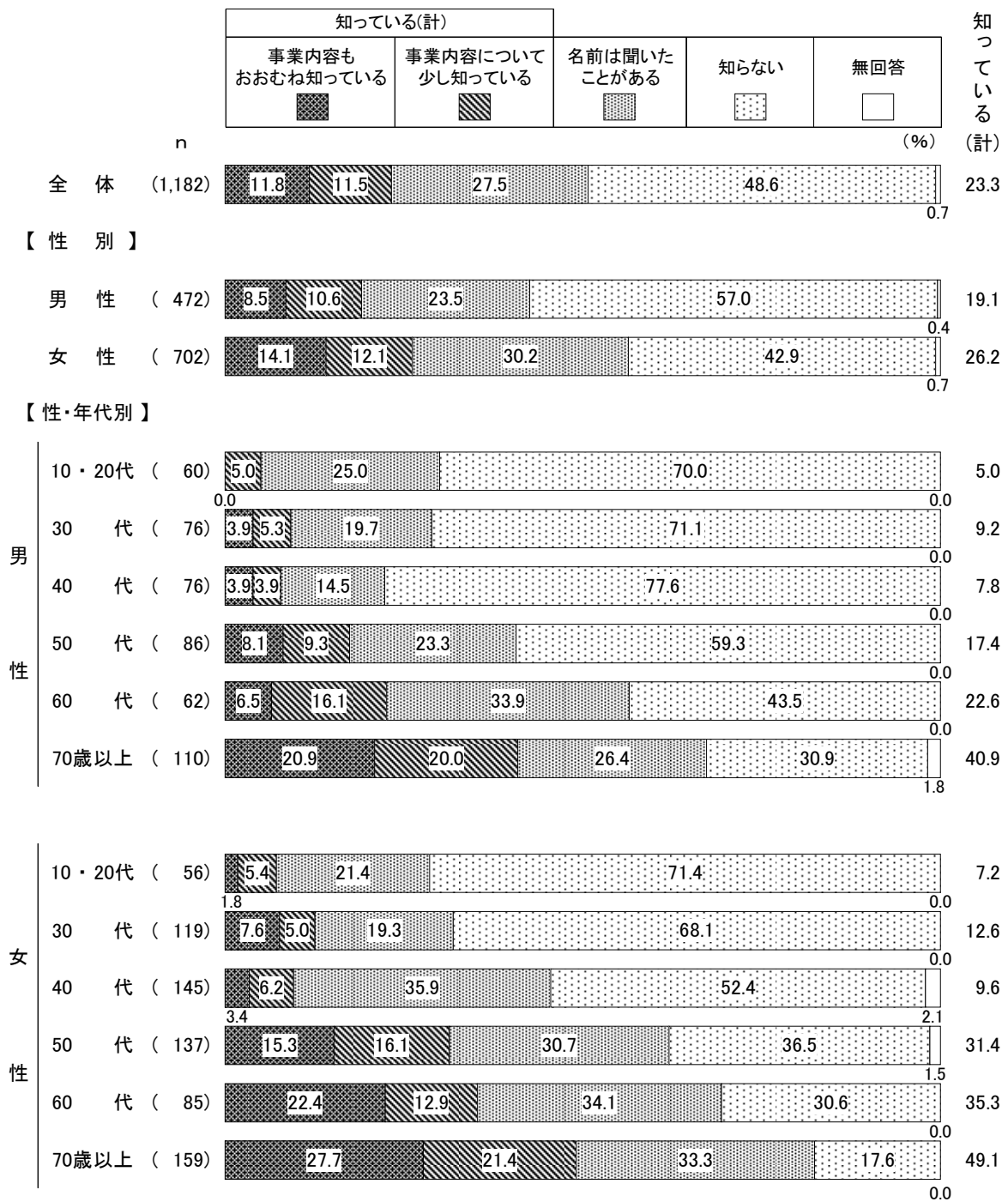
問30 地域における高齢者の相談窓口である「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）」を知っていますか。（○は1つ）

図7-1-1 「高齢者あんしん相談センター」の認知度



「高齢者あんしん相談センター」の認知度についてたずねたところ、「事業内容もおおむね知っている」(11.8%)と「事業内容について少し知っている」(11.5%)を合わせた『知っている(計)』(23.3%)が2割を超え、「名前を聞いたことがある」(27.5%)は3割近くとなっている。一方、「知らない」(48.6%)は5割近くとなっている。(図7-1-1)

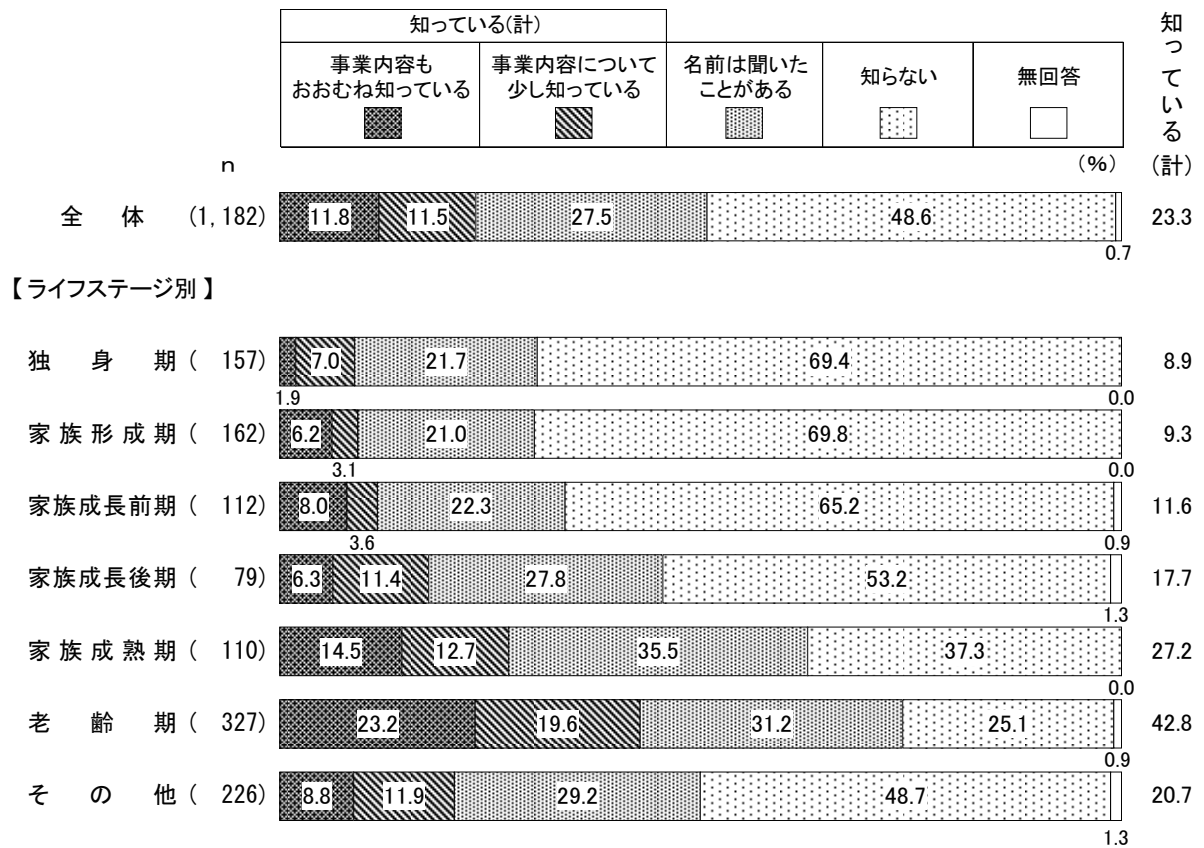
図 7-1-2 「高齢者あんしん相談センター」の認知度—性別／性・年代別



性別にみると、『知っている（計）』は女性の方が男性より7.1ポイント高くなっている。一方、「知らない」は男性の方が女性より14.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『知っている（計）』は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合が高く、女性70歳以上で約5割、男性70歳以上で約4割となっている。一方、「知らない」は男性40代で8割近くと多くなっている。(図7-1-2)

図 7-1-3 「高齢者あんしん相談センター」の認知度—ライフステージ別

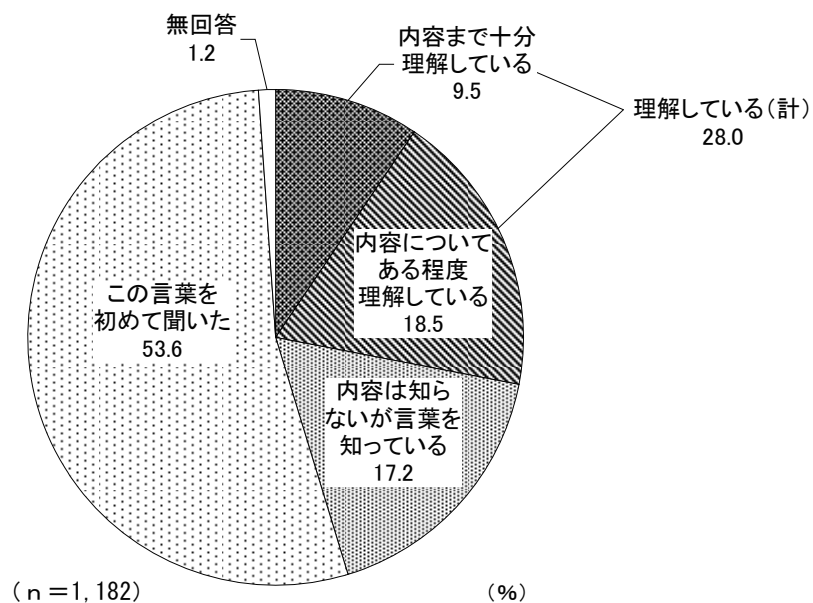


ライフステージ別にみると、『知っている(計)』は老齢期で4割を超えて多くなっている。一方、「知らない」は家族形成期と独身期で約7割と多くなっている。(図7-1-3)

## 7-2 「フレイル」の認知度

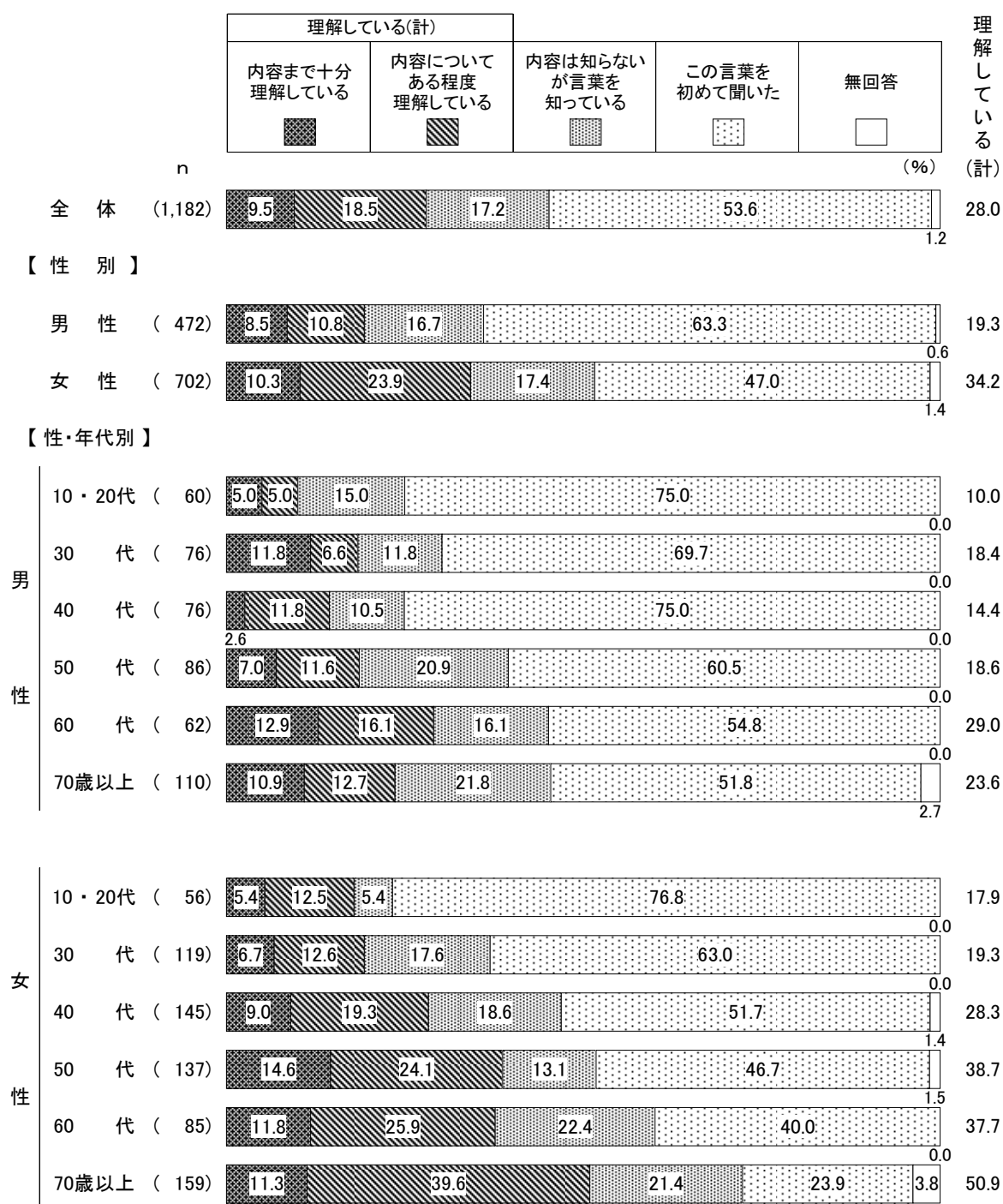
問31 『フレイル』とは、年齢を重ねることで心身の活力が低下した「健康」と「要介護状態」の間を指す言葉です。この言葉について、次の中からあてはまるものをお選びください。(○は1つ)

図7-2-1 「フレイル」の認知度



「フレイル」の認知度についてたずねたところ、「内容まで十分理解している」(9.5%)と「内容についてある程度理解している」(18.5%)を合わせた『理解している(計)』(28.0%)が3割近く、「内容は知らないが言葉を知っている」(17.2%)は2割近くとなっている。一方、「この言葉を初めて聞いた」(53.6%)は5割を超えている。(図7-2-1)

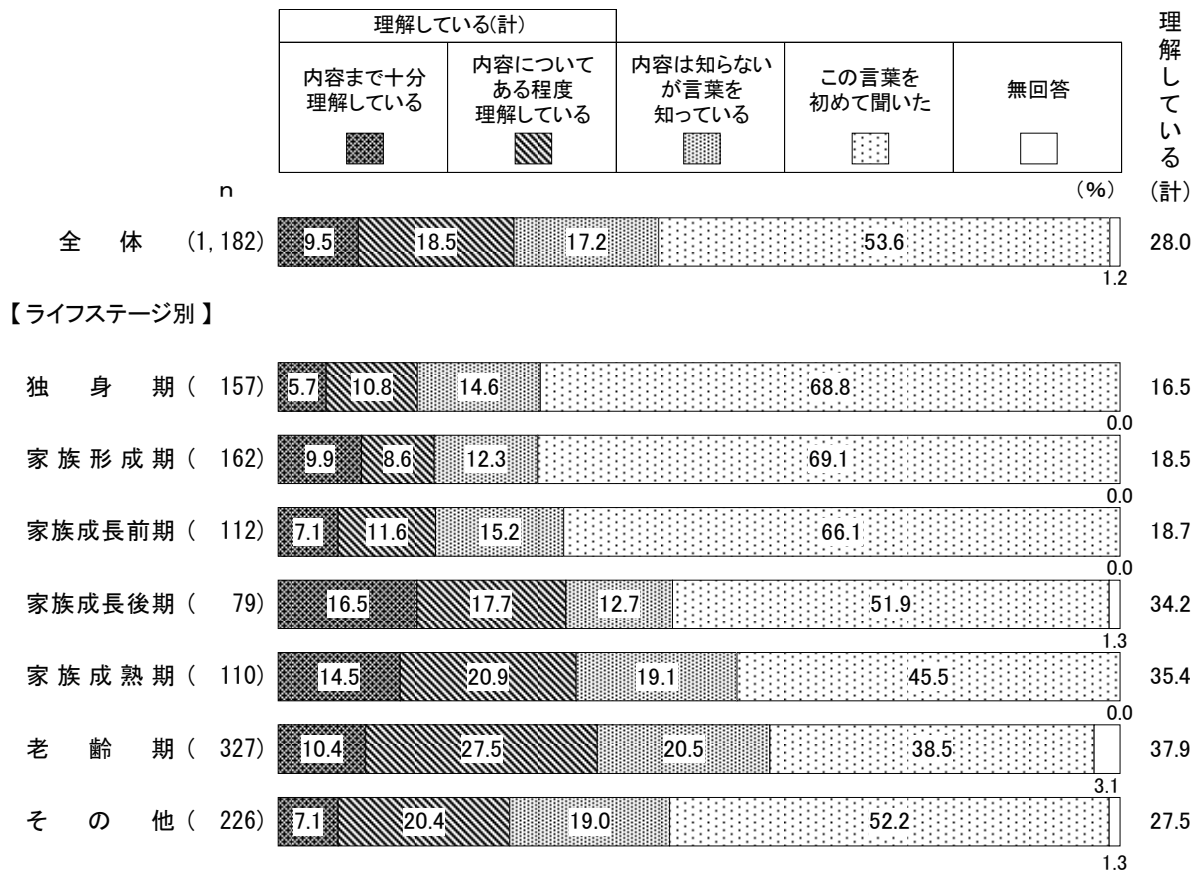
図7-2-2 「フレイル」の認知度—性別／性・年代別



性別にみると、『理解している(計)』は女性の方が男性より14.9ポイント高くなっている。一方、「この言葉を初めて聞いた」は男性の方が女性より16.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『理解している(計)』女性70歳以上で約5割、女性の50代と60代で4割近くと多くなっている。一方、「この言葉を初めて聞いた」は女性10・20代、男性の10・20代と40代で7割台と多くなっている。(図7-2-2)

図7-2-3 「フレイル」の認知度—ライフステージ別

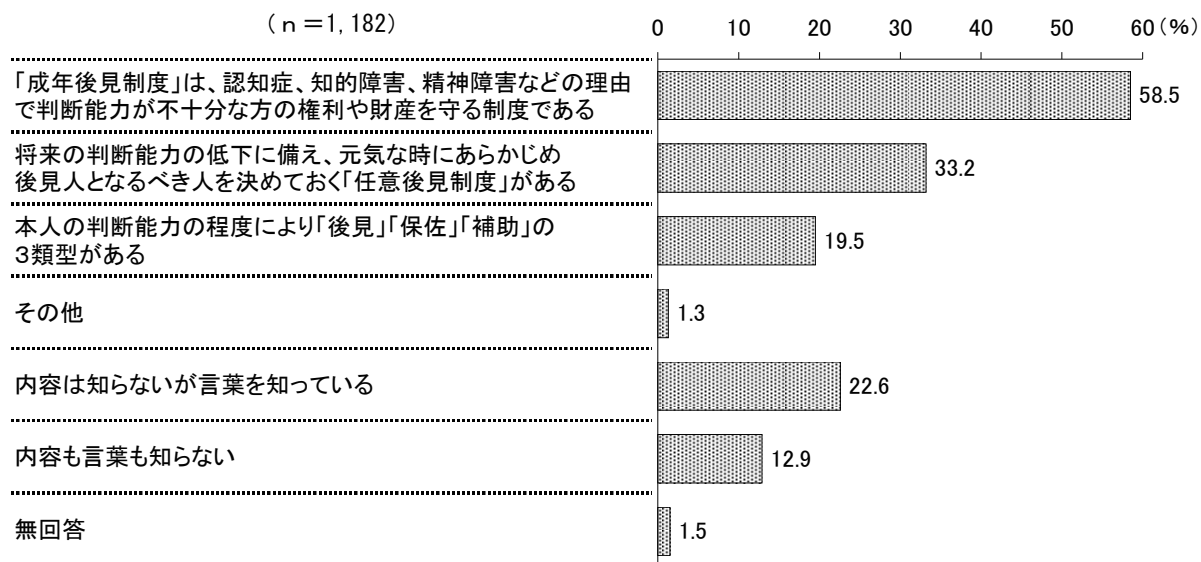


ライフステージ別にみると、『理解している(計)』は老齢期で4割近くと多くなっている。一方、「この言葉を初めて聞いた」は家族形成期で約7割と多くなっている。(図7-2-3)

### 7-3 成年後見制度に関する認知度

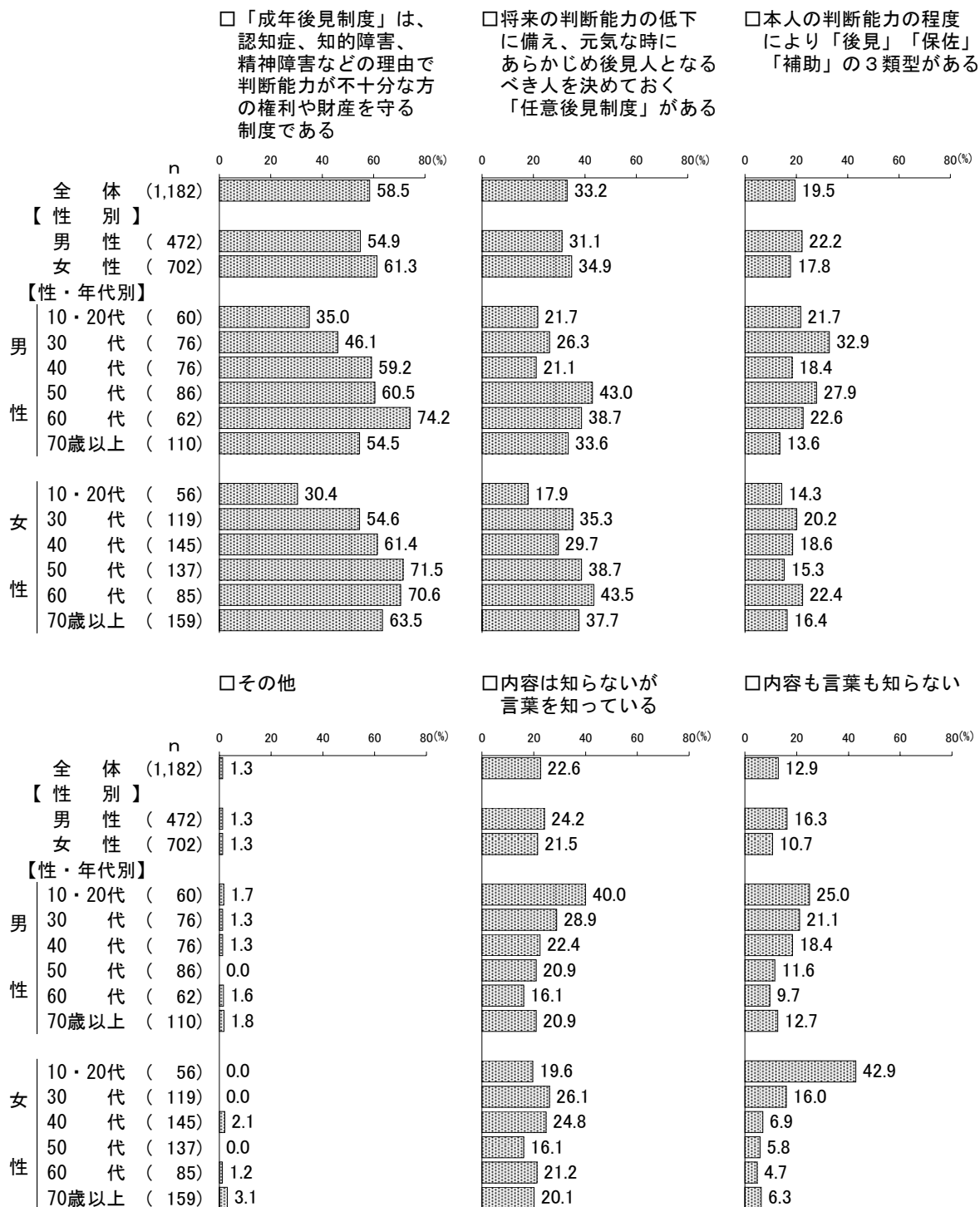
問32 あなたは「成年後見制度」について、どのようなことを知っていますか。この中からいくつかも挙げてください。(〇はいくつでも)

図7-3-1 成年後見制度に関する認知度



成年後見制度に関する認知度についてたずねたところ、「『成年後見制度』は、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の権利や財産を守る制度である」(58.5%)が6割近くで最も多く、次いで「将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく『任意後見制度』がある」(33.2%)などの順となっている。また、「内容は知らないが言葉を知っている」(22.6%)は2割を超え、「内容も言葉も知らない」(12.9%)は1割を超えている。(図7-3-1)

図7-3-2 成年後見制度に関する認知度—性別／性・年代別

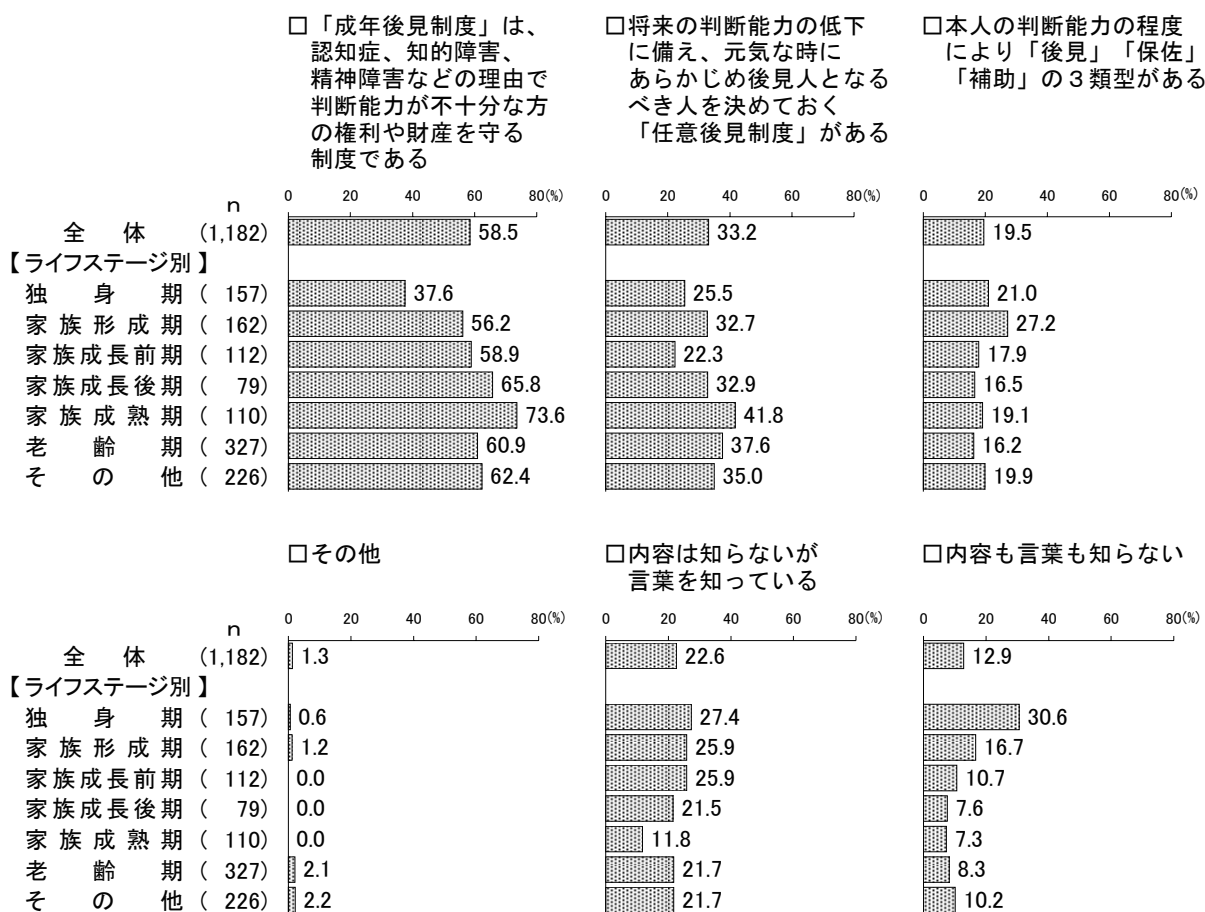


性別にみると、『成年後見制度』は、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の権利や財産を守る制度である」は女性の方が男性より6.4ポイント高くなっている。一方、「本人の判断能力の程度により『後見』『保佐』『補助』の3類型がある」は男性の方が女性より4.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『成年後見制度』は、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の権利や財産を守る制度である」は男性60代で7割半ばと多くなっている。「将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく『任意後見制度』がある」は女性60代と男性50代で4割を超えて多くなっている。(図7-3-2)



図7-3-3 成年後見制度に関する認知度—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「『成年後見制度』は、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の権利や財産を守る制度である」は家族成熟期で7割を超えて多くなっている。「将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく『任意後見制度』がある」は家族成熟期で4割を超えて多くなっている。「本人の判断能力の程度により『後見』『保佐』『補助』の3種類がある」は家族形成期で3割近くと多くなっている。(図7-3-3)



## 8. 消費者相談

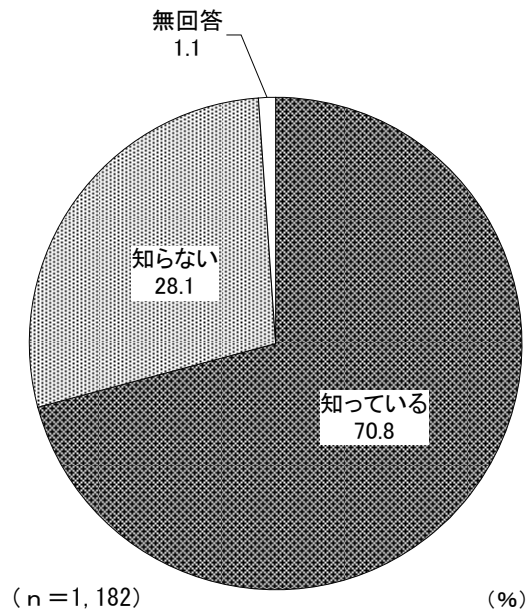


## 8. 消費者相談

### 8-1 「消費者相談室」の認知度

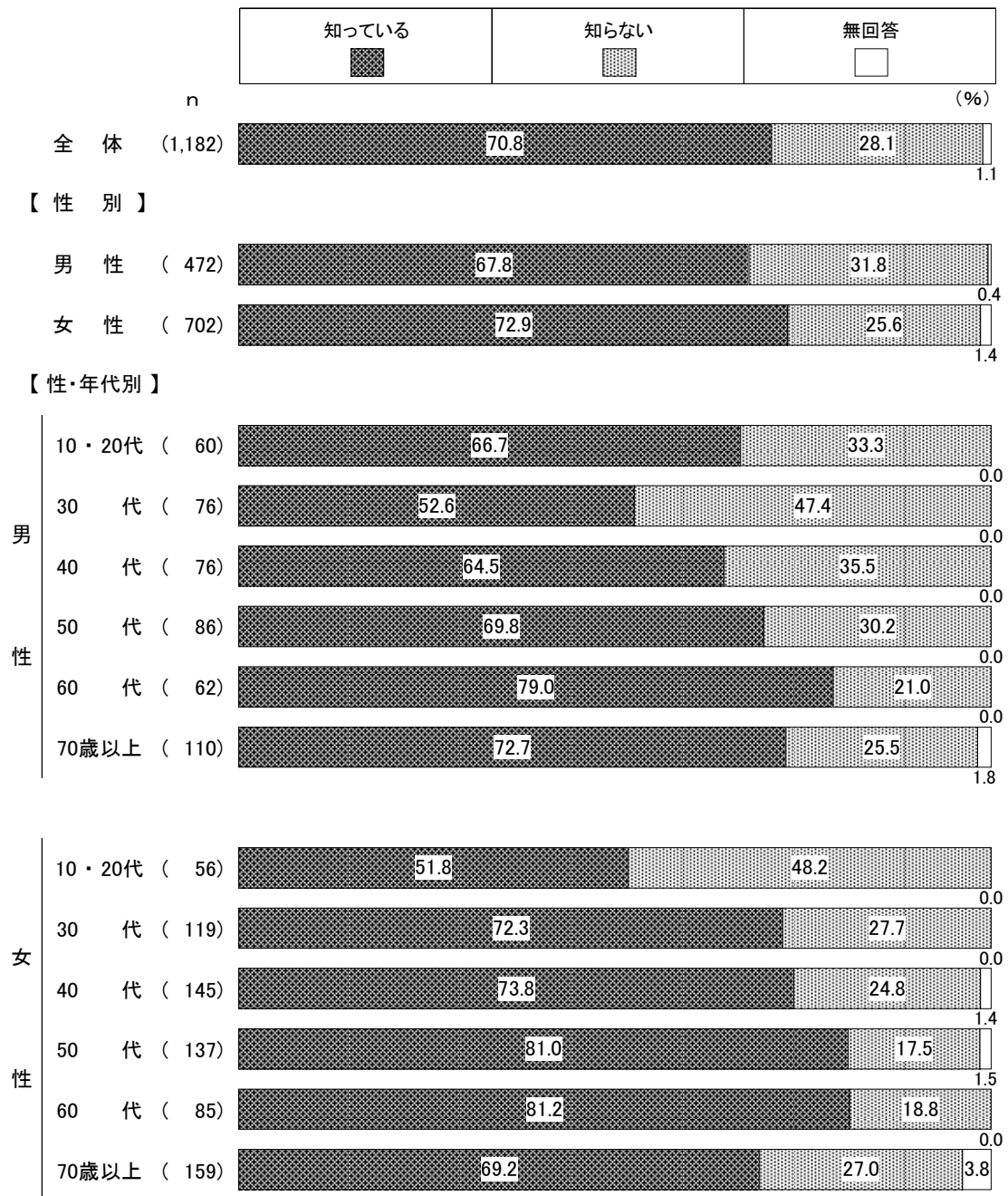
問33 消費生活センターに、消費者と事業者との間に生じたトラブルを相談する「消費者相談室」があることを知っていますか。(○は1つ)

図8-1-1 「消費者相談室」の認知度



「消費者相談室」の認知度についてたずねたところ、「知っている」(70.8%)が約7割、「知らない」(28.1%)は3割近くとなっている。(図8-1-1)

図8-1-2 「消費者相談室」の認知度—性別／性・年代別



性別にみると、「知っている」は女性の方が男性より5.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「知っている」は女性の50代と60代で8割を超えて多くなっている。一方、「知らない」は女性10・20代と男性30代で5割近くと多くなっている。(図8-1-2)

## 9. 文化・芸術・スポーツ振興

---

9-1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の  
レガシー（遺産）を残すため区に望むこと

---



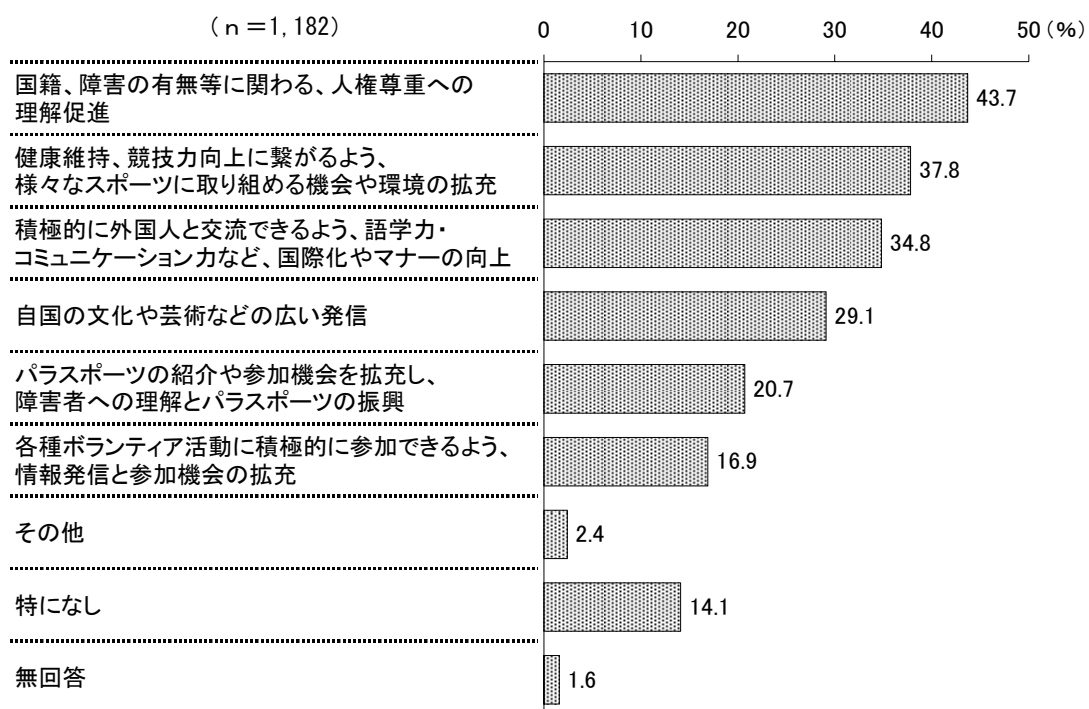


## 9. 文化・芸術・スポーツ振興

### 9-1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー（遺産）を残すため区に望むこと

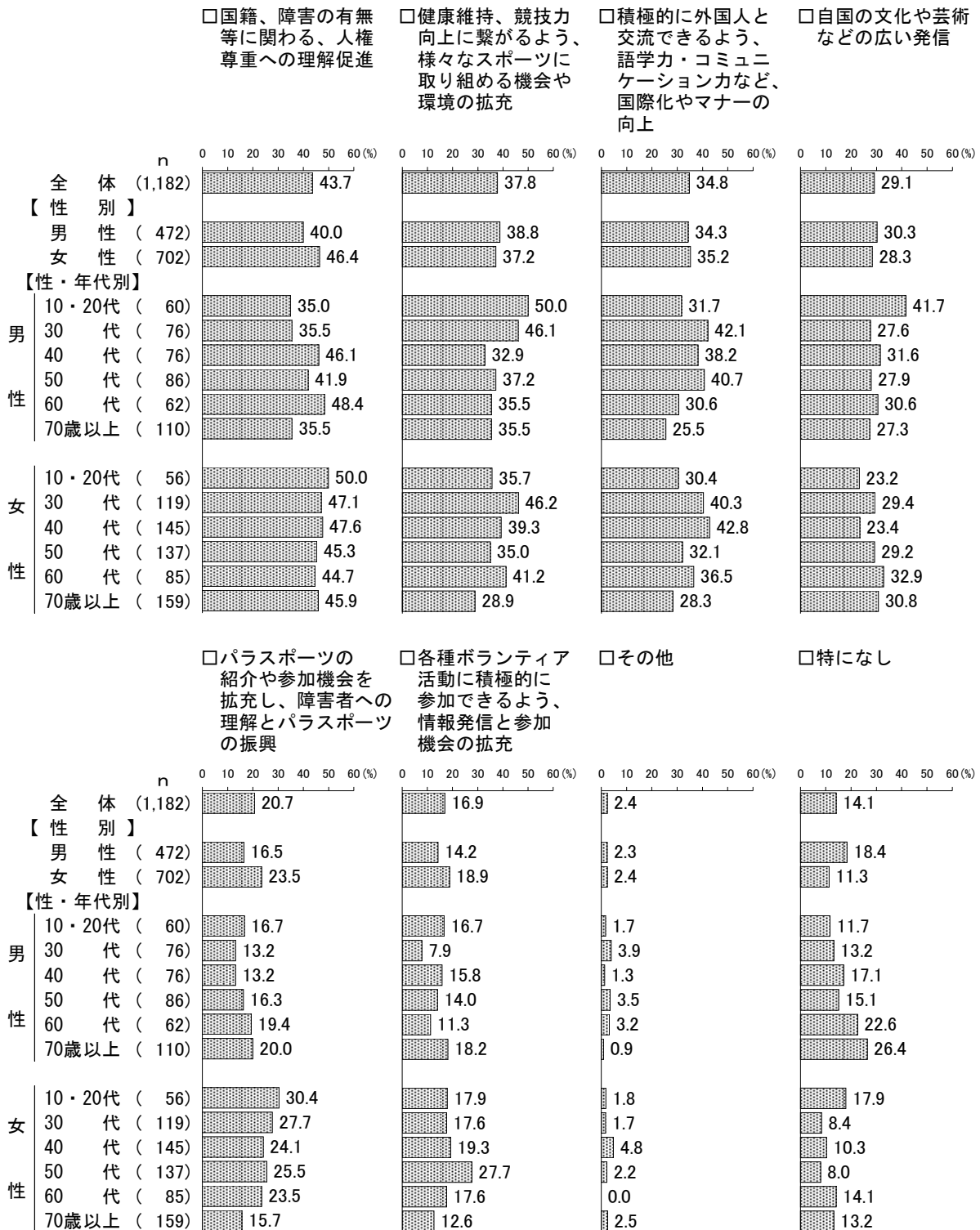
問34 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、区では様々な取り組みを進めてきました。これらを有益なレガシー（遺産）として残すため、今後、区はどのような施策を行うことが必要だと思いませんか。次の中からあてはまるものを3つ以内でお選びください。（〇は3つまで）

図9-1-1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー（遺産）を残すため区に望むこと



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー（遺産）を残すため区に望むことについてたずねたところ、「国籍、障害の有無等に関わる、人権尊重への理解促進」（43.7%）が4割を超えて最も多く、次いで「健康維持、競技力向上に繋がるよう、様々なスポーツに取り組める機会や環境の拡充」（37.8%）、「積極的に外国人と交流できるよう、語学力・コミュニケーション力など、国際化やマナーの向上」（34.8%）、「自国の文化や芸術などの広い発信」（29.1%）などの順となっている。（図9-1-1）

図9-1-2 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の  
レガシー（遺産）を残すため区に望むことー性別／性・年代別



性別にみると、「パラスポーツの紹介や参加機会を拡充し、障害者への理解とパラスポーツの振興」は女性の方が男性より7.0ポイント、「国籍、障害の有無等に関わる、人権尊重への理解促進」は女性の方が男性より6.4ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別にみると、「国籍、障害の有無等に関わる、人権尊重への理解促進」は女性10・20代で5割と多くなっている。「健康維持、競技力向上に繋がるよう、様々なスポーツに取り組める機会や環境の拡充」は男性10・20代で5割と多くなっている。(図9-1-2)

# 10. 循環型社会

- 
- 10-1 環境について知りたい情報
  - 10-2 ごみ減量のために取り組むべきこと
  - 10-3 食品ロス削減のために行っていること
  - 10-4 プラスチックごみの削減のための分別回収
-

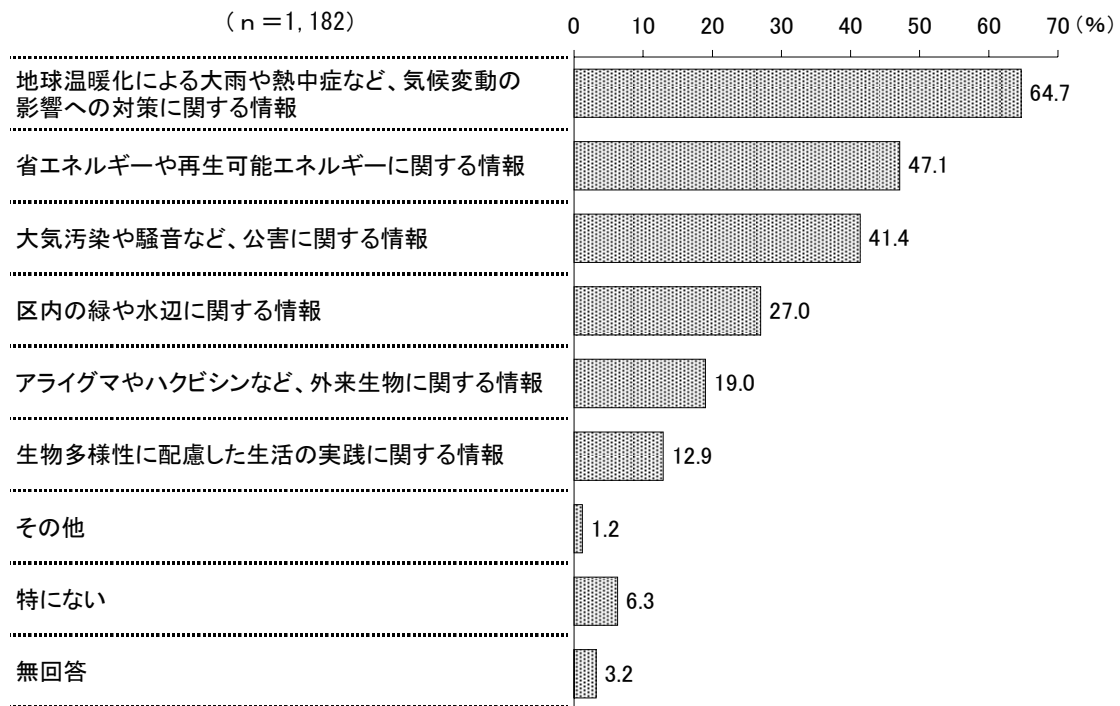


## 10. 循環型社会

### 10-1 環境について知りたい情報

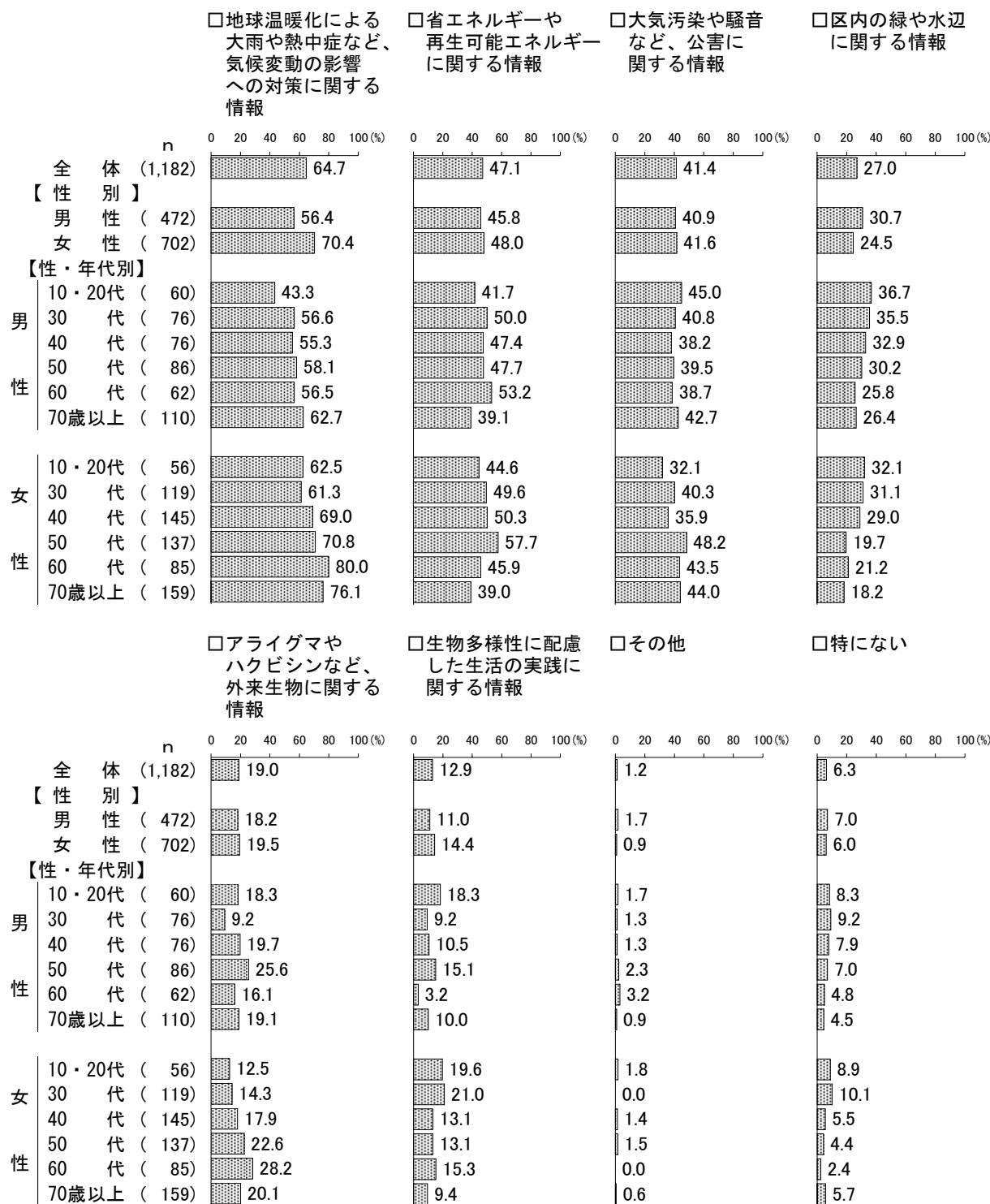
問35 環境について、あなたが知りたいと考えるものは何ですか。次の中からあてはまるものを3つ以内でお選びください。(〇は3つまで)

図10-1-1 環境について知りたい情報



環境について知りたい情報についてたずねたところ、「地球温暖化による大雨や熱中症など、気候変動の影響への対策に関する情報」(64.7%)が6割半ばで最も多く、次いで「省エネルギーや再生可能エネルギーに関する情報」(47.1%)、「大気汚染や騒音など、公害に関する情報」(41.4%)、「区内の緑や水辺に関する情報」(27.0%)などの順となっている。(図10-1-1)

図10-1-2 環境について知りたい情報—性別／性・年代別



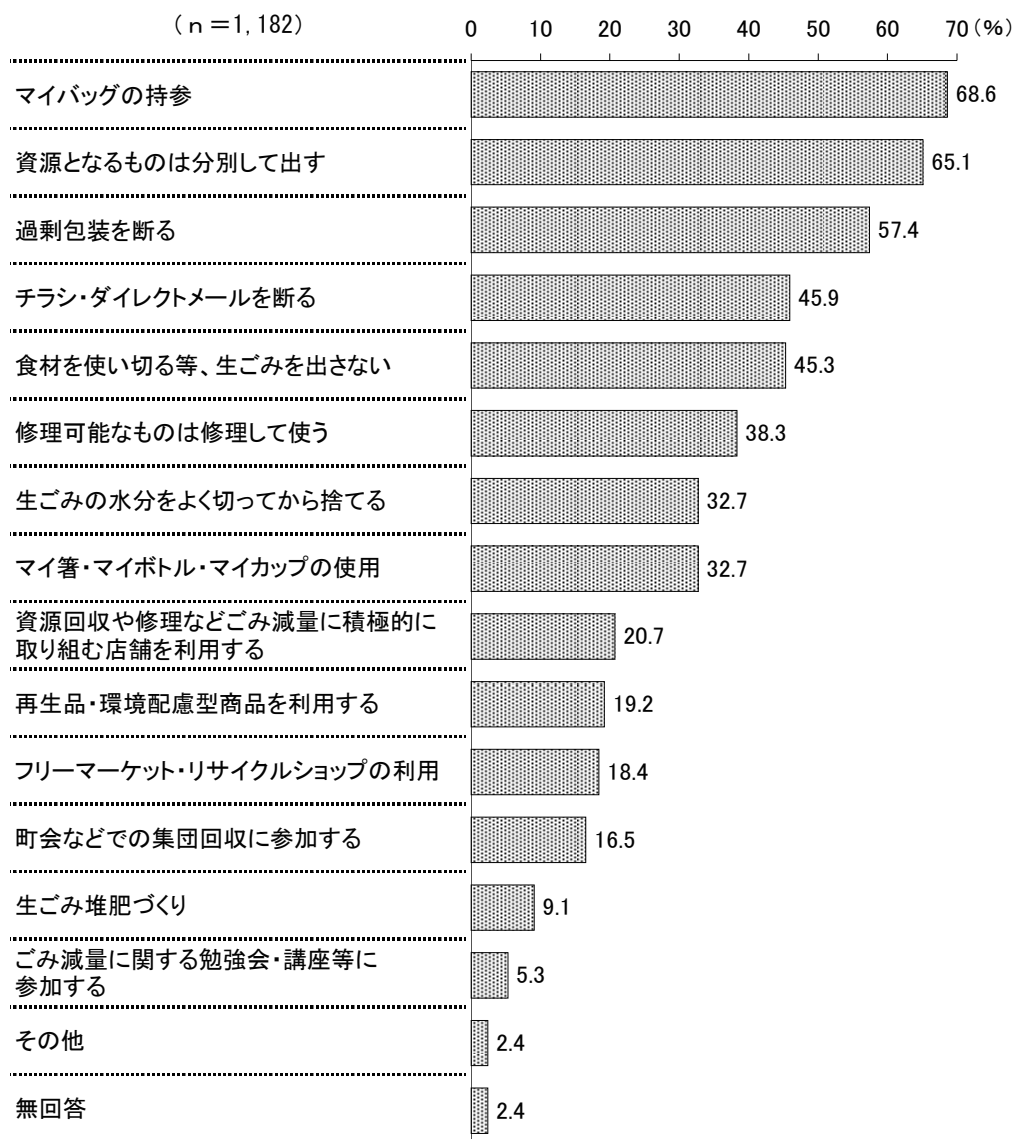
性別にみると、「地球温暖化による大雨や熱中症など、気候変動の影響への対策に関する情報」は女性の方が男性より14.0ポイント高くなっている。一方、「区内の緑や水辺に関する情報」は男性の方が女性より6.2ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「地球温暖化による大雨や熱中症など、気候変動の影響への対策に関する情報」は女性60代で8割と多くなっている。「省エネルギーや再生可能エネルギーに関する情報」は女性50代で6割近くと多くなっている。「大気汚染や騒音など、公害に関する情報」は女性50代で5割近くと多くなっている。(図10-1-2)

## 10-2 ごみ減量のために取り組むべきこと

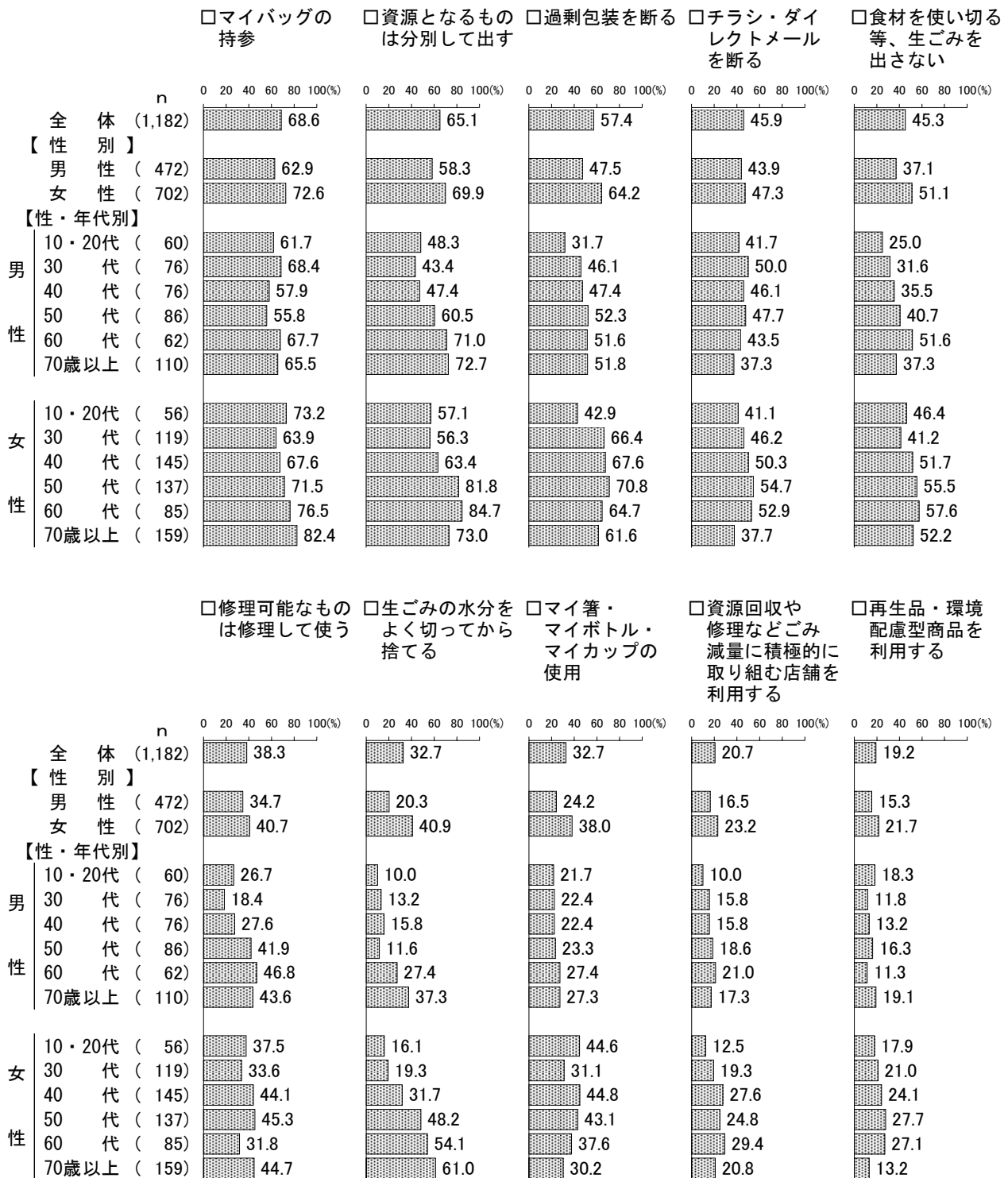
問36 文京区一般廃棄物処理基本計画では、令和3年度から12年度までの10年間で、区民1人1日当たりの総排出量及び家庭ごみ排出量の約20%削減を目標としています。あなたは、この目標を達成するために、どのようなことを実践すると良いとお考えですか。次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

図10-2-1 ごみ減量のために取り組むべきこと



ごみ減量のために取り組むべきことについてたずねたところ、「マイバッグの持参」(68.6%)が7割近くで最も多く、次いで「資源となるものは分別して出す」(65.1%)、「過剰包装を断る」(57.4%)、「チラシ・ダイレクトメールを断る」(45.9%)、「食材を使い切る等、生ごみを出さない」(45.3%)などの順となっている。(図10-2-1)

図10-2-2 ごみ減量のために取り組むべきこと—性別／性・年代別（上位10項目）



上位10項目を性別にみると、すべての項目で女性の方が男性より高くなっており、特に「生ごみの水分をよく切ってから捨てる」で20.6ポイント、「過剰包装を断る」で16.7ポイント、それぞれ高くなっている。

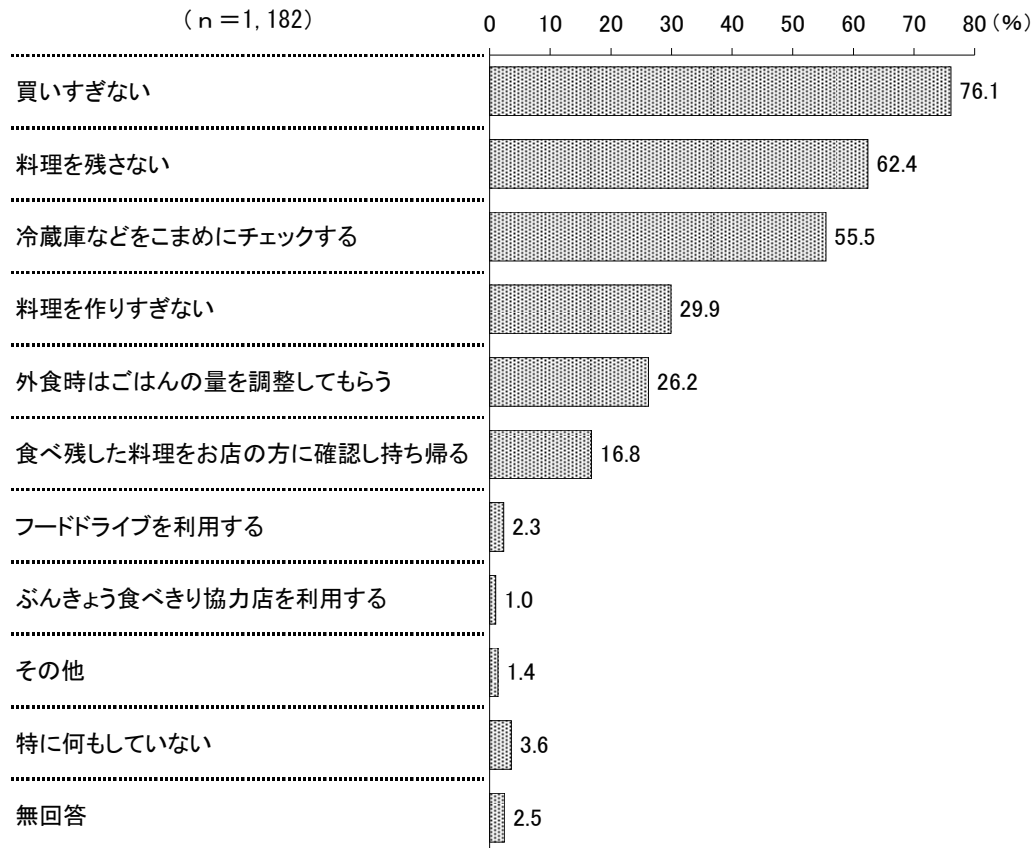
性・年代別にみると、「マイバッグの持参」は女性70歳以上で8割を超えて多くなっている。「資源となるものは分別して出す」は女性の50代と60代で8割台と多くなっている。「生ごみの水分をよく切ってから捨てる」は女性70歳以上で6割を超えて多くなっている。(図10-2-2)



### 10-3 食品ロス削減のために行っていること

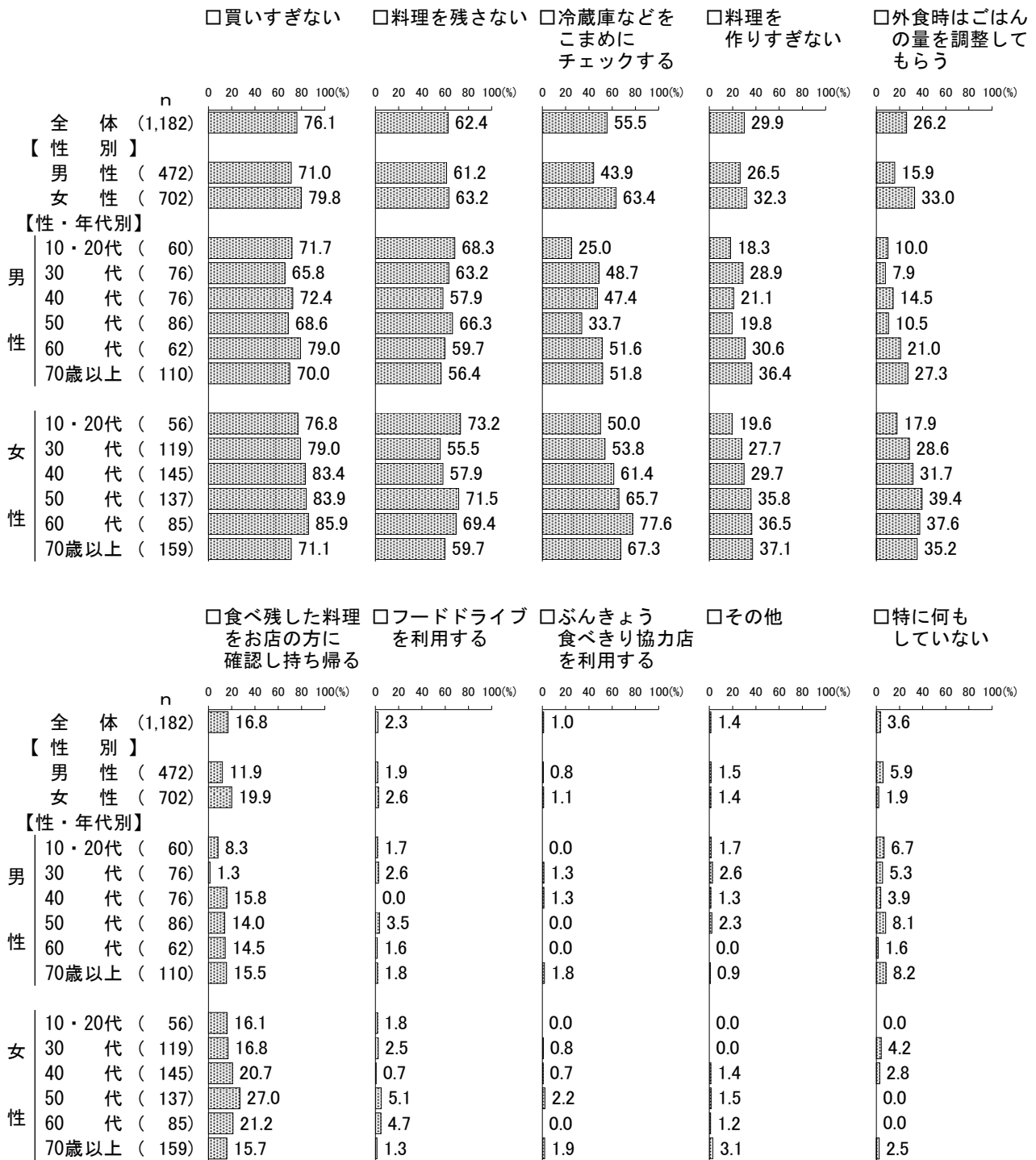
問37 文京区一般廃棄物処理基本計画では、食品ロス削減推進計画を設定し、「一人ひとりが食品ロスを減らす大切さを理解し、行動する～明るく楽しく果敢に取り組む、食ロス対策～」という基本指針を設定しました。あなたは、食品ロスを減らすため日頃から行っていることはありますか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

図10-3-1 食品ロス削減のために行っていること



食品ロス削減のために行っていることについてたずねたところ、「買すぎない」(76.1%)が7割半ばで最も多く、次いで「料理を残さない」(62.4%)、「冷蔵庫などをこまめにチェックする」(55.5%)、「料理を作りすぎない」(29.9%)などの順となっている。(図10-3-1)

図10-3-2 食品ロス削減のためにやっていることー性別／性・年代別



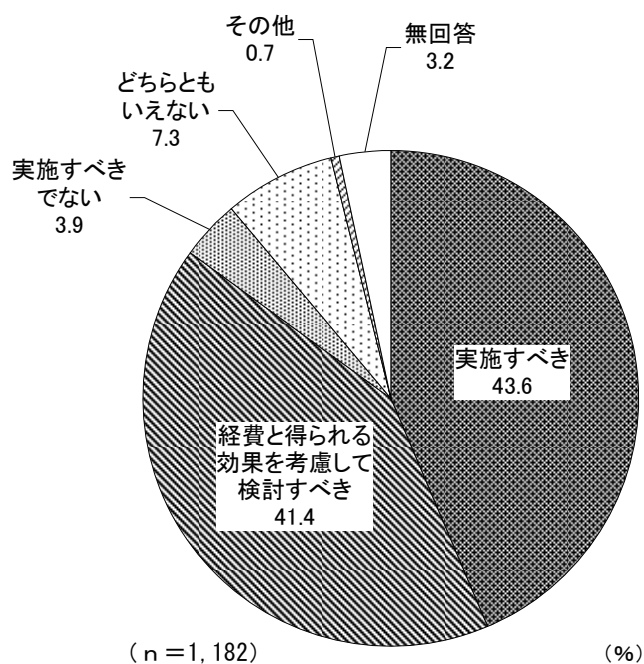
性別にみると、多くの項目で女性の方が男性より高くなっており、特に「冷蔵庫などをこまめにチェックする」で19.5ポイント、「外食時はごはんの量を調整してもらう」で17.1ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別にみると、「買いすぎない」は女性の40代から60代の年代で8割台と多くなっている。「料理を残さない」は女性の10・20代と50代で7割を超えて多くなっている。「冷蔵庫などをこまめにチェックする」は女性60代で8割近くと多くなっている。(図10-3-2)

#### 10-4 プラスチックごみの削減のための分別回収

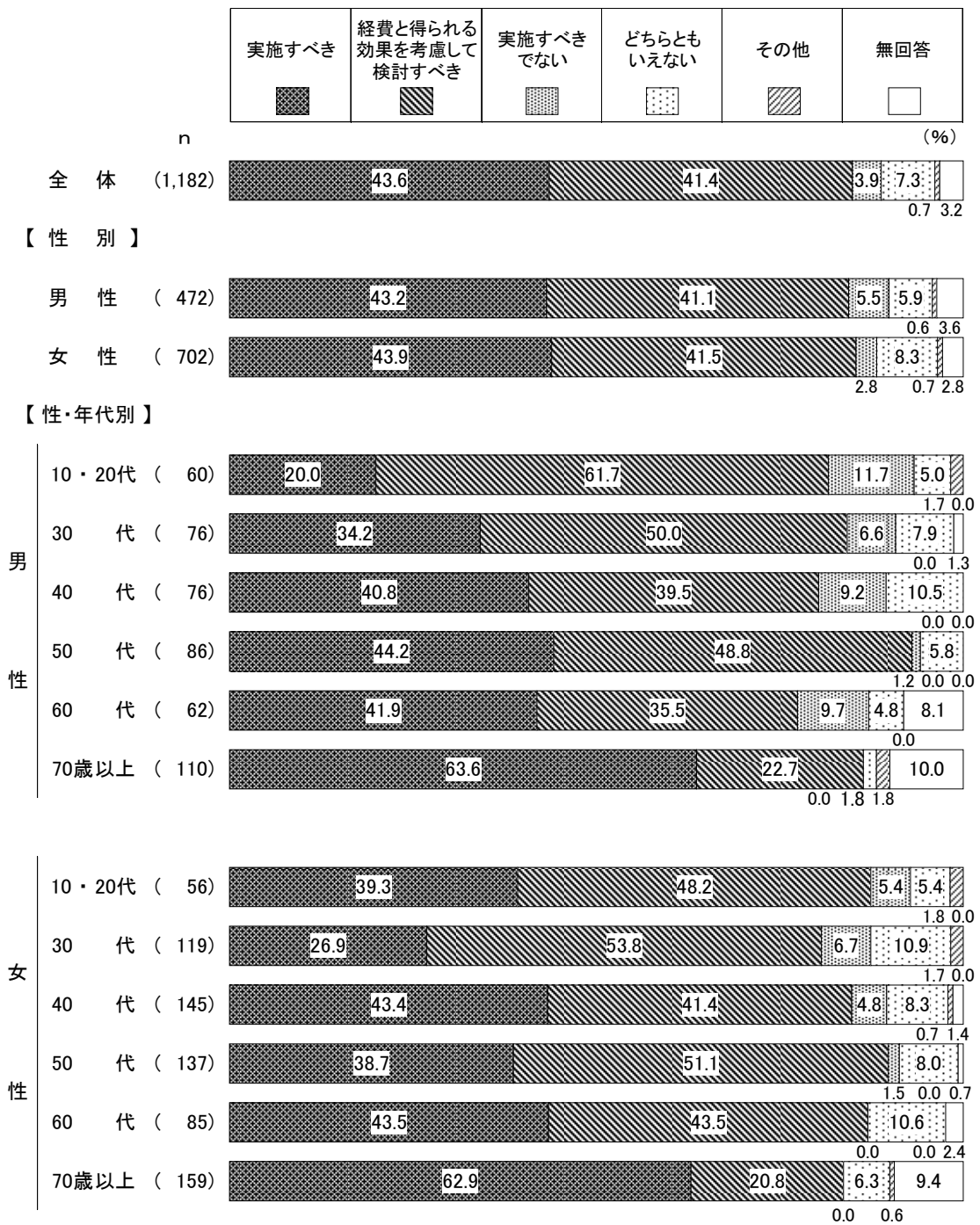
問38 文京区一般廃棄物処理基本計画では、プラスチックごみの削減の推進のため、「プラスチックの使用を減らすライフスタイルへの転換」という基本指針を設定しました。あなたは、プラスチックごみを減らすためプラスチックを資源として分別回収することについてどのようにお考えですか。(○は1つ)

図10-4-1 プラスチックごみの削減のための分別回収



プラスチックごみの削減のための分別回収についてたずねたところ、「実施すべき」(43.6%)が4割を超え、「実施すべきでない」(3.9%)は1割未満となっている。また、「経費と得られる効果を考慮して検討すべき」(41.4%)は4割を超えている。(図10-4-1)

図10-4-2 プラスチックごみの削減のための分別回収—性別／性・年代別



性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、「実施すべき」は男女ともに70歳以上で6割を超えて多くなっている。「経費と得られる効果を考慮して検討すべき」は男性10・20代で6割を超えて多くなっている。

(図10-4-2)

# 11. 議会

- 
- 11-1 区議会の活動の認知媒体
  - 11-2 区議会の活動として期待すること
  - 11-3 区議会ホームページの閲覧頻度
-

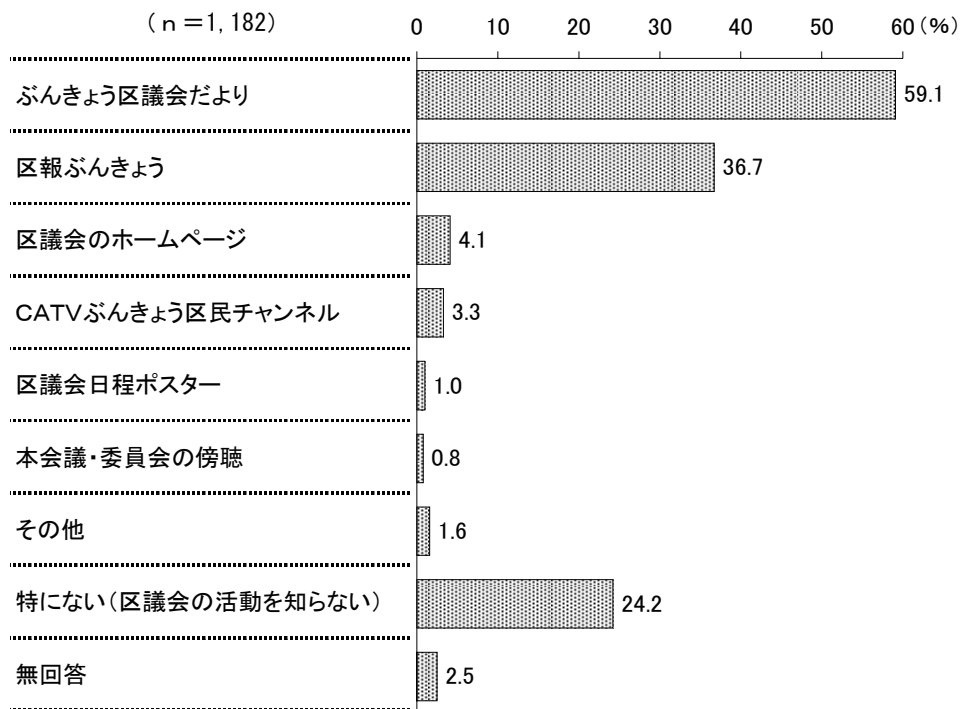


## 11. 議会

### 11-1 区議会の活動の認知媒体

問39 あなたは、区議会の活動を、どのようにしてお知りになっていますか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

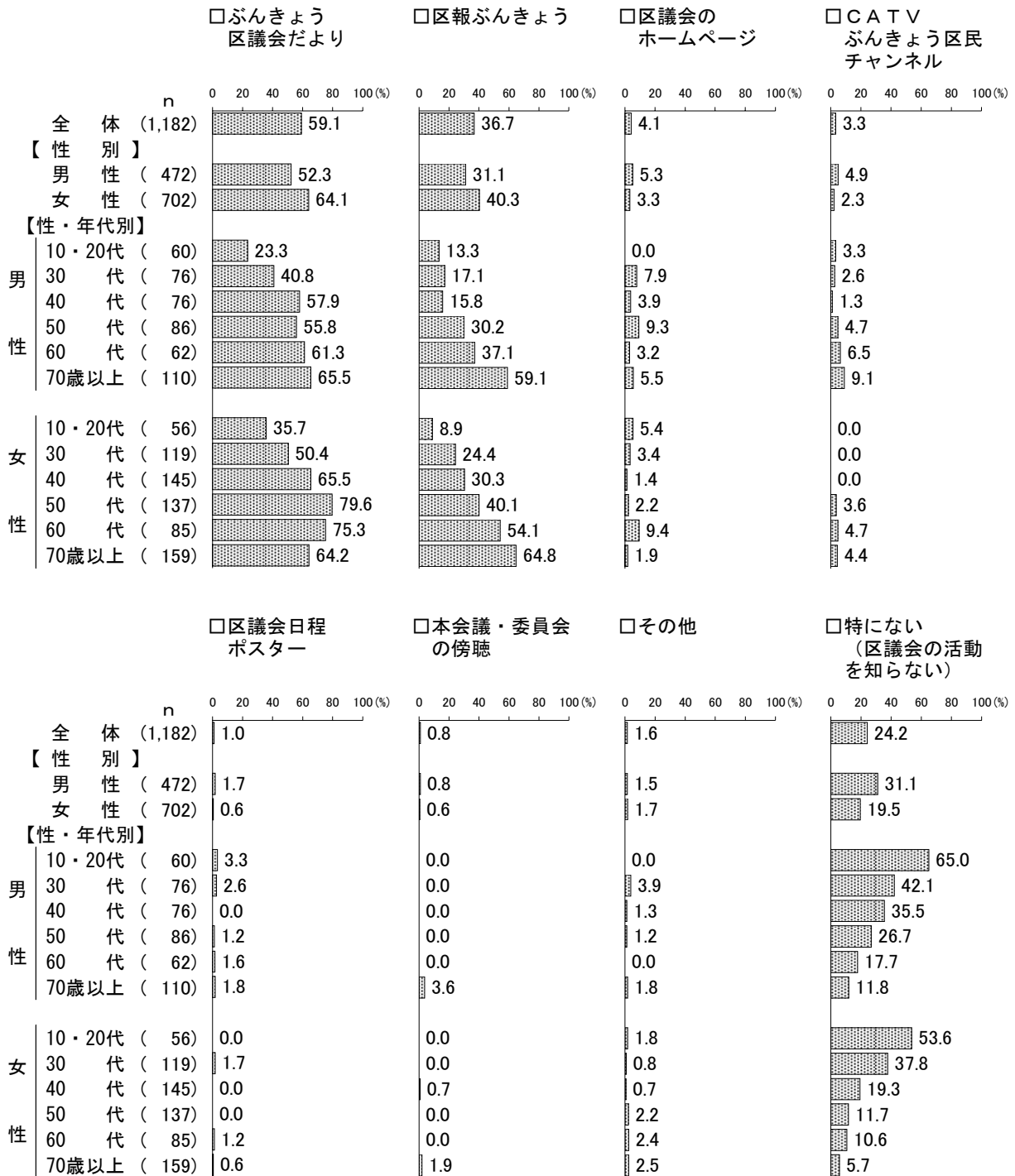
図11-1-1 区議会の活動の認知媒体



区議会の活動の認知媒体についてたずねたところ、「ぶんきょう区議会だより」(59.1%)が約6割で最も多く、次いで「区報ぶんきょう」(36.7%)、「区議会のホームページ」(4.1%)などの順となっている。一方、「特にない(区議会の活動を知らない)」(24.2%)は2割半ばとなっている。

(図11-1-1)

図11-1-2 区議会の活動の認知媒体－性別／性・年代別



性別にみると、「ぶんきょう区議会だより」は女性の方が男性より11.8ポイント、「区報ぶんきょう」は女性の方が男性より9.2ポイント、それぞれ高くなっている。

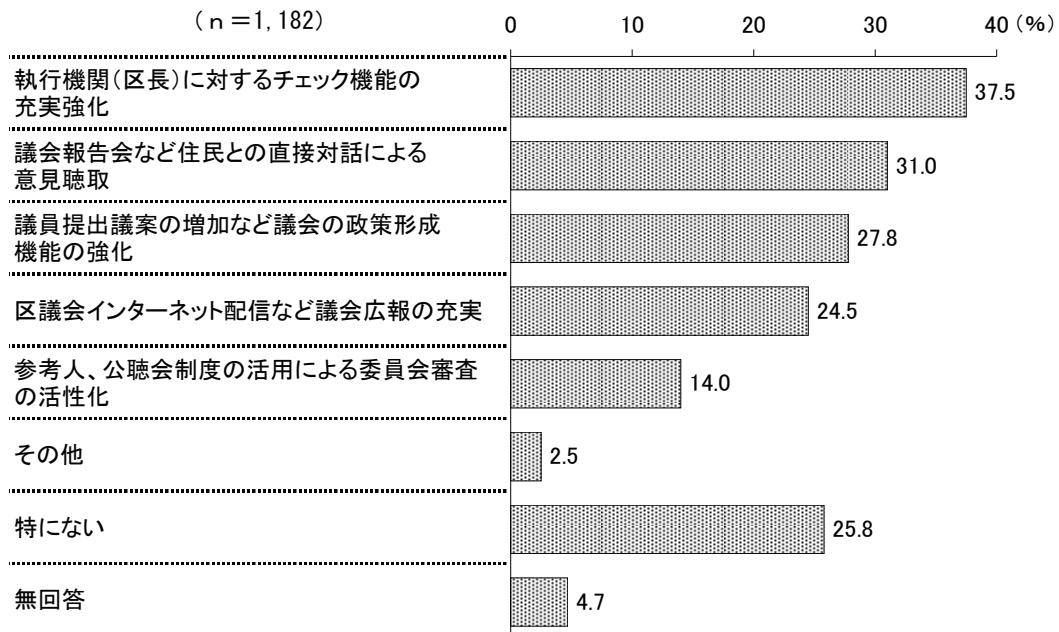
性・年代別にみると、「ぶんきょう区議会だより」は女性50代で8割と多くなっている。「区報ぶんきょう」は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合が高く、女性70歳以上で6割半ば、男性70歳以上で約6割となっている。(図11-1-2)



## 11-2 区議会の活動として期待すること

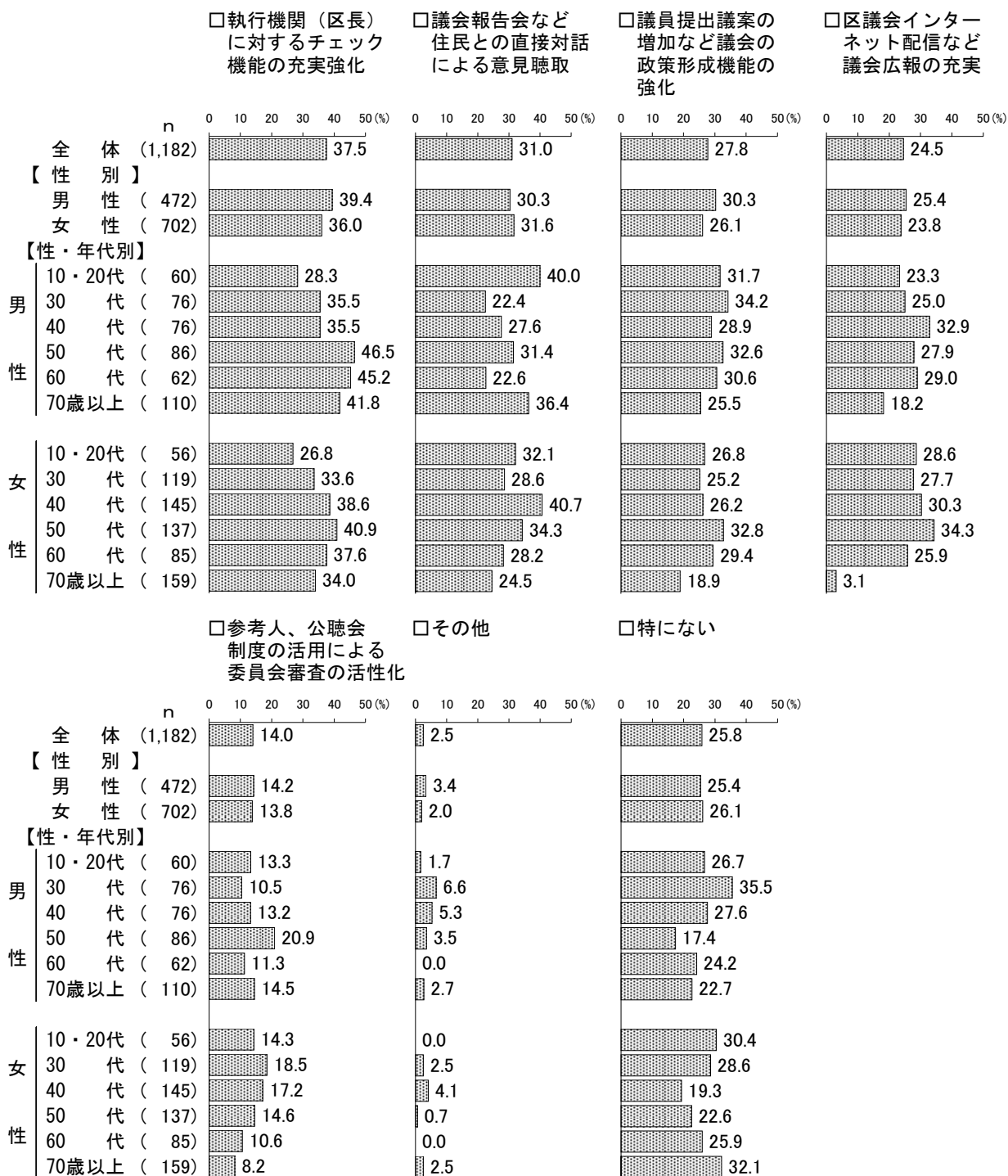
問40 地方議会の活性化や議会改革が求められていますが、区議会の活動として期待することはどれですか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

図11-2-1 区議会の活動として期待すること



区議会の活動として期待することについてたずねたところ、「執行機関(区長)に対するチェック機能の充実強化」(37.5%)が4割近くで最も多く、次いで「議会報告会など住民との直接対話による意見聴取」(31.0%)、「議員提出議案の増加など議会の政策形成機能の強化」(27.8%)、「区議会インターネット配信など議会広報の充実」(24.5%)などの順となっている。(図11-2-1)

図11-2-2 区議会の活動として期待すること—性別／性・年代別



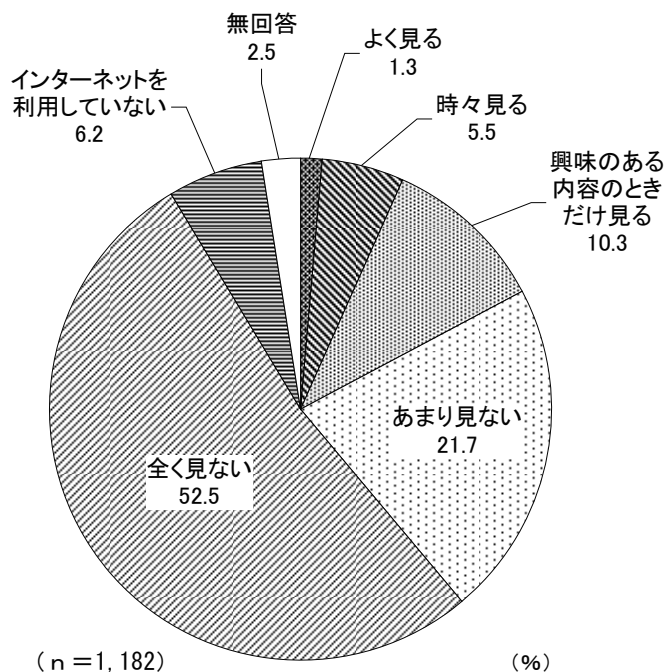
性別にみると、「議員提出議案の増加など議会の政策形成機能の強化」は男性の方が女性より4.2ポイント、「執行機関（区長）に対するチェック機能の充実強化」は男性の方が女性より3.4ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別にみると、「執行機関（区長）に対するチェック機能の充実強化」は男性の50代以上の年代と女性50代で4割台と多くなっている。「議会報告会など住民との直接対話による意見聴取」は女性40代と男性10・20代で約4割と多くなっている。「区議会インターネット配信など議会広報の充実」は女性50代で3割半ばと多くなっている。（図11-2-2）

### 11-3 区議会ホームページの閲覧頻度

問41 あなたは、区議会ホームページをどの程度閲覧されていますか。(○は1つ)

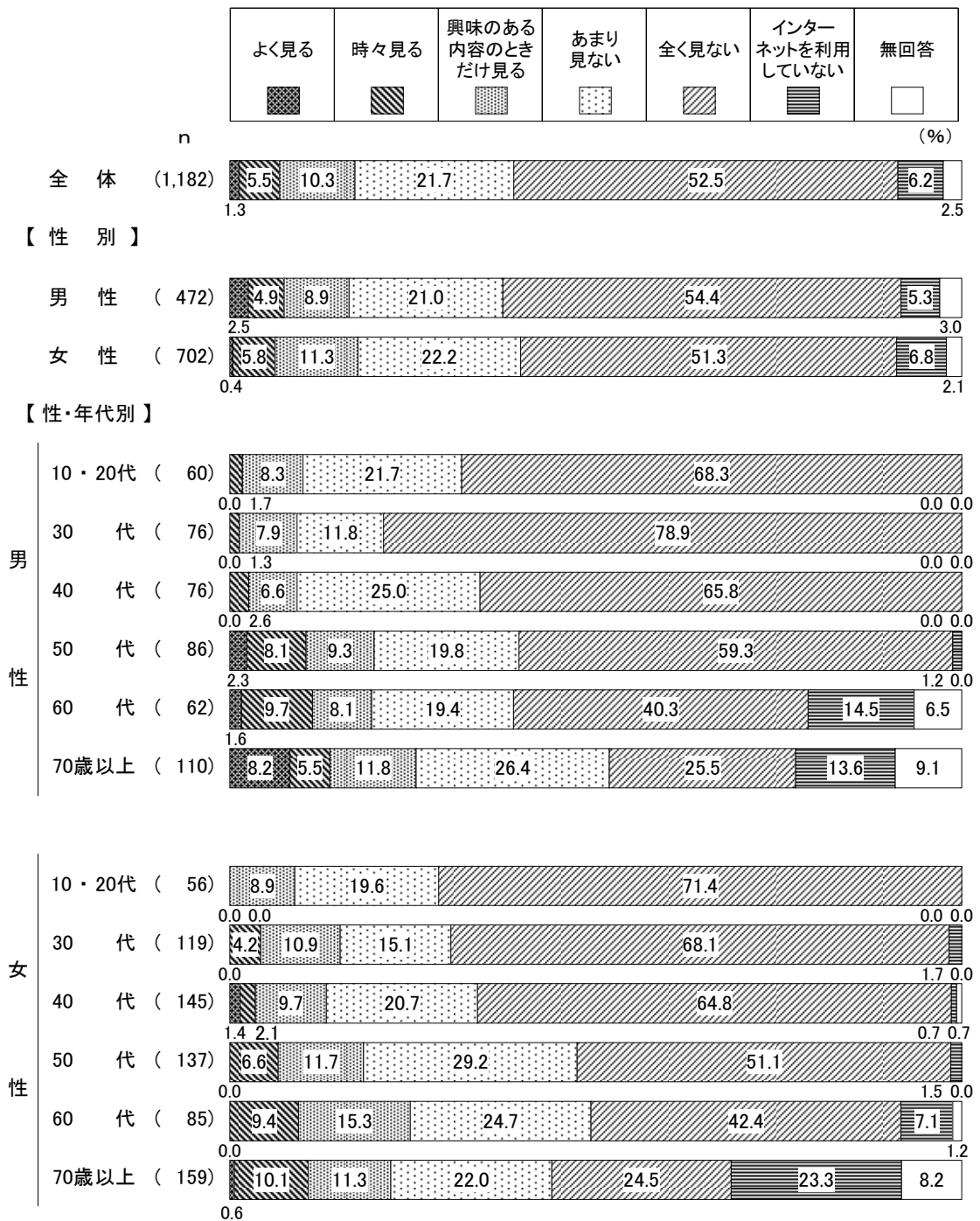
図11-3-1 区議会ホームページの閲覧頻度



区議会ホームページの閲覧頻度についてたずねたところ、「よく見る」(1.3%)と「時々見る」(5.5%)は1割未満、「興味のある内容のときだけ見る」(10.3%)は1割となっている。一方、「あまり見ない」(21.7%)は2割を超え、「全く見ない」(52.5%)は5割を超えている。

(図11-3-1)

図11-3-2 区議会ホームページの閲覧頻度－性別／性・年代別



性別にみると、「全く見ない」は男性の方が女性より3.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「あまり見ない」は女性50代で約3割と多くなっている。「全く見ない」は男女ともにおおむね年代が下がるほど割合が高く、男性30代で8割近く、女性10・20代で7割を超えている。(図11-3-2)

## 12. 人権・ダイバーシティ

- 
- 12-1 人権や差別・偏見問題に関して区が力を入れるべきもの
  - 12-2 「男女平等センター相談室」の認知度・利用状況
-



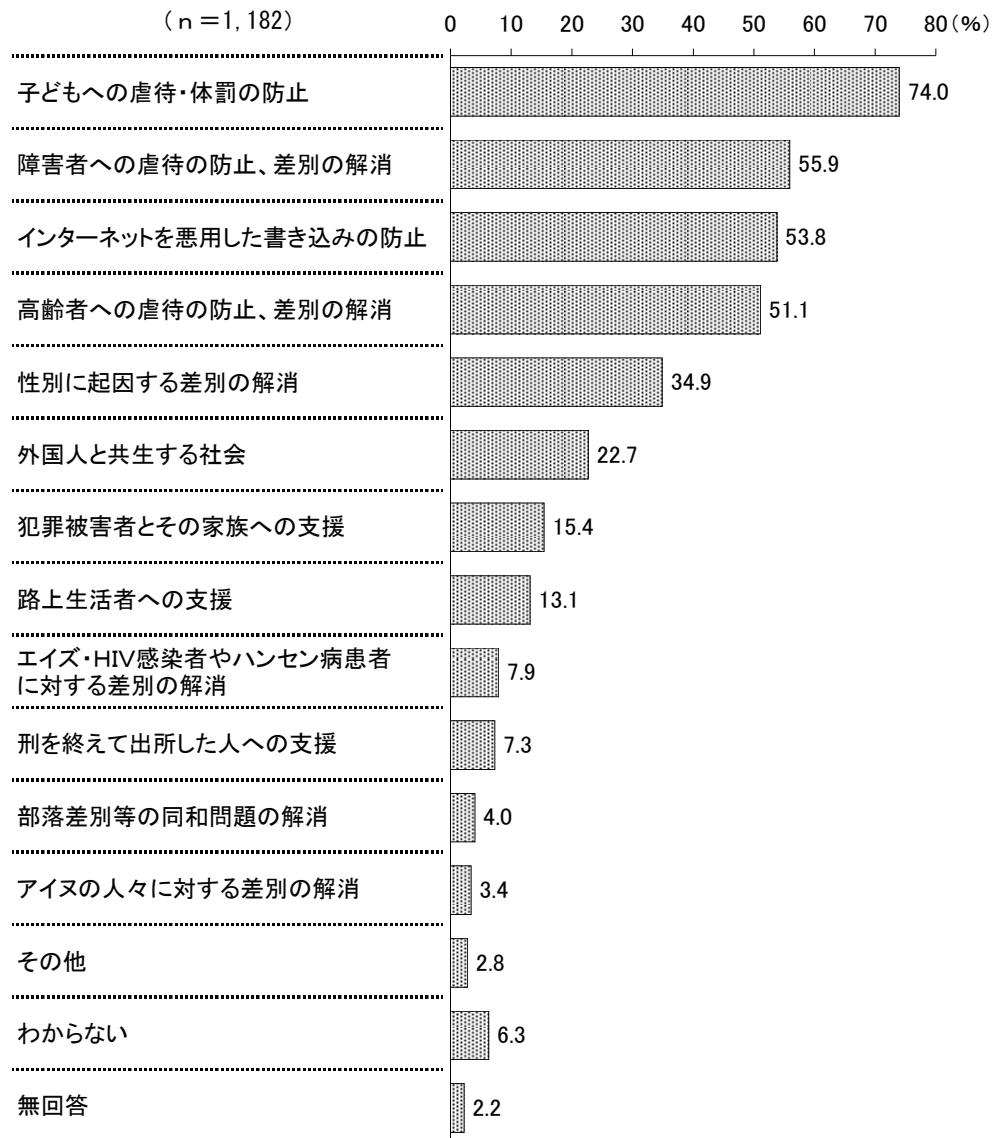
## 12. 人権・ダイバーシティ

### 12-1 人権や差別・偏見問題に関して区が力を入れるべきもの

問42 人権や差別・偏見についての問題の周知・理解や解決のために、区が今後どのようなことに力を入れていくべきと考えますか。次の中から5つ以内でお選びください。

(○は5つまで)

図12-1-1 人権や差別・偏見問題に関して区が力を入れるべきもの

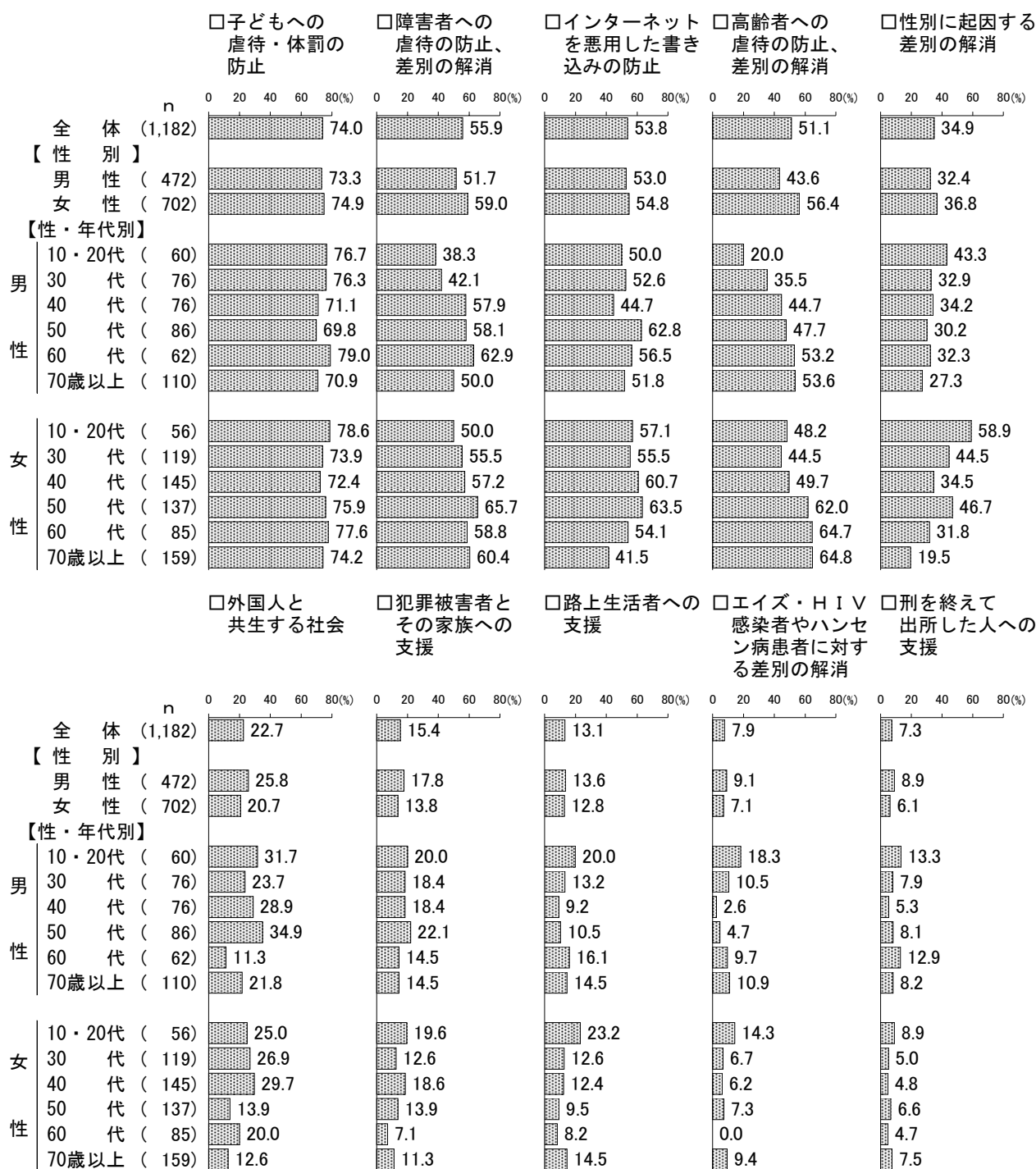


人権や差別・偏見問題に関して区が力を入れるべきものについてたずねたところ、「子どもへの虐待・体罰の防止」(74.0%)が7割半ばで最も多く、次いで「障害者への虐待の防止、差別の解消」(55.9%)、「インターネットを悪用した書き込みの防止」(53.8%)、「高齢者への虐待の防止、差別の解消」(51.1%)、「性別に起因する差別の解消」(34.9%)などの順となっている。

(図12-1-1)

図12-1-2 人権や差別・偏見問題に関して区が力を入れるべきもの

—性別／性・年代別（上位10項目）



上位10項目を性別にみると、「高齢者への虐待の防止、差別の解消」は女性の方が男性より12.8ポイント、「障害者への虐待の防止、差別の解消」は女性の方が男性より7.3ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「外国人と共生する社会」は男性の方が女性より5.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「障害者への虐待の防止、差別の解消」は女性50代で6割半ばと多くなっている。「インターネットを悪用した書き込みの防止」は男女ともに50代で6割を超えて多くなっている。「高齢者への虐待の防止、差別の解消」は女性の50代以上の年代で6割台と多くなっている。

(図12-1-2)

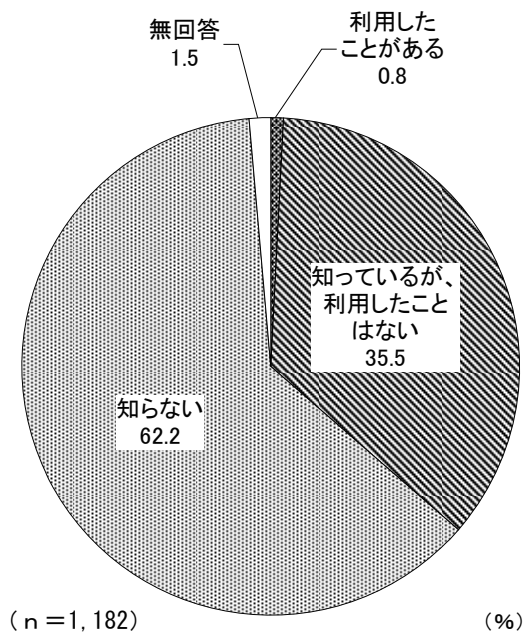


## 12-2 「男女平等センター相談室」の認知度・利用状況

問43 文京区男女平等センター内にある相談室では、家庭や職場の人間関係や性別に関する悩みなどを相談することができます。「男女平等センター相談室」を知っていますか。

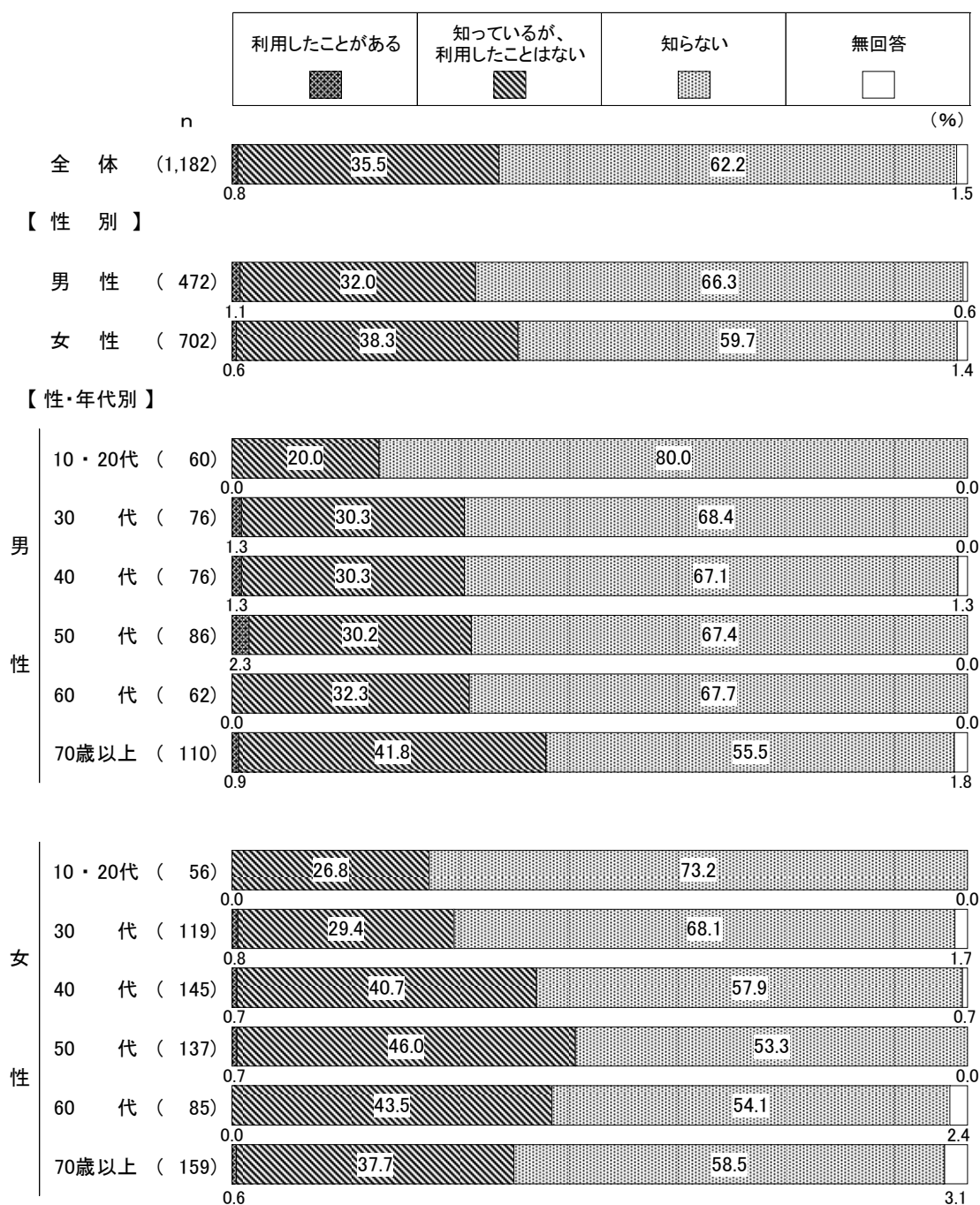
(○は1つ)

図12-2-1 「男女平等センター相談室」の認知度・利用状況



「男女平等センター相談室」の認知度・利用状況についてたずねたところ、「利用したことがある」(0.8%)は1割未満、「知っているが、利用したことはない」(35.5%)は3割半ばとなっている。一方、「知らない」(62.2%)は6割を超えている。(図12-2-1)

図12-2-2 「男女平等センター相談室」の認知度・利用状況－性別／性・年代別



性別にみると、「知っているが、利用したことはない」は女性の方が男性より6.3ポイント高くなっている。一方、「知らない」は男性の方が女性より6.6ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「知っているが、利用したことはない」は女性の40代から60代の年代と男性70歳以上で4割台と多くなっている。「知らない」は男性10・20代で8割、女性10・20代で7割を超えて多くなっている。(図12-2-2)

## 13. 健康・保健

- 
- 13-1 新型コロナウイルス感染防止のために行っていること
  - 13-2 新型コロナウイルスによる影響で困っていること
  - 13-3 区が実施している自殺対策の認知度
-

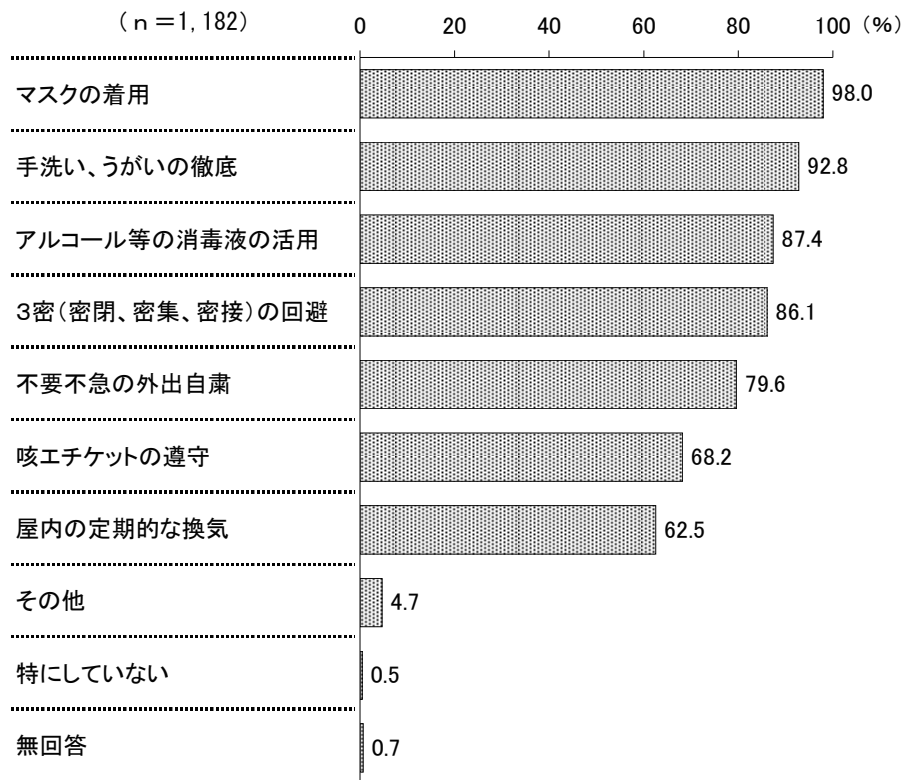


## 13. 健康・保健

### 13-1 新型コロナウイルス感染防止のために行っていること

問44 あなたは、新型コロナウイルス感染症について、どのような対策をしていますか。  
次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

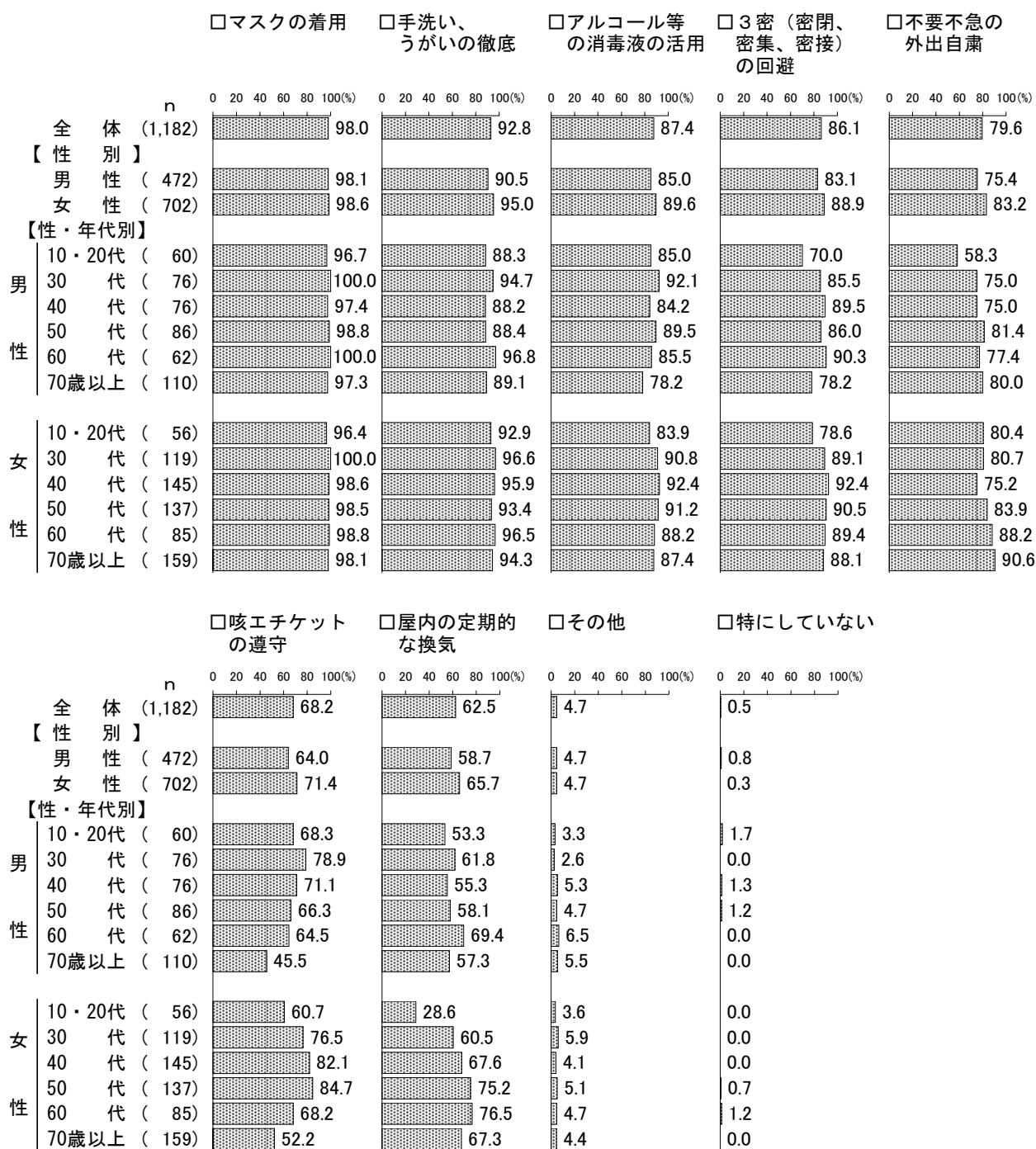
図13-1-1 新型コロナウイルス感染防止のために行っていること



新型コロナウイルス感染防止のために行っていることについてたずねたところ、「マスクの着用」(98.0%)が10割近くで最も多く、次いで「手洗い、うがいの徹底」(92.8%)、「アルコール等の消毒液の活用」(87.4%)、「3密(密閉、密集、密接)の回避」(86.1%)などの順となっている。

(図13-1-1)

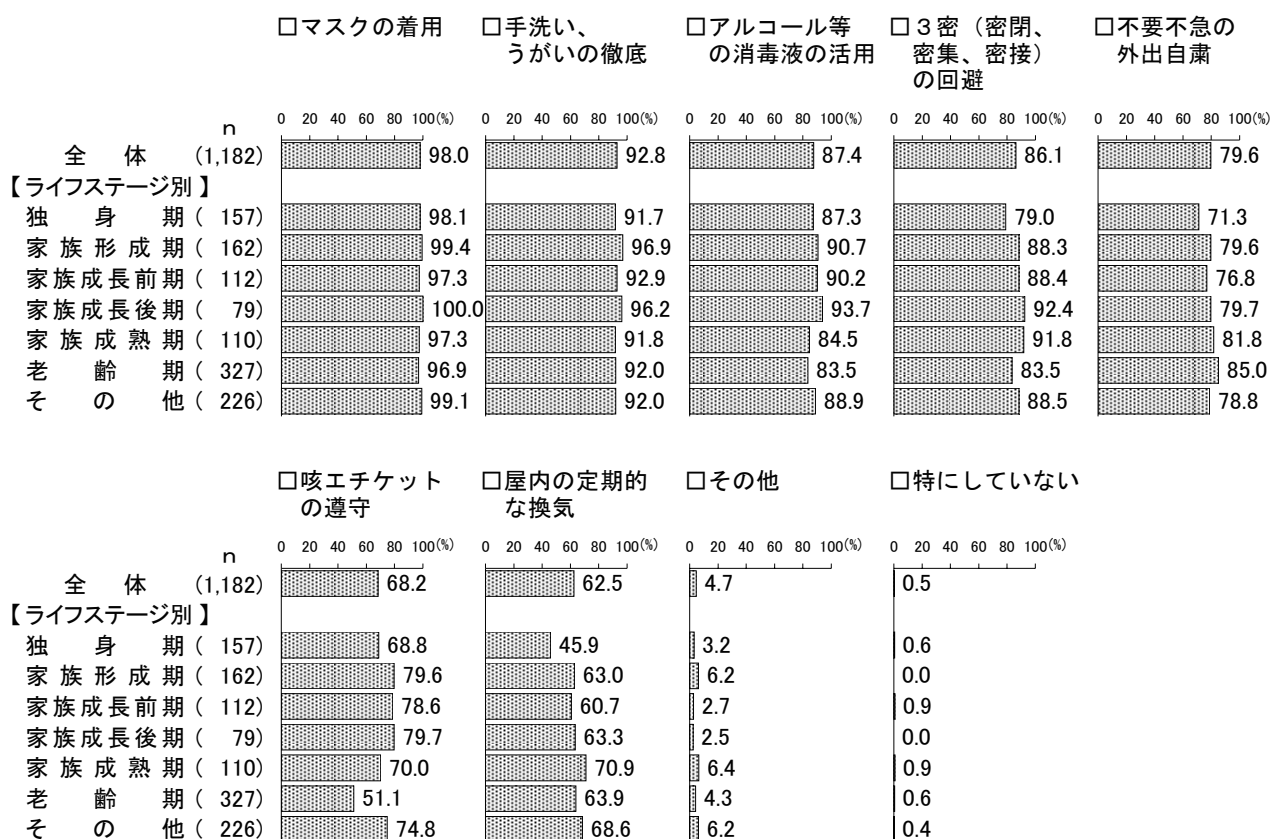
図13-1-2 新型コロナウイルス感染防止のためにやっていることー性別／性・年代別



性別にみると、多くの項目で女性の方が男性より高くなっており、特に「不要不急の外出自粛」で7.8ポイント、「咳エチケットの遵守」で7.4ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別にみると、「不要不急の外出自粛」は女性70歳以上で約9割と多くなっている。「咳エチケットの遵守」は女性の40代と50代で8割台と多くなっている。「屋内の定期的な換気」は女性の50代と60代で7割台と多くなっている。(図13-1-2)

図13-1-3 新型コロナウイルス感染防止のためにやっていることーライフステージ別

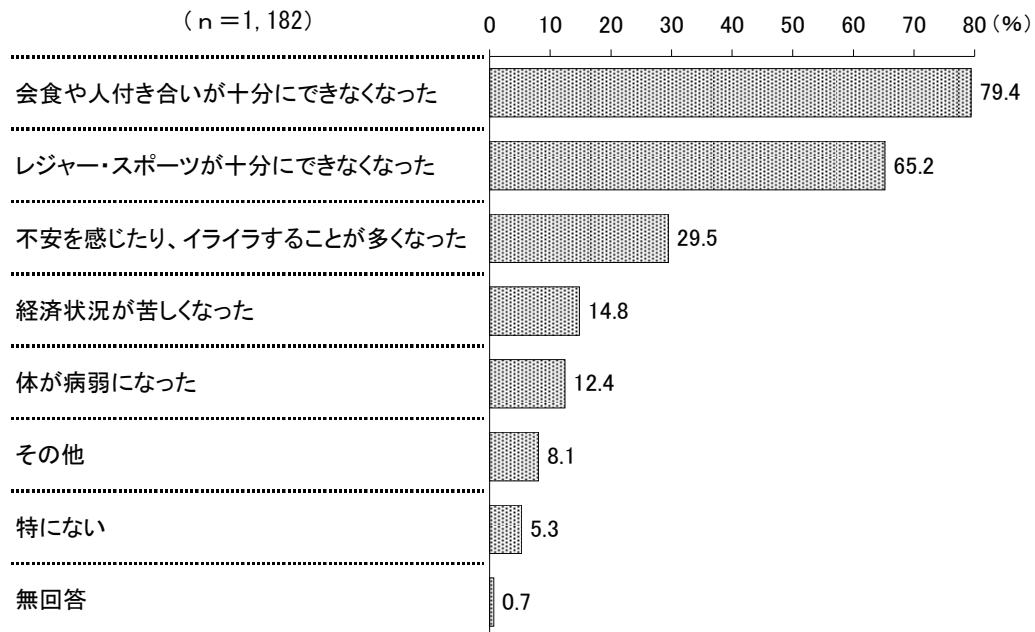


ライフステージ別にみると、「手洗い、うがいの徹底」は家族形成期で10割近くと多くなっている。「不要不急の外出自粛」は老齢期で8割半ばと多くなっている。「屋内の定期的な換気」は家族成熟期で約7割と多くなっている。(図13-1-3)

## 13-2 新型コロナウイルスによる影響で困っていること

問45 新型コロナウイルスによる影響で、困っていることは何ですか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

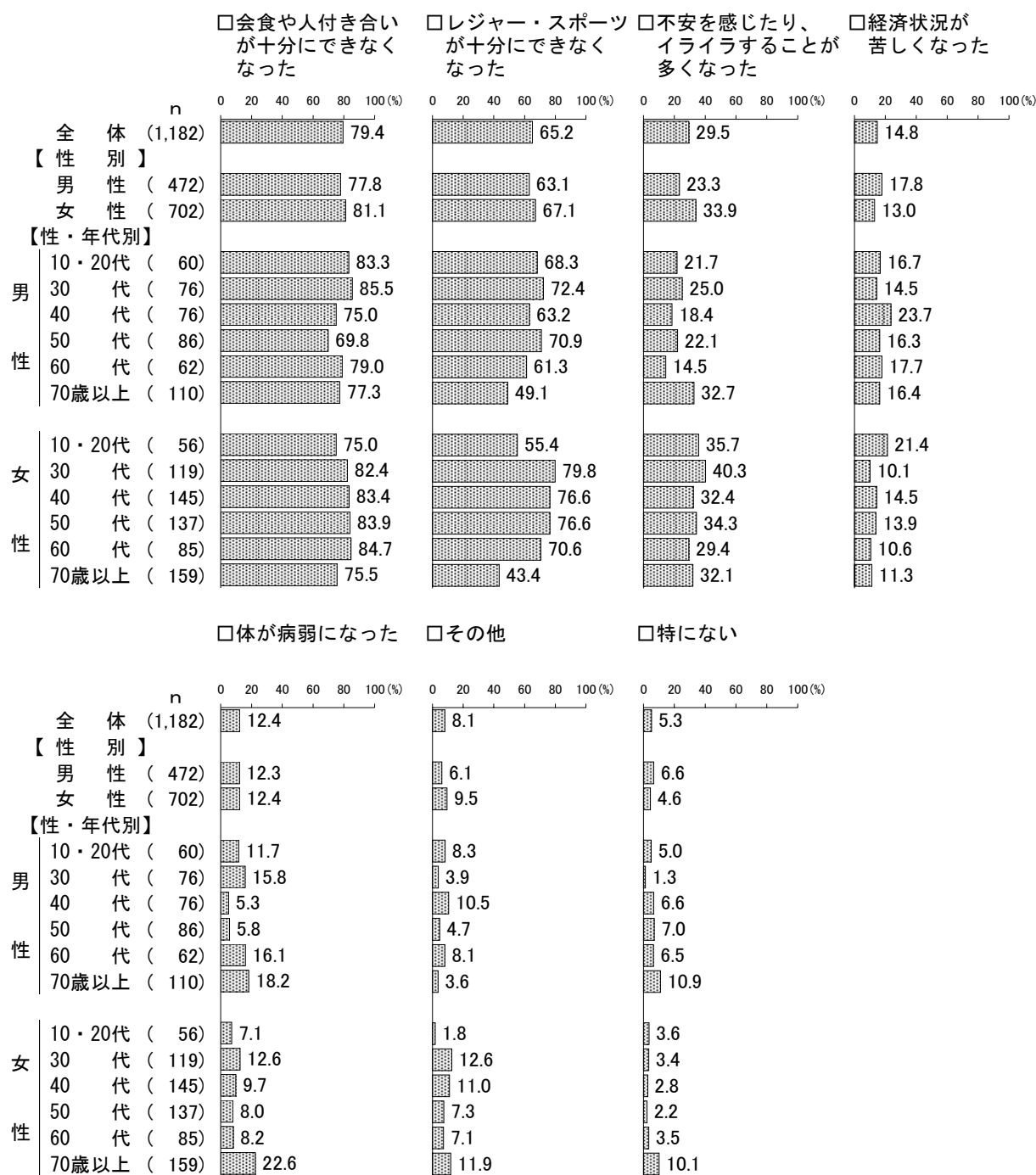
図13-2-1 新型コロナウイルスによる影響で困っていること



新型コロナウイルスによる影響で困っていることについてたずねたところ、「会食や人付き合いが十分にできなくなった」(79.4%)が約8割で最も多く、次いで「レジャー・スポーツが十分にできなくなった」(65.2%)、「不安を感じたり、イライラすることが多くなった」(29.5%)、「経済状況が苦しくなった」(14.8%)などの順となっている。(図13-2-1)



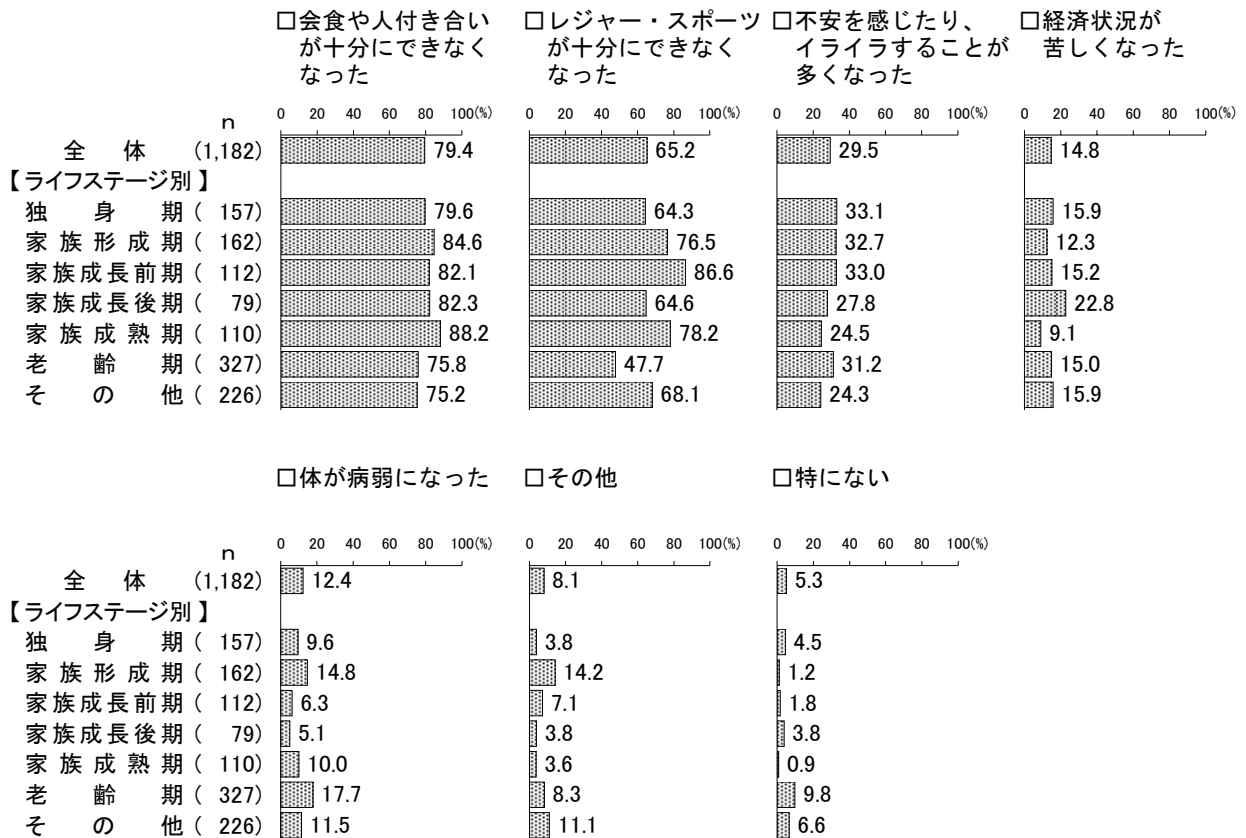
図13-2-2 新型コロナウイルスによる影響で困っていることー性別／性・年代別



性別にみると、「不安を感じたり、イライラすることが多くなった」は女性の方が男性より10.6ポイント高くなっている。一方、「経済状況が苦しくなった」は男性の方が女性より4.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「レジャー・スポーツが十分にできなくなった」は女性30代で8割と多くなっている。「不安を感じたり、イライラすることが多くなった」は女性30代で4割と多くなっている。「体が病弱になった」は女性70歳以上で2割を超えて多くなっている。(図13-2-2)

図13-2-3 新型コロナウイルスによる影響で困っていること—ライフステージ別



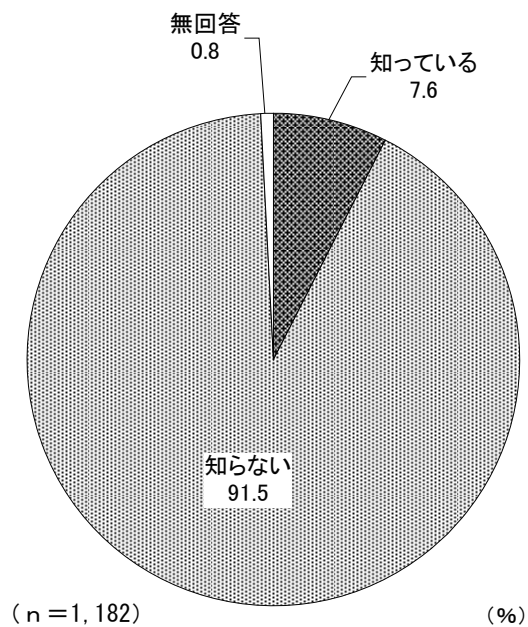
ライフステージ別にみると、「会食や人付き合いが十分にできなくなった」は家族成熟期で9割近くと多くなっている。「レジャー・スポーツが十分にできなくなった」は家族成長前期で9割近くと多くなっている。「経済状況が苦しくなった」は家族成長後期で2割を超えて多くなっている。

(図13-2-3)

### 13-3 区が実施している自殺対策の認知度

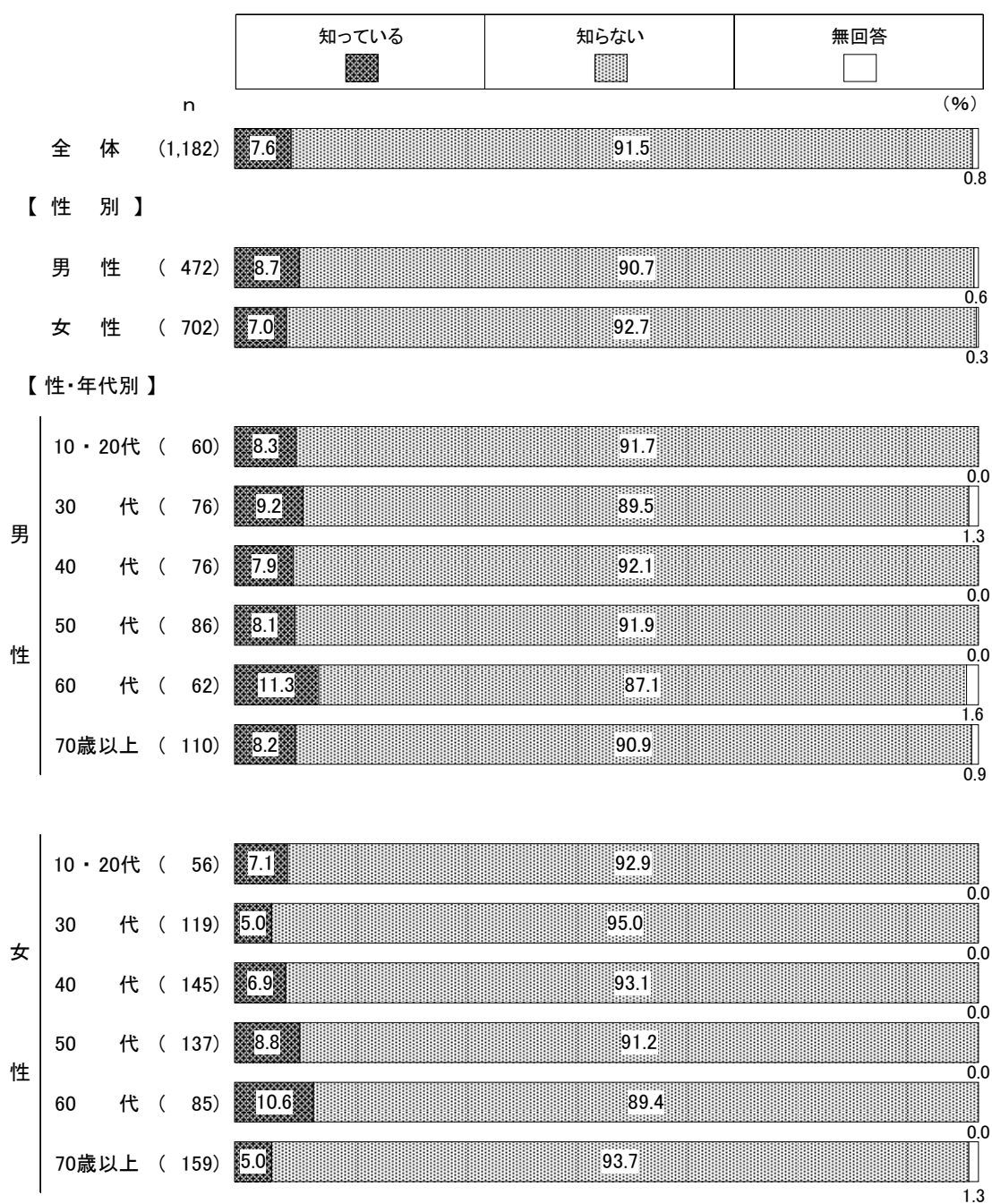
問46 身近な人の自殺のサインに気づき、必要に応じて相談機関につなぐ役割等を担うゲートキーパーの養成講座や自殺対策講演会など、区が自殺対策事業に取り組んでいることを知っていますか。(〇は1つ)

図13-3-1 区が実施している自殺対策の認知度



区が実施している自殺対策の認知度についてたずねたところ、「知っている」(7.6%)が1割未満、「知らない」(91.5%)は9割を超えている。(図13-3-1)

図13-3-2 区が実施している自殺対策の認知度—性別／性・年代別



性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、「知らない」は女性30代で9割半ばと多くなっている。(図13-3-2)

### Ⅲ 質問と回答



# 第25回 文京区政に関する世論調査

## ～ ご協力のお願い ～

皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、文京区では、区政の各分野について区民の皆様が日頃感じていらっしゃることをお伺いし、今後の区政に役立てるために「文京区政に関する世論調査」を3年ごとに実施しております。本年度は8月10日号の区報でお知らせしましたとおり、8月下旬より実施することとなりました。

調査にあたりまして、住民基本台帳から区内にお住まいの18歳以上の方を無作為に2,500人選ばせていただきました。調査結果は統計的数値としてまとめますので、個人のお名前などが公表されることは一切ありません。

ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年8月

文京区長 成澤 廣修

なお、ご回答は郵送によるご返送、もしくはインターネットによるご回答のいずれかでお願いたします。インターネットによるご回答をされる場合には、次のIDおよびパスワードを入力しログインのうえ回答サイトにお入りください。

【あなたのID・パスワード】（※インターネットでご回答いただく場合のログイン用）

ID	●●●●●●●●●●	※なお、このID・パスワードはランダムに配付しています。どなたがどのID・パスワードであるかは照合できないようになっており、個人を特定するものではありませんのでご安心ください。
パスワード	●●●●●●●●●●	

### 【ご記入にあたってのお願い】

- 回答は、必ずあて名の方ご自身がお答えください。
- 特にことわりのない限り、全ての質問にお答えください。
- 回答は、あてはまる番号を○印で囲むものと、あてはまる番号をご記入いただくものがあります。
- 質問文に（○は1つ）（○はいくつでも）（○は3つまで）などのことわり書きがあります。これはお答えいただく数を意味します。
- 「その他」を選んだ場合には（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

ご記入にあたってのご留意点、ご回答方法の詳細は次のページをご参照ください。

ご回答期限 : 9月6日(月)まで

## 【 ご回答の方法 】

「郵送」にてご返送、もしくは「インターネット」によるご回答のどちらか一方でご回答くださいますようお願いいたします。

### ◎「郵送」にてご返送の場合

ご記入いただいた調査票を同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずにご投函ください。

### ◎「インターネット」にてご回答の場合

#### ●文京区ホームページより <https://www.city.bunkyo.lg.jp/>

文京区ホームページのトップページにある

「注目情報『第25回 文京区政に関する世論調査を実施しています』」内のURLから「電子申請」サイトにお入りいただきご回答ください。

#### ●二次元コード（QRコード）より

下記二次元コードを読み取ると、回答ページのログイン画面に直接お入りいただけます。



※携帯電話の機種により対応していない場合があります。

※ご回答いただく際は、表紙にある個別のIDおよびパスワードによりサイトにお入りいただき、入力フォームからご回答ください。

## 【 アンケート調査に関するお問い合わせ先 】

文京区 企画政策部 広報課 広聴・相談担当

〒112-8555 東京都文京区春日一丁目16番21号

電話 03-5803-1129（直通）



# 1 定住意向

問1 あなたは、文京区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ) n=1,182

1	5年未満	20.8%	3	10~14年	11.1%	5	20~24年	7.8%
2	5~9年	12.6%	4	15~19年	9.5%	6	25年以上	38.2%

問2 あなたは、これからも文京区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ) n=1,182

1	ずっと住み続けたい	53.2%	3	いずれは転出したい	4.0%	→ 問3へ
2	当分の間は住んでいたい	36.7%	4	近いうちに転出するつもり	2.6%	
			5	わからない	3.2%	
				無回答	0.3%	

【問2で「1 ずっと住み続けたい」または「2 当分の間は住んでいたい」と回答した方に】

問2-1 住み続けたいと思う理由は何ですか。

次の中からあてはまるものを**3つ以内**でお選びください。(○は3つまで) n=1,063

1	通勤・通学などの交通の便がよい	67.1%
2	緑や街並みなどが整備されている	36.3%
3	図書館、学校、保育園などの公共機関が整備されている	26.4%
4	福祉施設や医療施設が整備されている	23.4%
5	地元の商店などで生活に必要なものがそろい、便利である	19.0%
6	生まれ育った地域であり、愛着がある	20.3%
7	持ち家のため、住み続けたい	40.0%
8	その他(具体的に: )	10.9%
	無回答	0.2%

# 2 区政運営

問3 次の区の施策のうち、あなたが**満足**に感じている分野を、**3つ以内**でお選びください。

(○は3つまで) n=1,182

1	子育て支援施策	14.7%	13	文化振興施策	8.7%
2	教育施策	16.6%	14	スポーツ振興施策	6.2%
3	青少年の健全育成施策	2.1%	15	観光施策	2.2%
4	高齢者福祉施策	12.3%	16	都市交流施策(国内・国際)	0.6%
5	障害者福祉施策	4.1%	17	住環境施策	16.0%
6	生活福祉施策	4.7%	18	環境保護施策	5.7%
7	健康づくり施策	9.4%	19	災害対策施策	8.0%
8	生活衛生環境施策	7.5%	20	防犯・安全対策施策	23.0%
9	地域コミュニティ施策	7.1%	21	その他(具体的に: )	1.5%
10	男女平等参画施策	0.9%	22	特になし	26.1%
11	産業振興施策	1.1%		無回答	1.5%
12	生涯学習施策	6.7%			

問4 次の区の施策のうち、あなたが不満に感じている分野を、3つ以内でお選びください。

(○は3つまで) n=1,182

1	子育て支援施策	9.4%	13	文化振興施策	2.8%
2	教育施策	4.7%	14	スポーツ振興施策	4.1%
3	青少年の健全育成施策	1.4%	15	観光施策	3.7%
4	高齢者福祉施策	10.2%	16	都市交流施策（国内・国際）	2.9%
5	障害者福祉施策	3.3%	17	住環境施策	10.3%
6	生活福祉施策	5.2%	18	環境保護施策	4.1%
7	健康づくり施策	5.2%	19	災害対策施策	9.7%
8	生活衛生環境施策	3.6%	20	防犯・安全対策施策	5.7%
9	地域コミュニティ施策	6.0%	21	その他（具体的に：            ）	5.4%
10	男女平等参画施策	2.0%	22	特にない	45.1%
11	産業振興施策	3.2%		無回答	3.5%
12	生涯学習施策	3.0%			

問5 次の区の施策のうち、あなたがさらに力を入れるべきだと考える分野を、順位をつけて、3つ以内で選び、下の記入欄に番号をご記入ください。

n=1,182

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
記入欄 ⇒			

	1 位	2 位	3 位	累 計	
1	子育て支援施策	22.1%	7.6%	3.9%	33.6%
2	教育施策	6.0%	9.5%	3.6%	19.1%
3	青少年の健全育成施策	2.1%	1.9%	3.0%	7.0%
4	高齢者福祉施策	14.4%	8.9%	4.8%	28.1%
5	障害者福祉施策	1.6%	2.9%	2.5%	6.9%
6	生活福祉施策	2.9%	5.5%	4.4%	12.8%
7	健康づくり施策	3.0%	4.6%	3.3%	10.8%
8	生活衛生環境施策	2.6%	2.9%	2.9%	8.4%
9	地域コミュニティ施策	2.8%	3.2%	3.2%	9.2%
10	男女平等参画施策	0.3%	1.5%	0.8%	2.6%
11	産業振興施策	1.4%	2.5%	1.9%	5.8%
12	生涯学習施策	1.2%	2.7%	3.5%	7.4%
13	文化振興施策	1.7%	1.7%	2.4%	5.8%
14	スポーツ振興施策	1.0%	1.7%	1.9%	4.7%
15	観光施策	0.7%	1.6%	2.0%	4.3%
16	都市交流施策（国内・国際）	0.7%	0.6%	0.8%	2.1%
17	住環境施策	6.6%	6.1%	8.8%	21.5%
18	環境保護施策	1.9%	3.0%	4.3%	9.1%
19	災害対策施策	11.0%	9.5%	8.4%	28.8%
20	防犯・安全対策施策	4.9%	7.5%	10.0%	22.4%
21	その他（具体的に：            ）	1.9%	0.4%	0.4%	2.8%
22	特にない	3.0%	-	-	3.0%
	無回答	6.3%	14.4%	23.1%	6.3%

問6 あなたは、区の財政状況に関心がありますか。(○は1つ)

n = 1, 182

1 大いにある	17.0%	3 あまりない	22.7%	→問7へ
2 少しはある	45.3%	4 わからない	13.9%	
		無回答	1.1%	

【問6で「1 大いにある」または「2 少しはある」と回答した方に】

問6-1 区の財政状況について、どのような印象をお持ちですか。(○は1つ)

n = 737

1 極めて厳しい	1.1%	4 まだまだ余裕がある	16.4%
2 厳しい	15.2%	5 わからない	24.7%
3 普通	42.2%	無回答	0.4%

【全員の方にお聞きします】

問7 財政の健全化を更に進めていくためには、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つ以内でお選びください。(○は3つまで) n = 1, 182

1 公共施設の老朽化や移転等に伴い、現施設や跡施設の有効活用を図る	35.9%
2 職員数の適正化などにより、人件費を抑制する	27.7%
3 費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する	44.2%
4 特定の人が利便を受けるサービスや施設利用に対しては、応分の負担をしていただく	28.2%
5 民間との役割分担を見直し、民間委託や指定管理者制度を積極的に利用する	19.4%
6 区民やNPOなどとの協働を推進して、公共サービスの提供を行う	15.1%
7 区民の意向を踏まえて、行政サービスの水準を見直す	23.6%
8 新たな財源（ふるさと納税、広告料収入、区有財産の貸付収入など）を確保する	25.3%
9 その他（具体的に： )	3.6%
10 わからない	7.0%
無回答	1.2%

問8 あなたが、インターネットで申請・届出等ができると思う行政手続きや、区のサービスは何ですか。次の中からいくつでもお選びください。(○はいくつでも) n = 1, 182

1 証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書等）の交付申請	70.3%
2 戸籍に関する手続き（婚姻関係、出生関係）、住民登録に関する手続き（転出届）	53.9%
3 子育て・保育に関する手続き	40.0%
4 介護・福祉に関する手続き	43.1%
5 各種講座、イベントの申し込み	43.8%
6 その他（具体的に： )	3.6%
7 特にない	13.6%
無回答	2.3%

### 3 協働・協治

問9 区内でNPO、ボランティア団体及び町会・自治会等の地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に参加していますか。次の中から参加しているものをすべてお選びください。(〇はいくつでも) n=1,182

1 町会・自治会	18.4%	
2 PTA	6.3%	
3 青少年健全育成会	0.3%	
4 NPO法人	1.4%	
5 ボランティア団体	2.8%	→ 問9-1へ
6 企業による地域貢献活動	0.8%	
7 個人的なグループ・サークル	6.6%	
8 その他(具体的に: )	0.5%	
9 参加していない	70.3%	→ 問10へ
無回答	2.3%	

【問9で「1」から「8」と回答した方に】

→ 問9-1 その活動はどのような分野ですか。次の中から参加しているものをすべてお選びください。(〇はいくつでも) n=324

1 区のイベント・行事の運営	19.4%	9 国際交流(協力)活動	0.9%
2 防犯・地域安全活動	27.2%	10 社会福祉活動	6.2%
3 自主防災活動や災害援助活動	10.5%	11 保健・医療・衛生活動	5.2%
4 子どもの健全育成活動	20.7%	12 自然・環境保護活動	3.1%
5 スポーツ活動	17.0%	13 交通安全活動	12.7%
6 文化・芸術活動	12.0%	14 募金活動、チャリティーバザー	13.0%
7 人々の学習活動支援・指導活動	3.4%	15 その他(具体的に: )	6.2%
8 観光振興活動	0.9%	無回答	14.8%

【全員の方にお聞きします】

問10 今後参加してみたいと思う地域での活動はどのような分野ですか。次の中から参加してみたいものをすべてお選びください。(〇はいくつでも) n=1,182

1 区のイベント・行事の運営	10.8%	9 国際交流(協力)活動	15.3%
2 防犯・地域安全活動	7.9%	10 社会福祉活動	8.7%
3 自主防災活動や災害援助活動	7.7%	11 保健・医療・衛生活動	7.4%
4 子どもの健全育成活動	14.0%	12 自然・環境保護活動	14.2%
5 スポーツ活動	18.2%	13 交通安全活動	3.1%
6 文化・芸術活動	26.2%	14 募金活動、チャリティーバザー	5.8%
7 人々の学習活動支援・指導活動	8.0%	15 その他(具体的に: )	1.0%
8 観光振興活動	6.0%	16 特にな	30.5%
		無回答	3.8%

問 11 あなたの世帯は、町会や自治会に加入していますか。(○は1つ) n = 1, 182

1 加入している	62.8%	2 加入していない	36.1%	無回答	1.1%
----------	-------	-----------	-------	-----	------

問 12 あなたは今後、町会や自治会活動に参加したいと思いますか。(○は1つ) n = 1, 182

1 参加したい	8.4%	3 参加したくない	23.2%
2 機会があれば参加したい	28.3%	4 どちらともいえない	37.7%
		無回答	2.4%

問 13 町会・自治会に期待する内容はどのようなことですか。次の中からいくつでもお選びください。  
(○はいくつでも) n = 1, 182

1 防災・地域安全活動	60.2%	6 高齢者・障害者・児童に対する福祉活動	33.2%
2 交通安全活動	19.0%	7 行政との連携	19.9%
3 清掃・リサイクル活動事業などの環境活動	31.9%	8 募金活動	3.3%
4 お祭りなどのイベント	32.9%	9 その他(具体的に: )	1.0%
5 地域親睦・交流活動	24.5%	10 特になし	15.6%
		無回答	1.5%

## 4 防災・安全

問 14 警察のパトロール以外で、あなたが防犯対策として有用だと考えるものは何ですか。  
次の中から3つ以内でお答えください。(○は3つまで) n = 1, 182

1 防犯カメラの設置	79.4%	5 青色防犯パトロールカーの運行	28.6%
2 町会等によるパトロール活動	27.2%	6 区と警察署が連携した啓発活動	32.1%
3 メール等による犯罪発生情報の提供	27.9%	7 その他(具体的に: )	1.8%
4 子ども向け地域安全教室の実施	20.4%	無回答	1.6%

問 15 区では、おおむね 65 歳以上の方が居住する世帯を対象に、自動通話録音機の無償貸与を行っていますが、高齢者世帯を狙った特殊詐欺の被害防止について、何か対策を講じていますか。  
次の中からいくつでもお選びください。(○はいくつでも) n = 1, 182

1 自動通話録音機を設置している	6.7%
2 常に留守番電話に設定している	23.2%
3 防犯機能付き電話機を設置している	4.2%
4 だまされない所以对策は不要	4.0%
5 対策の必要性を感じるが、具体的には何もしていない	17.9%
6 その他(具体的に: )	3.1%
7 65歳以上の世帯構成員がいない	47.5%
無回答	2.1%

問 16 あなたは、災害に備えてどのような対策をしていますか。次の中からいくつでもお選びください。  
(○はいくつでも) n=1,182

1 飲料水、食糧、感染症対策用品の確保 (最低3日分以上)	63.5%	9 消火器、消火スプレーの用意	26.6%
2 携帯ラジオ、懐中電灯の用意	67.2%	10 避難所等への避難方法の確認	21.2%
3 救急用品の用意	38.3%	11 建物の耐震性及び耐火性の確保	17.7%
4 災害用伝言ダイヤルの確認方法	9.5%	12 防災訓練への参加	7.6%
5 集合場所の確認	37.3%	13 ガラスの飛散防止	6.0%
6 家具の転倒防止	34.9%	14 感震ブレーカーの設置	4.7%
7 携帯トイレ等トイレ関係用品の用意	33.1%	15 その他(具体的に: )	0.8%
8 貴重品を持ち出す準備	19.7%	16 特に何もしていない	7.9%
		無回答	0.8%

問 17 区からの災害情報の提供方法について、知っているものをすべてお選びください。  
(○はいくつでも) n=1,182

1 文京区公式ホームページ	55.4%	7 Lアラート	9.2%
2 文京区公式ツイッター・フェイスブック	13.5%	8 エリアメール(緊急速報メール)	28.2%
3 文京区公式LINE	11.6%	9 Yahoo!防災速報	30.1%
4 「文の京」安心・防災メール	14.6%	10 臨時災害FM放送(ラジオ)	3.9%
5 文京区民チャンネル	13.3%	11 防災情報一斉通知アプリ	6.9%
6 防災行政無線(屋外スピーカー (電話応答システムを含む。))	23.9%	12 知っているものはない	15.4%
		無回答	1.9%

問 18 区では、災害情報を広域的に伝達する目的で、「防災行政無線(屋外スピーカー)」を公園や区立学校等に設置しております。現在、防災行政無線は、緊急性を強調するため、訓練を除き災害時のみ使用していますが、その使用方法について、あなたが最も適切と思うものをお選びください。(○は1つ) n=1,182

1 夕焼けチャイムのように定期的に流したほうがよい	15.7%
2 区のイベント情報など不定期でも流したほうがよい	3.5%
3 大雨・洪水警報等の防災情報も流したほうがよい	40.0%
4 これまでどおり災害時(訓練を含む。)のみ流したほうがよい	37.6%
無回答	3.3%

## 5 まちづくり

問 19 あなたがお住まいの地域のまち並み・景観について、どのように感じますか。(○は1つ) n=1,182

1 満足している	22.2%	4 どちらかといえば不満である	7.6%
2 どちらかといえば満足している	37.6%	5 不満である	4.1%
3 普通	23.8%	6 あまり考えたことはない	3.0%
		無回答	1.7%

問 20 自転車の安全利用推進のために、重点を置くべきと思う施策について、3つ以内でお選びください。(○は3つまで) n = 1, 182

1	自転車レーン・専用通行帯等の自転車走行空間の整備	59.0%
2	自転車利用者に対するルールの周知・マナーの向上	52.4%
3	悪質・危険な自転車運転者への指導・取締り強化	54.7%
4	駅周辺の放置自転車への警告・撤去の強化	11.9%
5	駅周辺・商業集客施設等における自転車駐車場の整備	28.2%
6	学校での安全教育の推進	15.0%
7	自転車損害賠償責任保険加入の推進	17.5%
8	その他(具体的に: )	4.0%
	無回答	2.0%

問 21 みどりに関する啓発事業(自然散策会やガーデナー制度等)を知っていますか。(○は1つ) n = 1, 182

1	知っているし、参加したことがある	1.5%	3	知らない	86.5%
2	知っているが、参加したことはない	10.7%		無回答	1.4%

問 22 公園再整備事業により整備された公園を知っていますか。また、利用したことがありますか。(○は1つ) n = 1, 182

1	知っているし、利用したことがある	11.1%	3	知らない	76.7%
2	知っているが、利用したことはない	10.8%		無回答	1.4%

問 23 日頃、区立公園や児童遊園などをどの程度利用していますか。(○は1つ) n = 1, 182

1	ほぼ毎日	3.0%	3	週1回程度	11.7%	5	ほとんど利用しない	66.2%
2	週3回程度	3.7%	4	月1回程度	13.4%		無回答	2.1%

↳ 問24へ

**【問 23 で「1」から「4」と回答した方に】**

▶ 問 23-1 主に公園に何をしに行きますか。(○は1つ) n = 375

1	遊び	42.4%	4	散歩	39.2%
2	憩い	6.9%	5	その他(具体的に: )	3.2%
3	健康づくり	7.2%		無回答	1.1%

【全員の方にお聞きします】

問 24 あなたは、どのような公園があるとよいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つ以内でお選びください。(〇は3つまで) n = 1, 182

1 緑が多く、木陰での休息や散策が楽しめる公園	62.8%
2 ビオトープ(※)があり、自然環境とふれあえる公園	20.3%
3 四季折々の花や紅葉を楽しめる公園	39.3%
4 各種遊具を充実させ、子どもたちが安心して遊べる公園	21.8%
5 健康運動器具などを充実させ、大人も楽しめる公園	14.6%
6 大きな広場があり、多目的に使用できたり自由に遊ぶことができる公園	19.3%
7 ネットなどで囲まれた屋外運動施設のある公園	6.3%
8 噴水や流れなどの水施設があり、水と親しめる公園	16.2%
9 樹木や植え込みを整理した見通しが良く明るい公園	20.6%
10 災害時に避難場所となる機能をもった公園	38.5%
11 その他(具体的に: )	4.0%
12 わからない	1.4%
無回答	1.9%

※ビオトープとは、さまざまな野生動物が生息し、自然の生態系が機能する空間です。

問 25 令和2年7月から「文京区公共の場所における喫煙等の禁止に関する条例」が施行され、区内全域の道路や公園など、屋外の公共の場所での喫煙・ポイ捨てが禁止となりました。このことを知っていますか。(〇は1つ) n = 1, 182

1 よく知っている	45.7%
2 聞いたことはあるが、内容はよく知らない	27.3%
3 知らない	25.4%
無回答	1.6%

## 6 子育て・教育

問 26 令和2年4月から、子どもへの体罰が法律で禁止されたことを知っていますか。(〇は1つ) n = 1, 182

1 知っている	54.7%	2 知らない	43.7%	無回答	1.7%
---------	-------	--------	-------	-----	------

問 27 児童虐待が疑われるときの通報先「児童相談所虐待対応ダイヤル189(いちはやく)」を知っていますか。(〇は1つ) n = 1, 182

1 知っている	24.4%	2 知らない	73.9%	無回答	1.7%
---------	-------	--------	-------	-----	------



問 28 青少年健全育成に関して地域の大人たちができること、またやるべきことは何だと思いますか。  
次の中からいくつでもお選びください。(○はいくつでも) n = 1, 182

1 大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと	70.0%
2 子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること	46.0%
3 子ども達に進んで「おはよう」「こんにちは」等あいさつをすること	35.2%
4 地域や学校の行事に参加、協力すること	15.3%
5 近所の知り合いの子どもの育成に協力すること	17.1%
6 地域の関わりは必要だと思うが、実際に子どもの健全育成に関わるのは難しい	35.1%
7 その他(具体的に: )	2.5%
8 わからない	3.6%
無回答	1.4%

問 29 あなたが今後協力したい活動をすべてお選びください。(○はいくつでも) n = 1, 182

1 スクールガード〔登下校の見守りを行うボランティア〕	12.4%
2 学校図書ボランティア〔児童に本の読み聞かせを行うボランティア〕	12.0%
3 学習ボランティア〔学校において学習指導等を行うボランティア〕	10.9%
4 バリアフリーパートナー 〔学校での特別な支援を必要とする子どもたちを支援するボランティア〕	6.9%
5 ゲストティーチャー〔授業で特技や専門分野等を子どもたちに教えるボランティア〕	12.1%
6 地域学校協働本部事業〔PTA や地域の人が、ボランティアで学校運営をサポートする事業〕	5.1%
7 特になし	56.7%
無回答	5.1%

## 7 高齢者

問 30 地域における高齢者の相談窓口である「高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)」  
を知っていますか。(○は1つ) n = 1, 182

1 事業内容もおおむね知っている	11.8%	3 名前は聞いたことがある	27.5%
2 事業内容について少し知っている	11.5%	4 知らない	48.6%
		無回答	0.7%

問 31 『フレイル』とは、年齢を重ねることで心身の活力が低下した「健康」と「要介護状態」の間  
を指す言葉です。この言葉について、次の中からあてはまるものをお選びください。(○は1つ)  
n = 1, 182

1 内容まで十分理解している	9.5%
2 内容についてある程度理解している	18.5%
3 内容は知らないが言葉を知っている	17.2%
4 この言葉を初めて聞いた	53.6%
無回答	1.2%

問 32 あなたは「成年後見制度」について、どのようなことを知っていますか。この中からいくつでも挙げてください。(〇はいくつでも) n = 1, 182

1 「成年後見制度」は、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の権利や財産を守る制度である	58.5%
2 本人の判断能力の程度により「後見」「保佐」「補助」の3種類がある	19.5%
3 将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある	33.2%
4 その他（具体的に： _____ )	1.3%
5 内容は知らないが言葉を知っている	22.6%
6 内容も言葉も知らない	12.9%
無回答	1.5%

## 8 消費者相談

問 33 消費生活センターに、消費者と事業者との間に生じたトラブルを相談する「消費者相談室」があることを知っていますか。(〇は1つ) n = 1, 182

1 知っている	70.8%	2 知らない	28.1%	無回答	1.1%
---------	-------	--------	-------	-----	------

## 9 文化・芸術・スポーツ振興

問 34 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、区では様々な取り組みを進めてきました。これらを有益なレガシー（遺産）として残すため、今後、区はどのような施策を行うことが必要だと思いますか。次の中からあてはまるものを3つ以内でお選びください。(〇は3つまで) n = 1, 182

1 国籍、障害の有無等に関わる、人権尊重への理解促進	43.7%
2 自国の文化や芸術などの広い発信	29.1%
3 積極的に外国人と交流できるよう、語学力・コミュニケーション力など、国際化やマナーの向上	34.8%
4 パラスポーツの紹介や参加機会を拡充し、障害者への理解とパラスポーツの振興	20.7%
5 健康維持、競技力向上に繋がるよう、様々なスポーツに取り組める機会や環境の拡充	37.8%
6 各種ボランティア活動に積極的に参加できるよう、情報発信と参加機会の拡充	16.9%
7 その他（具体的に： _____ )	2.4%
8 特になし	14.1%
無回答	1.6%

## 10 循環型社会

問 35 環境について、あなたが知りたいと考えるものは何ですか。次の中からあてはまるものを3つ以内でお選びください。(○は3つまで) n = 1,182

1	地球温暖化による大雨や熱中症など、気候変動の影響への対策に関する情報	64.7%
2	省エネルギーや再生可能エネルギーに関する情報	47.1%
3	大気汚染や騒音など、公害に関する情報	41.4%
4	区内の緑や水辺に関する情報	27.0%
5	生物多様性に配慮した生活の実践に関する情報	12.9%
6	アライグマやハクビシンなど、外来生物に関する情報	19.0%
7	その他(具体的に: )	1.2%
8	特になし	6.3%
	無回答	3.2%

問 36 文京区一般廃棄物処理基本計画では、令和3年度から12年度までの10年間で、区民1人1日当たりの総排出量及び家庭ごみ排出量の約20%削減を目標としています。あなたは、この目標を達成するために、どのようなことを実践すると良いとお考えですか。次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも) n = 1,182

1	マイバッグの持参	68.6%
2	マイ箸・マイボトル・マイカップの使用	32.7%
3	過剰包装を断る	57.4%
4	チラシ・ダイレクトメールを断る	45.9%
5	食材を使い切る等、生ごみを出さない	45.3%
6	生ごみの水分をよく切ってから捨てる	32.7%
7	生ごみ堆肥づくり	9.1%
8	フリーマーケット・リサイクルショップの利用	18.4%
9	修理可能なものは修理して使う	38.3%
10	資源回収や修理などごみ減量に積極的に取り組む店舗を利用する	20.7%
11	町会などでの集団回収に参加する	16.5%
12	資源となるものは分別して出す	65.1%
13	再生品・環境配慮型商品を利用する	19.2%
14	ごみ減量に関する勉強会・講座等に参加する	5.3%
15	その他(具体的に: )	2.4%
	無回答	2.4%

問 37 文京区一般廃棄物処理基本計画では、食品ロス削減推進計画を設定し、「一人ひとりが食品ロスを減らす大切さを理解し、行動する～明るく楽しく果敢に取り組む、食ロス対策～」という基本指針を設定しました。あなたは、食品ロスを減らすため日頃から行っていることはありますか。次の中からいくつでもお選びください。(○はいくつでも) n=1,182

1	買いすぎない	76.1%
2	冷蔵庫などをこまめにチェックする	55.5%
3	料理を作りすぎない	29.9%
4	料理を残さない	62.4%
5	フードドライブを利用する	2.3%
6	ぶんきょう食べきり協力店を利用する	1.0%
7	外食時はごはんの量を調整してもらう	26.2%
8	食べ残した料理をお店の方に確認し持ち帰る	16.8%
9	その他（具体的に： )	1.4%
10	特に何もしていない	3.6%
	無回答	2.5%

問 38 文京区一般廃棄物処理基本計画では、プラスチックごみの削減の推進のため、「プラスチックの使用を減らすライフスタイルへの転換」という基本指針を設定しました。あなたは、プラスチックごみを減らすためプラスチックを資源として分別回収することについてどのようにお考えですか。(○は1つ) n=1,182

1	実施すべき	43.6%	4	どちらともいえない	7.3%
2	経費と得られる効果を考慮して検討すべき	41.4%	5	その他（具体的に： )	0.7%
3	実施すべきでない	3.9%		無回答	3.2%

## 11 議会

問 39 あなたは、区議会の活動を、どのようにしてお知りになっていますか。次の中からいくつでもお選びください。(○はいくつでも) n=1,182

1	ぶんきょう区議会だより	59.1%	5	区報ぶんきょう	36.7%
2	区議会のホームページ	4.1%	6	CATVぶんきょう区民チャンネル	3.3%
3	区議会日程ポスター	1.0%	7	その他（具体的に： )	1.6%
4	本会議・委員会の傍聴	0.8%	8	特にない（区議会の活動を知らない）	24.2%
				無回答	2.5%

問 40 地方議会の活性化や議会改革が求められています。区議会の活動として期待することはどれですか。次の中からいくつでもお選びください。(○はいくつでも) n=1,182

1	執行機関（区長）に対するチェック機能の充実強化	37.5%
2	議員提出議案の増加など議会の政策形成機能の強化	27.8%
3	議会報告会など住民との直接対話による意見聴取	31.0%
4	参考人、公聴会制度の活用による委員会審査の活性化	14.0%
5	区議会インターネット配信など議会広報の充実	24.5%
6	その他（具体的に： )	2.5%
7	特にない	25.8%
	無回答	4.7%

問 41 あなたは、区議会ホームページをどの程度閲覧されていますか。(○は1つ) n = 1, 182

1 よく見る	1.3%	4 あまり見ない	21.7%
2 時々見る	5.5%	5 全く見ない	52.5%
3 興味のある内容のときだけ見る	10.3%	6 インターネットを利用していない	6.2%
		無回答	2.5%

## 12 人権・ダイバーシティ

問 42 人権や差別・偏見についての問題の周知・理解や解決のために、区が今後どのようなことに力を入れていくべきと考えますか。次の中から5つ以内でお選びください。(○は5つまで)

n = 1, 182

1 子どもへの虐待・体罰の防止	74.0%
2 高齢者への虐待の防止、差別の解消	51.1%
3 障害者への虐待の防止、差別の解消	55.9%
4 性別に起因する差別の解消	34.9%
5 インターネットを悪用した書き込みの防止	53.8%
6 外国人と共生する社会	22.7%
7 犯罪被害者とその家族への支援	15.4%
8 路上生活者への支援	13.1%
9 エイズ・HIV感染者やハンセン病患者に対する差別の解消	7.9%
10 刑を終えて出所した人への支援	7.3%
11 部落差別等の同和問題の解消	4.0%
12 アイヌの人々に対する差別の解消	3.4%
13 その他(具体的に: )	2.8%
14 わからない	6.3%
無回答	2.2%

問 43 文京区男女平等センター内にある相談室では、家庭や職場の人間関係や性別に関する悩みなどを相談することができます。「男女平等センター相談室」を知っていますか。(○は1つ)

n = 1, 182

1 利用したことがある	0.8%
2 知っているが、利用したことはない	35.5%
3 知らない	62.2%
無回答	1.5%

## 13 健康・保健

問 44 あなたは、新型コロナウイルス感染症について、どのような対策をしていますか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) n=1,182

1 不要不急の外出自粛	79.6%	6 咳エチケットの遵守	68.2%
2 3密（密閉、密集、密接）の回避	86.1%	7 屋内の定期的な換気	62.5%
3 マスクの着用	98.0%	8 その他（具体的に： )	4.7%
4 手洗い、うがいの徹底	92.8%	9 特にしていない	0.5%
5 アルコール等の消毒液の活用	87.4%	無回答	0.7%

問 45 新型コロナウイルスによる影響で、困っていることは何ですか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) n=1,182

1 経済状況が苦しくなった	14.8%
2 レジャー・スポーツが十分にできなくなった	65.2%
3 会食や人付き合いが十分にできなくなった	79.4%
4 不安を感じたり、イライラすることが多くなった	29.5%
5 体が病弱になった	12.4%
6 その他（具体的に： )	8.1%
7 特にない	5.3%
無回答	0.7%

問 46 身近な人の自殺のサインに気づき、必要に応じて相談機関につなぐ役割等を担うゲートキーパーの養成講座や自殺対策講演会など、区が自殺対策事業に取り組んでいることを知っていますか。(〇は1つ) n=1,182

1 知っている	7.6%	2 知らない	91.5%	無回答	0.8%
---------	------	--------	-------	-----	------

■ 最後に、あなたとご家族のことについておたずねします

F 1 あなたの性別は、次のどれにあたりますか。(〇は1つ) n=1,182

1 男性	39.9%	2 女性	59.4%	3 その他の性自認	0.3%
				無回答	0.4%

F 2 あなたの年齢はおいくつですか。(〇は1つ) n=1,182

1 18~19歳	0.9%	4 40~49歳	18.7%	7 70歳以上	22.8%
2 20~29歳	9.1%	5 50~59歳	18.9%	無回答	0.7%
3 30~39歳	16.6%	6 60~69歳	12.4%		

F 3 あなたのご職業は次のどれですか。(〇は1つ) n=1,182

1 自営業・事業主	10.9%	6 学生	3.6%
2 自由業	1.6%	7 無職	16.4%
3 会社員・公務員	44.3%	8 その他( )	1.8%
4 パート・アルバイト	8.1%	無回答	0.8%
5 家事(専業)	12.5%		

F 4 一緒に住んでいるご家族は、**あなたを含めて**何人ですか。(〇は1つ) n=1,182

1 1人	22.8%	3 3人	24.5%	5 5人	3.6%
2 2人	29.9%	4 4人	16.7%	6 6人以上	1.8%
				無回答	0.8%

F 5 あなたの現在のお住まいは、次のどれにあたりますか。(〇は1つ) n=1,182

1 一戸建て持ち家	32.2%	4 賃貸マンション・アパート	30.8%
2 一戸建て借家	2.3%	5 社宅、寮など	2.6%
3 分譲マンション	30.3%	6 その他( )	1.3%
		無回答	0.5%

※裏面に続きます →

F 6 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

※同居・別居を問わず、現在の状況をお答えください。

n=1,182

◎独身である	1 18～39歳	13.3%
	2 40～64歳	12.3%
	3 65歳以上	10.2%
◎配偶者がいて 子どもがいない	4 本人 18～39歳	4.6%
	5 本人 40～64歳	6.9%
	6 本人 65歳以上	4.9%
◎配偶者がいて 子どもがいる	7 一番上の子どもが小学校入学前	9.1%
	8 一番上の子どもが小・中学生	9.5%
	9 一番上の子どもが高校生・大学生（短大・大学院・専門学校等含む）	6.7%
	10 本人が64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業	9.3%
	11 本人が65歳以上で、一番上の子どもが学校卒業	12.6%
	無回答	0.8%

F 7 あなたはどちらの地区にお住まいですか。(○は1つ)

n=1,182

1 根津、弥生、本郷、湯島、西片、白山（1丁目）、向丘（1丁目）	24.4%
2 後楽、春日、水道、小石川（1～4丁目）、関口（1丁目）、小日向（1丁目）、白山（2丁目）	20.6%
3 千駄木、本駒込、向丘（2丁目）、白山（5丁目）	24.1%
4 千石、白山（3・4丁目）、大塚（3・4丁目）、小石川（5丁目）	15.1%
5 音羽、目白台、大塚（1・2・5・6丁目）、関口（2・3丁目）、小日向（2～4丁目）	15.7%
無回答	0.2%

ご協力ありがとうございました

～ 皆さまからの貴重なご意見を、区の施策に活かしてまいります ～



# 第25回 文京区政に関する世論調査 報告書

令和3年12月発行

印刷物番号 A0321005

- [発行] 文京区企画政策部広報課  
〒112-8555 文京区春日1丁目16番21号  
☎ 03(5803)1129 (直通)
- [実施] 株式会社エスピー研  
〒102-0072 千代田区飯田橋3丁目11番20号  
☎ 03(3239)0071 (代表)

資源有効利用のため再生紙を使用しています。